Cayenne

WKD 948 04 70 **17**

PORSCHE

Cayenne

Good to know – 取扱説明書

ポルシェ、ポルシェ・クレスト、カイエン、PCCB、PCM、PDK、PSM、PTM、テクイップメントおよびその他の呼称はDr. Ing. h.c. F. Porsche AGの登録商標です。
Printed in Germany.
本書の一部または全部の複製は、ポルシェ社の文書による許可がない限り禁止いたします。
© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
Porscheplatz 1
70435 Stuttgart
Germany

車載マニュアル

取扱説明書や整備手帳など、車両に付属の印刷物は車内に常備してください。車両を売却するときは、次に購入されるお客様にお渡しください。

ご質問、ご提案

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。
Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
Vertrieb Customer Relations
Porscheplatz 1
70435 Stuttgart

車両の装備について

ポルシェ社では絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。装備品はオプションである場合や、車両が販売される国によってこの取扱説明書の内容と異なる場合があります。追加装備品の詳細については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。
この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店はすべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

警告およびシンボル

この取扱説明書には様々な警告およびシンボルが使用されています。

⚠ 危険 重傷または致命傷を負う危険があります

「危険」の欄の警告を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

⚠ 警告 重傷または致命傷を負う恐れがあります

「警告」の欄の警告を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

⚠ 注意 ケガまたは軽傷を負う恐れがあります

「注意」の欄の警告を守らなかった場合、ケガまたは軽傷を負う恐れがあります。

知識

「知識」の欄の警告を守らなかった場合、車両を損傷する恐れがあります。

i インフォメーション

補足情報は「インフォメーション」の表示を使って記載しています。

✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件
▸ お守りいただく必要のある指示
1. 指示が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。
▷ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている参照先を示します。

エアバッグ警告ラベル

⚠ 危険 チャイルド・シートの助手席での使用

チャイルド・シートを助手席に取り付けた場合、助手席エアバッグが作動したときに重傷または致命傷を負う危険があります。

▸ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルド・シートは**使用しないでください。フロント・エアバッグが作動した場合**、お子様が**重傷または致命傷を負う危険があります**。
▸ 「チャイルド・シート」（183ページ）を参照してください。

本書の構成

目次

本書の目次から確認したいトピックを探すことができます。

▷ （3ページ）～

安全性とドライビング・プレジャー

安全にドライビング・プレジャーを満喫していただくための方法を記載しています。

▷ （5ページ）～

外観図

構成部品や操作系について十分にご理解ください。

▷ （18ページ）～

実用的なヒント

新しい機能に関する補足情報を記載しています。

▷ （32ページ）～

五十音順トピック

構成部品や操作系の機能および操作方法についてお読みください。

▷ （35ページ）～

テクニカル・データ

車両固有データについて記載されています。

▷ （373ページ）～

索引

探したい情報を簡単に見つけることができます。

▷ （397ページ）～

目次

安全性とドライビング・プレジャー 5

概観図
運転席 19
エアコン (2 ゾーンおよび 4 ゾーン・エアコン) 23
オーバーヘッド・コンソール 24
コントロール・パネル 22
ステアリング・ホイールとインストルメント・パネル 20
センター・コンソール 21
リア・エアコン（4ゾーンエアコン） 26
リヤ 25
PCMコントロール 27
PCM動作原理 29
PCMドライブ 28
PCMに文字や記号を入力する 30

実用的なヒント 31

開閉操作とロック
ウィンドウ 51
ガレージ・ドア・オープナー（ホームリンク®） 91
キー 94
セントラル・ロック 166
ボンネット 298
リヤ・リッド 346
ルーフ・システム 350

エアコンおよび人間工学
エアコン (2 ゾーンおよび 4 ゾーン・エアコン) 56
エアバッグ・システム 69
サン・バイザー 132
シート 133
シートベルト 139
ステアリング・ホイール 152
チャイルド・シート 183
パーソナル設定 237
ミラー 319
リヤ・ウィンドウ・ヒーター /ドア・ミラー・ヒーター 345

運転/ドライバー・アシスタンス・システム
アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) 36
インストルメントおよびインテリア・ライト 45
エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM) 65
エンジンの始動および停止 74
オート・スタート/ストップ機能 76
オフロード走行 84
オフロード・モード 88
クルーズ・コントロール 102
警報システム 127
コンパス 131
車線逸脱警告システム 141
スポーツ・エキゾースト・システム 153
「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モード 154
スポーツ・クロノ・ストップウォッチ 157
盗難を防止するために 206
ドライビング・データの表示（トリップ情報） 207
トランスミッション 208
トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム 213
パーキング・アシスタント 233
ハイブリッド車 240
ブレーキ 262
フロント・ワイパー 265
ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM) 282
ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM) 293
ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC) 297
ライト 327
レーン・チェンジ・アシスト(LCA) 358
ログブック 362
E充電モード 368
Eパワー・モード 369
HOLD機能：発進アシスタント、停止制御 370

インストルメント・パネルおよびマルチファンクション・ディスプレイ

インストルメント・パネル 47
警告およびインフォメーション・メッセージ 104
マルチファンクション・ディスプレイ 299
マルチファンクション・ディスプレイを使用した車両設定 309

エンターテイメントおよびコミュニケーション

テレビ(TV) 194
電話 197
ボイス・コントロール 274
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作 284
メディア 323
ラジオ 342

ナビゲーションおよび接続

接続 163
デバイス・マネージャー 193
ナビゲーション 223
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作 284
Apple® CarPlay 366
Porsche Connect App 371

収納および運搬

カップ・ホルダー 90
スモーカーズ・パケージ 161
トレーラー・ヒッチ（トレーラー・カップリング）.....214
プラグ・ソケット 261
保管 280
ラゲッジ・コンパートメント 332
ルーフ・トランスポート・システム 354

モビリティおよび軽修理

ウォッシャー液 55
エンジン・オイル 71
お手入れ 79
給油 97
クーラント（冷却水）.....100
けん引およびけん引によるエンジンの始動 128
故障診断用ソケット 130
ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム 143
ジャンパー・ケーブルによる始動 144
充電中（ハイブリッド）.....146
セレクター・レバーの緊急解除 165
タイヤとホイール 175
テスト・スタンドでの測定 192
バッテリー 244
パワー・ステアリング 247
パンクしたとき 248
ヒューズ 255
ブレーキ・フルード 264
ヘッドライト 269
ワイパー・ブレード 365

テクニカル・データ

.....373

索引

.....397

安全性とドライビング・プレジャー

ポルシェ：それは、スポーティな実力の極致。駆るもののみが知る興奮。その味わいを常に大切にしたい。そのためポルシェ社では、安全とは究極の品質であると考えます。

この章では、ポルシェ車に安全にお乗りいただくためにお守りいただきたいことを記載しています。

完璧な技術 – これこそが、安全の前提条件です

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができるでしょう。そのため、確かな性能を維持するにはお客様による車両のお手入れと思いやりが不可欠となります。それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

損傷および正常な作動状態の点検

技術的な不備のある車両は予期せぬ挙動に陥り、事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し（少なくとも1カ月に1度および長時間のドライブの前）、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください。
  - タイヤに損傷がなく空気圧は適正で、トレッドの残り溝も十分にある
  - ヘッドライト、ブレーキ・ライトおよび方向指示灯がすべて正常に機能している
  - 空力部品に損傷がない
  - ワイパー・ブレードに損傷がない
  - ウィンドウに亀裂や損傷がなく、視界が遮られていない
  - ドア・ミラーおよびルーム・ミラーに損傷がなく、適切な位置に調整されている
  - アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のレーダー・センサーに亀裂や損傷がない
  - クーリング・エア・ダクト、センサーおよびカメラが（フィルム、ストーン・ガード、ナンバー・プレート・ホルダーなどで）覆われていない
- ▶ 自動車電話や無線装置は必ず外部アンテナに接続して使用し、車内の電磁波のレベルが限界値を超えないようにしてください。

タイヤの損傷点検

損傷したタイヤは走行中にバースト（破裂）する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて少なくとも1カ月に1度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがないか確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続け**ない**でください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧の調整

タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるばかりか、制動距離が長くなったり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎる場合は、燃費が著しく低下する恐れがあります。

- ▶ ご使用のタイヤの種類および積載重量に応じたタイヤ空気圧に調整してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧」（385ページ）を参照してください。
- ▶ マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ空気圧メニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび積載重量と一致しているか点検してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」（304ページ）を参照してください。
- ▶ マルチファンクション・ディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合は：速やかに適切な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。損傷したタイヤを装着したままで運転を続け**ない**でください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。

▷ 「パンクしたとき」(248ページ) を参照してください。

ライト類の点検

ライトが故障すると、周囲が暗いときに視界を確保できなくなります。他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。

- すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。以下のライト類を点検してください：
  - パーキング・ライト、ロービーム、ドライビング・ライト、ハイビーム
  - 方向指示灯、ブレーキ・ライト、リバース・ライト
  - フォグ・ライト

空力部品の点検

スポイラーやアンダー・パネルなど、空力部品が損傷または欠損すると、走行安定性に悪影響を及ぼす恐れがあります。

- 損傷していないか車両を点検してください。
- 構成部品が損傷または欠損している場合は、速やかに交換してください。

ウィンドウおよびワイパー・ブレードの清掃およびメンテナンス

ウィンドウの汚れやワイパー・ブレードに不具合があると、事故を起こす危険が著しく高まります。

- 車両およびウィンドウは常にきれいな状態に維持してください。
- ワイパー・ブレードの凍結を溶かしてから、フロント・ウィンドウから剥がしてください。
- ワイパー・ブレードは定期的に交換してください。特にフロント・ウィンドウに筋が残るようになったら交換が必要です。

▷ 「ワイパー・ブレード」(365ページ) を参照してください。

ポルシェ正規販売店によるメンテナンスおよび仕様変更

車両を改造すると、安全機能に悪影響を与えるばかりでなく、その機能が失われる恐れがあります。保証期間内に不適切なメンテナンス作業を実施すると、保証が適用されないことがあります。

- 車両のすべてのメンテナンスおよび仕様変更は必ずポルシェ正規販売店で行ってください。これにより、車両の信頼性と走行安全性が保証され、損傷を防ぐことができます。
  ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ車に使用するスペア・パーツ

- 部品交換やアクセサリーの取り付けには、ポルシェ純正部品、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準に適合する同等部品のみを使用してください。これにより、車両の信頼性と走行安全性を保証し、損傷を防ぐことができます。これらの部品は、ポルシェ正規販売店から入手できます。
  ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- アクセサリーを取り付けるときは、ポルシェテクイップメント製品またはポルシェ社がテストを実施し、承認した部品のみをお選びください。Porsche Tequipmentに関するインフォメーション：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

インフォメーション

他社製のスペア・パーツまたはアクセサリーを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ポルシェ社はいかなる責任も負いかねます。
スペア・パーツやアクセサリーを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。
ポルシェ社の承認していないスペア・パーツまたはアクセサリーを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

荷物、安全装備、車両に子供をのせるとき：ポルシェ・ドライバーへの注意事項

ポルシェ車は、100km/hまでわずか数秒という加速タイムを誇ります。このパワーを思いのままに操るには、走行前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。
このため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

あなたの命を守るもの：シートベルトの適切な着用

シートベルトは適切に着用し、正常に機能している場合にのみ乗員保護効果を発揮できます。

インフォメーション

例え30km/h程度での走行中であっても、シートベルトを着用していないと重大な傷害を負う恐れがあります。安全装備はシートベルトと組み合わせることで乗員を保護します。例えば、エアバッグはシートベルトも適切に着用している場合にのみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- ▶ 短時間の運転であっても、シートベルトは必ず着用してください。
- ▶ 乗員1名に対して必ず1つのシートベルトを使用してください。
- ▶ コートなどの厚手の衣類は脱いでください。
- ▶ ボールペンや眼鏡など、堅い物や壊れやすい物の上にシートベルトがかからないようにしてください。
- ▶ シートベルトがねじれていないことを確認してください。
- ▶ 使用していないシートベルトは完全に格納されていることを必ず確認してください。
- ▶ 妊娠中の方は、腰部ベルトを腹部を避けて腰骨の低い位置にかけ、肩ベルトは胸部に密着させてください。
- ▶ 摩耗または損傷したベルトやバックル、固定具などは交換してください。
- ▷ 「シートベルト」（139ページ）を参照してください。

エアバッグ・システム

すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合にのみ、エアバッグ・システムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

- ▶ 乗員とエアバッグが膨らむ空間との間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシート・クッションの上に足を乗せないでください。

変更を加えたエアバッグ・システムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ ステアリング・ホイール、助手席エアバッグ付近、サイド・エアバッグ付近、ヘッド・エアバッグ付近にアクセサリーを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリー類の配線を取り付けないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品（ステアリング・ホイール、フロント・シート、ヘッドライナーなど）を取り外さないでください。
- ▶ エアバッグ・システムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▷ 「エアバッグ・システム」（69ページ）を参照してください。

車内の荷物はすべて固定

パッセジャー・コンパートメントにしっかり固定されていなかったり不正確なやり方で置かれた積み荷は、ブレーキをかけたとき、方向を変えたとき、もしくは事故の際に車内のいたるところに投げ出される場合があります。これにより、乗員に危害が及んだりケガをする恐れがあります。

インフォメーション

例えば、50km/時(30mph)で衝突した場合、しっかりと固定されていない荷物はその重量の50倍の力で前方に投げ出されます。例えば、1.5リットルの水が入っているペットボトルは75kgの力で車内に放り出されます。

- 荷物を載せるときは必ず固定してください。
- 品物は、例えば、ラゲッジ・コンパートメントやルーフ・トランスポート・システムの中などに、常に安全に収容してください。
- 小さな品物は、小物入れに収容し、小物入れはすべて閉じてください。荷物は絶対に小物入れからはみ出さないようにしてください。
- ダッシュボード、格納式ラゲッジ・コンパートメント・カバーまたは固定式ラゲッジ・コンパートメント・カバーの上に物を載せないでください。
- 荷物はベルト(最小引裂強度700kg)で固定してください。
- 重量物を開いた小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- すべての乗員に安全対策を周知させてください。

荷物の適切な運搬および収納については：

▷ 「荷物の積載」(332ページ) を参照してください。

挟み込みの防止

人や動物が以下の車両部品の作動範囲内にいると、挟み込まれたりケガをしたりする恐れがあります。特に以下の部品が挙げられます：

- 調整式フロント・シート
- ドア
- ウィンドウ
- トレーラー・ヒッチ
- フラップおよびリッド
- 小物入れの蓋

- これらの車両部品を操作する際は、人や動物が作動範囲内にいないことを確認してください。

お子様の動きの監視

多くの場合、お子様は危険を判断したり、危険な状況で正しく振る舞うことができません。

お子様がシート調整などの自動設定を誤って作動させると、ケガをする原因になります。お子様は密閉された車内が高温になった場合など、緊急時に車外に脱出することができません。このような状況では、特に小さいお子様の場合、生命に関わる恐れがあります。

- テールパイプなどの高温部品や作動中の部品にお子様を近づけないでください。
- タイヤ・シーラントやエンジン・オイルなどの有害物質は、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- お子様のみを車内に残さないでください。

チャイルド・シートの安全な使用

チャイルド・シートは適切に装着した場合のみ機能します。

- ポルシェ社で承認されたチャイルド・シート**のみ**を使用してください。
- チャイルド・シートを使用する前に：この取扱説明書に加え、チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、指示に従ってください。

▷ 「チャイルド・シート」(183ページ) を参照してください。

安全で適切な運転：常に正しい判断をする

ポルシェ車はオールラウンダーです。ローンチ・コントロールから緊急ブレーキ機能まで、走り出せばすべてが可能になります。その一方で、最終的にこの能力を常に制御下におく責任はドライバーにあります。

注意力低下の防止

運転中にPCMやその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のために、車両が停止しているときしか使用できない機能もあります。

- 走行中は決してミラーやシート、ステアリング・ホイールの位置を調整しないでください。シートやステアリング・ホイールが予期せず大きく移動する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。ミラーやシート、ステアリング・ホイールは、お出かけ前に適切な位置に設定してください。
- マルチファンクション・ステアリング・ホイール、ラジオ、ナビゲーション・システムなどは、交通状況が許す場合に限り操作することができます。安全を確保できない場合は、停車してから操作してください。
- 運転中に携帯電話やその他の携帯機器を使用しないでください。
- 常にハンズフリー機器を使用してください。
- 運転中にステアリングのスポークの間からボタンを押さないでください。危険な状況に素早く反応することができなくなります。

雨天時や積雪時のブレーキ挙動への注意

激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後などは、ブレーキ表面に水膜が形成されブレーキの効きが悪くなり、ブレーキ・ペダルの踏力が重くなる恐れがあります。

また、凍結防止剤（融雪塩）が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキ・ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

- 特に駐車する前には何回かブレーキをかけ、ブレーキを乾燥させてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- 腐食したブレーキは「振動」が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキ・システムの点検を受けてください。

適切なタイヤと適切な運転スタイル

▷ 「タイヤとホイール」（175ページ）を参照してください。

走行中にハンドルをとられたり、振動が発生した場合の適切な反応

走行時にハンドルをとられたり、振動が発生し、タイヤや車両が損傷する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- 停車してタイヤを点検してください。不具合原因がわからないときは、慎重に運転し不具合の修理を受けてください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの安全な状態を維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- 新品のタイヤを装着してから最初の200kmは、ゆっくりとした速度で慣らし運転を行ってください。

ウインター・タイヤでの走行

ウインター・タイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。
- 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。

- マルチファンクション・ディスプレイで最高許容速度を制限速度として設定する：
  - ▷ 「制限速度の設定」（304ページ）を参照してください。

サマー・タイヤでの走行

外気温が15°C以下のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- 外気温が7°Cを下回った場合、冬用タイヤに交換してください。

アシスタンス・システムとその限界

車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンス・システムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタンス・システムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- アシスタンス・システムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- 使用する前に、アシスタンス・システムについて十分に理解してください。

アシスタンス・システムの参照先は次の通りです。

	ページ
アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)	294
HOLD機能	370
ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)	282
エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)	65
ポルシェ・トラクション・マネージメント(PTM)	213
ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)	293
ポルシェ・トルク・ベクトリング(PTVプラス)	213
タイヤ空気圧モニタリング(TPM)	307
レーン・チェンジ・アシスト(LCA)	358
車線逸脱警告システム	141
オートマチック・ヘッドライト、ダイナミック・ハイ・ビーム	327
駐車アシスト、リバース・カメラ、サラウンド・ビュー	233
クルーズ・コントロール	102
アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)	36
Speed Limit Info（制限速度情報）＊	167
ナビゲーション・システム	223
ポルシェ・ヒル・コントロール	297

緊急ブレーキ機能

例えば、フット・ブレーキが故障した場合はエレクトリック・パーキング・ブレーキを使用して急制動をかけることができます。

緊急ブレーキ機能は非常に高い制動力を発揮するため、後続車を危険にさらす場合があります。

- 緊急ブレーキ機能は通常の制動時ではなく、緊急時にのみ使用してください。
- 緊急ブレーキをかけるためには、スイッチ(Ⓟ)を押し下げてください。ブレーキを解除するには、ボタンから手を放してください。
- ▷ 「緊急ブレーキ機能を作動させる」（262ページ）を参照してください。

荷物積載時の運転

E000_17

車両の操縦性は積載量によって変化します。ルーフ・トランスポート・システムを使用しているときは、空気抵抗も大きくなります。

- ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

- ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載しているときは、130km/h以上の速度で走行しないでください。
- ルーフ・トランスポート・システムを装着して何も積んでいない場合、180km/h以上の速度で走行しないでください。
- 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。
- ルーフ・トランスポート・システムを装着して走行する前に、本取扱説明書の以下のセクションをお読みください。
- ▷ 「ルーフ・トランスポート・システム」（354ページ）を参照してください。

トレーラーを連結しての運転

E000_32

牽引されたトレーラーや付属物（例えば、自転車キャリア）は自動車のハンドリングに大きな影響を与えます。ドライバー支援システムもスイッチが切れたり、異なった振る舞いをします。

- 状況の変化に対処し、事故を防止できるよう慎重に運転してください。
- トレーラーをつないだり、トレーラーを牽引しながら運転する前に:
- ▷ 「トレーラー・ヒッチ（トレーラー・カップリング）」(214ページ)を参照してください。

オフロード走行

E000_33

ポルシェでオフロードを走行しているときは、事故、負傷、車の損傷を避けるために自分の運転スタイルを適応させる必要があります。

- 土手、坂、丘を運転しているときは、車がひっくり返らないように注意してください。
- 水中を通り抜ける前に、流れの速さ、水面下の状態、水深をチェックしてください。
- 障害物を超えて運転するときは、常に車両の最低地上高をチェックしてください。
- ▷ 「オフロード・モード」（88ページ）を参照してください。

ローンチ・コントロールを使用した発進

E000_18

発進時にローンチ・コントロールが作動していると車両は非常に早く加速します。特定の状況では（路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど）、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険がおよぶ恐れがあります。

- 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチ・コントロールを使用してください。
- ローンチ・コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。

警告シグナルへの適切な反応

E000_19

センサーが異常や部品の不具合を検出すると、ライトやメッセージを使用して警告を発します。車両の警告シグナルを無視すると、事故やケガを招く危険性が高まります。

- 走行前に警告灯およびメッセージの意味を理解し、警告に対して適切に対処できるようにしてください。必要であれば停車してください。
- ▷ 「警告灯および表示灯」（49ページ）を参照してください。
- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

給油時の危険

E000_20

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- 燃料を給油する前に補助ヒーター＊をOFFにしてください。
- 燃料を給油するときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙したりしないでください。
- 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
- ▷ 「給油」（97ページ）を参照してください。

車両の燃料タンクが事故で損傷した場合は、燃料が流出して発火や爆発を起こす恐れがあります。

- 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

有害な液体類

燃料だけでなく – エンジン・オイル、トランスミッション・オイル、アドブルー、バッテリー酸、冷却液、ブレーキ液も健康に有害です。

- メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。
- オイルや液体類の容器には適切なラベルを貼り、お子様の手が届かない所に保管してください。
- 残った液体類は、環境に考慮した方法および条例に遵守して処分してください。

エンジン・オイルは発火することがあります。エンジン・オイルが付着した布を投げ捨てたり、換気せずに保管したりすると自然発火して火災の原因になります。

- 布で飛散したエンジン・オイルを吸い取ってください。
- エンジン・オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

有毒な排気ガス

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- 車が停止しているときは、エンジンのスイッチを切ってください。密閉された空間でエンジンを不必要にアイドリングしないでください。
- エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

安全な駐車

車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える恐れがあります。

車両から離れる前に、以下の点に注意してください。

- エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- セレクター・レバーを**P**位置に入れてください。インストルメント・パネルでセレクター・レバーの **P** 位置が点滅している場合、パーキング・ロックは正しくかかっています。この場合、セレクター・レバーを **R** 位置まで動かし、もう一度 **P** 位置まで動かします。

エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾースト・システムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災に至る恐れがあります。

- 可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温のエキゾースト・システムに接触する恐れのある場所に駐車しないでください。
- 車両後方に近づくときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
- お子様がテール・パイプの熱で火傷をしないように注意してください。

万一のときには：故障時や緊急時の場合の安全

故障した場合は、安全を確保するために次の点に注意してください。

緊急時はボイス・コントロールを使用しない

緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス・コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- 緊急時はボイス・コントロールを使用**しない**でください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

エンジン・コンパートメントで作業する際の注意事項

エンジンの作動中は、エンジン・コンパートメント内のエンジンおよび周辺部品が非常に高温になります。クーラント・タンクには圧力がかかっています。

エンジンをOFFにしてキーを抜き取っている状態であっても、ファンが自動的に作動を開始することがあります。

- ▶ エンジンをOFFにして、可能であれば冷やしてください。
- ▶ 身体の一部、衣服、長い髪、アクセサリーなどは、ファンやドライブ・ベルトなどのすべての可動部品から遠ざけてください。
- ▶ 高温部品から守るため保護手袋を着用してください。
- ▶ 水平な場所に停車し、エンジンが冷えているときのみクーラントを補充してください。エンジンが熱いときにリザーバー・タンクを**開かない**でください。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動

不適切なジャンパー・ケーブルを使用したり不適切な始動手順を行うと、回路がショートし火災が発生する恐れがあります。ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動中に、爆発性の高い電解質のガスがバッテリー周囲で発生します。

また、エンジン・コンパートメント内でバッテリー液に接触したり、ラジエーター・ファンなどの部品が自動的に作動するとケガをする恐れがあります。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動を行う前に：

▷ 「ジャンパー・ケーブルによる始動」（144ページ）を参照してください。

けん引

けん引時は事故を起こす危険が高まります。パワー・アシスト機能が作動しないため、操舵力が増加します。ブレーキ・ブースターが作動しない場合は、ブレーキ操作に大きな踏力が必要となります。

- ▶ けん引時にエンジンが停止している場合、またはパワー・アシスト機能またはブレーキ・ブースターが作動しない場合は十分に注意してください。
- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。

▷ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」（128ページ）を参照してください。

パンクしたとき

損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

- ▶ 決してパンクしたタイヤで走行**しない**でください。
- ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。

▷ 「パンクしたとき」（248ページ）を参照してください。

万一事故が起きたとき

事故の後は、シートベルト・プリテンショナーやエアバッグなどの安全装備が作動しなくなる恐れがあります。その場合は、安全装備が乗員保護効果を発揮できなくなります。

- ▶ 安全装備が作動しなかった場合でも点検を受けてください。
- ▶ 作動した安全装備は交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

発炎筒

発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、周囲に危険を知らせるために使用します。

発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定してあります。

⚠ 警告 火傷や火災につながる恐れがあります

- 燃料などの可燃物の近くでは使用しないでください。引火する恐れがあります。
- 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向けたり、近づけたりしないでください。火傷をする恐れがあります。
- お子様がさわらないように注意してください。誤って使用すると火傷をしたり、車両を損傷する恐れがあります。

⚠ 注意 トンネルの中などで使用すると、事故につながる恐れがあります

- トンネルの中など換気が悪い場所で使用すると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故につながる恐れがあります。必要に応じてハザード・ライトを使用してください。

発炎筒の使い方

1. キャップを外してください。本体をひねりながら、ケースから取り出してください。
2. 本体を逆に向けて、ケースに差し込んでください。
3. 本体の点火部を、キャップの擦り薬でこすると着火します。

知識

- 発炎筒の燃焼時間は約5分間です。

発炎筒には有効期限があります。表示してある有効期限が切れる前に、新しい発炎筒に交換してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

お出かけの前に車両に関する重要な情報

車両の慣らし運転

新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が3,000kmに達するまでは慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転中は、次の点に注意してください。

- 慣らし運転中はなるべく長距離を運転することを推奨いたします。できるだけ冷間始動と近距離運転の繰り返しは避けてください。
- 自動車レース、スポーツ・ドライビング・スクールなどに参加しないでください。
- エンジン回転数が4,000rpmを超えないようにしてください。エンジン冷間時は低回転域で運転してください。

新しいブレーキ・パッドの慣らし運転

新品のブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスクも、エンジンと同様に慣らし運転が必要です。新しい部品を装着してから最初の数百kmは、ブレーキ性能を完全には発揮できません。

多少ブレーキの効きが弱くなるため、強めにブレーキを踏む必要があります。ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクを新品に交換した場合も、同様に慣らし運転が必要です。

ハイブリッド車の特殊機能を知る

電気系統

高電圧車両のエレクトリカル・システムおよび高電圧バッテリーの高電圧は大変危険です。損傷した高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワー・エレクトロニクスまたはA/Cコンプレッサーに触れると、感電により致命傷を負う危険があります。

ハイブリッド・システムのすべての構成部品には警告ラベルが貼付されています。高電圧ケーブルはオレンジに着色されています。

- 高電圧車両のエレクトリカル・システム、オレンジ色の高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧ヒーター、高電圧バッテリー、パワー・エレクトロニクス、またはA/Cコンプレッサーへの作業は行わないでください。
- 高電圧車両エレクトリカル・システムの高電圧ケーブル（オレンジ色）を損傷させたり、取り外しや切り離しは絶対に行わないでください。
- 事故の後などで損傷したハイブリッド・システムの部品には触らないでください。
- 高電圧バッテリーは絶対に取り外さないでください。

重要な注意事項：

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、充電中の機器本体部からの電磁波がペースメーカー、ICDの作動に一時的な影響を与える場合があるため、以下を必ずお守りください。

- 充電器に近づかない。
- 充電器を使用する場合は、操作を他の人に依頼する。

その他の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響がないかご確認ください。

限られた知覚

エレクトリカル・システムを使用して走行している場合、車両の走行音はエンジン作動時よりもかなり小さくなります。交通静穏化の施された場所では、後退時や駐車時など、一定の状況で通行者に車両が接近していることに気付かれにくい場合があります。

- 十分に注意して走行してください。

ハイブリッド・システムの緊急OFF

インフォメーション

事故後の迅速な救助や回復を確実にするため、フロント・ドアの「e-hybrid」ロゴは外さないでください。

ハイブリッド・システムを危険な高電圧から保護するため、次のような場合にはシステムが自動的にOFFになります：

- 事故でシートベルト・プリテンショナーまたはエアバッグが作動した場合
- ハイブリッド・システムにショートが検出された場合
- ハイブリッド・システムのプラグ接続のどれか1つが切り離された場合

ハイブリッド・システムの緊急遮断が作動すると、車両は始動できなくなります。

- ご自身では絶対にハイブリッド・システムを再起動しないでください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

サーキット走行の前に

公道走行とくらべ、サーキット走行には過度に大きな車両負荷を伴うため、純粋なレーシング・カーでは短い間隔でのメンテナンスおよび構成部品の整備を行うことでこれに対処しています。これには、サーキット走行後毎の点検の実施および必要な場合の各構成部品の交換、規定期間の経過後のアッセンブリ全体のオーバーホールが含まれます。

- ▶ レース・サーキットで運転する前に、常に現在の規定について問い合わせをしてください：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

ブレーキ・システム

ブレーキ液には吸湿性があり、長期間使用すると大気中の水分を吸収します。水分を吸収すると沸点が低下し、高温時にブレーキの効きが大幅に低下することがあります。

サーキット走行時はブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスクに高負荷がかかります。

- ▶ 使用開始から12カ月以上経過したブレーキ・フルード：サーキット走行前に交換してください。
- ▶ サーキット走行の前後に、ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクに摩耗がないか点検を受けてください。

タイヤ

サーキット走行時はタイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- ▶ サーキット走行の前後に、タイヤに摩耗がないか点検を受けてください。
- ▶ レース用タイヤは装着しないでください。ポルシェ社はレース用タイヤを承認していません。

エンジン・オイル

- ▶ サーキット走行の前後に、エンジン・オイル・レベルを点検してください。
- ▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」（303ページ）を参照してください。
- ▷ 「エンジン・オイル」（71ページ）を参照してください。

国外で走行する前に

すべてのポルシェ・モデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペア・パーツが入手できない、あるいは、ポルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。

国外で走行する前に以下の点を確認してください。

- 車両が故障した場合、修理は可能ですか？
- 車両の技術的な調整が必要ではありませんか？
- 十分なオクタン価の燃料が入手可能ですか？
- ヘッドライトは左側 / 右側通行向けに変更する必要はありませんか？

- ▷ その場合は、「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」（313ページ）を参照してください。

車両データ処理

この車両は ECU 装備車です。これらの一部は車両の操作安全性に必須で、その他は走行アシスト機能（ドライバー・アシスタンス・システム）を提供します。また、この車両は ECU 制御式のコンフォートまたはエンターテインメント機能装備車です。

車両へのテクニカル・データの保存

ECU は、車両の状態、コンポーネント負荷、サービス要件、事象、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存するデータ・メモリーを備えています。一般的に、この技術的情報には以下のような構成部品、モジュール、システムまたは環境の状態が保存されています：

- システム構成部品の作動状態（例：充填レベル）
- 車両または各構成部品に関するステータス・メッセージ（例：ホイール回転数、速度、減速度、横加速度）
- 重要なシステム構成部品の作動不良や故障（例：ライトやブレーキ）
- 車両を損傷する恐れのある事象についての情報
- 特別な走行状況での車両の反応（例：エアバッグの展開、スタビリティ・コントロール・システムの作動）
- 環境条件（例：温度）

実際のコントロール・ユニットの機能に加えて、このデータを使用して故障の検出および修正を実施し、メーカーにより車両機能を最適化することができます。このデータの大部分は揮発性で、車両自体でのみ処理されます。データのごく一部のみが故障メモリに保存されます。また、この車両は ECU 制御式のコンフォートまたはエンターテインメント機能装備車です。

テクニカル・データの読み出し

車両の整備時、サービス・ネットワーク作業者(例：ワークショップ、ロードサービス、メーカー)は、車両からこの技術情報を読み出すことができます。サービスには修理、サービス点検、保証での作業、品質保証対策などが含まれます。

データは車両の OBD(「オンボード診断」)用に法的に規定された接続を使用して読み出されます。製品のモニタリング要件、または品質要件を満足するために、データの収集、処理、および関連サービス・ネットワーク作業員による使用およびポルシェへの送信が実施されます。車両の故障およびイベント・メモリーは修理またはメンテナンス中にサービス・センターによるリセットが可能です。

車両機能の使用

選択した機器に応じて、車両のコンフォートおよびインフォテインメント機能のその他の設定に加えて、マルチメディアおよびアドレス・ブック・データ、またはナビゲーション目的地等の情報をご自身で追加することができます。このデータは車両で局所的に保存されたり、車両に接続した機器に保存されます(例：スマートフォン、USB メモリーまたは MP3 プレーヤー)。車両にデータを保存している場合はいつでも消去可能です。ご要望があった場合のみ、特にオンライン・サービスの使用中にのみデータが第三者に送信されます。これは選択された設定に従ってのみ実施されます。

車両に必要機器が装備されている場合は、車両に内蔵された制御装置を使用して接続したスマートフォンまたは他の携帯機器を制御可能です。スマートフォンからの画像および音はマルチメディア・システムにより出力可能です。特定の情報をスマートフォンに送信することもできます。これは一般的な車両情報または位置データを含みます。装備品のタイプにより異なります。これにより、ナビゲーション・システムの使用または音楽の再生など選択したスマートフォンのアプリを最適に使用できます。スマートフォンを使用して車両データに自動アクセスすることはできません。データ処理のタイプは、ご使用のメーカーにより異なります。

設定可能であるかどうか、および設定可能な設定は、ご使用のスマートフォンのアプリおよびオペレーティング・システムにより異なります。

オンライン・サービスの使用

車両にワイヤレス・ネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステム間でデータの交換が可能です。車両の送受信ユニットまたは接続した携帯機器(例：スマートフォン)により、ワイヤレス・ネットワークに接続可能です。ワイヤレス・ネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。これにはポルシェまたは他のプロバイダーによる、利用可能なオンライン・サービスおよびアプリケーション/アプリが含まれます。

ポルシェ・オンライン・サービスの場合は、各種機能についての説明が適切な場所(例：ポルシェ・コネクト・ウェブサイト)に提供されており、関連のデータ保護法情報も提供されています。個人データはオンライン・サービスの規定に従って使用されます。必要なデータの交換は、この目的のために設定されたポルシェ IT システムなど保護された接続により実施されます。サービスの規定以外の目的での個人データの収集、処理および使用は、法律またはお客様の同意に従ってのみ実施されます。

通常、(料金ベース)サービスおよび機能、場合によっては車両の全データ接続を作動または作動解除できます。これは特に、法的要件機能およびサービスには適用されません。

他のプロバイダーからオンライン・サービスを使用する可能性がある場合は、責任は各プロバイダーにあり、各プロバイダーのデータ保護要件および使用規約に従うものとします。ポルシェはこのようなデータ交換について干渉いたしません。第三者サービスの個人データの収集および使用タイプ、範囲、目的については各サービス・プロバイダーにお問い合わせください。

外観図

以降のページには、車両の全ての部位の外観図が簡略な説明とともに掲載されています。詳細については、表示されたページを参照してください。

運転席

A	センター・ロック	▷ P169
B	インナー・ドア・ハンドル	▷ P170
C	パーソナル設定用メモリー・ボタン	▷ P237
D	トリップ・メーター・リセット・ボタン/インストルメント・パネル明るさ調節ボタン	▷ P45
E	イグニッション・ロック/ステアリング・ロック	▷ P74
F	オーバーヘッド・コンソール	▷ P24
G	パワー・ウィンドウ	▷ P51
H	ドア・ミラーの調整	▷ P319
I	フィラー・フラップ解除ボタン (Cayenne S E-Hybrid)	▷ P146
J	エンジン・フードの開閉	▷ P298
K	故障診断用ソケット	▷ P130
L	エレクトリック・パーキング・ブレーキ	▷ P262
M	ライト・スイッチ	▷ P327
N	ステアリング・ホイール調節	▷ P152
O	シート調節	▷ P133

ステアリング・ホイールとインストルメント・パネル

A	方向指示灯	▷ P330
B	油圧計	▷ P48
C	油温計	▷ P47
D	スピードメーター	▷ P47
E	タコメーター（回転計） 警告灯および表示灯	▷ P47 ▷ P49
F	マルチファンクション・ディスプレイ	▷ P47
G	フロント・ワイパー	▷ P265
H	水温計	▷ P47
I	燃料計	▷ P48
J	ティプトロニックSシフト・パドル	▷ P210
K	クルーズ・コントロール アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)	▷ P102 ▷ P36
L	電話コントロール、マルチファンクション・ディスプレイ	▷ P152
M	ホーン	

センター・コンソール

A	コンパス＊	▷ P131
	スポーツ・クロノ・ストップウォッチ	▷ P157
B	ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)	▷ P27
C	エア・ベント	▷ P61
D	グローブ・ボックス	▷ P280
E	コントロール・パネル	▷ P22
F	ドリンク・ホルダー	▷ P90
G	シガー・ライター	▷ P161
H	アームレスト、小物入れ	▷ P281

＊ 日本仕様に設定はありません。

コントロール・パネル

A	ハザード・ライト	▷ P331
B	エアコン・システム	▷ P56
C	シート・ヒーター、シート・ベンチレーター	▷ P137
D	ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)	▷ P282
E	オンロードおよびオフロード・ドライビング・プログラム	▷ P88
F	オート・スタート/ストップ機能	▷ P76
G	スポーツ・プラス・モード	▷ P154
H	スポーツ・モード	▷ P154
I	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)	▷ P293
J	スポーツ・エキゾースト・システム・ボタン	▷ P153
K	車線逸脱警告システム	▷ P88
L	ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)	▷ P297
M	エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)	▷ P65

Cayenne S E-Hybrid

N	Eパワー・モード	▷ P369
O	E充電モード	▷ P368

エアコン (2 ゾーンおよび 4 ゾーン・エアコン)

A	フロント・ウィンドウ・デフロスター	▷ P64
B	エアコン・ディスプレイ	▷ P56
C	内気循環モード	▷ P62
D	温度の設定	▷ P59
E	送風量の設定	▷ P59
F	SYNCモード（運転席のエアコン設定を室内全体に適用する）	▷ P63
G	フロント・ウィンドウへの送風	▷ P60
H	中央およびサイド・ベントからの送風	▷ P60
I	足元への送風	▷ P60
J	AUTOモード	▷ P58
	RESTモード(エンジン余熱ヒーターを使用する)	▷ P63
K	リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびドア・ミラー・ヒーター	▷ P345
L	A/C モード(エアコン･コンプレッサーの ON/OFF)	▷ P61
M	A/C MAXモード	▷ P62
N	AUTOモード（右）	▷ P58
	REARモード（フロント・コントロール・パネルでリヤ・ゾーンを制御する）	▷ P60

オーバーヘッド・コンソール

A	リヤ・インテリア・ライト	▷ P45
B	アンビエント・ライトの明るさ調節	▷ P46
C	パーキング・アシスタントOFFボタン	▷ P234
D	室内モニタリング・システム・センサー	▷ P127
E	ルーフ・システム	▷ P350
F	パノラマ・ルーフ用ロール・アップ式サンブラインド	▷ P351
G	ハンズフリー・マイク	
H	読書灯	▷ P45
I	オリエンテーション・ライト	▷ P46
J	フロント・インテリア・ライト	▷ P45
K	ドア/リヤ・リッド連動インテリア・ライト	▷ P46
L	助手席エアバッグOFF警告灯	▷ P70
M	ガレージ・ドア・オープナー／ホームリンク®	▷ P91

リヤ

A	エア・ベント	▷ P61
B	エアコン	▷ P57
C	シート・ヒーター /シート・ベンチレーター センター・ロック	▷ P137 ▷ P169
D	読書灯	▷ P45
E	インナー・ドア・ハンドル	▷ P170
F	灰皿	▷ P161
G	マップ・ポケット	▷ P280
H	シガー・ライター	▷ P161
I	USB充電ポート	
J	リヤ・シートの前後調節	▷ P135
K	リヤ・シートのバックレスト角度の調節	▷ P135
L	パワー・ウィンドウ	▷ P51

リア・エアコン（4ゾーンエアコン）

A	エアコン・ディスプレイ	▷ P57
B	温度の設定	▷ P59
C	送風量の設定	▷ P59
D	ドア・ベントへの送風	▷ P60
E	中央のベントへの送風	▷ P60
F	足元への送風	▷ P60
G	AUTOモード	▷ P58
H	シート・ヒーター	▷ P137
I	シート・ベンチレーター	▷ P138

PCMコントロール

A	音量調節、PCM ON/OFFスイッチ	▷ P285
B	ラジオ	▷ P342
	テレビ(TV)	▷ P194
C	メディアおよびラジオ音源	▷ P323
D	ミュージックおよびビデオ	▷ P323
E	電話、メッセージおよびEメール	▷ P197
F	ナビ	▷ P223
G	車両およびシステムの設定	▷ P291
H	地図および交通情報	▷ P228
I	メイン・メニュー、サウンド設定	▷ P291
	Porsche Connect App	▷ P371
	ポルシェ・コネクト・サービス	▷ P163
	アップル®カープレイ	▷ P371
	MyScreen	▷ P163
J	ロータリー・プッシュ・ボタン(PCMの操作用)	▷ P366
K	バック・ボタン：前の操作を取り消す、選択を中止する、または1つ前のメニューに戻る	▷ P288
L	メイン・メニュー、サウンド設定に応じた設定	▷ P286
M	時刻の設定	▷ P291
N	タッチスクリーン(PCMの操作用)	▷ P286
O	デバイス・マネージャー（電話の接続、無線インターネット接続の設定、Bluetooth® デバイスの接続、アップル®カープレイおよびポルシェ・コネクト・アプリの接続状態の表示）	▷ P285
P	スキップ・ボタン（曲/放送局の設定）	▷ P285

PCMドライブ

A	CD/DVDドライブ	▷ P289
B	SDカード・リーダー 1	▷ P289
C	SIMカード・リーダー	▷ P163
D	SDカード・リーダー 2	▷ P289
E	CD/DVDイジェクト・ボタン	▷ P289

PCM動作原理

A メイン・メニューを開く
- ボタンを押してください。
  例えば、
  TUNER
  または
  メイン･メニュー HOME
  の機能を選択してください。

B PCMの操作用ロータリー・プッシュ・ボタン ▷ P286
- ロータリー・プッシュ・ボタン**B**を回して機能を選択してください。
- ロータリー・プッシュ・ボタン**B**を押して選択内容を確定してください。

C バック・ボタン：前の操作を取り消す、選択を中止する、または1つ前のメニューに戻る

D メイン・メニュー、サウンド設定に応じた設定

E コントローラーの機能を開く ▷ P286
(近接センサーがアクティブの場合は､手をPCMの近くに動かすだけです)

F PCMの操作用タッチスクリーン ▷ P286
- タップ（指で軽く触れる）
- 長押し（指を押し付けてそのままにする）
- スクロール（上下にスワイプする）
- スワイプ（左右にスワイプする）
- ドラッグ＆ドロップ（項目をタッチして、希望の位置までドラッグして放す）
- ズーム（2本の指をディスプレイに触れたまま広げるまたは狭める）

G 他のページを表示：左右にスワイプして他のページを開く

PCMに文字や記号を入力する

A	現在のカーソル位置	▷ P287
B	候補のリスト	▷ P287
C	大文字と小文字を切り替える	▷ P287
D	文字、数字および特殊文字の入力を切り替える	▷ P287
E	キーボードを表示する/隠す	▷ P287
F	手書き文字認識機能（タッチスクリーンを使用して文字を入力する）	▷ P287
G	キーボードの調整	▷ P287
H	スペースの挿入（手書き文字認識:タッチスクリーン上で指を左から右にスワイプする）	▷ P287
I	入力を決定する	▷ P287
J	項目を削除する(手書き文字認識:タッチスクリーン上で指を右から左にスワイプする)	▷ P287
K	英語、ひらがな、カタカナ、ローマ字、漢字の手書き認証：代替文字の表示/非表示の切り替え	▷ P287

実用的なヒント

以降のページには、車両の各エリアに関する実用的なヒントが掲載されています。

実用的なヒント

エアコン

項目	ヒント
アッパー・ベンチレーション・パネルのON/OFF	アッパー・ベンチレーション・パネルは、マルチファンクション・ディスプレイで**車両** ▸ **設定** ▸ **エアコン** ▸ **換気フィールド**の順に選択して、ON/OFF を切り替えることができます。
空気の状態に応じて、外気導入と内気循環を自動的に切り替える	自動内気循環モードは、マルチファンクション・ディスプレイで**車両** ▸ **設定** ▸ **エアコン** ▸ **自動内気循環**の順に選択して、ON/OFF を切り替えることができます。
ドライバーが1人で乗車するときのエアコン設定	ドライバーが一人で乗車するときは、運転席側のエアコン設定を車両全体に適用します。 ▸ エアコン・コントロール・パネルの SYNC ボタンを押してください。

接続

項目	ヒント
デバイス・マネージャーを開く	接続は、デバイス・マネージャーを使用して一元管理できます（例えば、電話またはBluetooth®オーディオ・プレーヤーをアップル®・カープレイとポルシェ・コネクト・アプリを使用して接続）。 ▸ PCMのフッターにあるシンボル または を選択してください（接続ステータスによって異なる）。 **または** PHONE ボタン▸ OPT ボタン▸ **デバイスマネージャー**

マルチファンクション・ステアリング・ホイール

項目	ヒント
マルチファンクション・ステアリング・ホイールのMFSボタンを割り当てる	マルチファンクション・ステアリング・ホイールのMFSボタンに、マルチファンクション・ディスプレイ、任意のPCMの機能または一般的な車両機能を個別に割り当てることができます。 マルチファンクション・ディスプレイで希望の機能を選択してください。 **車両** ▸ **設定** ▸ **ハンドル操作** ▸ **マルチファンクション・ボタン** ▸ **PCM 機能**または**組み合わせ機能**または**車両機能**

ナビ

項目	ヒント
目的地の検索または入力	**検索**または**オンライン検索**機能により、希望の目的地を入力または検索することができます。**検索**機能では、PCM に内蔵されたデータベースにアクセスして目的地を検索します。インターネットで目的地を検索するには、**オンライン検索**機能を利用してください。 ▸ NAV ボタン ▸ **検索**または**オンライン検索** ▸ 検索ワード (例：都道府県、市区町村、名前等) を入力し、リストから希望する項目を選択 ▸ **開始** を押します。

ボイス・コントロール

項目	ヒント
ボイス・コントロールの作動	ステアリング・ホイールの左側にあるコントロール・レバーの ボタンは、アプリケーションによって異なる機能を起動します： – 短く押す：PCMのボイス・コントロールが有効になります。 – 長押しする：Siri® 音声認識がアクティブになります(アップル® カープレイと連動した場合のみ)。
乗員による音声操作	ボイス・コントロール用のハンズフリー・マイクロフォンはドライバー側に向いています。そのため、ドライバーのみがボイス・コントロールを使用してください。

給油

項目	ヒント
フィラー・フラップの位置の表示	燃料計の矢印は、車両のフィラー・フラップの付いている側面を示しています。 ▷ 「インストルメント・パネル」(47ページ) を参照してください。

電話

項目	ヒント
対応しているBluetooth®プロファイル	携帯電話に採用されているプロファイルのリストを表示するには、PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **SET PHONE** ▸ **Bluetooth** ▸ **Bluetooth デバイス** ▸ 該当するデバイスを選択 ▸ **詳細**を選択します。 また、携帯電話の取扱説明書に記載されている情報にも注意してください。
接続された2台の携帯電話を切り替える	携帯電話がすでにPCMに接続されている場合、2番目の携帯電話をPCMに接続することもでき、ユーザーは2台の携帯電話を切り替えることができます。 ▸ PHONE ボタン ▸ ヘッドラインの または を選択します。
携帯電話の連絡先をPCMに転送する	どの携帯電話が接続されているか、またはSIMカードを使用しているかに関係なく、PCMの範囲内にある携帯電話からBluetooth®経由で連絡先を転送することができます。 ▸ PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **SET PHONE** ▸ **連絡先** ▸ **連絡先を移動する** ▸ 連絡先の転送に使用うする携帯電話を選択します。

セントラル・ロッキング

項目	ヒント
車両がロック解除されるとき、1つのドアのみがロック解除されます	ドアのロックおよびロック解除の設定が変更されました。 設定内容に関係なくすべてのドアを開くことができます。 ▸ ドライバーキーのボタン を、5秒以内に2度押します。 設定を変更するには、マルチファンクション・ディスプレイで**車両** ▸ **設定** ▸ **ロック**を選択します。

トピック

以降のページには、五十音順に項目が掲載されています。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、約30～210km/hの範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは自車と同一車線上に、設定した速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは前走車との車間距離が短くなると減速し、車間距離が長くなると設定速度の範囲内で加速します。

⚠ 警告 集中力の低下

アダプティブ・クルーズ・コントロールにより快適性は向上しますが、ドライバーは運転に責任を持ち、安全運転を心がけてください。ドライバーは、アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動していても、安全な車間距離を保ち、適切なスピードで走行するなどの安全運転に努めてください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- 十分注意して運転してください。
- アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の減速が不十分な場合は、直ちにフット・ブレーキをかけて車両を減速させてください。
- 常に車両がコントロールできるか確認してください。

⚠ 警告 危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により前走車と安全な距離を保って一定の車速で走行できない場合は、アダプティブ・クルーズ・コントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- 激しい渋滞、道路工事区間、市街地、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面）などでアダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)を使用しないでください。

⚠ 警告 アダプティブ・クルーズ・コントロールにより他の車両や障害物を検出できない場合

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、停車中または低速走行中の車両、歩行者、路上の障害物、同一車線上の対向車、前方を斜め方向に横切る車両などは検出できません。

- 必要に応じて適切な運転操作をしてください。
- 進行方向の状況に常に気を配ってください。

レーダー・センサー

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、フロント・バンパー中央（**矢印**）のレーダー・センサーを使用します。

図1: レーダー・センサーの取り付け位置

⚠ 警告 レーダー・センサーの視界不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶきなどでレーダー・センサーの機能が阻害される場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

- 上記のような状況下ではアダプティブ・クルーズ・コンロールを使用しないでください。

i インフォメーション

- システムの正常な機能を維持するために、レーダー・センサーに付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。

車両のお手入れについて：

▷ 「お手入れ」(79ページ)を参照してください。

例外

レーダー・センサーの汚れが激しい場合や雪などで覆われているとき、豪雨など悪天候のとき、トンネルを通過中などにアダプティブ・クルーズ・コントロールが自動的に作動を停止することがあります。

マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の基本的な作動

前走車がいないとき – 一般道路での運転

アダプティブ・クルーズ・コントロールは車両の速度を調節します。設定された希望の速度が常に維持されます。

前走車を検出したとき – フォロー・モード

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、自車と同一車線上に希望した設定速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

前走車が停止すると、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御範囲内で減速して停車します（カイエンSディーゼルには適用されません）。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは前走車が発進するまで停車状態を維持します。

前走車が発進すると、アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）を再開することができます。

追い越し加速

アクセル・ペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。

設定速度よりも高速で走行すると、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)が解除されます。

マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。設定された希望の速度は保存されています。

アクセル・ペダルを放すと、ACCは、前走車がいない場合は希望の速度まで加速し、前走車がいる場合は車間距離を制御します。

ACCの作動状態に関するインフォメーション：

▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)ON時の作動モード」（38ページ）を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の操作

図2: アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)操作レバー

R ACCのスイッチON/OFF
1 設定/希望する速度を上げる
2 減速
3 中断(OFF)
4 クルーズ・コントロールの再開(RESUME)

インフォメーション

ブレーキ・ペダルまたはアクセル・ペダルを操作した場合、いつでもドライバーの意志が優先されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の表示

アダプティブ・クルーズ・コントロールに関するすべての重要な情報、メッセージおよび警告はマルチファンクション・ディスプレイのACCメイン・メニューに表示されます。

図3: マルチファンクション・ディスプレイのACC

A 前走車との設定車間距離
B ステータス表示と目標速度
C 先行車両の検知
D 先行車両からの現在の距離
E 先行車両の現在の速度
F 速度制御範囲のバー表示(0～210km/h)
G 実際の速度

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)をONにすると、マルチファンクション・ディスプレイ左下にステータス・ディスプレイ**B**が表示されます。
アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動すると、ステータス・ディスプレイ**B**が橙色に変わります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動を中断すると、ステータス・ディスプレイ**B**が灰色になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールをONにすると、クルーズ・コントロールのシンボル・マークが表示されます。ただし設定速度を設定するまでは、速度表示が空欄になります。

設定速度を設定した後、前走車を検出していないときは、クルーズ・コントロールのシンボル・マークと設定速度が表示されます。

設定速度を設定した後で前走車を検出した場合、車両のシンボル・マークと設定速度が表示されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のON/OFF

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)を

▸ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**R**を押してください。
マルチファンクション・ディスプレイに灰色のシンボル・マークが表示されます。
アダプティブ・クルーズ・コントロールはスタンバイ状態になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)をOFFにする

▸ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**R**を押してください。
マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。
設定された希望の速度が削除されます。
希望の車間距離は初期値にリセットされます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)ON時の作動モード

アダプティブ・クルーズ・コントロールON時には、3種類の作動モードがあります。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）の作動

アダプティブ・クルーズ・コントロールが、速度および前走車との車間距離を自動的に制御します。
ステータス・ディスプレイ **B**が橙色になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）のスタンバイ

クルーズ・コントロールと車間距離コントロールは、ブレーキを踏んだりコントロール・レバーを押し下げることで中断された後は停止状態になります（位置 **3**、**OFF**）。
設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。
ステータス・ディスプレイ**B**が灰色になります。
アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）の再開に関するインフォメーション：
▷ 「RESUME（自動車速制御と自動車間距離制御の再開）」（41ページ）を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の速度超過

アクセル・ペダルを踏むと、クルーズ・コントロールおよび車間距離制御が解除されます。
マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。
設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。
ステータス・ディスプレイ**B**が灰色になります。
アクセル・ペダルを放した後、アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）は再開されます。

速度の設定/設定速度の変更

✓ アダプティブ・クルーズ・コントロールがON
✓ 車両が動いている
✓ 前方に静止した物体を検出していない

速度の設定

1. ステアリング・ホイールのコントロール・レバーを前方に押してください (図2ページ37、**1**)。
   現在の運転速度が希望の速度として保存され、(約30～210km/h (20～130mph) の制御範囲内で) 自動的に維持され、ステータス・ディスプレイ **B**にオレンジで表示されます。
   速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マーク**G**が、現在の速度を示しています。
2. アクセル・ペダルから足を放してください。
   自車よりも遅い速度の前走車が検出されるまで、設定速度が自動的に維持されます。

インフォメーション

車両が停止している状態でコントロール・レバーを前方(**1**の位置)に押すと、駐車時にはACCをアクティブにできないというメッセージがマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。
前方に静止した物体を検出すると、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

設定速度を上げる

▸ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方 (**1**の位置) に押してください。
速度が1km/h単位で上がります。
または
ステアリング・コラムの操作レバーを前方 (**1**の位置) で保持してください。

速度が10km/h単位で上がります。
ステータス・ディスプレイ**B**が新しく設定した速度を表示します。
速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マーク**G**が、現在の速度を示しています。

減速

▸ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを手前 (**2**の位置) に素早く引いてください。
速度が1km/h単位で下がります。
または
ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで手前 (**2**の位置) で保持してください。

速度が10km/h単位で下がります。
ステータス・ディスプレイ**B**が新しく設定した速度を表示します。
速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マーク**G**が、現在の速度を示しています。

車間距離の設定

前走車との車間距離を4段階に設定できます。

図4: 車間距離の設定

インフォメーション

車間距離を設定すると、マルチファンクション・ディスプレイに「ACC」(アダプティブ・クルーズ・コントロール) のメイン・メニューが一時的に表示されます。
最初にロッカー・スイッチ**Z**を操作すると、設定車間距離を変更することなく、「ACC」メイン・メニューが表示されます。

インフォメーション

実際の車間距離は速度に応じて変化します。
速度が低いときは車間距離が短くなり、速度が高くなると車間距離が長くなります。

車間距離を長くする

▸ スイッチ**Z**を上方向に押してください。
前走車との設定車間距離を示す橙色のセグメント**A**の数が増えます。

車間距離を短くする

▸ スイッチ**Z**を下方向に押してください。
前走車との設定車間距離を示す橙色のセグメント**A**の数が減ります。

前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、マルチファンクション・ディスプレイまたはステータス・ディスプレイ**B**に車両のシンボル・マーク**C**が表示されます。グレーのエリア**D**は、前方の車両からの現在の距離を表示します（図3ページ38）。

走行速度が高い道路での走行に適した車間距離です。前走車との車間距離は1秒です。この場合、120km/hのときに約33mの車間距離になります。

少し余裕のあるドライビングに適した車間距離です。前走車との車間距離は1.3秒です。この場合、120km/hのときに約43mの車間距離になります。

初期設定値
道路運行上の安全基準に即した車間距離です。前走車との車間距離は1.8秒です。この場合、120km/hのときに約60mの車間距離になります。

郊外路を走行するときに適しています。前走車との車間距離は2.3秒です。この場合、120km/hのときに約77mの車間距離になります。

自動ブレーキ制御での停止

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動しているときに前走車が停止すると、制御範囲内で減速して停車します。
インジケーター・ライト HOLD が計器パネルに点灯します。
車両は前走車が発進するまで停止状態を維持します。
HOLD機能に関するインフォメーション：
▷ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」（370ページ）を参照してください。

i インフォメーション

周囲の交通の流れによっては（例えば、ゆっくりとした交通の流れの中では）、車両はゆっくりと徐行してから停車します。

i インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロールが正常に機能している場合や、HOLD機能が作動したときは、ブレーキ・ペダルの感触が変化したり、ブレーキ・システムの油圧作動音が聞こえることがあります。
これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

再発進

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動モードに応じて、停車後に再発進し、自動車速制御と自動車間距離制御を再開することができます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の作動

▸ ステアリング・ホイールのコントロール・レバーを上方（位置 **4、再開**）に押してください。
または
アクセル・ペダルを短く踏んでください。
車両が自動的に再発進します。

i インフォメーション

前走車が停止しているときは発進できません。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のスタンバイ

車両が動いているときのみ、自動車速制御および自動車間距離制御を再開することができます。

1. 通常の運転操作で発進してください。
2. ステアリング・ホイールのコントロール・レバーを上方（位置**4、RESUME**）に押します。
または
速度を設定する、または設定速度を変更してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(自動車速制御および自動車間距離制御）の中断と再開

OFF（自動車速制御と自動車間距離制御の中断）

- ブレーキ・ペダルを踏んでください。
  または
  ステアリング・ホイールのコントロール・レバーを下方（位置**3**、**OFF**）に押します。
  アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されます。
  設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。
  ステータス･ディスプレイ**B**がオレンジからグレーに変わります。

RESUME（自動車速制御と自動車間距離制御の再開）

- ステアリング・ホイールのコントロール・レバーを上方（位置**4**、**再開**）に押してください。
  自車よりも遅い速度の前走車を検出し、あらかじめ設定した車間距離よりも接近するまでは、車両は設定速度まで加速します。
  ステータス･ディスプレイ**B**が灰色から橙色になります。
  または
  ステアリング・ホイールのコントロール・レバーを上方（位置**4**、**再開**）に押し続けてください。
  車両は保存された希望の速度までより早く加速されます。

インフォメーション

クルーズ・コントロール操作レバーを**3の位置**(**OFF**)に押して、自動車速制御および自動車間距離制御を中断した場合、発進後、前方に静止した物体を検出していないときのみ制御を再開できます。

警告メッセージ

図5: マルチファンクション･ディスプレイの警告メッセージ

制御モード(ACC作動中)でのドライバーへの運転操作の要求

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合、警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

警告 アダプティブ・クルーズ・コントロールによるオート・ブレーキ時の不十分な制動力

このような場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールによる制動力は衝突を回避するには不十分です。

- 直ちにブレーキをかけてください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の例外

次のような状況では、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)は利用できません：

- イグニッションがOFFのとき
- PSMがOFFのとき
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していないとき
- 駐車するとき、または非常に狭い場所を運転するとき
- エレクトリック・パーキング・ブレーキが作動しているとき
- セレクター・レバーが **N**、**R** または **P** 位置にあるとき
- 上り坂や下り坂の傾斜が20%以上のとき
- ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)が作動中（またはスタンバイ状態）のとき

アダプティブ･クルーズ･コントロール(ACC)ON時に、上記のいずれかの例外状況があてはまる場合、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)がOFFになります。
マルチファンクション･ディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

レーダー・センサーが前走車を正常に検出できない状況

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のレーダー・センサーは、自車正面の比較的狭い範囲を円錐状に監視します。
このため周囲の道路状況や、前走車の大きさによっては、レーダー・センサーが前走車を検知できない、または検知が遅れる場合があります。その結果、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制動が遅れたり、ブレーキが突然かかることがあります。
停止中の車両は検出されません。アダプティブ・クルーズ・コントロールは停止中の車両に反応できません。

- 十分注意して運転してください。
- 必要に応じて減速してください。

図6: 前方への割り込み、幅の狭い車両

A – 前走車の車線変更/前方への割り込み

他の車両が自車の車線に割り込んだときや離れる場合、自車と同一車線に完全に移動するまでその車両を検出しません。

B – 投影面積が小さな車両/幅の狭い車両

小さな車両や幅の狭い車両は検出できないか、または検出のタイミングが遅れます。

図7: コーナリングおよび停車中の車両

C – コーナーへの進入/脱出

コーナーにさしかかったときは、前走車を検出できなかったり、遅れて検出する場合があります。また、隣の車線を走行する車両に反応する場合もあります。

D – 停止中の車両

レーダー・センサーの監視エリアに突然停車中の車両が現れたとき（前走車が車線変更したときなど）は、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)はその車両を検出しません。

⚠ 警告 アダプティブ・クルーズ・コントロールの停止車両の不検出

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のレーダー・センサーは停止中の車両を検出しません。

- 十分注意して運転してください。
- 必要に応じて減速してください。

図8: オーバーハングの長い車両

E – オーバーハングの長い車両

木材運搬トラックなどの車両後端部は正しく検出できません。

⚠ 警告 前走車の後端が正しく検出されない

前走車に長いオーバーハングがある場合、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のレーダー・センサーはその車両の後端を検出できないか、または正しく検出することができません。

- 十分注意して運転してください。
- 必要に応じて減速してください。

ポルシェ・アクティブ・セーフ(PAS)

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)センサーが「ポルシェ・アクティブ・セーフ」(PAS)機能のために使用されます。

機能内容：

- **ブレーキ・システム・プレフィル**
  前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出すると、ブレーキ・システムの圧力をあらかじめ僅かに高めて制動時の応答性を向上させます。
- **ブレーキ・アシスト**
  急ブレーキ操作時にブレーキ・ペダルを踏む力が弱いと、ブレーキ・アシストが 4 輪すべてのブレーキ・システムの圧力を高め最大の制動力をかけます。
  前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出すると、ブレーキ・アシスト機能の作動開始が早まります。ブレーキ・アシストの作動は状況の危険度に応じて3段階で早まります。
- **ターゲット・ブレーキ**
  前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出し、更にブレーキ制動力が不十分な場合、状況に応じてブレーキ圧力を増加します（必要に応じて最大の制動力まで）。

インフォメーション

すべてのポルシェ・アクティブ・セーフ(PAS)機能は約30km/h以上の速度で作動します。

潜在的な警告（表示）

図9: 潜在的な警告（表示）

車間距離が短い状態で長い時間走行している場合、前走車がブレーキをかけたときに衝突することを防ぐため、マルチファンクション・ディスプレイに潜在的な警告（黄色のマーク）を表示してドライバーに警告します。

▸ 必要に応じて前走車との車間距離を十分に確保してください。

予期警告（警告音、表示）

図10: 予期警告作動

前走車に危険なほど近づいており、前走車と衝突しそうなことをレーダー・センサーが検出すると、警告音と表示で予期警告を行います。この危険な状況では、ドライバーが適切に対応することで衝突を回避できます。

⚠ 警告 車間距離の不足

前走車に追突する恐れがあります。

▸ 直ちにブレーキをかけてください。

緊急警告（警告音、表示、ブレーキ振動）

ドライバーが予期警告に対応せず、ブレーキをかけなかった場合、直ちに緊急警告が作動し、警告音と表示に加えてブレーキ振動で知らせます。

ドライバーの注意を交通状況に向けるため、ブレーキ圧を急上昇させてブレーキ振動を発生させます。

この危険な状況では、ドライバーが適切に対応することで衝突を回避できます。

⚠ 警告 車間距離の不足

前走車に追突する恐れがあります。

▸ 直ちにブレーキをかけてください。

i インフォメーション

下記の状況ではドライバーは慎重に運転していると想定され、予期警告や緊急警告機能は作動しません：

– ドライバーが急カーブを運転している
– ドライバーがブレーキを踏んでいる
– 追い越ししようとしている場合などドライバーが急加速したとき

ポルシェ・アクティブ・セーフ(PAS)警告のON/OFF

潜在的および予期警告機能は初期設定ではOFFになっていますが、緊急警告機能は作動状態になっています。マルチファンクション・ディスプレイで潜在的および予期警告機能をONにする：

▷ 「ポルシェ・アクティブ・セーフ(PAS)のON/OFF」（312ページ）を参照してください。

インストルメントおよびインテリア・ライト

インストルメント・ライトの明るさ調整

⚠ 警告 走行中の輝度の調整

運転中に明るさ調節を行うと、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 運転中は、ステアリング・ホイールのスポークの間に手を入れないでください。

図11: 照明ボタンとライト・センサー

ライト・センサー **B**により、周囲の明るさによって、ライトが自動的に調節されます。

更に、車両のライト・スイッチがONのときはインストルメント・パネルおよびスイッチの照明を手動で調節することができます。

- 調節ボタン **A** (図11) を適切な方向に回し、希望の明るさに達するまで回したままにします。

インテリア・ライトの点灯/消灯と調光

図12: オーバーヘッド・コンソールのインテリア・ライト・ボタン

A	リヤ・インテリア・ライト用ボタン
B	フロント・インテリア・ライト用ボタン
C, D	フロント読書灯用ボタン
E	アンビエント・ライト用ボタン
F	自動インテリア・ライト用ボタン

図13: リヤ読書灯とインテリア・ライト用ボタン

インテリア・ライトを点灯/消灯する

フロント・インテリア・ライト

- ボタン**B**を押してください。

リヤ・インテリア・ライト

- ボタン**A**を押してください。
  または
  左右いずれかのドア上部のボタン **G** を押してください。

読書灯を点灯/消灯する

フロント読書灯

- ボタン**C**または**D**を押してください。

リヤ読書灯：

- 左右いずれかのドア上部のボタン **G** を押してください。

明るさを調節する（減光）

▶ フロント・オーバーヘッド・コンソールのボタン **B** (図12) またはリヤ・ドア上のボタン **G** (図13) を希望の明るさになるまで少なくとも1秒間押し続けてください。

ルーム・ランプの自動点灯/消灯機能

▶ ボタン **F** (図12ページ45) を押してください。インテリア・ライトの自動点灯機能が OFF の場合、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

自動車内照明のスイッチを入れると、暗くなった時に車内照明が点灯します：

– ドアのロックが解除されているか、ドアが開いている
– リヤ・リッドのロックが解除されているか、リヤ・リッドが開いている
– イグニッション・キーが抜かれている
– ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車で、ステアリング・コラムがロックされている

ドアまたはリヤ・リッドを閉じ、遅延消灯時間の約120秒が経過するとインテリア・ライトが消灯します。この遅延消灯時間は、マルチファンクション・ディスプレイで変更できます。

▷ 「インテリア・ライトの遅延消灯モードを設定する」(314ページ) を参照してください。

イグニッションをONにしたときや、車両をロックしたときは、直ちにインテリア・ライトが消灯します。

バッテリー保護のためのインテリア・ライトの自動消灯機能

周囲が暗く、エンジンが停止しているいときは、バッテリー上がりを防止するために約15分でインテリア・ライトが自動的に消灯します。

周囲が明るいときは、インテリア・ライトを手動でONにした後、3分が経過すると自動的にOFFになります。

オリエンテーション・ライトの調整

オーバーヘッド・コンソールおよびイグニッション・ロック部のライトにより、周囲が暗いときに車両の主要な装備の位置を照らして乗降性を高めます。これらのライトは車両のロックを解除したときに点灯し、車両をロックすると自動的に消灯します。

オリエンテーション・ライトの明るさはマルチファンクション・ディスプレイで調節（減光）することができます。

▷ 「オリエンテーション・ライトの明るさを調節する」(314ページ) を参照してください。

アンビエント・ライトを点灯/消灯する

夜間の運転中、控えめな明るさのライトが車内をやわらかく照らします。アンビエント・ライトは、車両をロックすると自動的に消灯します。

アンビエント・ライトのON/OFF

▶ ボタン **E** を押してください (図12ページ45)。

明るさを調節する（減光）

▶ アンビエント・ライトを調整するには、お好みの明るさになるまでボタン **E** (図12ページ45) を1秒以上押し続けてください。

インストルメント・パネル

図14: インストルメント・パネルの表示

A – 油温計

エンジン油温が高温になりすぎると、マルチファンクション･ディスプレイに警告シンボルが表示されます。

- ▸ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▹ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

B – スピードメーター

C – タコメーター（回転計）

タコメーターの目盛りが赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

D – マルチファンクション･ディスプレイ

- ▹ 「マルチファンクション・ディスプレイ」（299ページ）を参照してください。

E – 水温計

指針が低温域を示しているとき – エンジン冷間時

- ▸ エンジンを高回転域まで回さないでください。また、大きな負荷をかけないでください。

指針が中央付近にあるとき – エンジン暖機後（通常の温度）

外気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけるとレッド・ゾーンを示すことがあります。

指針がレッド・ゾーンにあるとき – 作動温度が高すぎる

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

冷却水温度が異常に高くなると、水温計の指針が最高温度マークまで動きます。エンジン温度が高いことを示す警告シンボルがマルチファンクション・ディスプレイに表示され、警告灯が点灯または点滅します。

- ▶ レッド・ゾーンに達した場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けないでください。
- ▶ 必要な措置を講じて、冷却水温度を低下させてください。
- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

クーラント・レベルが低い場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなどして長いカーブで横加速度が発生したりすると、警告メッセージが表示されることがあります。車両が「標準」運転状態にあると見なしたのに警告シンボルが消えない場合、クーラント・レベルを点検してください。

- ▷ 「クーラント・レベルの点検と 補充」（100ページ）を参照してください。

F – 油圧計

エンジン油圧は、エンジンの作動状態に応じて制御されており、エンジン回転数が3,000rpmのときは少なくとも2.0bar、5,000rpmのときは少なくとも3.0barでなければなりません。

エンジン油圧は、エンジンの回転数や油温、エンジンの負荷によって変化します。

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイル圧力が低くなりすぎると、マルチファンクション・ディスプレイに警告シンボルが表示されます。

- ▶ オイル圧力が低すぎる場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けないでください。
- ▶ 必要な措置を講じて、オイル圧力を上昇させてください。
- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

G – トリップ・メーター・リセット・ボタン/インストルメント・ライトおよびPCMの明るさ調節ボタン

- ▷ 「インストルメントおよびインテリア・ライト」（45ページ）を参照してください。

H – 積算距離計/トリップ・メーター

ディスプレイの上段は総走行距離を表示し、下段は区間走行距離を表示しています。

9,999kmを超えると、トリップ・メーターの表示が「0」に戻ります。

トリップ・ディスプレイの手動でリセット：

- ▶ トリップ・メーター・リセット・ボタンGを約1秒間押し続けてください。
  トリップ・メーターが「0」に戻ります。

I – デジタル・スピードメーター

J – シフトアップ・インジケーター

経済的な運転を促すシフトアップ・インジケーターは、選択しているギヤ、エンジン回転数およびアクセル・ペダルの踏み込み量に応じて点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

マニュアル・モードでのみシフトアップ・インジケーターが使用可能です。

- ▶ シフトアップ・インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

K – セレクターレバー・ポジション・インジケーターおよびギヤ・ポジション・インジケーター

L – 燃料計

イグニッションがONのときに燃料の残量を示します。

- ▷ 「給油」（97ページ）を参照してください。

坂道などで車体の傾きが変化すると、燃料計の表示位置が少し変化することがあります。

燃料残量警告灯

燃料タンクの残量が規定値（モデルにより異なる）または最小残可走距離を下回り、イグニッションがON、またはエンジン作動している場合、燃料警告シンボルが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。

知識

燃料が不足した状態で走行を続けると、エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 警告灯が点灯したり、燃料警告シンボルが表示された場合は、カーブを曲がるときにスピードを出さないでください。

M – フィラー・フラップ位置の表示

矢印は車両のフィラー・フラップの付いている側面を示しています。

インストルメント・パネル (Eハイブリッド)

図15: インストルメント・パネルの表示

A – READY

車両始動時にモーター・ジェネレーターおよび内燃エンジンが作動可能であることを表示しています。

▷ 「車両を発進させる（ハイブリッド）」（241ページ）を参照してください。

B – 効率

モーター・ジェネレーターは単独で、または内燃エンジンと共に車両に動力を供給しています。

C – 内燃エンジンで走行する

内燃エンジンは単独で、またはモーター・ジェネレーターと共に車両に動力を供給します。

D – ブースト

モーター・ジェネレーターが内燃エンジンを補助して車両を駆動します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

E – 充電ポート・ドアの位置表示

矢印は、車両のどちら側に充電ポート・ドアがあるかを示しています。

▷ 「充電中（ハイブリッド）」（146ページ）を参照してください。

F – バッテリー充電状態の表示

G – 充電

モーター・ジェネレーターは、例えば、ブレーキをかけている間、高電圧バッテリーを充電します。

H – エネルギー回収/回生

I – イグニッションOFF

J – パワー・メーター

パワー・メーターは、モーター・ジェネレーターと内燃エンジンからのシステム駆動力を示します。

警告灯および表示灯

知識

イグニッションのスイッチをONにしたとき、すべての警告灯と一部のインジケーター・ライトが短時間点灯します。不具合は警告灯により示されます。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

– イグニッションのスイッチをONにしたとき、警告灯が短時間点灯**しないとき**。
– エンジン作動中または走行中に、警告灯が点灯または点滅するとき

▶ ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

不具合の原因が解消した場合のみ、該当する警告灯が消灯します。

スピードメーター内

HOLD　HOLD機能インジケーター・ライト

タイヤ空気圧警告灯
警告灯が点滅または点灯し続ける原因：
– 新しく装着したホイール（タイヤ空気圧センサー）を学習している、またはホイールを認識できない場合
– タイヤ空気圧モニタリング・システム（TPM）の故障または一時的な不具合
– タイヤ空気圧の低下

▶ 空気圧が低下した場合：
適切な場所に停車して下さい。走行を続けないでください。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

▷ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」（304ページ）を参照してください。

PDLS警告灯

ディーゼル予熱インジケーター・ライト＊

ロー・ビーム・インジケーター・ライト

ダイナミック・ハイ・ビーム・インジケーター・ライト

リヤ・フォグ・ライト・インジケーター・ライト

タコメーター内

SPORT PLUS 「スポーツ」/「スポーツ・プラス」インジケーター・ライト

エレクトリック・パーキング・ブレーキ警告灯

エミッション・コントロール警告灯（チェック・エンジン）
警告灯が点滅または点灯する原因：汚染物質の排出量を増加させ、損傷を引き起こす原因となる作動不良（エンジンの失火など）

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▶ 必要に応じて、安全な場所に停車してください。可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。
- ▶ 必要な措置を講じて、エミッション・コントロール・システムの不具合を解消してください。
- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

トレーラー方向指示灯インジケーター・ライト

エアバッグ警告灯

シートベルト警告灯

ブレーキ警告灯

方向指示灯、左

ハイ・ビーム・インジケーター・ライト

方向指示灯、右

ABS警告灯

PSM警告灯

PSM OFF警告灯

ウィンドウ

ウィンドウの開閉

⚠ 警告 ウィンドウの開閉

ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。特にワンタッチ作動で閉じるときは十分に注意してください。

- ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。
- 車両を離れるときは必ずキーを抜いてください。またはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。車両から離れるときは、必ずキーを携行してください。乗員がパワー・ウィンドウを誤って操作し、ケガをする恐れがあります。
- 危険が生じた場合、直ちにイグニッション・キーのボタンを放してください。ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車の場合は、直ちにドア・ハンドルのボタンを放してください。
- お子様のみを車内に残さないでください。

ウィンドウの開閉

✓ イグニッションがONのとき
または
✓ イグニッションをOFFにしてから10分以内運転席/助手席ドアをまだ開いていない

図16: 運転席ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチ

A 運転席のフロント・パワー・ウィンドウ・スイッチ
B 助手席のフロント・パワー・ウィンドウ・スイッチ
C 運転席のリヤ・パワー・ウィンドウ・スイッチ
D 助手席のリヤ・パワー・ウィンドウ・スイッチ

図17: 助手席ドア・パワー・ウィンドウ・スイッチ

図18: リヤ・パワー・ウィンドウ・スイッチ

ウィンドウを開く

- ウィンドウが希望の位置になるまで希望のウィンドウのスイッチを押してください。

ウィンドウを閉じる

- ウィンドウが希望の位置になるまで希望のウィンドウのスイッチを引いてください。

ロッカー・スイッチには**2段階の作動位置**があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

1段目 – 手動操作

- 該当するスイッチを1段目まで押すか、または引いてください。
  ウィンドウが手動で開閉します。
  スイッチを解除すると、プロセスが停止します。

2段目 – ワンタッチ操作

✓ イグニッションがONのとき

- 該当するスイッチを 2 段目まで素早く押すか、または引いてください。
  ウィンドウが完全に開閉します。
- ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう1度スイッチを操作してください。

⚠ 警告 ウィンドウの手動閉操作

ワンタッチ操作がウィンドウの抵抗を感じて 無効になった場合、手動閉機能を使用してウィンドウを閉じると、最大の力で閉じようとします。

- ウィンドウを閉じるとき、乗員が挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

i インフォメーション

ドア・ウィンドウを閉じるときに障害物で作動が妨げられると、ウィンドウが停止した後、再び数センチ下がります。
ウィンドウの作動が約10秒以内に2回妨げられると、そのウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。
ウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、ウィンドウを手動操作で1回完全に閉じてください。

キーによるウィンドウの開閉

図19: キーによるウィンドウの開閉

- ウィンドウが希望の位置になるまでキーの開閉ボタンを押し続けてください。
  すべてのウィンドウとルーフ・システムが閉じると、危険警告ライトが点滅します。

i インフォメーション

リヤ・サイド・ウィンドウのロールアップ式サンブラインドが閉じている場合、リヤ・ウィンドウは開きません。

ドア・ハンドルのボタンでウィンドウを閉じる（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）

図20: ドア・ハンドルのボタンでウィンドウを閉じる（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）

- 車両をロックするときにウィンドウが希望の位置になるまで、ドア・ハンドルのボタンを押し続けてください。
  すべてのウィンドウとルーフ・システムが閉じると、危険警告ライトが点滅します。

ウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを外したり、再接続したりしたときは、ウィンドウの停止位置が消去されます。ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのウィンドウで以下の作業を行ってください：

1. スイッチを2段目まで引いて、一回完全にウインドウを閉じてください。
2. ウィンドウが完全に閉じた後、スイッチを再度短く2段目まで引いてください。
3. スイッチを押して、1回ウィンドウを完全に開いてください。

リヤでの操作を無効にする – チャイルド・プロテクション

図21: リヤ・ドア操作を無効にする

運転席ドア、コントロール・パネルのセーフティー・ボタンを押すとリヤ・ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチと、リヤ・センター・コンソールのコントロール・パネルの機能が無効になります。

チャイルド・プロテクションのON/OFF

▸ ボタン を押してください。
チャイルド・プロテクションが作動している場合、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

リヤ・サイド・ウィンドウのサンブラインドの使用

インフォメーション

リヤ・サイド・ウィンドウのサンブラインドは、リヤ・サイド・ウィンドウが閉じているときのみ上昇/下降させることができます。
ロール・アップ式サンブラインドは、自動的に上昇/下降の停止位置まで作動します。
チャイルド・ロック機能が作動しているときは、運転席ドアのパワー・ウィンドウ・ボタンを使用したときのみリヤ・サイド・ウィンドウのサンブラインドを操作できます。
チャイルド・ロックの機能に関するインフォメーション：

▷ 「リヤでの操作を無効にする – チャイルド・プロテクション」（53ページ）を参照してください。

図22: リヤ・パワー・ウィンドウ/ロール・アップ式サンブラインド・ボタン

図23: 運転席パワー・ウィンドウ/ロール・アップ式サンブラインド・ボタン

リヤ・サイド・ウィンドウのロールアップ式サンブラインドの上げ下げ

リヤ・サイド・ウィンドウのサンブラインドを上げる

- リヤ・ドア内側 (図22) または運転席ドア内側 (図23)の関連するウィンドウのロッカー・スイッチを引き上げます。

リヤ・サイド・ウィンドウのサンブラインドを下げる

- リヤ・ドア内側 (図22) または運転席ドア内側 (図23)の関連するウィンドウのロッカー・スイッチを押し下げます。

ウォッシャー液

図24: フロント・ウィンドウ用ウォッシャー液タンクおよびヘッドライト

下記の点を必ず守ってください：

- 季節に合わせて、水と適切な添加剤（ウィンドウ・クリーナー濃縮液、不凍液）を混ぜ合わせてください。正しい混合比を遵守し、使用する添加剤の容器に記載されている注意事項に従ってください。
  - **夏季**：水とウィンドウ・クリーナー濃縮液を入れてください。
  - **冬季**：水、不凍液、およびウィンドウ・クリーナー濃縮液を入れてください。

次の条件を満たしているウィンドウ・クリーナー濃縮液のみを使用してください：

- 濃度1:100
- 無リン
- プラスチック・ヘッドライト・レンズに適しているもの

ポルシェ社が推奨するウォッシャー液濃縮液については：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

警告シンボルへの対応

ウォッシャー液のレベルが低下すると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに シンボルが表示されます。

- 次の機会にウォッシャー液を補充してください。
- 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

ウォッシャー液の補充

知識

ヘッドライトを損傷する危険性

- ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開いてください。
2. ウォッシャー液を補充してください。
   - 「充填容量」（377ページ）を参照してください。
3. キャップを慎重に閉じてください。

エアコン (2 ゾーンおよび 4 ゾーン・エアコン)

概要 – フロント・コントロール・パネル

この概要説明は後述の「エアコン (2 ゾーンおよび 4 ゾーン・エアコン)」章の詳細な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
オート・エアコンを使用する	左側のボタン **H** または右側のボタン **O** を押してください。	58
温度を設定する	車内左側：ボタン**C**を上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押してください。 車内右側：ボタン**J**を上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押してください。	59
送風量を手動設定する	車内左側：ボタン**D**を上（風量を多くする）または下（風量を少なくする）に押してください。 車内右側：ボタン**K**を上（風量を多くする）または下（風量を少なくする）に押してください。	59
送風口を手動で切り替える	フロント・ウィンドウへの送風：ボタン**E**または**L**を押してください。 中央および左右のエア・ベントからの送風：ボタン**F**または**M**を押してください。 足元への送風：ボタン **G** またはボタン **N**を押してください。	60
フロント・ウィンドウ・デフロスター	ボタン**A**を押してください。	64
リヤ・ウィンドウ・ヒーター /ドア・ミラー・ヒーターをONにする	ボタン**I**を押してください。	345
手動で内気循環モードをONにする	ボタン**B**を押してください。	62

概観図 – リア・コントロール・パネル（4ゾーン・エアコン）

この概要説明は後述の「エアコン (2 ゾーンおよび 4 ゾーン・エアコン)」章の詳細な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
オート・エアコンを使用する	左側のボタン**F**または右側のボタン**L**を押してください。	58
温度を設定する	車内左側：ボタン**A**を上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押してください。 車内右側：ボタン**G**を上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押してください。	59
送風量を手動で設定する	車内左側：ボタン**B**を上（風量を多くする）または下（風量を少なくする）に押してください。 車内右側：ボタン**H**を上（風量を多くする）または下（風量を少なくする）に押してください。	59
送風口を手動で切り替える	ドア送風口、中央送風口および左右の足元への送風：ボタン**C**または**I**を押してください。 ドア送風口および左右の中央送風口への送風：ボタン**D**または**J**を押してください。 ドア送風口および左右の足元への送風：左側のボタン**E**または右側のボタン**K**を押してください。	60

一般的なインフォメーション

オート・モードでは、様々な環境条件（日射量、空気の状態など）に応じて室内の設定温度を維持するように、エアコン・システムが送風温度、送風量、送風口を全自動で制御します。

エアコン・システムの設定を手動で変更すると、オート・モードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。

2ゾーン・エアコン

車内を**左側**と**右側**の 2 つのエアコン-エリアに分けて、それぞれ車内温度、送風量および送風口を個別に設定できます。

4 ゾーン・エアコン

温度、送風量および送風口は、**フロント左側**, **フロント右側リヤ左側および右側**それぞれに対して、個別に設定できます。

4ゾーン・オート・エアコン装備車は、リヤ・センター・コンソールにもエアコン・コントロール・パネルを備えています。

インフォメーション

追加のエアコン設定は、マルチファンクション・ディスプレイで行うことができます：

▷ 「エアコン設定」(315ページ) を参照してください。

メモリー・パッケージ装備車では、エアコン・システムの設定がそのとき使用しているキーに保存されます。

▷ 「パーソナル設定」(237ページ) を参照してください。

センサーを覆わない

図25: エアコン用車内温度センサー

エアコン–システムの能力を維持するために、次のことを遵守してください。

- エアコン・システムの室内温度センサーの上にカバーを付けたり、ステッカー類を貼り付けたりしないでください。

冷房機能

冷房機能は空気を冷やしたり除湿します。

インフォメーション

- エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が一時的にOFFになり、エンジンの過熱を回避します。
  約3°C以下の温度では自動的にスイッチがOFFになり、手動でもONにすることはできません。
- 冷房機能は、ウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。熱気が車内に蓄積した場合は、窓を少し開け、車内の換気を行ってください。
- 設定温度を一時的に希望の温度より上げ下げしても、希望する温度に到達する時間は変わりません。
- 外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。
- バッテリー電圧が低すぎる場合は、外気ブロワー、冷房機能、レスト機能が、まず始めは制限され、その後OFFになります。

オート・モードをONにする

フロント・ゾーン（前席エリア）とリヤ・ゾーン（後席エリア）は、個別にオート・モードに切り替えることができます。

- オート・モードに切り替えたいゾーンのコントロール・パネル (フロントまたはリヤ) で **AUTO** ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトと、エアコン・ディスプレイの **AUTO** インジケーターが点灯します。
  温度、送風量および送風口が自動的に制御されます。

インフォメーション

必要であればオート・モードの制御を手動調節できます。適切な機能ボタンが再び押されるか、ボタン AUTO が押されるまで、手動設定は保持されます。

温度の設定

温度は16.5°C～29°Cの間で調節が可能です。
推奨：22°C
該当する–ゾーンの設定温度が、TEMPボタンの上に表示されます。

図26: フロント・エアコン・コントロール・パネルでの温度設定および送風量調節

図27: リヤ・エアコン・コントロール・パネルでの温度設定および送風量調節

温度を上げる/下げる

- 該当する–ゾーンの TEMP ボタンを上方向または下方向に押してください。

ディスプレイにLOまたはHIが表示された場合は、エアコンの作動は最大の冷房または暖房になっています。このときオート・モードはOFFになります。

インフォメーション

SYNCモード選択時にいずれかのゾーンで温度設定をLOまたはHIにすると、他のゾーンもLOまたはHIに設定されます。
いずれかの–ゾーンで AUTO ボタンを押すと、初期設定温度 (22°C) に切り替わります。

▷ 「運転席のエアコン設定を車内全体に適用する（SYNCモード）」（63ページ）を参照してください。

送風量の設定

選択された送風量は、ボタン の上のバー・ディスプレイに表示されます。バーの数が多くなるほど、風量が多いことを示しています。

送風量を上げる/下げる

- 関連するエアコン・エリアの ボタンを上下に押してください。

ボタン AUTO を押すと、自動モードに戻ります。
送風量を最小にすると、エアコン・ディスプレイにOFFと表示され、外気導入による送風が停止し、エアコン・システムがOFFになります。

⚠ 警告 送風設定OFFによる視界の低下

送風量をOFFにした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ボタンを上方向に押してください(送風量が増加します)。

リヤコントロールの停止 – チャイルド・ロック（4ゾーン・エアコン）

図28: リヤ・ドア操作を無効にする

運転席ドア、コントロール・パネルのセーフティー・ボタンを押すとリヤ・ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチと、リヤ・センター・コンソールのコントロール・パネルの機能が無効になります。

チャイルド・プロテクションのON/OFF

- ボタン を押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  リヤ・ゾーン用操作ユニットのディスプレイにロック・シンボルが表示されます。
  リヤ・ゾーンの現在のエア–コン設定が維持されます。
  リヤ・エアコン・コントロール・パネルのボタンの機能が停止します。

フロント・コントロール・パネルによるリヤ・エアコン・エリアの調節 – リヤ・モード (4ゾーン・エアコン)

4ゾーン・エアコン装備車では、エアコン・システム用フロント・コントロール・パネルでリヤ・ゾーンのエアコン機能を制御できます。

REARモードをONにする

- AUTO REAR ボタンを押し、約2秒間押し続けます。
  リヤ が、エアコン・ディスプレイに表示されます。
  フロント・コントロール・パネルでリヤ・ゾーンのエアコンを操作できます。

インフォメーション

リヤ・エアコンの設定を変更してから約4秒経過すると、この機能は自動的に停止します。
リヤ が、ディスプレイから消えます。

REARモードをOFFにする

- AUTO REAR ボタンを押し、約2秒間押し続けます。
  リヤ が、ディスプレイから消えます。

REAR モード作動時のリヤ・ゾーンのエア配分 (4 ゾーン・エアコン)

フロント・パネルのボタン または を押すと、リヤ・中央・コンソールの送風口か送風が開始されます。
フロント・コントロール・パネルのボタン を押すと、車両後部の足元に送風が開始されます。

送風口を切り替える

送風口を手動で切り替える

図29: 送風口切り替えボタン

フロント・コントロール・パネル

✓ エア・ベントが開いている
- ボタン を押してください。
  フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。
- ボタン を押してください。
  中央および左右エア・ベントからの送風を開始します。
- ボタン を押してください。
  足元への送風を開始します。
  該当するボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

リヤ・コントロール・パネル

✓ エア・ベントが開いている

▸ ボタン を押してください。
中央、ドアおよび足元の送風口から送風が開始されます。

▸ ボタン を押してください。
中央およびドアの送風口から送風が開始されます。

▸ ボタン を押してください。
足元およびドアの送風口から送風が開始されます。
該当するボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

送風口の手動切り替えの解除

▸ インジケーター・ライトが点灯している（手動で切り替えた）送風口切り替えボタンを再度押してください。
該当するボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
ボタン AUTO を押してください。

送風量および送風口が自動的に制御されます。

エア・ベントの調整

ダッシュボードとリヤ・センター・コンソールにエア・ベントがあり、手動で開閉することができます。送風方向も調節できます。

図30: エア・ベントの調整

エア・ベントの開閉

▸ 送風口のサム・ホイールを回してください。

送風方向の調節

▸ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

外気導入口

外気の導入を確保するには：

▸ ボンネットとフロント・ウィンドウの間の外気導入口に雪、氷、木の葉などによる詰まりがないことを確認してください。

アッパー・ベンチレーション・パネル

図31: アッパー・ベンチレーション・パネル

ダッシュボード上にあるベンチレーション・パネルでも車内へ換気ができます。換気パネルは、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイで個別に有効または無効にできます。
エアコン・システムは送風量を自動的に調整します。
間接ベンチレーション・コントロールの作動に関するインフォメーション：

▷ 「エアコン設定」（315ページ）を参照してください。

冷房機能のON/OFF

オート・モードでは、冷房機能が常にONになります。冷房出力は完全に自動制御されます。

▷ 「オート・モードをONにする」（58ページ）を参照してください。

図32: 冷房機能のON/OFF

冷房機能をONにする

- ボタン **A/C** を押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  または
  任意のエアコン・エリアの **AUTO** ボタンを押してください。

  冷房機能が作動します。

冷房機能をOFFにする

例えば燃料を節約したいときなどには冷房機能を手動でOFFにすることができます。

- ボタン **A/C** を押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
  冷房機能が解除されます。

A/C MAXモード（最大冷房出力）のON/OFF

A/C MAXモードでは、エアコン・システムが最大出力で車内を冷却します。
このとき車内温度は自動調節されません。

図33: A/C MAXモードの選択

A/C MAXモードをONにする

- ボタン A/C MAX を押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

A/C MAXモードをOFFにする

- ボタン A/C MAX を押してください。
  または
  いずれかのエアコン–ゾーンの **AUTO** ボタンを押してください。

  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

内気循環モードのON/OFF

図34: 内気循環モード・ボタン

手動で内気循環モードをONにする

⚠ 警告 手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを選択すると、ウィンドウが曇る恐れがあります。

- 手動内気循環モードは長時間 ON にしないでください。

- ボタン を押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

手動で内気循環モードをOFFにする

▸ ボタン を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
ボタン AUTO を押してください。

インフォメーション

手動または自動で冷房機能をOFFにすると、約3分後に内気循環モードが停止します。

自動内気循環モードの設定

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。

外気温度が約 5 °Cを下回ると、ウィンドウの曇りを防止するため、内気–循環モードが自動的に OFF になります。

自動内気–循環モードの設定に関するインフォメーション：

▷ 「エアコン設定」(315ページ) を参照してください。

インフォメーション

通常は自動内気循環モード（初期設定）にしておくことを推奨いたします。

運転席のエアコン設定を車内全体に適用する（SYNCモード）

SYNCモードを

▸ ボタン SYNC を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
ディスプレイに表示される助手席のエアコン設定が、運転席の設定と同じになります。

SYNCモードをOFFにする

▸ ボタン SYNC を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
運転席以外のいずれかのゾーンのエアコン設定を変更すると、SYNC（同期）モードがOFFになります。

SYNC モード作動時のリヤ・ゾーンのエア配分 (3ゾーン・エアコン)

フロント・パネルのボタン または を押すと、エア・アウトレット送風口からリヤ・中央・コンソールへ送風が開始されます。

フロント・コントロール・パネルのボタン を押すと、車両のリヤのフットウェアに送風が開始されます。

1名乗車時に推奨するエアコン設定

▸ SYNC（同期）モードをONにすると、車内が最も快適な状態に維持されます。

4ゾーン・エアコン：

リヤ・ゾーンへの送風量を少なくしても、フロント・ゾーンの快適性は向上しません (4ゾーン・エアコン装備車のみ)。

送風量の調節に関するインフォメーション：

▷ 「エア・ベントの開閉」(61 ページ) を参照してください。

RESTモード – エンジン余熱を利用

図35: RESTモードのON/OFF

エンジンの余熱を利用して暖房する

イグニッションをOFFにしてから最大20分間は、エンジンの余熱を利用したヒーターで車内を暖めることができます。

✓ イグニッションがONのとき

▸ フロント・コントロール・パネルの AUTO REST ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
REST モードではエアコン・システムの設定を変更できません。

RESTモードを停止する

▸ フロント・コントロール・パネルの AUTO REST ボタンを押してください。

ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
イグニッションをONにしてください。

ボタンのインジケーター・ライトがそれまでの設定を表示します。

風量調節

オート・モードでは3段階で送風の強さを調節できます。
送風の強さ調節に関するインフォメーション：
▷ 「エアコン設定」(315ページ) を参照してください。

グローブ・ボックスの冷却

図36: グローブ・ボックスの冷却

グローブ・ボックスには冷気を直接送り込むためのエア・ベントがあります。
このエア・ベントは手動で開閉できます。

インフォメーション

グローブ・ボックスに送り込まれた冷気は、グローブ・ボックス・リッドのすき間から車内に流れ出します。
▶ 外気温度が低いときは、グローブ・ボックスに送り込まれた冷気で車内の暖房効果が下がらないように、グローブ・ボックスのエア・ベントを閉じてください。

フロント・ウィンドウ・デフロスター

図37: フロント・ウィンドウ・デフロスター・ボタン

デフロスターをONにする

▶ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。
フロント・ウィンドウの曇りや氷結を素早く取り除きます。

デフロスターをOFFにする

▶ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
いずれかのエアコン-ゾーンの AUTO ボタンを押してください。

インフォメーション

2ゾーン・エアコン：リヤのエア・ベントを閉じると、フロント・ウィンドウの曇りを素早く取ることができます。
4ゾーン・エアコン：デフロスター・モードではリヤへのエアの供給が自動的にOFFになり、曇りを取り除く効果を最大にします。

エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)

エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きPASMはアクティブ・ショック・アブソーバー調整および車高バランス・システムです。アジャスタブル・ダンパー・システムは、走行状態や条件に応じて各タイヤの適切なダンパー・レベルを選択します。レベル・コントロール・システムは自動的に負荷変化のバランスを取り、一定の車高を維持します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で、3種類のシャーシ設定を選択できます：

- コンフォート
- スポーツ
- スポーツ・プラス

コンフォート・モードでは快適な乗り心地のシャーシ設定になります。

「スポーツ」シャーシ設定ではスポーティーなショック・アブソーバー設定になります。

「スポーツ・プラス」モードでは、サーキットでの走行などに特化したよりスポーティーなショック・アブソーバー設定になります。ロー・レベルに切り替えると、車両がノーマル・レベルより約10mm低く設定されます。

走行状況に合わせて、マニュアル・モードに加えて、PASMもショック・アブソーバーを調整し、スポーティーまたは快適な走行を可能にします。

エア・サスペンションおよびレベリング・システム付きポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)装備車では、コンフォート、スポーツ、スポーツ・プラスのシャシー設定に加えて、5つのレベルに車高を手動で設定できます。

事前に選択された車高レベルは、車速に応じて自動的に調整されます。

重い荷物を積んでいても、車高は自動的に一定の高さに調整されます。各レベルはエンジン作動中にのみ設定することができます。

インフォメーション

- 車両をオフロード・レベルまたはスペシャル・オフロード・レベル設定で公道を走行しないでください。
- 重い荷物を積んでいても、車高は自動的に一定の高さに調整されます。各レベルはエンジン作動中にのみ設定することができます。
- レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、コンプレッサーが冷えるまで数分間待ってから、レベリング・システムを再度正常に機能させてください。コンプレッサーが冷えると、システムは選択したレベルに自動的に調整します。

インフォメーション

エア・サスペンション装備車を数週間停止したまま放置すると、車高が下がることがあります。エンジンが始動すると、自動的に適切な車高に再調整されます。これには、作動状態に応じて、数分かかる場合があります。車高を調整する間、地面からのクリアランスは小さくなります。

図38: 車高のマニュアル設定

A スペシャル・オフロード・レベル（ハイ・レベルII）
B オフロード・レベル（ハイ・レベルI）
C ノーマル・レベル
D ロー・レベル
E ローディング・レベル

車高のマニュアル設定

✓ エンジンをONにしてください。
✓ すべてのドアが閉じている

車高を上げる

▸ ロッカー・スイッチを前方に短く押してください。
車高が1レベル上がります。

車高を下げる

▸ ロッカー・スイッチを後方に短く引いてください。
車高が1レベル下がります。

インフォメーション

– イグニッションをOFFにすると、そのとき選択しているレベルがメモリーに保存されます。
– ドアが開いている場合、車高を上げる/下げることはできません。ドアを閉じてからレベルの設定を行ってください。

選択したレベル・インジケーターの表示

選択したレベルはロッカー・スイッチ横のインジケーター・ライトで表示されます（図38ページ65）。
調整プロセス中にロッカー・スイッチ横の該当するインジケーター・ライトが点滅します。その後点灯状態になります。
レベル変更もマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

インフォメーション

ノーマル・レベルからロー・レベルに、またはその逆に自動的に変更された場合は、マルチ・ファンクション・ディスプレイには表示されません。

PASMモードをONにする

▷ 「ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)」（282ページ）を参照してください。

インフォメーション

ドアまたはリヤ・リッドが開いているか、またはエンジンがOFFの場合は、モードの変更はできません。
停車中は車体の負荷のバランスを取るため、車高が自動的に調整されます。

スペシャル・オフロード・レベルを使用する

この設定は最も地上高が必要とされる特に厳しい地形でのみ使用してください。ノーマル・レベルから約58mm（フロント・アクスル）、55mm（リヤ・アクスル）高い設定になっています。
スペシャル・オフロード・レベルは、約30km/h以下の車速でのみ選択することができます。
車速が約 30km/h を超えると、車高は自動的にオフロード・レベルまで下がります。

ノーマル・レベルの使用

ノーマル・レベルの地上高は約190mm（カイエンGTS:約178mm）。

オフロード・レベルの使用

このレベルはオフロード走行や野原、林道などに適しています。
ノーマル・レベルから約28mm（フロント・アクスル）、25mm（リヤ・アクスル）高い設定になっています。
オフロード・レベルは車速約80km/h以下で走行している場合にマニュアルでのみ設定できます。
車速が約80km/hを超えると、車高は自動的にノーマル・レベルまで下がります（オフロード走行プログラム作動時は110km/h）。
オフロード走行プログラムを作動させると、車高は自動的にオフロード・レベルまで上昇します。

▷ 「オフロード・モード」（88ページ）を参照してください。

インフォメーション

– オフロード・モードがONの状態で車速が約120km/hを超えると、車高は自動的にノーマル・レベルまで下がります。
車速が約40km/hを下回ると、車高は自動的に再びオフロード・レベルまで上昇します。
– オフロード・モードを解除した場合、車速が約15km/hを超えると、車高はノーマル・レベルまで下がります。
– リフレクターの位置が法定取り付け高さを超えてしまうため、オフロード・モードは一般道では使用しないでください。

ロー・レベルの使用

このレベルは高速走行に適しています。
車速が約160km/hを超えると、車高は自動的にノーマル・レベルから約22mm（フロント・アクスル）、25mm（リヤ・アクスル）下がります。
車速が10秒以上約138km/hを超えた場合も、車高は自動的に下がります。
車速がおよそ10秒間約80km/hを下回ると、車高は自動的にノーマル・レベルまで上がります。車速が約40km/hを下回ると、すぐに車高は自動的にノーマル・レベルまで上がります。

インフォメーション

センター・コンソールにあるロッカー・スイッチを使用してロー・レベルをマニュアル設定した場合、車速が約40km/hを下回ってもロー・レベルは作動し続けます。

インフォメーション

Cayenne GTSの場合、ノーマル・レベルは他のモデルよりもすでに低い位置にあります。したがって、上記の規定速度でノーマル・レベルより低い位置には下がりません。
ロー・レベルがマニュアル選択されている場合、またはスポーツ・モードがONの場合、ノーマル・レベルから約10mm（フロントおよびリヤ・アクスル）下がります。

▷ 「「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モード」（154ページ）を参照してください。

ロー・レベルIIを使用する（Cayenne GTSを除く）

このレベルは高速走行に適しています。
車速が40秒以上約210km/hを超えると、車高は自動的にノーマル・レベルから約32mm（フロント・アクスル）、35mm（リヤ・アクスル）下がります。
車速がおよそ60秒間約170km/hを下回ると、車高は自動的にロー・レベルまで上がります。車速が約120km/hを下回ると、すぐに車高は自動的にロー・レベルまで上がります。

ローディング・レベルの使用

この設定はラゲッジ・コンパートメントへの積載を容易にするものです。ノーマル・レベルから約32mm（フロント・アクスル）、48mm（リヤ・アクスル）低い設定になっています。
車速が約5km/hを超えると、車高は自動的にノーマル・レベルまで上がります。

知識

シャーシ部品、アッセンブリーおよび車両下周りを損傷する恐れがあります。
車両をローディング・レベルにしたまま、縁石などから発進すると、地上高が不十分なため車両の下周りが地面に接触することがあります。

▸ 発進する前には必ずノーマル・レベルに切り替えてください。

ラゲッジ・コンパートメントのボタンによるローディング・レベルの設定

図39: ラゲッジ・コンパートメントのボタンによるローディング・レベルの設定

センター・コンソールのロッカー・スイッチに加えて、ローディング・レベルはラゲッジ・コンパートメント右側トリム・パネルの2つのボタン **A** と **B** でも設定することができます。

車両後部を下げる

✓ すべてのドアが閉じている
✓ リヤ・リッドが開いている
▸ ボタン**A**を押し続けてください。
ボタン**A** および**B** の間にあるインジケーター・ライトが点灯します。
車両後部がローディング・レベルまで下がります。

車両後部を上げる

✓ すべてのドアが閉じている
✓ リヤ・リッドが開いている
▸ ボタン**B**を押し続けてください。
ボタン**A** および**B** の間にあるインジケーター・ライトが点灯します。
車両後部が初期レベルに切り替わるとインジケーター・ライトは消灯します。

インフォメーション

– 重い荷物を積んでいても、車高は自動的に一定の高さに調整されます。
– ローディング・レベル機能が作動しているときは、その他のレベル・コントロールの調整はできません。
– ボタン**A**および**B**の間にあるインジケーター・ライトが点滅し続ける場合、（例えばドアが開いているなど）車両後部を下げることはできません。

インフォメーション

– イグニッションをOFFにすると、そのとき選択しているレベルがメモリーに保存されます。
「スポーツ・プラス」モードが作動している状態で、ロー・レベルが選択されている場合、イグニッションをOFFにしたときに車高レベルがメモリーに保存されません。
– 「スポーツ・プラス」モードでは車高が自動的にロー・レベルに切り替わります。
– ドアが開いている場合、車高を上げる/下げることはできません。
ドアを閉じると、直ちに選択した車高レベルが設定されます。

レベル・コントロールのON/OFF

警告 タイヤ交換時のレベリング・システムの作動

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。身体の一部が挟まれたり、ケガをする恐れがあります。

リフトまたはジャッキによるリフト・アップを行う前に：

▸ 車高をノーマル・レベルにマニュアル設定します。
▸ レベル・コントロールをOFFにしてください。

レベル・コントロールをOFFにする

✓ 停車しているとき
1. イグニッションをONにしてください。
2. ロッカー・スイッチを前方に 10 ～ 15 秒押してください。
マルチファンクション・ディスプレイに該当するメッセージが表示されます。
これで車両をジャッキ・アップできます。

レベル・コントロールをONにする

✓ 停車しているとき
1. イグニッションをONにしてください。
2. ロッカー・スイッチを前方に 10 ～ 15 秒押してください。
または
車両を発進させてください。

レベリング・システムは自動的にONになります。

インフォメーション

車速が約7km/hを超えると、レベル・コントロールは自動的にONになります。

警告シンボルへの対応

PASMの故障がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

エアバッグ・システム

適切なシート位置の選択

⚠ 危険 不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合にのみ、エアバッグ・システムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

- **常にシートベルトを着用してください。**
- 運転席と助手席の間、あるいは乗員とエアバッグが膨らむ空間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- ステアリング・ホイールは、必ずリムの外側から持つようにしてください。
- エアバッグが保護効果を発揮するには、乗員との間に一定の空間が必要です。
  エアバッグに必要以上に近づきすぎない位置に、シート位置を調節してください。
  また、サイド・エアバッグ装備車では、ドア（エアバッグの拡張エリア）にもたれかからないでください。
- 荷物は絶対にドアの小物入れからはみ出さないようにしてください。
- 重い荷物をシートの上や前方に積載して輸送しないでください。
- ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- 走行中はグローブ・ボックスを閉じてください。
- 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシート・クッションの上に足を乗せないでください。
- 運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。
正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、運転者や乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を守ります。
フロント・エアバッグは、運転席側はステアリング・ホイール中央のパッド内、助手席はダッシュボードの中に取り付けられています。
フロント・シートの**サイド・エアバッグ**（リヤ・シート用はオプション）はバックレストの側面に取り付けられています。
ヘッド・エアバッグはドア上方のルーフ部分に取り付けられています。
それぞれのエアバッグは、衝撃の角度および強さに応じて作動します。

⚠ 危険 エアバッグ・システムに変更を加えたことが原因の不具合

変更を加えたエアバッグ・システムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

- エアバッグ・システムの配線や構成部品を改造しないでください。
- エアバッグの配線の近くには、アクセサリー類の配線を取り付けないでください。
- ステアリング・ホイール、助手席エアバッグ付近、サイド・エアバッグ付近、ヘッド・エアバッグ付近にアクセサリーを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- シートに保護カバーを装着しないでください。
- エアバッグ構成部品を取り外さないでください。

⚠ 危険 作動済みエアバッグ・システムの交換

エアバッグ・システムは1回のみ作動するように設計されています。

- 作動したエアバッグは直ちにポルシェ正規販売店で交換してください。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

故障を検出しています

故障はタコメーターの赤い**エアバッグ警告灯**により示されます。

- 次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。
  - イグニッションを ON にしたときに警告灯が点灯しない
    または
  - イグニッションが ON のときに警告灯が消灯しない
    または
  - 走行中に警告灯が点灯する

  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席エアバッグをOFFにする

図40: 助手席エアバッグOFF警告灯

⚠ 危険 助手席エアバッグをOFFにする

チャイルド・シートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- チャイルド・シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。
- チャイルド・シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

⚠ 危険 助手席エアバッグの故障と作動不良

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときに**助手席エアバッグOFF**警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- 助手席にチャイルド・シートを取り付けないでください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 「助手席エアバッグのON/OFF – 助手席エアバッグOFF警告灯」（189ページ）を参照してください。

エンジン・オイル

エンジン・オイル・レベルの点検

オイル・レベルは定期的に点検してください（車両に燃料を補給するときなど）。

▷ 「サーキット走行の前に」（16ページ）を参照してください。

オイル・レベル警告への対応

オイル・レベルが低すぎる場合、マルチファンクション・ディスプレイに または シンボルと警告メッセージが表示され、直ちにエンジンにオイルを補充するように指示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイのエンジン・オイル・レベルの読み取り

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイル・レベルが下限マークより下にある場合、エンジンが適切に潤滑できません。

- オイル・レベルを定期的に点検してください。
- オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。

▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」（303ページ）を参照してください。

エンジン・オイルの選択と補充

⚠ 警告 エンジン・コンパートメント・ブロワーおよびエンジン付近の他の可動部品

エンジン・コンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、または長い髪などが可動部品（エンジン・コンパートメント・ブロワーまたはドライブ・ベルトなど）に引き込まれる恐れがあります。エンジン・コンパートメント・ブロワーはエンジン・コンパートメント・リッドの下に取り付けられています。エンジンのスイッチがOFFになった後でも、エンジン・コンパートメントの温度がまだモニターされます。この間は、温度に応じてエンジン・コンパートメント・ブロワが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- この付近で作業する場合は、エンジンをOFFにして身体の一部、衣服の一部、または装飾類がラジエーター・ファン、エンジン・コンパートメント・ブロワー、ドライブ・ベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

⚠ 警告 エンジン・オイルの発火

エンジン・オイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する恐れがあります。エンジン・オイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- 布で飛散したエンジン・オイルを吸い取ってください。
- エンジン・オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気の良い場所で保管してください。
- エンジン・オイルを補充する前にエンジンを冷ましてください。

⚠ 警告 高温のエンジン部品

エンジン稼働中はエンジン、周辺部品、およびエキゾースト・システムが高温になります。

- 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- エンジン・コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- エンジン・コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- エンジン・オイルの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

知識

エンジン・オイルの過不足はエンジンに損傷を与えます。エンジン・オイルが多すぎると青煙の原因になり、長期的には触媒コンバーターに損傷を与えます。

- オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。
- 上限マークを超えるまでエンジン・オイルを補充しないでください。補充しすぎた場合、次の機会にオイル量を適正に戻してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

下記の点を必ず守ってください：

- ポルシェ社が認証したエンジン・オイルのみを使用してください。定期点検時期（サービス・インターバル）を遵守してください。
- エンジンに適合するオイルであれば、互いに混ぜ合わせることができます。
- オイル添加剤を混ぜないでください。

エンジン・オイルの選択

ポルシェでは Mobil 1 を推奨します。

車両	認定品	SAE粘度等級
カイエン・ターボS Cayenne Turbo、 カイエンGTS Cayenne S	Porsche A40	SAE 0W-40 1) SAE 5W-40 2) SAE 5W-50 2)
カイエン Cayenne S Eーハイブリッド	Porsche C30 または VW 504 00	SAE 0W-30 1) SAE 5W-30 1)
Cayenne ディーゼル、 Cayenne S ディーゼル＊	Porsche C30 または VW 507 00	SAE 0W-30 1) SAE 5W-30 1)

1) すべての温度範囲に適応
2) -25°Cを超える温度範囲に適応

インフォメーション

一般に、メーカーが認定するエンジン・オイルの仕様や規格は、オイル缶に記載されているかまたは販売店に表示されています。認定品かどうかを確認するには：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

エンジン・オイルの補充

図41: カイエン・ターボ、カイエン・ターボSのオイル・フィラー・キャップ

図42: カイエンS、カイエンGTSのオイル・フィラー・キャップ

図43: Cayenne 220 kW (300 PS) のオイル・フィラー・キャップ

図44: カイエンSディーゼルのオイル・フィラー・キャップ

＊ 日本仕様に設定はありません。

図45: カイエン・ディーゼルのオイル・フィラー・キャップ

図46: Cayenne S E-Hybrid、Cayenne 245 kW (333 PS) のオイル・フィラー・キャップ

1. マルチファンクション･ディスプレイのエンジン・オイル・レベルを確認してください。
   ▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」（303ページ）を参照してください。
2. オイル・フィラー・キャップを緩めて取り外してください。
3. マルチファンクション・ディスプレイに表示されているエンジン・オイルの量を補充してください。
   表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。
   ▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」（303ページ）を参照してください。
4. オイル・フィラー・キャップを慎重に取り付けてください。

エンジンの始動および停止

イグニッション・ロック

キーは、ステアリング・コラム左側のイグニッション・ロックに差し込んでください。
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車では、キーは携行するだけでイグニッション・ロックに差し込む必要がありません。キーはイグニッション・ロック内のコントロール・ユニットに変更されました。このコントロール・ユニットは、けん引のときを除いて常時イグニッション・ロックに差し込んでおいてください。

図47: イグニッション・ロックへのキーの差し込み

インフォメーション

キーを差し込んだまま放置するとバッテリーが消耗します。
バッテリー上がりの場合には、キー抜き取りの緊急操作を行った場合のみイグニッション・ロックからキーを抜き取ることができます：
▷ 「キー/コントロール・ユニットの緊急ロック解除」（95ページ）を参照してください。

図48: イグニッション・ロックの位置

0 初期位置
1 イグニッションON
2 エンジン始動

0 – イグニッションOFF（初期位置）

イグニッション・ロックが位置**0**のときは、エンジンとイグニッションはOFFになっています。ドライバー・キーはこのポジションで抜き差しできます。

1 – イグニッションON

ほとんどの電装品が作動可能になります。インストルメント・パネルの警告灯が点灯し、ライトの作動を点検します。

インフォメーション

イグニッションを ON にしてから 10 分以上電装品を ON にしなかった場合、再度イグニッションを ON にする必要があります。
キーをロック位置 **0**（初期位置）に回してください。
イグニッションを、またはエンジンを始動すると、キーが抜き取れなくなります。

2 – エンジン始動

エンジンが始動すると、キーがロック位置**2**から**1**に自動的に戻ります。

ステアリング・ホイールのロック/ロック解除

▷ 「ステアリング・コラムのロック解除/ロック」（206ページ）を参照してください。

エンジン始動

1. フット・ブレーキを踏んでください。
2. セレクター・レバーを **P** または **N** の位置にしてください。
3. アクセル・ペダルは踏まないでください。
4. キーまたはコントロール・ユニット（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）をロック位置**2**に回してください。エンジン・スターターを約10秒以上連続して作動させないでください。
   イグニッション・ロック位置**2**（エンジン始動）にすると、直ちにエンジン始動制御が実行され、エンジンが自動的に始動します。

- エンジンが始動しない場合は、10秒程度間をおいてから再度始動させてください。再始動する場合は、はじめにキーをロック位置**0**（初期位置）に戻してください。
  停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないよう注意して運転してください。

インフォメーション

Cayenneディーゼル＊、Cayenne Sディーゼル＊：ディーゼル・エンジン車＊の始動時（イグニッション・ロック位置 **2**), の外気温やエンジン温度に応じて、グロー・プラグ予熱フェーズ中にマルチファンクション・ディスプレイにエンジンを始動していることを知らせるメッセージが表示されます。エンジンが始動すると、メッセージは消えます。＊

- エンジン・スターターを約10秒以上連続して作動させないでください。

Cayenneディーゼル＊、Cayenne Sディーゼル＊：ガス欠後の始動

燃料タンクが完全に空になるまで走行し、その後ディーゼル燃料を給油した場合、燃料システムのエア抜きが行われるため、エンジンの始動に時間がかかる場合があります。

Cayenneディーゼル＊、Cayenne Sディーゼル＊：ディーゼル予熱インジケーター・ライト

イグニッションがONになっているときにインジケーター・ライト が点灯する場合、グロー・プラグが予熱されていることを示します。インジケーター・ライトが消灯したら、エンジンを始動してください。エンジンがすでに通常の作動温度にある場合、インジケーター・ライトはライト点検用に短い時間のみ点灯します。エンジンはすぐに始動することができます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

エンジンの停止

⚠ 警告 車両が不意に動き出す恐れがあります

車両を正しく駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える危険があります。

- 車両から離れるときは、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、セレクター・レバーを**P**の位置にしてください。

⚠ 警告 パワー・ステアリングおよびブレーキ・ブースターの作動が停止します

パワー・ステアリングおよびブレーキ・ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンが停止しているときは、ステアリング・ホイールやブレーキ・ペダルの操作に強い力が必要になります。

- イグニッションをOFFにする前に、必ず車両を停車させてください。

1. 停車してください。
2. キーまたはコントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**0**に回してください。

- 車両から離れるときは、必ずキーを抜き取り、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、セレクター・レバーを **P** の位置にしてください。

オート・スタート/ストップ機能

例えば信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するためのすべての条件が満たされると、オート・スタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。
車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。これにより、オート・スタート/ストップ機能は燃料の消費を節減します。
エンジンが自動停止した後もイグニッションがONの状態が維持され、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

エンジン自動停止の条件

✓ オート・スタート/ストップ機能がONになっている
✓ ボンネットが閉じている
✓ ブレーキ・ペダルが踏み込まれている（Cayenne DieselおよびCayenne S Dieselでも同様：運転席シート・ベルトを着用しており、運転席ドアが閉じられている）
✓ セレクター・レバーが **D**, **N** または **P** の位置にあるか、ないしは **1速**または **2速**ギヤを手動で選択している
✓ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している
✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両を徐行運転した

エンジンの自動停止および自動始動

自動停止

1. ブレーキ・ペダルを踏んで停車してください。
2. ブレーキ・ペダルを踏み続けてください。
   または
   停車中にセクター・レバーを **P** の位置に動かしてください。

インフォメーション

停車中にブレーキ・ペダルを素早くいっぱいまで踏み込むと、HOLD機能が作動します。この機能は、ブレーキ・ペダルを踏まなくても車両を停止した状態に維持します。
▷ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」（370ページ）を参照してください。

エンジンはアクセル・ペダルを踏む、またはエンジンを始動する必要が生じたときに自動的に始動します。
Cayenne、Cayenneディーゼル＊（国別仕様による）およびCayenne Sディーゼル＊では、ブレーキ・ペダルを放すとすぐにエンジンが始動します。

インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロールが ON の場合、前走車が停車すると車両は走行を停止し、エンジンが自動的に停止します。
車両はHOLD機能によって停止状態に維持されます。
この機能は、Cayenneディーゼル＊では国別仕様により異なります。CayenneおよびCayenne Sディーゼル＊では使用できません。

自動始動

✓ セクター・レバーが **P**、**D**、**N** の位置にある、あるいは **1 速**または **2 速**ギアを手動で選択している。
▸ ブレーキ・ペダルを放してください（セレクター・レバーがPの位置にない）。
   または
   アクセル・ペダルを踏み込んでください。
   または
   ステアリング・ホイールを動かしてください。
   または
   セクター・レバーを **R** の位置に動かしてください。
   エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたときや、エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の作動中は、前走車が発進するとエンジンが自動的に始動します。

降車後の作動（セレクター・レバーがPの位置にあるとき）

エンジンが自動停止した後、セレクター・レバーを **P** 位置にして、ガレージのドアを開くなどの理由で車両から降車した場合（運転席ドアが開いていて、フット・ブレーキが踏まれていない場合）には、エンジンは自動的に**始動しません。**
ドライバーが車両から離れてから30秒以内に車両に戻り、運転席ドアを閉じてブレーキを

＊ 日本仕様に設定はありません。

かけると、オート・スタート/ストップ機能が再開します。Cayenne、Cayenne Diesel および Cayenne S Diesel では、運転手側のシートベルトの着用も作動条件です。
上記の条件が満たされなかった場合、エンジンは**手動操作で**始動する必要があります。エンジンを手動で始動する必要があることを示すメッセージが、マルチファンクション・ディスプレイに表示されます。
▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

インフォメーション

Cayenne、Cayenne Dieselおよび Cayenne S Diesel では、降車時に運転席ドアを開いた、またはシートベルトを外した場合、エンジンは自動的に**始動しません。**
フット・ブレーキを踏んでいない場合も、エンジンを手動で始動する必要があることを知らせるメッセージがマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。
▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

降車後の作動（セレクター・レバーが、DまたはNの位置にあるとき）

エンジンが自動停止した後、セクター・レバーを**D**、**M** または **N** の位置にして、降車しようとした場合 (運転席ドアが開いていて、フット・ブレーキが踏まれていない)、エンジンが**自動的に**始動し、オート・スタート/ストップ機能が ON であることを運転手に知らせます (Cayenne、Cayenne Diesel および Cayenne S Diesel には適用されません)。
セレクター・レバーが**D**または**M**の位置にある場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキも作動します。
(P) スイッチのインジケーター・ライトとブレーキ警告灯 (!) が点灯します。
▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

オート・スタート/ストップ機能の例外

例えば次のような状況では、オート・スタート/ストップ機能は使用できません。
- 「スポーツ」/「スポーツ・プラス」モードが作動しているとき
- PSMがOFFのとき、またはPSMがスポーツ・モードのとき
- クリーピング時
- AC MAXモード（最大冷却出力）の作動中
- 「フロント・デフロスター」が作動しているとき
- 標高が高いとき
- 車高を調整しているとき
- オフロード・モードがアクティブのとき
- 連結されたトレーラー車両が検出されたとき（バイク・ラック・コネクターまたはトレーラー・コネクターが接続されている状態）
  他社製のトレーラー・ヒッチを車両に連結している場合はオート・スタート/ストップ機能を手動で停止してください。

例えば次のような状況では、オート・スタート/ストップ機能は一時的に制限されます：
- エアコンや車内ヒーターを高い設定で作動させているとき
- バッテリーの充電状態が低いとき
- 上り坂や下り坂で停車したとき
- オート・エンジン・チェック機能など車両が内部点検を実行しているとき
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いまたは高いとき
- 渋滞中で短時間の停車を繰り返すとき (国別仕様により異なる)

インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

オート・スタート/ストップ機能および惰性走行モードのON/OFF

図49: オート・スタート/ストップ・ボタン

インフォメーション

惰性走行モードはCayenne Sディーゼル＊では利用できません。

OFFにする

▶ (A) ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
エンジンの自動停止が制限され、惰性走行モードがOFFになります。

ONにする

▶ (A)ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
車両が停車すると、自動的にエンジンが停止し、惰性走行モードが ON になります。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A–Z

▷ 「惰性走行モードで走行する」（211 ページ）を参照してください。

オート・スタート/ストップ機能の表示

エンジンの自動停止および再始動の準備

オート・スタート/ストップ機能でエンジンが自動停止した場合、マルチファンクション・ディスプレイのインジケーター･ライトが緑色に点灯します。

エンジンが自動停止しない、または再始動可能な状態になっていない

オート・スタート/ストップ機能が利用できない､またはエンジンが自動停止した後に再始動しない場合は、停車中にマルチファンクション･ディスプレイのインジケーター･ライトが黄色に点灯します。

オート・スタート/ストップ・システムは、次の状態を検出します：

– エンジンを自動停止するための条件の少なくとも1つが満たされていない。

または

– オート･スタート/ストップ機能の例外条件が、少なくとも1つ以上満たされている。

▷ 「エンジン自動停止の条件」（76ページ）を参照してください。

▷ 「オート・スタート / ストップ機能の例外」（77ページ）を参照してください。

故障の表示

故障したときは、オート・スタート/ストップ機能が解除されたことを示すメッセージがマルチファンクション･ディスプレイに表示されます。

▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

お手入れ

⚠ 警告 ブレーキ・ディスクの水膜

洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- 洗車後はブレーキを点検してください。
- ブレーキを乾燥させるため、後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

i インフォメーション

適切な方法で定期的に車両のお手入れを行うことは、車両の価値を長持ちさせるだけでなく、保証を受ける際の有利な条件になります。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

- カー・ケア用品の使用に際しては、パッケージ等に記載された注意事項を必ず守ってください。
- これらの製品は、お子様の手が届かない安全な場所に保管してください
- 不要になった製品は、適切な方法で廃棄してください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店は状態報告書を用意し、車両のお手入れ水準を保障します。

知識

高圧洗浄機およびスチーム・クリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります：

- タイヤ
- ロゴ、エンブレム、装飾フィルム、塗装面、ホイール・アーチ・エクステンション、およびワイパー・ブレード
- リムーバブル・トレーラー・ヒッチのロックとロッキング・メカニズム、電気的に伸縮可能なトレーラ・ヒッチのシール
- エンジン・コンパートメント内のダイナモ、バルブ・カバー、電装部品、およびコネクター
- パーキング・アシスタントとアダプティブ・クルーズ・コントロールのセンサー、リバース・カメラ

- 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
- デコラティブ・フィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用しないでください。
- 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから50cm以上離してください。
- 高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせて使用しないでください。高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせて使用すると、車両が損傷する原因になります。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェット・ノズルで洗浄しないでください。
- 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェット・ノズルを直接向けないでください。
- エンジン・コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- 高圧洗浄機のジェットは絶対に開口部（スパーク・プラグ・シャフト、エア・フィルター・ハウジング、エア・フィルターなど）に直接向けないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。

車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。解氷剤（塩分）、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください：

- 車両下部は汚れが激しいため、少なくとも季節の変わり目には洗車して汚れを落としてください。
- ばい煙、油脂類、オイル、および重金属などが適切に処理できる場所でのみ洗車を行ってください。
- 直射日光の下や、塗装面の温度が高いときは洗車しないでください。
- 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カー・シャンプーを使用して多量の水で洗ってください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- 洗車を開始するときは、はじめに車両にたっぷりと水をかけ、表面の主な汚れを洗い流してください。
- 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

自動洗車機

知識

任意で取り付けたオプション部品や車両表面から突出している部品は、洗車の際に損傷する恐れがあります。

▸ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。

以下の表を参考にし、車両を安全かつ慎重に洗車してください：

危険	守るべきこと
洗車中、不意のワイパー作動による損傷	▸ フロント/リヤ・ウィンドウのワイパーをOFFにしてください。 ▸ 洗車機での洗車中はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
外装部品への損傷	▸ ドア・ミラーを格納してください。 ▸ ルーフ・トランスポート・システムを完全に取り外してください。
ホイールへの損傷	▸ 洗車機のガイド・レールの寸法をよく確認してください。 タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。
ハイグロスまたはシルクグロス・ホイールへの傷	▸ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。

塗装面のお手入れ

知識

塗装面に付着した汚れの粒子は、適切にお手入れをしないと塗装に損傷を与える場合があります。

▸ 乾いた布でほこりを拭きとらないでください。

知識

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

▸ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を**使用しない**でください。

塗装面の保護

塗装面は経年変化により光沢が失われていくため、洗車後は塗装保護剤等で定期的に保護する必要があります。この作業により塗装の光沢と強度を保つことができます。また、塗装面に新しい汚れが付着しにくくなり、ばい煙が浸透しにくくなります。

塗装面の艶出し

通常のワックスでは塗装の艶が戻らないときのみ、光沢剤を使用してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

汚れ、染みの除去

タール、グリース、昆虫の死骸などはインセクト・リムーバーなどを使用して速やかに取り除き、その後丁寧にそのエリアを洗います。放置すると、時間とともに塗装の色褪せの原因となります。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

小さな傷の補修

▸ 亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する**前**に修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー（防錆剤）を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

ペイント・データは車両のデータ・バンクに表示されています。

▷ 「車両の識別データ」（374ページ）を参照してください。

ウィンドウの清掃

▷ 「ワイパー・ブレード」（365ページ）を参照してください。

インフォメーション

フロント・サイド・ウィンドウには、ガラスの汚れを抑制する（疎水性の）撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

▸ 定期的にウィンドウ・クリーナーを使用して、ウィンドウの内側と外側を清掃してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

- ボディを拭き取ったセームで乾いたウィンドウを拭かないでください。ワックスや光沢剤がウィンドウに付着し、視界が悪くなる恐れがあります。
- 昆虫の死骸は、ポルシェ推奨のインセクト・リムーバーで取り除いてください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

アンダーコーティングの補修

⚠ 警告 エキゾースト・システム付近の可燃物

エキゾースト・システム部に防錆剤やアンダー・コーティング剤を塗布すると、運転中に過熱して引火する恐れがあります。

- エキゾースト・マニホールド、エキゾースト・パイプ、触媒コンバーター、ヒート・シールド、およびその周囲には、アンダー・コーティング剤や防錆剤を塗布しないでください。

車両下部は、化学的および物理的なダメージに耐えるよう保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ポルシェ正規販売店で定期的に車両下部の点検を受け、必要に応じて保護コーティングを修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

デコラティブ・フィルムの清掃

知識

清掃中にデコラティブ・フィルムが剥がれ損傷する恐れがあります。

- ポリッシュやホット・ワックスを使用しないでください。
- 高圧洗浄機やスチーム・クリーナーを使用しないでください。
- 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

ヘッドライト、ライト類、プラスチック製部品と表面、アダプティブ・クルーズ・コントロール用レーダー・センサーおよび車両カメラの清掃

知識

洗剤がコントローラまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗浄剤を使用するとプラスチック面に損傷を与える場合があります。

- 車内のプラスチック製部品に直接水や室内用ウィンドウ・クリーナーをスプレーしないでください。
- ヘッドライト、ライト類、プラスチック部品とその表面、アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサーおよび車両カメラの清掃には、きれいな水と小量の中性洗剤または室内用ウィンドウ・クリーナー**のみ**を使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

ホイールのお手入れ

⚠ 警告 クリーナーなどの溶剤によるブレーキ・ディスク上の膜の発生

ブレーキ・ディスクにクリーナー（リム・クリーナーなど）が付着した場合、ブレーキ・ディスクに膜ができて制動力が低下する恐れがあります。

- ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着した場合、高圧洗浄機などで完全に洗い流してください。
- 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキ・ディスクを乾かしてください。

軽合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子（ブレーキ・ダストに含まれる黄銅や銅など）は長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴（ピッチング）が生じます。

塗装の被膜を破壊するような光沢剤やpH値が不適切なクリーナー、研磨機具、研磨剤などは使用しないでください。

- 軽合金製ホイールには、中性洗剤のみを使用してください（pH値：4 ～ 10）。pH値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。

▷ 「自動洗車機」（80 ページ）を参照してください。

ドア、ルーフ、リッドとウィンドウ・シールの清掃

知識

インナー・ドア・シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。

- 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- 防錆剤を使用しないでください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- シールの汚れ（傷、汚れ、凍結防止剤、砂塵など）は、温かい石鹸水で定期的に洗浄してください。
- 凍結する恐れがある場合は、適切なカー・ケア用品でアウター・ドア・シール、リッドやフラップのシールを保護してください。

革製品のお手入れ

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行なうと革製品を痛める場合があります。

- 刺激性の強い洗剤や、硬い清掃用品を使用しないでください。
- 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないよう注意してください。
- 革製品に付着した水滴は直ちに取り除いてください。

正しいお手入れと洗浄のために以下のことを守ってください：

- 無色の柔らかい毛織物または市販のマイクロ・ファイバー布を湿らせて、表面の細かな汚れを拭き取り、すべてのタイプの本革を定期的にお手入れしてください。
- 汚れがひどいときは（水などによる染み**以外**）レザー・クリーナーで取り除いてください。容器にある使用上の注意を確認してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- 清掃後は、本革専用のケア剤でお手入れしてください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

シート・ベンチレーション付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

水染み/湿気による染みを取り除く

✓ シート・ヒーターとシート・ベンチレーションをOFFにする

✓ 直射日光を避ける

1. 清潔な吸水性スポンジと蒸留水を使用して、シート・クッションまたはバックレストの表面全体を拭き取ってください。表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないよう注意してください。
2. シート・カバーは直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。シート・カバーを乾かす際、シート・ヒーターやシート・ベンチレーションをONにしないでください。
3. 乾いた後、シート・カバーを乾燥した不織布で拭いてください。

カーペット、フロア・マットの清掃

⚠ 警告 ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マットや正しく固定されていないフロア・マットはペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。

- フロア・カーペットの上に敷くのみのマットを使用しないでください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- 掃除機か、中程度の硬さのブラシで清掃してください。
- ひどい汚れや染みは、染み抜き剤で除去してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

フロア・カーペットの汚れや傷付きを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロア・マットをカー・アクセサリーとして用意しています。

エアバッグ・カバーの清掃

⚠ 危険 不適切な清掃

エアバッグの周りを不適切なクリーナーやケア製品で清掃するとエアバッグ・システムに浸透し、不適切に取り扱うことでシステムに損傷を与える恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグ・システムが作動しない危険があります。

- ステアリング・ホイールのカバー、インストルメント・パネル、フロント・シート、ドア・パネルなどの部品を改造しないでください。
- エアバッグの周囲には洗剤や液体を使用しないでください。

内張りの清掃

ピラー、ヘッドライナー、サンバイザーなどのファブリック・ライニングは、素材に適した洗剤やドライ・フォームと柔らかいブラシを使用して清掃してください。

Alcantara®のお手入れ

Alcantara®の清掃に、本革用のカー・ケア用品を使用しないでください。日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。研磨材を使用したり、強く擦ったりすると、Alcantara®の表面が傷むので注意してください。

- 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹸水で濡らして、汚れを拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を濡らし、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

シートベルトの清掃

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- ▸ ベルトの汚れには中性洗剤を使用してください。
- ▸ シートベルトを乾燥させるときは、直射日光を避けてください。
- ▸ 適切な洗剤のみを使用してください。
- ▸ シートベルトを染色および脱色しないでください。シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

高電圧バッテリーのお手入れ

高電圧バッテリーは、ラゲッジ・コンパートメントのフロア下にあります。高電圧バッテリーのユーザーによるお手入れは必要ありません。

知識

液体やクリーナーにより高電圧バッテリーと車両エレクトリカル・システムが損傷する恐れがあります。

- ▸ 液体を運搬する場合は、漏れを防止するための容器を準備してください。
- ▸ ラゲッジ・コンパートメントの清掃に液体クリーナー等を使用しないでください。
- ▸ 漏れ出した液体はただちに除去してください。
- ▸ ラゲッジ・コンパートメント・フロアの下には荷物を収納しないでください。

お手入れの諸注意

高電圧バッテリーの物理的性質のため、ライフ・サイクル中にバッテリー容量が減少し、使用可能な最大電気量も減少します。

以下の対策により、ライフ・サイクル中に減少するバッテリー容量にプラスの効果を与えることができます：

- – 充電タイマー機能による高電圧バッテリーの充電
- – 可能な限り、直射日光の下など高温になる場所に車両を駐車しないでください。

車両を長期保管する場合の注意点

1ヶ月以上使用しない場合：

- – 高電圧バッテリーは自然に放電するため、充電/トリクル充電用の電源に常時接続しておいてください。

電源に常時接続することができない場合：

- – 車両を保管する前に、高電圧バッテリーを完全に充電（100%充電状態）してください。
- – 3ヶ月に1度は充電状態を確認し、必要に応じて充電してください。
- – タイマー制御されるパーキング・プレエアコンを解除してください。
- ▷ 「パーキング・プレエアコンの作動 / 解除」（317ページ）を参照してください。
- – 予冷/暖房タイマーの停止
- ▷ 「Precool/heat timer機能の作動/解除」（316ページ）を参照してください。
- – スマートフォン・アプリ「ポルシェ・カー・コネクト」＊を使用しないでください。アプリケーションが車両と通信すると、高電圧システムが作動して高電圧バッテリーが放電します。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の清掃

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行なうとPCMを損傷する場合があります。

- ▸ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類（エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール）などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▸ PCM に直接クリーナーや他の液体を吹きつけないでください。水が侵入するとPCMが損傷する原因になります。代わりに布を湿らして慎重に画面を拭いてください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- ▸ 画面は傷が付きやすくなっています。時々、清潔で柔らかい乾いた布（マイクロファイバー・クロス）やクリーニング用ブラシで慎重にPCMを清掃してください。
  清掃の際、表面に大きな力を加えないでください。
- ▸ 指紋は少し湿らせた布や刺激性の少ない洗浄剤で取り除いてください。

車両の保管

車両を長期保管する場合ポルシェ正規販売店にご相談ください。腐食保護対策、お手入れとメンテナンス、および保管に関する情報およびアドバイスを提供いたします。

- ▷ 「バッテリー」（244ページ）を参照してください。

バッテリーを切り離した状態で車両をロックする場合のインフォメーション：

- ▷ 「緊急ドア・ロック」（172ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

オフロード走行

このセクションでは、オフロード走行で発揮される特別な性能について説明します。

この車両でオフロード走行する前に：

- このセクションを注意してお読みください。

まず、適度なオフロードで練習されることをお勧めします。

⚠ 警告 車両のコンポーネントには高度のストレスが発生します

オフロード走行中には、砂粒、ほこりの粒子など研磨作用のある物質がブレーキなどのコンポーネント内に入り込むことがあります。これにより、過度の摩耗または予測不能なブレーキ作動を引き起こし、事故や車両の損傷につながることがあります。

- 正規ポルシェ販売店で定期的な点検や保守、修理を行ってください。

知識

損傷する恐れがあります。SportDesignパッケージ装着車は、フロント、リヤ、サイド・スカートに塗装が施されています。

- オフロード走行時にこれらの部品が損傷しないよう注意してください。
- 障害物と車両下面の間に十分な空間があることを確認してください。
- 水たまりや浅瀬の走行は避けてください。
- サイド・メンバー・トリムまたはリヤ・ホイール・スポイラーを足かけとして使用しないでください。

オフロード走行で注意すべき点

- 車両の地上高を常に念頭においてください。
- オフロード走行を開始する前に、オフロード走行プログラムを有効にしてください。
  - ▷ 「オフロード・モード」（88ページ）を参照してください。
- オフロード走行を開始する前に、必要に応じてオフロード・レベルまたはスペシャル・オフロード・レベルを作動させます。車高レベルを調整している間はブレーキを踏まないでください。
- 車高レベルは必ず平坦な場所で調整してください。
- 荷物をしっかり固定してください。
  - ▷ 「荷物の積載」（332ページ）を参照してください。
- 路面状況が運転席から確認しづらい場合、障害物を前もって発見できるよう、一度車外に出て歩いて状況を確認した上で慎重に運転してください。
- 必ずエンジンを作動させて走行してください。パワー・ステアリングはエンジン作動時にのみ使用することができます。
- ゆっくり一定の速度で運転してください。
- 常に全ホイールが接地した状態で運転してください。
- 水たまりや浅瀬を走行する場合は、水の深さ、底の状態、流速を確認してください。
- 岩、穴、丸太、わだちなどの障害物に十分注意してください。
- 走行中には、パノラマ・ルーフおよびサイド・ウィンドウを必ず閉じてください。
- 路肩に目印がある場合は、そこから外れないようにしてください。
- 自然を大切にしてください。
- 進入禁止標識には必ず従ってください。

オフロード走行用ドライビング・システムについて

オフロード走行では特別仕様の走行プログラムまたはパワー・トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システムが使用できます：

- オフロードPTM
- オフロードPTVプラス（車両の装備仕様による）
- オフロードPSM
- オフロードABS

▷ 「トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム」（213ページ）を参照してください。

オフロード走行の準備

タイヤおよびリムの点検

- トレッドの深さが十分あるか、タイヤ空気圧は適正か点検してください。
- 損傷がないか点検し、トレッドに異物（石など）がある場合は取り除いてください。
- バルブ・キャップが紛失している場合は新しいものを取り付けてください。
- ホイールにへこみや損傷がある場合はオフロード走行前に交換してください。

オフロード走行後-の車両点検

オフロード走行では通常のオンロード走行時より車両に大きな負担がかかります。オフロード走行後には車両点検を行うことをお勧めします。見えない損傷でも事故の危険があり、走行快適性も損なわれます。車両点検を行うことにより、損傷の拡大を防ぐことができます。

⚠ 警告 車両の損傷

車両の損傷は後に乗員や通行者に事故を引き起こす原因になる恐れがあります。

- 故障の疑いがある場合はポルシェ正規販売店で点検してください。
- タイヤの異常（亀裂、損傷、空気圧過多、異物の挟まり）がないか確認してください。必要な場合は、タイヤを交換してください。
- 損傷がある場合はポルシェ正規販売店でお早めに修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両を点検する際は、以下の点をご確認ください。

- オフロード走行プログラムを解除してください。
- ヘッドライトおよびテールライトを清掃し、損傷していないか点検してください。
- フロントおよびリヤのナンバー・プレートを清掃してください。
- ウォーター・ジェットでタイヤ・トレッドを洗浄して異物を取り除いてください。
- ウォーター・ジェットでホイール、ホイール・ハウジング、車両下周りを洗浄してください。
- 車両に木の葉や枝などが挟まっていないか点検してください。
  これらは車両火災の原因となる恐れがあります。また、フューエル・ライン、ブレーキ・ホース、アクスル・ジョイント・ブーツ、ドライブ・シャフトなどが損傷する原因になる場合があります。
- オフロード走行後にフロア部品全体、タイヤ、ボディ、ステアリング・システム、シャーシ、エキゾースト・システムが損傷していないか、必ず点検してください。
- ぬかるんだ道、砂道、水たまりや浅瀬などを長時間走行した場合は、ブレーキ・ディスク、ブレーキ・パッド、ホイール、アクスル・ジョイントを点検して、清掃してください。
- オフロード走行後に振動が激しくなった場合は、ホイールに異物がないか点検してください。異物があるとホイール・バランスが損なわれ、振動の原因になる恐れがあります。異物を取り除くと、振動が解消する場合があります。

上り坂でのオフロード走行

⚠ 危険 急な勾配

危険な急勾配では、車両が転覆することがあります。

- 上り坂走行時には方向転換しないでください。
- 勾配がきつく登れない場合は、必ずリバース・ギヤに入れてバックしてください。
- 土手や下れそうにない急坂路には進入しないでください。
- 車両が傾きはじめた場合、すぐに傾いた側にステアリングを切ってください。
- 上り坂走行時にニュートラル状態やギヤを入れていない状態で車両を自然にバックさせないでください。
  この状態でフット・ブレーキを使用するのは非常に危険です。

急勾配を上る際は、以下の点をご確認ください。

- 急坂路を上り下りする場合は、その前にオフロード走行プログラムを作動させてください。
- 走行中はマニュアルによるギヤ・チェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。
- エンジンを過回転させないでください。

上り坂でのトラクション増加

坂でトラクションを増加する際は、以下の点をご確認ください。

- オフロード走行プログラムを作動させてください。
- 上り坂走行時にはアクセル・ペダルの踏み込みを加減して、ホイールが十分なトラクションを得られる（スピンしない）ようにしてください。
- 坂道で車高レベルを調整しないでください。
- エンジンを過回転させないでください。
- スピードを落として運転してください。

下り坂でのオフロード走行

⚠ 危険 危険な下り勾配

危険な急勾配では、車両が転覆することがあります。

- 土手や下れそうにない急坂路には進入しないでください。
- 下り坂はフロント・ホイールを直進位置に保ち、スピードを落として走行してください。
- 車両が傾きはじめた場合、すぐに傾いた側にステアリングを切ってください。
- 下り坂をアイドリング状態で自然に下りないでください。
- エンジン・ブレーキを使用してください。
  エンジン・ブレーキでは十分な制動効果が得られない場合は、フット・ブレーキを軽く踏み込んでください。
- ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)を作動させてください。
  ▷ 「ポルシェ・ヒル・コントロール (PHC)」（297ページ）を参照してください。

急勾配を下る際は、以下の点をご確認ください。

- オフロード走行プログラムを作動させてください。
  オフロードABSが自動的に作動します。
- 走行中はマニュアルによるギヤ・チェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。
- 坂道で車高レベルを調整しないでください。
- 舗装されていない急坂路を下る場合は、ブレーキ操作を慎重に行い、滑らないように注意してください。

インフォメーション

オフロードABSの特別制御メカニズムにより、フロント・ホイールが意図的に短時間ロックアップされ、ゆるんだ路面に効果的に食い込みます。
ロックされたホイールはスリップし、ステアリング操作ができなくなります。

隆起部分の走行

隆起を超えて走行する際は、以下の点をご確認ください。

- 車両の地上高を常に念頭においてください。
- オフロード走行プログラムを作動させ、必要に応じてディファレンシャル・ロックを使用してください。
- 隆起部分にさしかかる前にアクセル・ペダルをゆるめて、慣性運動を利用して隆起を越えてください。隆起を越える際に車両がジャンプせず、下り部分への激しい着地を防ぐことができます。
- エンジンを過回転させないでください。

水たまりや浅瀬の走行

危険 車内への水の浸入

車内への浸水により生命の危機につながる危険な状態となることがあります。また車両の損傷にもつながります。

- 水たまりや浅瀬を走行する場合は、水の深さ、底の状態、流速を確認してください。
  水の深さが500mmを超える場合は走行しないでください（カイエン GTS の場合：481mm）。
- 運転前にドア・シルおよびラバー・シールを清掃してください。
- 深く流れの速い場所には進入しないでください。
  山間部の小川など、深く流れの速い場所では、意図したコースから外れてしまう場合があります。
- 波をかぶらないように適切な速度で走行してください。
- 水たまりや浅瀬を走行中は絶対にドアを開かないでください。

警告 ブレーキ・ディスクの水膜または汚れ

濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行すると、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ブレーキが汚れていないか点検し、必要に応じて清掃してください。

知識

電気系統が故障する恐れがあります。

- 塩水の中を走行するのは避けてください。

水たまりや浅瀬を渡るときは以下の点に注意してください。

- 車両の地上高を常に念頭においてください。
- オフロード走行プログラムを作動させ、必要に応じてディファレンシャル・ロックを使用してください。
- エアコン・コンプレッサーをOFFにしてください。
- ヘッドライトをOFFにしてください。
- エンジンを過回転させないでください。
- 走行中はマニュアルによるギヤ・チェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。
  水たまりや浅瀬では、抵抗が大きく地面がぬかるんでいるため、発進が困難になる場合があります。
- 水たまりや浅瀬を渡る場合は浅い場所から歩く速度で進入してください。
- 水の状態を確認した後、最短距離で渡ってください。
- 高速で水たまりや浅瀬に進入しないでください。波をかぶりエンジンやアクセサリーが損傷する恐れがあります。
- 状況の変化に対処できるよう慎重に運転してください。
- 水たまりや浅瀬はゆっくり一定の速度で走行してください。
- 水たまりや浅瀬を渡るときは方向転換しないでください。
- 渡り切れない場合はリバース・ギヤに入れ、車両をバックさせて水から出てください。

インフォメーション

長時間水たまりや浅瀬を走行すると、パワー・ステアリング・ポンプやオルタネーターが故障する恐れがあります。

水上走行後の車両点検

水たまりや浅瀬を走行した後は特別な点検が必要になります。

- タイヤ・トレッドから泥を落としてください。
- 水たまりや浅瀬を走行した後はブレーキを軽くかけて、ブレーキ・パッドを乾かしてください。

障害物の乗り越え

知識

障害物を乗り越える際に運転を誤ると、アンダーボディやシャーシ損傷する恐れがあります。

- 車両の地上高を常に念頭においてください。
- 切り株や岩などの障害物を乗り越える場合は、一方のフロント・ホイールが障害物の中央を通るようにゆっくり走行してください。
- リヤ・ホイールも同様にして障害物を乗り越えてください。

障害物を超えて走行する際は、以下の点をご確認ください。

- オフロード走行プログラムを作動させ、必要に応じてディファレンシャル・ロックを使用してください。
- 必要に応じて同乗者の指示を受けてください。
- エンジンを過回転させないでください。
- スピードを落として運転してください。

砂上走行

柔らかい砂道はオフロード走行の中でも特に運転しにくい路面です。運転を誤ると、すぐに立ち往生することになります。

砂上を走行する際は、以下の点をご確認ください。

- オフロード走行プログラムを作動させ、必要に応じてディファレンシャル・ロックを使用してください。
- すみやかに通過し、決して途中で停車しないでください。立ち往生することになります。
- わだちが浅く、砂で覆われていない場合、また地上高に余裕がある場合は、わだちに沿って走行してください。
- 車両の地上高を常に念頭においてください。
- 砂道の傾斜に停車する必要がある場合は、より容易に発進できるようにできるだけ下り坂を選択してください。

やわらかい砂道の傾斜を走行する場合：

- 高いエンジン回転数を得るため、必要に応じてオフ-ロード走行プログラムを作動させ、マニュアル・モード **M** を使用してください。

万一車両の動きが取れなくなった場合：

- ホイール・スピンは避けてください。木の枝やマットなどを使用して、トラクションを確保し、脱出してください。

わだちでのオフロード走行

知識

深いわだちを走行する場合は、車両の下周りを損傷する恐れがあります。

- 車両の地上高を常に念頭においてください。
- 深すぎるわだちは走行しないでください。

オフロードや砂利道の多くにはわだちができています。

- 車両の地上高を常に念頭においてください。
- オフロード走行プログラムを作動させ、必要に応じてディファレンシャル・ロックを使用してください。
- 片方のホイールが脇の草の上を通過するように走行すると、比較的安全にわだちを通過することができます。
- エンジンを過回転させないでください。
- スピードを落として運転してください。

オフロード・モード

オフロード・モードでは、パワー・トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム（例えばABS、オフロードABS、PSMなど）が自動的にオフロード走行用のプログラムで作動します。このことで、可能な限り高度な動的性能と最高の安全が確保されます。

▷ 「トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム」（213ページ）を参照してください。

走行プログラムが利用できます:

- オフロード走行プログラム（オフロード・モード）
- オンロード走行プログラム（オンロード・モード）

警告シンボルへの対応

ギヤシフト・システムに故障がある場合、インストルメント・パネルに警告メッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

オンロードとオフロード走行に対して走行プログラムを選択する

ロッカー・スイッチを使用して、希望する走行プログラムに設定することができます。

ロッカー・スイッチはセンター・コンソールにあります。ロッカー・スイッチはマルチステップ機能を備えており、両方向に操作できます。

インフォメーション

- オフロード・モードで使用できるディファレンシャル・ロックの数は車両の装備によって異なります。
- Cayenneディーゼルでは、オフロード走行プログラム**C**および**D**は使用できません。＊
  ▷ 「選択した走行プログラムのディスプレイを読み取る」（88ページ）を参照してください。
- Cayenne S E-Hybridでは、異なる走行プログラムは使用できません。

図50: オフロード・ボタン

オフロード走行プログラムの選択

✓ 車両は約30 km/h (20 mph)以下の速度で走行しています。

▸ ロッカー・スイッチを前方に押してください。車両が1段階オフロード走行に適した設定になります。

オンロード走行プログラムの選択

▸ ロッカー・スイッチを後方に引いてください。車両の走行が1段階オンロード走行に適した設定になります。

選択した走行プログラムのディスプレイを読み取る

図51: 走行プログラムの表示

A オンロード・ドライビング・プログラム
B オフロード・ドライビング・プログラム
C オフロード・ドライビング・プログラムでのセンター・ディファレンシャル・ロック直結
D オフロード・ドライビング・プログラムでのリヤ・ディファレンシャル・ロック直結

選択した走行プログラムはロッカー・スイッチ横のインジケーター・ライトで表示されます（図104）。

更に、選択した走行プログラムはマルチファンクション・ディスプレイに数秒間表示されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

センター・ディファレンシャル・ロック**C**が完全固定状態になると、フロント・アクスルとリヤ・アクスル間に回転数の差がなくなります。例えばフロントの左右ホイールがぬかるんだ路面でトラクションを失った場合でも、この機能により走行し続けることができます。

リヤ・ディファレンシャル・ロック**D**が100%完全固定状態になると、左右リヤ・アクスル間に回転数の差がなくなります。例えば、リヤの片方のホイールが凍結した路面またはぬかるんだ路面でトラクションを失った場合でも、この機能により走行し続けることができます。

インフォメーション

- 走行条件が変化しても（車両が舗装路を走行する場合など）、選択したオフロード走行プログラムは作動し続けます。ロッカー・スイッチ横の該当するインジケーター・ライトは点灯したままですが、トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システムは変化した走行条件に合わせて最適化されます。
- ギヤシフト・システムに故障がある場合、インストルメント・パネルに警告メッセージが表示されます。
  ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

推奨する設定

走行条件	推奨する設定
道路：	
オフロード：	
砂地：	
オフロードの上り坂/下り坂：	
障害物の乗り越え：	
オフロードのわだち：	
滑りやすい路面（草道など）でのトレーラー：	

カップ・ホルダー

カップ・ホルダーを使用する

センター・コンソールにはカップ・ホルダーが2つあります。

図52: フロント・アームレストのカップ・ホルダー

⚠ 注意 熱い飲み物がこぼれる恐れ

熱い飲み物がこぼれるて火傷をする恐れがあります。

- カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。
- 熱い飲み物が入った容器には適していません。
- 運転中はカップ・ホルダーを収納しておいてください。

知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

- カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。

フロント・カップ・ホルダー・インサートを使用する

インサートを使用すると、小さめの容器も確実に固定することができます。このインサートは、フロント左右のカップ・ホルダーに装着することができます。

図53: カップホルダー・インサート

インサートの取り外し

- インサート**A**をカップ・ホルダーから引き抜いてください。

インサートの取り付け

- 位置決めラグ**B**をカップ・ホルダーのスロットに合わせて、インサート**A**を押し下げてください。

リヤ・アームレストのカップ・ホルダーを開く

リヤ・アームレストには2個のカップ・ホルダーがあります。

図54: リヤ・アームレストのカップ・ホルダー

- アームレストを完全に倒してください。

ガレージ・ドア・オープナー（ホームリンク®）＊

車両のガレージ・ドア・オープナーを使用する

図55: ホームリンク®システムのボタン

ホームリンク®システムは、様々なリモート・コントロール装置（ガレージ・ドア、自宅の門や警報システム、家のライトなど）を車内から作動させることができます。

ホームリンク®は最大3種類のリモート・コントロールを登録することができます。オーバーヘッド・コンソールの3つのメモリー・ボタンに、リモート・コントロール信号を割り当てることができます。プログラミングしたメモリー・ボタンを操作して、各装置を作動させることができます。

▷ 各種装置のリモート・コントロールの取扱説明書をよくお読みください。

インフォメーション

車両のホームリンク® システムと各種装置のリモート・コントロールの互換性に関するインフォメーション：

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。

▷ ウェブサイトwww.homelink.comにアクセスするか、ホームリンク® のフリーコール (0)0800 046 635 465または (0)08000 HOMELINKまでお問い合わせください。

⚠ 警告 操作した機器による挟み込み、締め付けまたは圧迫

ガレージ・ドア・オープナー＊の使用時またはプログラミング時に、ガレージ・ドア・オープナー＊で操作する装置の可動範囲に人や動物がいたり、物があったりすると、事故につながる恐れがあります。

▶ ホームリンク ® システムを操作またはプログラミングするときは、装置の可動範囲に人や動物がいないか、物がないか確認してください。

▶ 装置のリモート・コントロール取扱説明書の注意事項を遵守してください。

インフォメーション

▶ 車両を売却するときは、ガレージ・ドア・オープナーのプログラム信号を消去してください。

ガレージ・ドア・オープナーの操作

✓ イグニッションがONのとき

✓ 車両を受信機の方向、かつ受信機のエリア内に向ける（信号は車両の進行方向前方に送信されます）

▶ オーバーヘッド・コンソールの該当するホームリンク®ボタンを押したまま保持してください。
信号送信中は、▬ (図55) ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

ガレージ・ドア・オープナーのプログラミング

ホームリンク®システムは、オーバーヘッド・コンソールと車両の前方付近でプログラミングをします。

✓ イグニッションがONのとき

✓ 方向指示灯をOFFにしてください。

✓ エンジンをOFFにする

✓ 車両を受信機の方向、かつ受信機のエリア内に向ける（信号は車両の進行方向前方に送信されます）

図56: ガレージ・ドア・オープナーのプログラミング

＊ 日本仕様に設定はありません。

プログラミングした信号をボタンから消去する

この操作では、ホームリンク®のすべてのプログラムを消去します。プログラミングしたボタンを個別に消去することはできません。

▸ ボタンに信号を追加登録するときは、この操作を行わないでください。

1. オーバーヘッド・コンソールの2つの外部ボタン ▬ と ▬▬ を、インジケーター・ライト **A** が素早く点滅し始めるまで、約20秒間押し続けてください (図56ページ91)。
2. ボタンを放してください。
   ホームリンク®ボタンの割り当てが消去されます。ホームリンク®ボタンを再プログラミングすることができます。

ガレージ・ドア・オープナー信号をボタンに登録する – 固定コード式システム

オーバーヘッド・コンソール：

1. プログラミング作業を**初めて**実施する前に、新車出荷時に設定されている標準コードを消去しなければなりません。

▷ 「プログラミングした信号をボタンから消去する」（92ページ）を参照してください。

2. インジケーター・ライト**A**がゆっくり点滅し始めるまで、オーバーヘッド・コンソールの希望のボタンを押し続けてください。
   ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
3. プログラミングする装置のリモート・コントロールを持って車両の前方に立ってください。

図57: 装置のリモート・コントロールを車両前方で持つ

車両の前方：

4. 受信部（図57）から約20cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が3回点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライト**A** が素早く点滅し始めるまで、送信ボタンを押し続けてください（場合によっては約1分以上）。
   新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライト**A**が素早く点滅します。
   車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。
   システムによっては、装置のリモート・コントロールのインジケーター・ライトを消灯するときに、装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう1回押す必要があります。
5. 登録作業開始から5分が経過すると、方向指示灯が1回点滅します。
   手順2～4を繰り返してください。
6. その他のボタンにも信号を登録するには：
   手順2～4を繰り返してください。

ガレージ・ドア・オープナー信号をボタンに登録する – 可変コード式システム

システムによっては、可変式コードもホームリンク®システムにプログラミングする必要があります。作業を2人で行うと、プログラミングが容易になります。

可変式コードを識別する

▸ プログラミング済みのホームリンク ® ボタンを再度押し続けてください。
   インジケーター・ライト**A**が素早く点滅し、約2秒後に常時点灯する場合、装置は可変コード式システムです。

▷ 同期に関するインフォメーションは、プログラミングするシステムの取扱説明書も参照してください。

ガレージ・ドア・オープナー信号をボタンに登録する

オーバーヘッド・コンソール：

1. プログラミング作業を**初めて**実施する前に、新車出荷時に設定されている標準コードを消去しなければなりません。

▷ 「プログラミングした信号をボタンから消去する」（92ページ）を参照してください。

2. インジケーター・ライト**A**がゆっくり点滅し始めるまで、オーバーヘッド・コンソールの希望のボタンを押し続けてください。
   ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
3. プログラミングする装置のリモート・コントロールを持って車両の前方に立ってください。

車両の前方：

4. 受信部（図57ページ92）から約20cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が3回点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライト**A** が素早く点滅し始めるまで、送信ボタンを押し続けてください（場合によっては約1分以上）。
   新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライト**A**が素早く点滅します。
   車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。
   システムによっては、装置のリモート・コントロールのインジケーター・ライトを消灯するときに、装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう1回押す必要があります。
5. 登録作業開始から5分が経過すると、方向指示灯が1回点滅します。
   手順2～4を繰り返してください。
6. その他のボタンにも信号を登録するには：
   手順2～4を繰り返してください。
7. ガレージ・ドア・オープナーのモーター・ユニットなど、プログラムする装置の受信機のプログラミング・ボタンの位置を特定してください。

システムを同期する

8. プログラムする装置の受信機のプログラミング・ボタンを押すか、別の人にボタンを押してもらってください。
   その後、約30秒以内（装置によって異なる）に次の手順に進んでください（通常、モーター・ユニットの設定インジケーターが点灯します）。
9. 手順2で選択したオーバーヘッド・コンソールのボタンを3回押してください（装置によっては、登録を完了するまでにボタンを数回押さなければならない場合があります。）
   ▸ 上記の手順2～9を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。

プログラミングが完了した後、メモリー・ボタンを押すと速やかにホームリンク®信号を認識して起動することを確認してください。

キーパッドの各ボタンへの再プログラミング

ホームリンク®ボタンは、残りのボタンの登録を消去せずに個別に再プログラミングすることができます。

オーバーヘッド・コンソール：

1. インジケーター・ライト**A**がゆっくり点滅し始めるまで、オーバーヘッド・コンソールの希望のボタンを押し続けてください。
   ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
2. プログラミングする装置のリモート・コントロールを持って車両の前方に立ってください。

車両の前方：

3. 受信部（図57ページ92）から約20cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が3回点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライト**A** が素早く点滅し始めるまで、送信ボタンを押し続けてください（場合によっては約1分以上）。
   新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライト**A**が素早く点滅します。
   車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。
   システムによっては、装置のリモート・コントロールのインジケーター・ライトを消灯するときに、装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう1回押す必要があります。
4. 登録作業開始から5分が経過すると、方向指示灯が1回点滅します。
   手順2～3を繰り返してください。
5. その他のボタンにも信号を登録するには：
   手順2～3を繰り返してください。

インフォメーション

本書の手順、および各装置のリモート・コントロール取扱説明書の記述に従って慎重に登録作業を行ってもボタンに信号を登録できない場合は：

▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。
▸ ガレージ・ドア・オープナーのリモート・コントロールに新品の電池が入っていることを確認してください。電池が弱っていると、信号の送信不良が生じることがあります。その結果、ガレージ・ドア・オープン機構が正しく認識できない誤ったコードが登録されます。

キー

キーを使用する場合

図58: キー

A ロック解除
B ロックする
C リヤ・リッドを開く、および車両をロック解除する

キーには常にエマージェンシー・キーが内蔵されています。これらのキーを使用して、車両のすべてのロックを操作できます。

- キーの取り扱いには細心の注意を払ってください：特別な状況を除いて、キーを放置しないでください。
- わずかな時間でも車両から離れるときは、キーを抜き取り、携行してください。
- キーを車内に残さないでください。

エマージェンシー・キーを使用する場合

エマージェンシー・キーを取り外す

図59: エマージェンシー・キーを取り外す

1. リリース・ボタンを横に押してください（図59）。
2. エマージェンシー・キーを抜き取ってください。

エマージェンシー・キーを収納する

- リリース・ボタンのロック音が聞こえるまで、エマージェンシー・キーを押し込んでください。

キーの電池交換

キーの電池が弱まり交換が必要になると、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

インフォメーション

- 電池の廃棄に関する指示を遵守してください。

図60: 電池の交換

電池の交換（CR 2032、3V）

1. エマージェンシー・キーを取り出してください。
2. 適切な物（エマージェンシー・キーなど）を使用して、キー・ハウジング背面のカバーを持ち上げてください。
3. 電池を交換してください（電極の向きに注意してください）。
4. カバーを元通りにして、しっかりとはめ合わせてください。
5. エマージェンシー・キーを元に戻してください。

キー /コントロール・ユニットの緊急ロック解除

車両のバッテリーが上がった場合、キーを抜き取るには、緊急解除を行う必要があります。
車両とキーの電波通信が混信したときや、キーのバッテリー残量が低下すると、ポルシェ・エントリー＆ドライブが正常に機能しなくなります。
このような場合、イグニッション・ロックからコントロール・ユニットを取り外し、キーで車両を始動することができます。

図61: メタル・フックの取り外し

1. 運転席側のヒューズ・ボックス・カバーをスクリュードライバーで慎重にこじ開け、取り外してください。
2. ヒューズ・ボックス・カバーの裏に収納してあるメタル・フック**A**を取り出してください。

図62: イグニッション・ロックからのプラスチック・カバーの取り外し

3. 金属製フック**A**を使用して、イグニッション・ロックのプラスチック・カバー **B** を取り外してください。
4. 取り外したプラスチック・カバー **B** は紛失しないように十分注意してください。

図63: 緊急ロック解除

5. コントロール・ユニット / キーをイグニッション・ロック位置**0**（初期位置）に回してください。
6. 金属製フック**A**を開口部**C**に
キー/コントロール・ユニットの解除音が聞こえます。
7. 初期位置**0**でコントロール・ユニット/キーを取り外してください。
8. プラスチック・カバー **B** を元の位置に取り付けてください。

スペア・キーの注文と登録

車両のスペア・キーは、ポルシェ正規販売店のみでお求めいただくことができます。新しいキーを注文してからお手元に届くまでには大変時間がかかる場合がございます。

- いつでもスペア・キーを使えるように、あらかじめご用意いただくことを推奨いたします。
- スペア・キーは安全な場所に保管し、決して車内や車両の近くには置かないでください。

新しいキーを車両に登録するには：

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- 車両のすべてのキーを再登録してください。

インフォメーション

最大で8本のキーを登録することができます。

インフォメーション

- キーを紛失した場合または盗難にあった場合は、ポルシェ正規販売店でこのキーを無効にし、必要に応じてメカニカル・ロックを交換してください。
- キーを紛失したり盗難にあったとき、またはスペア・キーを追加したり交換したときは、ご契約の損害保険会社に連絡してください。

給油

⚠ 警告 給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。

- 燃料を取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。

⚠ 警告 燃料蒸発ガスの吸引、および燃料の皮膚への付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

インフォメーション

場合により燃料に硫黄が多く含まれることがあります。このため、エンジンで燃焼する際に特定の運転条件下で不快な臭い（いわゆる腐った卵の匂い）が発生する可能性があります。ポルシェ社にはこの特性に対する責任はなく、車の故障を示すものではありません。

イグニッションがONのとき、インストルメント・パネルに燃料の残量が表示されます。

▷ 「L – 燃料計」（48ページ）を参照してください。

タンク内の燃料残量が一定量（モデルによって異なる）を下回り、イグニッションがON、またはエンジンが作動している場合、マルチファンクション・ディスプレイの警告灯 が点灯します。

- 最寄りの給油所で給油してください。

▷ 「充填容量」（377ページ）を参照してください。

適切な燃料の選択

知識

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料系統、およびエキゾースト・システムを損傷する恐れがあります。

- 下記の仕様に準拠する燃料のみを使用してください。
- メタノールを含む燃料を使用**しないでください**。

インフォメーション

通常、燃料のオクタン価に関する情報は、ガソリン・スタンドの給油機に掲載されています。ガソリン・スタンドのスタッフからも情報が得られます。

エンジンは**金属系添加物を含まない無鉛プレミアム・ガソリン**を使用した場合に最適に作動するよう設計されています。

モデル	推奨燃料	代替燃料
	最低オクタン価：	
カイエン、Cayenne S、カイエンGTS、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S	98 RON/88 MON	95 RON/85 MON
Cayenne S Eハイブリッド	95 RON/85 MON	

この車両のエンジンはエタノール含有量10％以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。

インフォメーション

推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置としてオクタン価**91 RON/82.5 MON**の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- オクタン価が**91 RON/82.5 MON以上**の**金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用してください。
- オクタン価が91 RON/82.5 MONの無鉛ガソリンを使用した場合は、フルスロットルで走行**しないで**ください。

オクタン価の低い燃料と添加剤の使用

知識

ポルシェ社が承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾースト・システムに損傷を与える恐れがあります。

- ポルシェ社が承認した添加剤のみを使用してください。
- 給油前に添加剤を投入してください。

地域によっては、燃料の析出挙動がポルシェ社の基準を満たしていないことがあります。ポルシェ社の基準を満たす燃料を入手できない場合は、推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ポルシェ部品番号：000 043 206 89

- 混合比率は、添加剤に付属の取扱説明書に従ってください。

定期点検時期（サービス・インターバル）、特にオイル交換時期を遵守してください。

燃料の給油

インフォメーション

デコラティブ・フィルムに燃料が付着すると、フィルムが色褪せる原因になります。

▸ デコラティブ・フィルムに燃料が付着したときは、直ちに拭き取ってください。

図64: フィラー・フラップのリリース、カイエン S E-ハイブリッド

図65: フィラー・フラップを開く

図66: タンク・キャップを開く

✓ エンジンを停止する
✓ イグニッションをOFFにする
✓ 車両をロック解除する

1. カイエンS Eハイブリッドのみ:運転席ドアのフィラー・フラップ・リリース・ボタンを押してください(図64)。
2. フィラー・フラップの後部（図65）を押すと、フラップが開きます。
   この車両に使用できる燃料の種類については、フィラー・フラップの裏のステッカーに明示されています。
3. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
4. 取り外したキャップをホルダー（図66）にかけてください。
5. 給油ノズルは確実にフィラーの奥まで差し込み、注入時はノズルを下に向けて給油してください。
6. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けないでください。無理に給油すると、タンクの燃料が吹き返したり、燃料が温まったときにあふれ出したりすることがあります。

▷ 「充填容量」（377ページ）を参照してください。

7. 給油後は直ちにキャップを取り付けて、ロック音と手ごたえを感じるまで、しっかりと締め込んでください。
8. フィラー・フラップを閉じてフィラー・フラップの後部（矢印）を押し、しっかりと閉じてください。

インフォメーション

燃料タンクの給油キャップを紛失したときは、必ずポルシェ純正部品を使用してください。

フィラー・フラップの緊急操作

図67: フィラー・フラップの緊急操作

フィラー・フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手動でフィラー・フラップを開くことができます。

1. 右側ラゲッジ・コンパートメント・トリム・パネルを慎重に取り外してください。
2. 緊急解除・ストラップを引いてください。フィラー・フラップが開きます。

クーラント（冷却水）

⚠ 警告 エンジン・コンパートメント・ブロワーおよびエンジン周りの可動部品

エンジン・コンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、または長い髪などが可動部品（エンジン・コンパートメント・ブロワーまたはドライブ・ベルトなど）に引き込まれる恐れがあります。エンジン・コンパートメント・ブロワーはエンジン・コンパートメント・リッドの下に取り付けられています。エンジンのスイッチがOFFになった後でも、エンジン・コンパートメントの温度がまだモニターされます。この間は、温度に応じてエンジン・コンパートメント・ブロワが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- この付近で作業する場合は、エンジンをOFFにして身体の一部、衣服の一部、または装飾類がラジエーター・ファン、エンジン・コンパートメント・ブロワー、ドライブ・ベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

知識

警告シンボルが表示された後も走行を続けると、エンジンを損傷する恐れがあります。

- 車両を停車してください。
- クーラント・レベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けないでください。
- ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン・クーラントには年間を通じた腐食防止と、–37°Cまでの凍結防止の働きがあります。クーラント・レベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

- ポルシェ社が認証した凍結防止剤のみを使用してください。

ポルシェでは、Glysantin® G40®、またはその代わりにG12++/VW TL 774-Gに従った凍結防止剤を使用することを推奨します。

警告シンボルへの対応

冷却水温度が高温になりすぎると、マルチファンクション・ディスプレイにシンボル が表示されます。 シンボルが表示されたら、クーラント・レベルが低すぎます。

- エンジンをOFFにして冷やしてください。
- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

クーラント・レベルの点検と補充

図68: クーラント・リザーバー・タンク

図69: 2番目の冷却システム、カイエンS E-ハイブリッド

⚠ 警告 高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト・システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント・タンクには圧力がかかっています。クーラント・タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▸ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▸ エンジン・コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▸ エンジン・コンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▸ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。
- ▸ エンジンが熱いときは、クーラント・リザーバー・タンクのキャップを**開かない**でください。水温計の表示が60 °Cを下回るまで待ってください。
- ▷ 「E – 水温計」（47ページ）を参照してください。

✓ 車両を平坦な場所に駐車する

✓ エンジンが冷たく、クーラントの温度ゲージが60°C以下になっています。

1. クーラント・レベルを読み取ってください。クーラントレベルは常に MIN マーク **A** および **B** の間に維持されなければなりません。
2. クーラント・レベルがMINマーク **B**, より下にある場合はクーラントを補充してください。
3. 慎重にクーラント・リザーバー・タンクのキャップを開き（図68）、内部の圧力を逃がしてください。
4. 圧力が完全に抜けてから、キャップを完全に取り外してください。
5. クーラントを補充してください不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。**A**マークを超えないように補充してください。
6. リザーバー・タンクのキャップがしっかりとロックするまでねじ込んでください。
7. 冷却システムを点検してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。

クーラントの減りが著しい場合は、冷却システムに漏れが発生しています。

- ▸ 早急に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

クルーズ・コントロール

クルーズ・コントロールを使用すると、約30～240km/hの範囲でアクセル･ペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

図70: クルーズ・コントロール操作レバー

A クルーズ・コントロールのON/OFF
1 設定/希望する速度を上げる
2 設定速度を下げる
3 クルーズ・コントロールの中断(OFF)
4 保存した速度の再開(RESUME)

インフォメーション

アクティブ・ブレーキ機能は、特に下り坂などで設定速度を維持するため、自動的に作動します。

警告 危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により十分な距離と一定の速度での走行に適さない場合、クルーズ・コントロールの使用が事故の原因となる場合があります。

- 激しい渋滞、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）でクルーズ・コントロールを使用しないでください。

クルーズ・コントロールON（スタンバイ）

- クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**A**を押してください。

クルーズ・コントロールON
マルチファンクション・ディスプレイのグレーのアイコンは使用可能状態を示します。

速度の設定（維持）

1. アクセル・ペダルの操作で希望する速度まで加減速してください。
2. ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方（**1**の位置）に押してください。

設定速度
オレンジ色に変わったクルーズ・コントロール・アイコンの下に走行中の速度が表示され、自動的に維持されます。

速度の変更

- 速度を上げる場合は、ステアリング・ホイールの操作レバーを前方に押します（図70, **1**）。
  短く押す = 1 km/h、
  長く押す = 10 km/h
- 速度を落とす場合は、ステアリング･ホイール側に操作レバーを引きます（図70, **2**）。
  短く引く = 1 km/h、
  引き続ける = 10 km/h
  新しく設定した速度がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

インフォメーション

通常走行と同じようにアクセル･ペダルを踏むと加速します。これにより保存された速度は変更されません。アクセルを緩めると保存した速度に戻ります。

クルーズ・コントロールの中断(OFF)

クルーズ・コントロールを中断したときは、直前の設定速度が保存され、クルーズ・コントロール操作レバーを押すと設定速度を呼び出すことができます。

▷ 「クルーズ・コントロールの再開(RESUME)」（103ページ）を参照してください。

- コントロール操作レバーを下に押してください（図70ページ102, **3**）。
  または
- ブレーキを 踏みます
  または
- セレクター･レバーを **N** 位置に動かします。

次のような状況では、クルーズ・コントロールは自動的に中断されます。

- 設定速度より約25km/hを超える速度で、20秒以上走行した場合
- 上り坂などで、設定速度より約60km/h以上遅い速度で60秒以上走行した場合
- ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)が0.5秒以上作動した場合

クルーズ・コントロールの再開(RESUME)

▸ 操作レバーを上に押してください(図70ページ102, **4**)。
設定速度に加減速します。

クルーズ・コントロールOFF

▸ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**A**を押してください。
設定速度が消去され、シンボルマークが消灯します。

インフォメーション

イグニッションをOFFにすると保存した速度が消去されます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A–Z

警告およびインフォメーション・メッセージ

警告メッセージが表示されたときは、本書の該当する章を必ずお読みください。
一部の警告灯には、点灯すると警報も同時に鳴るものがあります。
すべての前提条件が満たされた場合にのみ、警告シンボルが表示されます。そのため、すべてのフルード・レベルは定期的に点検してください。

警告と情報メッセージの分類

赤色 システムの故障または警告

黄色 故障、システム故障、情報、または指示

白色 故障、システム故障、情報、または指示

安全

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
点灯		**安全ベルトを装着します**	1つまたは複数のシート・ベルトが装着されていません。 ▶ すべての乗員がシート・ベルトを装着していることを確認してください。
		助手席エアバッグON/OFF	助手席エアバッグがONまたはOFFです。
		エアバッグ故障警告 修理必要	エアバッグ警告灯が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
		コショウ ドアハサミコミボウシキノウ	リヤ・ドア用チャイルド・ロックが故障しています。 ▶ チャイルド・ロックをOFFにしてから再度ONにしてください。 ▶ 故障が継続する場合、ポルシェ正規販売店で修理してください。 *
		ステアリングを解除します	ステアリング・ロックに大きく負荷がかかっています。 継続走行可能です。 ▶ ステアリング・ホイールを左右に回して、ステアリング・ロックを解除してください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	コショウ ステアリング ロック	ステアリング・ロックの故障 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	完了するとハンドルがロックされます	ステアリング・ロックが作動していません。 ▶ ステアリング・ホイールをロックするには、車両をロックしてください。
	パワー・アシスト機能の不具合 増加するステアリング力 走行継続可能	パワー・ステアリングは利用できません。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ステアリング・アシストの制限 販売店へ 走行継続可能	パワー・ステアリングが一時的に制限されます。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ステアリングフルード ホジュウ ウンテンカノウ	PDCC装備車：パワー・ステアリング・フルード・レベルが低すぎます。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯	ブレーキ液レベル 安全な場所に停車して下さい	ブレーキ液レベルが低すぎます。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯	ブレーキリョク ハイブンコショウ アンゼンニ テイシャスル	制動力配分に故障があります。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯	ABS/PSM故障 運転可能速度注意	ABSまたはポルシェ・スタビリティ・マネージメントシステム(PSM)に故障があります。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A–Z

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
		摩耗限度 ブレーキ・パッド 運転可能	ブレーキパッドが摩耗しています。 ▸ 直ちにブレーキ・パッドを交換してください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅		**緊急ブレ ーキ**	エレクトリック・パーキング・ブレーキの緊急ブレーキ機能が作動中です。 緊急ブレーキの後、シンボルは消灯します。
点灯		**パーキング・ブレーキの故障 運転可能**	パーキング・ブレーキに故障があります。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		パーキングブレーキサービス モード	パーキング・ブレーキがサービス・モードになっています。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅		**パーキングブレーキ解除**	パーキング・ブレーキが作動しています。 ▸ エレクトリック・パーキング・ブレーキのスイッチを引いてください。 ▷ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」(262ページ) を参照してください。
点灯		**ブレーキを踏みます**	パーキング・ブレーキが作動しています。 ▸ エレクトリック・パーキング・ブレーキを解除するときは、ブレーキ・ペダルを踏んでください。
		レイン / ライトセンサー故障 修理の必要	雨/光センサーが故障しています。 ▸ フロント・ワイパーおよびライトを手動でONにしてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅		**コーナリング・ライト故障 修理の必要**	コーナリング・ライトが故障しています。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅		**左/右コーナリング・ ライト故障 修理の必要**	報告されたコーナリング・ライトが故障しています。 ▸ 該当するライトを点検してください。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**ヘッドライト セイギョコショウ シュウリヒツヨウ**	ドライビング・ライト制御が故障しています。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
点滅		**ヘッド・ライト制御故障 修理必要**	ヘッドライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		例： 点検左・フロント・ インジケーター	インジケーター・ライトが故障しています。 ▶ 該当するライトを点検してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ハイ・ビーム・ アシスタント利用不可 ハイ・ビーム手動操作	フル・ビーム・アシストが一時的に利用できません。 ▶ ハイビームを手動で点灯してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ハイビーム・アシストOFF カメラ画像なし 必要に応じて清掃	カメラが故障しているため、ハイ・ビーム・アシスタントが一時的に使用できなくなっています。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		PDLS+は現在 制限されています、 カメラ画像なし 必要に応じて、ウィンドスクリーンを閉じてください	PDLS+がカメラ故障のために一時的に利用できなくなっています。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		PDLS+故障 ハイ・ビーム手動操作 要修理	ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス（PDLSプラス）が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		サイドマーカーランプ 点灯	ドライビング・ライトまたはパーキング・ライトが点灯しています。
		パーキングライトON	パーキングライトON
		ヘッドライトビーム チョウセイ コショウ シュウリヒツヨウ	ヘッドライトレベリング制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた速度で運転してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	ワイパー故障 販売店へ	ワイパーが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯	タイヤ要点検	1つまたは複数のタイヤに著しい空気圧の低下があります。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 ▷ 「タイヤ損傷の点検」（177ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。 ▷ 「パンクしたとき」（248ページ）を参照してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 「タイヤ空気の充填」（175ページ）を参照してください。
点灯	エアホジュウ	1つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 「タイヤ空気の充填」（175ページ）を参照してください。
点滅または点灯	タイヤクウキアツ モニターコショウ シュウリヒツヨウ	タイヤ空気圧モニタリング・システム（TPM）が故障しています。タイヤ空気圧は監視されません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅または点灯	タイヤ モニターサドウセズ イチジテキ	タイヤ空気圧モニタリング・システム(TPM)に一時的な故障が発生しています。タイヤ空気圧は監視されません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅または点灯	No monitoring System learning above 25km/h （モニターシステムは25km/h以上でないと学習しません）	タイヤ空気圧モニタリング・システム（TPM）がタイヤの登録を完了するまでには一定の時間が必要です。 このプロセスを実行中は、マルチファンクション・ディスプレイに現在のタイヤ空気圧が表示されません。 ▶ 後ほどタイヤ空気圧モニタリングを再実行してください。
点滅または点灯	タイヤヘンコウ？ サイセッテイヲシテクダサイ	タイヤを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。 ▶ マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ設定を更新してください。 ▷ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」（304ページ）を参照してください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	オイルカゲンイカ タダチニホジュウ ウンテンフカ	オイル・レベルが最低値を下回わりました。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けないでください。 ▶ マルチファンクション・ディスプレイ上でオイル測定を選択してください： ▷「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」(303ページ) を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 ▷「エンジン・オイルの選択と補充」(71ページ) を参照してください。 ▶ オイル・レベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示されるときは、運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	オイル・レベル上限 販売店へ 走行継続可能	オイル・レベルが最大値を超過しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	オイルレベル ソクテイコショウ ハンバイテンへ ウンテンカノウ	オイル・レベル測定に故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	オイル・レベル下限に到達 オイル補充	オイル・レベルが最低値に達しました。 ▶ エンジン・オイルを補充してください。 ▷「エンジン・オイルの選択と補充」(71ページ) を参照してください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	ユアツヒクスギ アンゼンニテイシャスル	エンジン・オイル圧力が低すぎます。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。 ▶ マルチファンクション・ディスプレイ上でオイル測定を選択してください： ▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」(303ページ) を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 ▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」（71ページ）を参照してください。 ▶ オイル・レベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示されるときは、運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ユアツソクテイコショウ ウンテンカノウ ハンバイテンヘ	オイル圧力測定に故障があります。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	オイルオンドタカスギ フカヲサゲル	エンジン油温が高すぎます。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。エンジンをOFFにして冷やしてください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ マルチファンクション・ディスプレイ上でオイル測定を選択してください： ▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」(303ページ) を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 ▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」（71ページ）を参照してください。
	オイルオンド ヒョウジコショウ ウンテンカノウ ハンバイテンヘ	エンジン油温計が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
クーラント温度計の針が最高温度を指示し、クーラント温度計の警告灯が点滅します。		**クーラントを直ちに補充 運転不可**	クーラント・レベルが低すぎます。 ▶ 直ちに適切な場所に停車して下さい。エンジンをOFFにして冷やしてください。 ▶ クーラント・レベルを点検してください： ▷「クーラント（冷却水）」（100ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
クーラントまたはエンジン・オイルの温度表示が最高マーク		**エンジン高温 冷却のため停車する**	クーラント温度または油温が高すぎます。 ▶ 直ちに適切な場所に停車して下さい。エンジンをOFFにして冷やしてください。 ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。 ▶ クーラントおよびエンジン・オイルのレベルを点検してください： ▷「クーラント（冷却水）」（100ページ）を参照してください。 ▷「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」（303ページ）を参照してください。 ▶ 必要に応じてクーラントを補充してください。 ▷「クーラント・レベルの点検と 補充」（100ページ）を参照してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
水温計の警告灯が点滅します。		**クーラント オンドヒョウジコショウ ウンテンカノウ ハンバイテンヘ**	冷却水温度計が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		冷却フラップ故障 負荷を下げる 販売店へ	冷却フラップが故障です。 継続走行可能です。 ▶ 全負荷回避 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**エンジンパワー テイカ ウンテンカノウ ハンバイテンヘ**	エンジン出力が低下します。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A–Z

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
点灯		**エンジン制御故障 販売店へ 運転可能**	エンジン制御システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		故障エンジン制御	エンジン制御システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		エンジン シドウ	カイエン・ディーゼルおよびカイエンSディーゼル:グロー・プラグの予熱フェーズの中に、外気温度およびエンジン温度によって異なるメッセージが表示されます。エンジンが始動すると、メッセージは消えます。＊

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

車両

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	オルタネーターコショウ テイシャスル	オルタネーターが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	バッテリー放電 エンジンを始動し 長時間作動する	バッテリーの充電状態が低すぎます。 ▶ バッテリーを充電するため、エンジンを始動してください。
	バッテリデンアツ テイカ デンソウヒンシヨウフカ	バッテリーの充電状態が低すぎます。 バッテリーの放電を防ぐため、コンフォート機能への電源供給が停止されます。 継続走行可能です。
	停車中にバッテリー 保護が有効でした	バッテリー保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、停車時に電装品の作動が停止されました。 継続走行可能です。
	バッテリー要充電	バッテリーの充電状態が低すぎます。 ▶ バッテリーを充電してください。 ▷ 「バッテリーの充電」（246ページ）を参照してください。
	スタート/ストップシヨウフカ	スタート/ストップ機能が利用できません。
	エンジンを手動で 始動してください	▶ イグニッションを使用して、手動でエンジンを始動してください。
	イグニッションOFFニスル	バッテリー上がりを防止してください。 ▶ エンジンが自動停止した後、車両から離れるときはイグニッションを OFF にしてください。
	ブースト圧表示故障 修理必要	ブースト圧計（過給圧計）に不具合があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
		選択レバーをP位置にします	イグニッション・キーを抜き取るときや駐車する場合は、セレクター・レバーを P の位置にしてください。 ▶ セレクター・レバーを P位置へ操作してください。
セレクター・レバー・ポジション・ディスプレイが点滅		**ギヤセレクターを正しい位置にシフトしてください**	セレクター・レバーが2つのポジションの間にある可能性があります。 ▶ セレクター・レバーを正しい位置にシフトしてください。
		選択レバーをP位置またはN位置にします	セレクター・レバーがPまたはNの位置にあるときのみ車両を始動することができます。 ▶ セレクター・レバーを P または N位置へ操作してください。
		ブレーキを踏みます	ブレーキ・ペダルが踏まれているときのみ始動可能です。 ▶ 始動時はフットブレーキを踏んでください。
セレクター・レバー・ポジション・ディスプレイが点滅		**トランスミッション故障 安全に停車する**	トランスミッションが故障しています。 次に停車するまでは走行が可能です。 走行を続けないでください。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ▷ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」（128 ページ）を参照してください。
		ギヤボックス・オーバーヒート 冷却のため停車する	トランスミッションの温度が高すぎます。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。トランスミッションを冷やしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
セレクター・レバー・ポジション・ディスプレイが点滅		**トランスミッション故障 Rギヤ使用不可 運転可能**	トランスミッションが故障しています。 リバース・ギヤに入らないことがあります。 スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	T/M温度高過ぎ 負荷を下げる	トランスミッションの温度が高すぎます。 継続走行可能です。車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ エンジンにかかる負荷を小さくしてください。 ▶ アクセル・ペダルで車両を保持せず、ブレーキを使用してください。 ▶ 警告が消えるまでセレクター・レバーを**P**または**N**の位置にしてエンジンをアイドリングさせてください。
	DPF再生 ドライバーズ・ マニュアル参照	ディーゼル・パティキュレート・フィルターがすすでいっぱいです。 ▶ フィルターを自動清掃するためのドライビング・スタイルで運転してください。約15分間、60km/h以上の速度と2,000rpm以上のエンジン回転数を維持して走行してください。法定速度を遵守してください。＊ ▶ 警告メッセージが消えない場合、ポルシェ正規販売店で修理してください。*
	VTSユウコウ コードイレテ カクテイスル	ポルシェ車両追跡システム(PVTS)が作動しています。＊ ▶ PVTS（ポルシェ車両追跡システム）を停止するには、リモート・キーパッドの数字キーを使用してコードを入力し、決定します。
	VTS有効 X分以内にコード入力	ポルシェ車両追跡システム(PVTS)が作動しています。＊ ▶ PVTS（ポルシェ車両追跡システム）を停止するには、リモート・キーパッドの数字キーを使用してコードを入力し、決定します。
	キーパッドを抜く 電池放電 交換必要	リモート・キーパッドの電池が消耗しています。＊ ▶ 電池を交換してください。
	盗難行為検出 VTSアラーム作動	盗難未遂が検出されました。＊ ▶ コントロール・センターに連絡してください。
	緊急電話作動	車両からの緊急電話がコントロール・センターで確認されました（スマートフォン・アプリ・ポルシェ・カー・コネクト用）。＊

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
		ドライバーカード認識不可	ドライバー・カードが検出されません。 ▶ キーを使用してドライバー・カードを再度作動してください。 ▶ 必要に応じてコントロール・センターにご相談ください。＊
		ドライバー・カード 電池放電 交換必要	▶ バッテリー電圧が低すぎます。ドライバー・カード・バッテリーを交換してください。＊
		車両リヤ下げています	車両の後部を下げています。終端位置に達するとメッセージは消えます。
		シャリョウリヤ サゲラレマセン	車両の後部を下げることができません。 ▶ すべてのドアを閉じ、リヤ・リッドを開いてください。
		シャーシシステムコショウ ウンテンカノウ ソクドチュウイ	サスペンション・システムが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出ます。 ▶ 状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		サンルーフカンゼンニトジル	サンルーフが閉じていません ▶ スライディング・ルーフを完全に閉じてください。
		例： xxx kmでのメンテナンス	サービス・インジケーター ▶ 表示されている距離/期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。
燃料計の警告灯が点灯		走行可能距離注意	燃料タンクが空です。 ▶ 最寄りの給油所で給油してください。 ▷ 「給油」（97ページ）を参照してください。
		故障燃料計 修理が必要です	燃料計が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		フューエルタンク キャップテンケン	タンク・キャップが完全に閉じていません。 ▶ 燃料給油口のキャップを正しく取り付け、確実に閉じてください。 ▷ 「給油」（97ページ）を参照してください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
		エンジンシドウフカ AdBlueホジュウ	AdBlue® レベルが低すぎます。エンジン始動不可 ▶ 直ちにAdBlue®を補充してください。＊
		AdBlueホジュウ シドウフノウ – XXXkm	AdBlue® レベルが低すぎます。AdBlue® を補充するまで、エンジンを始動できません。 ▶ 表示の距離内でAdBlue®を補充してください。＊
		AdBlueホジュウ レンジ：XXXkm	AdBlue® を補充するまで、エンジンを始動できません。 ▶ 表示の距離内でAdBlue®を補充してください。＊
		AdBlueフリョウ エンジンシドウフカ	AdBlue® システムが故障しています。エンジン始動不可 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		AdBlueフリョウ シドウフノウ – XXXkm	AdBlue® システムが故障しています。故障が修理されるまで、エンジンを始動できません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		洗浄水を補充します	ウォッシャー液が空です。 ▶ ウォッシャー液を補充してください。 ▷ 「ウォッシャー液」（55ページ）を参照してください。
		コショウ ポルシェエントリ&ドライブ	故障 ポルシェ エントリ& ドライブ ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		キーが見つからない/ 障害キーの位置を 変更してください	ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車 キー位置が正しくありません。 ▶ キーを携行するか、キー位置を変更してください。
		ラゲッジルームからキーを取り出します	ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車 キーがラゲッジ・コンパートメント内にあります。 ▶ キーをラゲッジ・コンパートメントから取り出してください。
		車両キー内のバッテリーを 交換します	キーの電池が消耗しています。 ▶ 電池を交換してください。 ▷ 「キーの電池交換」（94ページ）を参照してください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	車両キー内のバッテリーを交換します	キーの電池が消耗しています。 ▶ 電池を交換してください。 ▷ 「キーの電池交換」（94ページ）を参照してください。
	IGNキーヌキトル	▶ イグニッション・キーを抜き取ってください。
	パネル:回転 左、取り外し、イグニッション・キーを挿入	ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車 キーが車両内で認識されない場合、イグニッションをONにすることができません。またエンジンを始動することもできません。 ▶ コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置0に戻し、イグニッション・ロックから取り外してください。 ▶ キーを使用してイグニッションを ON にしてください（エマージェンシー・キーは除く）。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ドライビング・システム

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
点灯		**PSMシステム故障 安全な場所に停車して下さい**	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)システムが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		PSMコショウ ハンバイテンヘ ウンテンカノウ ソクドチュウイ	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**PSM故障 販売店へ 運転可能、速度注意**	ポルシェ・スタビリティ・マネージメントが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
OFF		**PSM OFF**	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)がOFFになっています。
		PSM ON	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)がONになっています。
点滅 OFF		**PSMが診断モードです**	ポルシェ・スタビリティー・マネージメント(PSM)が診断モードです。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
		PASM故障 PSM ON 運転可能、速度注意	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		PDCC故障 PSM ON 運転可能、速度注意	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ロールモード作動	ロール・モードがONになっています。
		4WDシステム過負荷 後輪のみ駆動 負荷を下げる	ポルシェ・トラクション・マネージメント(PTM)の負荷が過大です。 ▶ 負荷を小さくしてください。
		4WDシステム故障 PSM ON 運転可能、速度注意	ポルシェ・トラクション・マネージメントの負荷が過大です。 ▶ 負荷を小さくしてください。 ▶ 状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ▶ 故障が継続する場合、ポルシェ正規販売店で修理してください。*
		シャーシ・システム故障 安全に停車する	サスペンション・システムが故障しています。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		シャーシシステムコショウ ウンテンカノウソクドチュウイ	サスペンション・システムが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出ます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		4WDシステム故障 運転可能、速度注意	ポルシェ・トラクション・マネージメント(PTM)が故障しています。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
		4WDシステムカフカ コウリンノミクドウ フカヲサゲル	ポルシェ・トラクション・マネージメント(PTM)に一時的な不具合が発生しています。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		センターデフ ロックON/OFF	センターデフロックON/OFF
		リア ディファレンシャル ロックON/OFF	リヤ・ディファレンシャル・ロックのON/OFF
		リヤデフロックコショウ ウンテンカノウ	ポルシェ・トラクション・マネージメント(PTM)が故障しています。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		速度下げる	オフロード走行プログラムは約30km/h以下の速度で使用できます。 ▶ 速度を落としてください。
		オンドゲンカイ 4WDシステム フカヲサゲル	ポルシェ・トラクション・マネージメント(PTM)の負荷が過大です。 ▶ 負荷を小さくしてください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		オフロード機能作動時は、 スポーツ・モードは無効です	▶ スポーツ・モードをONにするためにオフロード・モードをOFFにしてください。 ▷ 「オフロード・モード」（88ページ）を参照してください。
		スポーツモード使用不可	スポーツ・モードが一時的に使用できません。
		パフォーマンス スタート作動	パフォーマンス・スタートが作動しています。 最大加速での発進が実行されます。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
		アシスト・システム / カメラ使用不可 修理必要	アシスタンス・システムまたは車両カメラが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		フロントカメラセイゲン ガラスセイソウ	アシスタンス・システムまたはカメラが天候状態やウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		システム故障 運転可能 販売店へ	複数の電気系統のシステムが故障している可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		コショウメーターパネル パークアシスト・サウンド 修理の必要	警告音およびパーキング・アシスタントなどの距離信号が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		故障リヤ パークアシスト・サウンド 修理必要	警告音およびパーキング・アシスタントの距離信号が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		車間距離 ブレーキを操作	前走車との車間距離が十分ではありません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 先行車両との車間距離を大きくしてください。
		故障 パーキング・アシスタント	パークアシストが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ACC/PASシヨウフカ センサーヨゴレ セイソウスル	車両前部のセンサーの汚れまたは天候によってアダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)が悪影響を受けている可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ センサーの清掃が必要な場合があります。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
		ACC使用不可 ヒル・コントロール作動	ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)が作動中またはスタンバイ状態になっています。
		ACC/PAS使用不可 要修理	アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		クルーズ・コントロール 使用不可 セレクター・レバー D/Mへ	アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)はセレクター・レバー・ポジション **D** または **M**でのみ利用可能です。 ▶ セレクター・レバーをD位置またはM位置に入れてください。
		ACC使用不可	ブレーキが過熱しているなどの状況にあるとき、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)は利用できません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ACC使用不可 パーキングブレーキ解除	エレクトリック・パーキング・ブレーキが作動したため、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の制御が中断されました。
		速度制限ディスプレイれは現在 制限されています、 カメラ画像なし 必要に応じて、ウィンドスクリーンを閉じてください	悪天候またはフロント・ウィンドウの汚れにより、制限速度表示が一時的に利用できなくなっています。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ソクドセイゲンinfo ゲンザイセイゲンチュウ	ナビゲーション・データを一時的に受信できなくなっています。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ソクドセイゲンinfo ゲンザイムコウ	一時的にカメラ画像を評価できなくなっています。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		セイゲンソクド ヒョウジコショウ シュウリヒツヨウ	カメラまたはナビゲーション・システムに故障があります。＊ ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	レーン・アシスト現在使用不可	レーン・チェンジ・アシスト(LCA)が天候状態や粉塵により一時的に利用できなくなっています。 ▶ ボタンを押してLCAを再作動させてください。
	レーン・アシスト現在使用不可 修理必要	レーン・チェンジ・アシスト(LCA)が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	レーン・アシスト センサー汚れ リヤ・バンパー清掃	レーン・チェンジ・アシスト(LCA)センサーがキャリア、ステッカー、汚れまたは氷結などにより阻害されています。 ▶ 原因を取り除き、 ▶ ボタンを押してLCAを再作動させてください。
	レーンアシスト トレーラーモードシヨウフカ	けん引しているときはレーン・チェンジ・アシスト(LCA)を使用できません。
	シャセンケイコク ゲンザイセイゲン カメラガゾウナシ ガラスセイソウ	車線逸脱警告が天候状態やフロント・ウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	車線逸脱警告 現在使用不可	車線逸脱警告が一時的に制限されています。
	シャセンケイコクコショウ シュウリヒツヨウ	車線逸脱警告システムが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	安全に停車する トレーラ・ヒッチロックする	電動格納式トレーラー・ヒッチのボール・ヒッチが固定位置にありません。 ▶ 適切な場所に停車して下さい。 ▶ ボール・ヒッチが固定位置に来るまでボタンを押してください。 ▷ 「トレーラー・ヒッチ（トレーラー・カップリング）」（214ページ）を参照してください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ハイブリッド車

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	ハイブリッドシステム故障 安全に停車する	ハイブリッドシステム故障 ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 ▶ 走行を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ハイブリッドシステム故障 ハンバイテンヘ ウンテンカノウ	ハイブリッドシステ故障 ▶ 車両を充電しないでください。 ▶ 必要な場合は車両プラグを車両充電ポートから外し、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ジュウデンプラグ トリハズシテスタート	▶ 車両プラグを充電ポートから外し、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。
	キュウユノタメ タンクボタンヲオス	▶ フィラ —・フラップを開くため、運転席ドアのリリース・ボタンを押してください。
	キュウユジュンビ	給油の準備が整いました。 フィラー・フラップがロック解除され、持ち上がります。
	フューエルタンク キャップテンケン	▶ フィラー・フラップを閉じて下さい
	ネンリョウシステムコショウ ウンテンカノウ ハンバイテンヘ	エレクトリック・ロック解除ンシステムが故障しています。 ▶ フィラー・フラップを手動で解除してください（フィラー・フラップの緊急操作）。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A–Z

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
		キンキュウソウサ サイスタートゴニ ソウコウカノウ	燃料タンクが空です。 内燃エンジンは使用できません。 電気走行が可能です。 ▶ エンジンを再始動してください。
		キンキュウソウサ タダチニキュウユ キョリニチュウイ	燃料タンクが空です。 内燃エンジンは使用できません。 エレクトリック走行が可能です。
		Eサウンドコショウ ハンバイテンヘ ウンテンカノウ	▶ Eサウンドが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警報システム

警報システムは、次の警報接点を監視します：

- ドア、リヤ・リッド、ボンネット、およびヘッドライトの警報接点
- 室内モニタリング・システム：車両をロックした後の車内への侵入（例えばウィンドウを壊して車内に侵入したとき）
- 傾きセンサー（国固有の機器）：車両の傾き（例えば車両をけん引して盗難しようとしたとき）＊
- トレーラー・ヒッチ・ソケット（例えばトレーラー車両を不正に外そうとしたとき）

これらの警報の接点の1つが作動すると、警報信号が約30秒間鳴り、緊急フラッシャーが点灯します。

その後、5秒間警告が中断され、再度警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します（国により異なる）。

インフォメーション

国別の仕様によっては、キーをイグニッション・ロックから抜き取った場合は、最後のドアまたはリヤ・リッド/ボンネットを閉じてから30秒後に警報システムが自動的に作動します。車両をロックしていない場合も同様です。

室内モニタリング・システムおよび傾斜センサーが解除されます。ドアまたはリヤ・リッド/ボンネットを開くと、警報が作動します。

- 降車時は常に車両をロックしてください。
- ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

作動した警報システムを解除するには：

- ドアをロック解除する**または**イグニッションをONにしてください。

警報システムのON/OFFを切り替える

- 車両をロックすると、警報システムが作動します。
- 車両をロック解除すると、警報システムが解除されます。

インフォメーション

ドア・ロックの緊急キーで車両のロックを解除した場合、警報システムが作動しないよう、ドアを開けてから15秒以内にイグニッションのスイッチを入れる必要があります。

警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

作動した警報システムをOFFにする

- ロック解除
  または
  イグニッションをONにしてください。

室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー*をOFFにする

車内に人や動物を残して車両をロックするときや、鉄道または船舶などで車両を輸送する場合、室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊を一時的にOFFにする必要があります。

▷「キーによるドアのロック」（168ページ）を参照してください。

- ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

インフォメーション

室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊は、ロック解除後いずれのドアも開かず、30秒後に自動的にロックされた場合、OFFの状態を維持します。

機能表示

ポルシェ・エントリー & ドライブ非装備車の場合、セントラル・ロッキング・ボタンのライトの点滅速度のより車両のロック状態が示されます。ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車の場合、ドアのインジケーター・ライトの点滅速度により車両のロック状態が示されます。

警報システムを起動させたとき

車両がロックされているときインジケーター・ライトは高速で点滅し、その後通常モードでは点滅します。

警報システムを起動させたとき（室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊がOFFのとき）

車両をロックしている間インジケーター・ライトは高速で点滅し、10秒間消灯し、その後通常モードで点滅します。

セントラル・ロッキング・システムと警報システムの故障

インジケーター・ライトは10秒間点灯し、20秒間短く続けて2度点滅し、その後通常モードで点滅します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

けん引およびけん引によるエンジンの始動

インフォメーション

- けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- 車両をけん引するときは十分注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキやステアリング・コラム・ロックを解除するために外部電源の接続が必要なことがあります。

けん引ロープまたはけん引バーの使用

- けん引ロープ/けん引バーの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
- けん引ロープまたはけん引バーの許容けん引力を守ってください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
- ブレーキが故障した車両を**けん引しない**でください。

けん引ロープを使用する

- 車両をけん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープをけん引フックに取り付けてください。

▷「けん引フックの使用」(129ページ) を参照してください。

- けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

けん引バーを使用する

- けん引バーを斜め方向に**取り付けない**でください。

けん引または押しがけによる始動

- Tiptronic Sを搭載した車両は、引きがけまたは押しがけによっては始動が行えないだけでなく、トランスミッションに深刻な損傷をもたらす危険があるため、試みるべきでもありません。

けん引

⚠ 警告 パワー・アシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

けん引される車両のエンジンが停止している場合、ステアリング・アシストが働きません。ブレーキやステアリング操作に大きな力が必要となります。ステアリング操作およびブレーキ操作に大きな力が必要となります。

- 車両をけん引するときは十分注意してください。

車両をけん引する場合、この車両より車両重量の大きい車両はけん引しないでください。
エンジンが停止している場合、トランスミッション・オイルが循環しません。トランスミッションの損傷を回避するため、次の点に注意してください。
電気系統に故障がある場合は、セレクター・レバーを操作することができません。
P 位置のセレクタ・レバーのロックは手動で無効にできます:

▷「セレクター・レバーの緊急解除」(165ページ) を参照してください。

4WD/ポルシェ・トラクション・マネージメントシステム（PTM）に関する重要なインフォメーション：

- 車両は車両運搬車またはトレーラーで運送するか、地面に**4つの車輪**をすべて付けた状態でけん引する必要がありあます。1つの車軸で車両を持ち当てたりけん引することは許容**されません**（フロントとリアのいずれの車軸でも同様です）。

欠陥のあるまたは完全に放電されたバッテリーを搭載した車両に関する特別な注意

バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

▷「バッテリー」(244ページ) を参照してください。

▷「ジャンパー・ケーブルによる始動」(144ページ) を参照してください。

4輪でけん引するときの注意

- けん引される車はイグニッション・スイッチをONにして、ブレーキ・ライトや方向指示灯が機能し、ステアリング・ロックが解除されるようにしてください。
- ポルシェ・エントリー & ドライブ装備車では、コントロール・ユニットをイグニッション・ロックから取り外して、キーを挿入してください。

けん引

- セレクタ・レバーを **N**位置に動かします。セレクター・レバーが**N**の位置にあり、ディスプレイ上でもセレクター・レバー位置が**N**になれば、車両をけん引できます。
- けん引されるときの速度は50km/h以下にしてください。けん引距離は50km以内にしてください。50kmを超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーで車両を輸送してください。

雪や砂などで立ち往生した車両の救援

- 車両を引き出す際には、常に細心の注意を払ってください。
- 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。
- 可能な限り、立ち往生した車両を進入したタイヤの軌跡に沿って元の方向に引き出してください。
- トレーラー車両を連結した状態でけん引しないでください。

けん引フックの使用

図71: リヤのけん引フック

図72: フロントのけん引フック

けん引フックの取り付け

けん引フックはツール・ボックスに保管されています。

▷ 「工具セットの取り外し」(332ページ) を参照してください。

1. 適切なプラスチック・カバーの下端を外れるまでバンパー内部に押し込むか、適切なツールを用いてプラスチック・カバーを慎重に外します。
2. プラスチック・カバーをバンパーから引き抜いて、そのままぶら下げておきます。
3. けん引フック**A**を反時計回りにいっぱいにねじ込み (逆ねじ)、手で締め付けてください。

けん引フックの取り外し

1. けん引フック**A**を時計方向に回して外してください (逆ねじ)。
2. 開口部の下端にプラスチック・カバーを差し込んでください
3. プラスチック・カバーを折り曲げて、バンパーにはめ込まれるまで端を押します。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

鉄道、船舶、積載車での輸送

- ロープ等で車両を固定するときは、ホイールのみで固定してください。
- 室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊を解除してください。

▷ 「室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー *をOFFにする」(127ページ) を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

故障診断用ソケット

故障診断用ソケット (**K** / （19ページ）) は、ポルシェ正規販売店で故障診断機器を接続するために使用されます。

⚠ 警告 車両エレクトリカル・システムへの不当な介入

外部装置（ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたす恐れがあります。

- 故障診断用ソケットに装置を接続しないでください。

⚠ 警告 運転席足元の装置のゆるみ/ケーブルの垂れ下がり

運転席足元で装置がゆるんでいたりケーブルが垂れ下がっていたりすると、減速時やコーナリング時にペダル周辺の作動スペースを遮ったり、ペダルの間に絡まったりする恐れがあります。

- 運転席の足元に装置やケーブルを置かないでください。

知識

イグニッションOFFの状態で故障診断用ソケットを使用して外部装置（ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど）を作動させると、バッテリーが上がる恐れがあります。車両を長期にわたって駐車したままにすると、バッテリーが完全に消耗し、損傷する（完全に上がる）可能性があります。

- 故障診断用ソケットに装置を接続しないでください。

コンパス＊

ダッシュボードにコンパスを表示する

図73: ダッシュボードのコンパス

走行中にコンパスの外側のリングが回転し、四方の基本的な方向とその中間の方向を確認することができます。

ディスプレイの中ほどには、標高(**A**)および気温(**B**)が表示されます。

コンパスの測定単位を変更できます。

▷ 「スピードメーターおよびコンパスの単位設定」（317ページ）を参照してください。

コンパス・ディスプレイの明るさを調節できます：

▷ 「インストルメント・ライトの明るさ調整」（45ページ）を参照してください。

コンパスの表示形式を切り替えることができます。

▷ 「ダッシュボードのコンパス・ディスプレイを設定する」（314ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

サン・バイザー

サン・バイザーの調節

図74: サン・バイザーの調節

- サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。

図75: 左右方向からの眩しい光を防ぐ

左右方向から眩しい光が入る場合：

1. サンバイザーを内側のブラケットから外してください。
2. サンバイザーをサイド・ウィンドウ側に回転させてください。
3. 2枚目のサンバイザーも回転させて下げることができます。

インフォメーション

サンバイザーを元の位置に戻すときは、先に2枚目のサンバイザーを戻す必要があります。2枚目のサンバイザーを戻さなかった場合、サンバイザーは収納位置に戻りません。

バニティー・ミラーを開く

⚠ 注意 バニティー・ミラーのカバーを開く

カバーを開いているときに事故が起きた場合、ミラーが割れて車内にガラスの破片が散乱する恐れがあります。

- 走行中はスライド･カバーを閉じてください。

図76: バニティー・ミラーを開く

- サンバイザー内側にあるバニティー・ミラーのスライド・カバーを開きます。
  バニティ・ミラーのライトが点灯します。

シート

適切なシート位置の選択

安全で疲れにくい運転には、正しい着座姿勢が重要です。運転席シート位置を調整するには、以下の手順を実施してください。

1. シートの高さを頭上の空間に余裕があり、周囲がよく見える高さに調節してください。
2. シートの前後位置を調節し、ブレーキ・ペダルをいっぱいに踏み込んだときに、足が伸びきらない状態になる位置に調節してください。
3. ステアリング・ホイールの上部分を握ってください。バックレストの角度とステアリング・ホイールの位置を、肘が少し曲がる位置に調節してください。
4. 必要に応じて、シートの前後位置を調節してください。
5. ヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。
6. ヘッドレストがしっかり固定されていることを確認してください。

シートの調節

⚠ 警告 運転中のシート調節

運転中にシート調節を行うと、シートが必要以上に大きく動き、運転操作を誤る恐れがあります。

- 運転中はシート調節を行わないでください。

⚠ 注意 シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の各部が挟まれる恐れがあります。

- シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。

知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。

i インフォメーション

チャイルド・シート・システム用ISOFIXリテーニング・ラグを助手席に取り付けた車両では、助手席シート・バックレストの調節範囲が制限され。

図77: シートの調節

A シートの角度調節
B シートの高さ調節

図78: シートの調節

C 座面の深さ調節
D 座面のサイド・サポートの調節
E バックレストのサイド・サポートの調節
F シートの前後調節
G バックレストの角度調節
H ランバー・サポートの調節

- 各スイッチを矢印の方向に押して、希望のシート位置、または終端位置まで調節してください。

シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション：

▷ 「パーソナル設定」(237ページ) を参照してください。

ヘッドレストの調節

フロント・シートのヘッドレストは、高さと前後位置の調節が可能です。

外側リヤ・シートのヘッドレストは高さ調節が可能です。

図79: フロント・シートのヘッドレストの高さ調節 (例)

ヘッドレストを上げる

- 希望の位置になるまでヘッドレストを持ち上げてください。

ヘッドレストを下げる

- ボタン **A** を押しながら希望の位置になるまでヘッドレストを押し下げてください。

前方向

- 希望の位置になるまでヘッドレストを前方向に引いてください。

後ろ方向

- ボタン **A** を押しながら希望の位置になるまでヘッドレストを後ろに押してください。

ミドル・リヤ・シートのヘッドレストの取り外しと取り付け

⚠ 警告 リヤ・シートのヘッドレストを取り外している、または正しく調節されていない

ヘッドレストを取り外している、または正しく調節されていない場合、事故の際に負傷する恐れが高まります。

- リヤ・シートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを取り付け、正しい位置に調節してください。

図80: ミドル・リヤ・シートのヘッドレストの取り外しと取り付け

取り外し

1. **D** ボタンを押しながら、ヘッドレストを完全に取り外してください。
2. ヘッドレストを取り外し、車内の安全な場所に収納してください。

取り付け

- ヘッドレストを挿入し、完全に押し下げてください。

リヤ・シートの前後調節

図81: リヤ・シートの前後調節

- レバー **A** を引き上げながらシートを前後にスライドさせてください。

リヤ・シートのバックレスト角度の調節

図82: バックレストの角度調節

1. リヤ・シートに座ってください。
2. レバー **B** を引き上げ、解除されたバックレストを前後に倒して調節してください。バックレストはレバーを放した位置で固定されます。3つのバックレストの角度位置が調節できます。

リヤ・シートのバックレストを倒す、垂直位置に戻す

リヤ・シート・バックレストはラゲッジ・ルームをより広く使用するため、個々に倒すことができます。

知識

リヤ・シートが損傷する恐れがあります。

- バックレストを倒すときは、シートに物を置かないでください。

外側リヤ・シートのバックレストを倒す

図83: 外側リヤ・シートのバックレストを倒す

✓ リヤ・シートを後方にスライドする

1. ヘッドレストを押し下げてください。

▷ 「ヘッドレストの調節」(134ページ) を参照してください。

2. リトラクタブル・カバーをシートから外してください。

▷ 「格納式カバーを使用する」(338ページ) を参照してください。

3. 解除レバー **B** を引き上げながらバックレストを前方に折り畳んでください。バックレストを接続音がする位置まで下げてください。必要に応じて、シートの前後位置を調節してください。

インフォメーション

左側と中央のリヤ・シートのバックレストは互いに接続されています。このため左側のバックレストを折り畳むと、中央のバックレストも一緒に折り畳まれます。
中央のバックレストは個別に倒すことができます。

外側のシート・バックレストを垂直位置に調節する

警告 バックレストが正しく固定されていない

リヤ・シートのバックレストが正しく固定されていない場合、車両が動いているときに不意に倒れる恐れがあります。

- 必要な場合、再度バックレストを倒してもう一度固定してください。

1. 解除レバー **B** を引き上げながらバックレストを後方に倒してください。
2. シートベルトを挟み込まないように注意してください。
3. バックレストを接続音が聞こえるまでしっかりと起こしてください。

中央のリヤ・シートのバックレストを倒す

図84: 中央のリヤ・シートのバックレストを倒す

- 解除ボタン **C** を矢印の方向に押しながらバックレストを前方に倒してください。

センター・リヤ・シートのバックレストの調節

警告 バックレストが正しく固定されていない

リヤ・シートのバックレストが正しく固定されていない場合、車両が動いているときに不意に倒れる恐れがあります。
リリース・ボタンの赤いマーキングがまだ見える場合、バックレストは適切にロックされていません。

- バックレスとが固定された後、リリース・ボタンの赤いマーキングが見えなくなったことを確認してください。
- 必要な場合、再度バックレストを倒してもう一度固定してください。
- バックレストを接続音が聞こえるまでしっかりと起こしてください。
  シートベルトを挟み込まないように注意してください。

イージー・エントリー機能を使用する

イージー・エントリー機能は、車両への乗り降りをしやすくするための装備です。

▷ 「イージー・エントリーのON/OFF」(315ページ）を参照してください。

注意 運転席シートの自動調節

自動シート調節により、運転席の後ろにいる乗員や動物がシートに挟まれる恐れがあります。

- 運転席の真後ろに乗員がいるときはイージー・エントリー機能をOFFにしてください。

知識

リヤ・シート・ベンチを前方に倒したまま設定を呼び出すと、車両を損傷する恐れがあります。
シートが後退し、損傷する恐れがあります。

- リヤ・シート・ベンチが前方に倒れているときはイージー・エントリー機能を解除してください。

降車するとき

✓ 機能が作動している

ポルシェ・エントリー＆ドライブ非装備車：

1. キーを抜き取ってください。
   ステアリング・ホイールが上方に移動します。
2. 運転席ドアを開いてください。
   運転席シートが後方に移動します。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車：

- ▸ イグニッションをOFFにし、**さらに**運転席ドアを開いてください。
  ステアリング・ホイールが上方に移動します。
  運転席シートが後方に移動します。

乗車するとき

✓ 機能が作動している
✓ 運転席シートおよびステアリング・ホイールがイージー・エントリー位置にある

- ▸ 運転席ドアを閉じてキーを挿入する、**または**ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車の場合はイグニッションをONにしてください。
  運転席シートとステアリング・ホイールが保存した位置まで戻ります。

i インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびステアリング・ホイールが予期しない位置に動く可能性があります（「**オート・メモリー**」機能が有効な場合）。

▹ 「パーソナル設定」（237ページ）を参照してください。

i インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、イージー・エントリー機能が中断します。

- ▸ ドライビング・ポジションを手動で調節してください。

シート・ヒーターをON/OFFにする

図85: シート・ヒーター /シート・ベンチレーター

A シート・ヒーター、フロント
B シート・ベンチレーター（フロント）

図86: シート・ヒーター/シート・ベンチレーター、リヤ

A シート・ヒーター、リヤ
B シート・ベンチレーター、リヤ

シート・ヒーターをONにする

✓ エンジンを作動状態にします。

- ▸ ボタン**A**を（繰り返し）押してください。
  ヒーターの設定に応じた数のインジケーター・ライトが点灯します。

シート・ヒーターをOFFにする

- ▸ ボタン**A**をインジケータ・ライトが消灯するまで（繰り返し）押してください。

i インフォメーション

室内の温度が高いときはシート・ヒーターを使用できません。
バッテリー電圧が低すぎると、シート・ヒーターの作動が制限され、その後OFFになります。

シート・ベンチレーターをON/OFFにする

シート・ベンチレーターをONにする

✓ エンジンを作動状態にします。

▸ ボタンBを（繰り返し）押してください。
ベンチレーターの設定に応じた数のインジケーター・ライトが点灯します。

シート・ベンチレーターをOFFにする

▸ ボタンBをインジケータ・ライトが消灯するまで（繰り返し）押してください。

インフォメーション

室内の温度が低いときはシート・ベンチレーターを使用できません。

バッテリー電圧が低すぎると、シート・ベンチレーターの作動が制限され、その後OFFになります。

リヤでの操作を無効にする – チャイルド・プロテクション

図87: リヤ・ドア操作を無効にする

運転席ドア、コントロール・パネルのセーフティー・ボタンを押すとリヤ・ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチと、リヤ・センター・コンソールのコントロール・パネルの機能が無効になります。

チャイルド・プロテクションのON/OFF

▸ ボタン を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
リヤ・ゾーンの現在のエアコン設定が維持されます。
リヤ・コントロール・パネルのボタンの機能が停止します。

シートベルト

シートベルトの適切な着用

⚠ 危険 シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していない場合、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用することが義務付けられています。
- また、運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員の方に理解してもらってください。
- **1本**のシートベルトを同時に2人で使うことは、絶対に避けてください。
- だぶついた衣服はシートベルトが正しく着用できない上に、動作の自由を奪うことになりますので、乗車時は必ず脱ぐようにしてください。
- 堅い物や壊れやすい物（眼鏡、ボールペン、煙草のパイプなど）の上にシートベルトがかからないようにしてください。
  衝突の際にケガをする危険性が高くなります。
- シートベルトはねじれやたるみがないように着用してください。

⚠ 危険 損傷したシートベルトを使用した場合

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルト・プリテンショナー・システムは 1 回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またバックルと取り付け部が正常な状態にあるかどうかを確認してください。
- シート・ベルト・バックルが汚れないように保護し、清潔に保ってください。
- 損傷したシートベルトや事故などにより強い負荷のかかったベルトは早急に交換してください。
  同様に、作動したベルト・プリテンショナー・システムおよびフォース・リミッターも早急に交換してください。
  更に、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。

シートベルト・プリテンショナー

シートベルト・プリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルト・プリテンショナーの作動条件：

– 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
– 側面から強い衝撃を受けた場合
– 車両が転倒した場合

ℹ インフォメーション

シートベルト・プリテンショナー・システムが作動すると煙が発生しますが、これは異常ではありません。この煙は車両火災の兆候ではありません。

シート・ベルト警告灯および警告メッセージを確認する

シートベルトの着用を促すため、運転席または助手席シートベルトのバックル・プレートがバックルに差し込まれるまで、次のシグナルが作動します：

– イグニッションがONになると、計器パネルの警告灯 が点灯します。
– インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告を表示します。
– 速度が約 24km/h(15mph) を超えると、警告音が鳴ります。

シートベルトを着用する

図88: シートベルトを着用する

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座してください。
2. シートベルトを着用したときに、ベルトが肩の中央を通って上半身を斜めに横切るように、シートのバックレストを調節してください。
3. シートベルトのラッチを手で持ち、ゆっくりと一定の速さで引き出して、腰の低い位置および胸部にかかるように着用してください。

インフォメーション

坂道など傾斜地に停車しているときや、シートベルトを急に引いたときは、シートベルトがロックされて引き出せないことがあります。

加速時または減速時、カーブや傾斜地を走行中にもシートベルトが引っかかる場合があります。

4. シートベルトのラッチは、着座しているシート側部のバックルにカチッと音がするまで確実に差し込んでください（図88）。
5. シート・ベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置（骨盤）にぴったりとかかるように確認してください。そのため、シート・ベルトを装着した後、肩ベルトを上に引っ張ってください。

   妊婦：腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けるようにしてください。
7. 走行中も肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトが緩まないようにしてください。

シートベルト・バックルを解除してシートベルトを外す

1. シートベルトのラッチを手で持ってください。
2. バックルの赤色のボタンを押してください（図88）。
3. シートベルトをリトラクターに巻き取らせてください。

シートベルトの高さ調節

図89: シートベルトの高さ調節

フロント・シートのシートベルト・デフレクターは、高さの調節が可能です。

- シートベルトを着用したときに首にかかることのないように、肩の中央を通って上半身を斜めに横切るようベルトの高さを調節してください。
- 上げる – シートベルト・デフレクターを押し上げてください。
- 下げる - ロック・ボタン**A**を押してシートベルト・デフレクターを押し下げてください。

車線逸脱警告システム

図90: ルーム・ミラー・カメラ

車線逸脱警告システムは、車両が不注意により車線を逸脱していることを検出するとすぐに、警告音および表示によりドライバーに知らせます。

カメラ **A** が車線区分線を検出し、車線のコースを継続して再計算します。

約65km/h以上で走行中、システムが車線区分線との距離が危険な状態になったことを検出すると、警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイに該当する区分線がハイライトされます。

車線逸脱警告システムの例外

以下の場合、車線逸脱警告システムは利用できません：

- 方向指示灯がON
- PSM作動中
- 走行しているカーブの半径が小さすぎる（約300m以下）
- ブレーキを踏む力が強すぎる
- 車線区分線が隠れている、はっきり見えない、または消えている
- カメラがひどく汚れている、氷で覆われている、あるいは（ステッカーなどで）塞がれている
- 悪天候（豪雨、薄暮など）

⚠ 警告 集中力の低下

運転の責任を担っているのはドライバーです。システム自体は車両を正しい車線に維持することも、ドライバーの継続的な集中力の代わりになることもありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 交通状況に応じた速度で運転してください。

⚠ 警告 車線を検出するカメラの不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライト、障害物などでカメラの視界が低下すると、カメラは車線を検出できない、または正しく検出できない場合があります。そのため、システムが警告を出せなくなったり、誤って警告音を鳴らしたりする恐れがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ハンドルをしっかり持ち、車線区分線に注意を払ってください。
- ▶ ルーム・ミラーのカメラの視界(図90、**A**)をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
- ▷ 車両のお手入れについて：「お手入れ」（79ページ）を参照してください。

i インフォメーション

車線逸脱警告機能は国によって異なり、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。

車線逸脱警告システムのON/OFF

図91: 車線逸脱警告ボタン

車線逸脱警告システムをONにする

- ボタン を押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  ドライバーが気づかないうちに車線を逸脱すると、警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイの該当する区分線が橙色になります。

車線逸脱警告システムをOFFにする

- ボタン をもう一度押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
  ドライバーが車線を逸脱しても警告は行われません。

車線逸脱警告システム・ディスプレイの呼び出しと読み上げ

図92: 車線逸脱警告表示

A	ACCメイン・メニュー
B	車線区分線の表示
C	ステータス・ディスプレイ

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)装備車

ACC メイン・メニュー (**A**) は車線区分線を表示します (**B**)。メイン・**ACC** メニューを選択していない場合、車線区分線はステータス・ディスプレイに表示されます (**C**)。

ACCメイン・メニュー呼び出し

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」(299ページ) を参照してください。

- メイン・メニュー：**ACC** を選択してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール非装備車 (ACC):
車線区分線はステータス・ディスプレイ (**C**)にのみ表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイの読み上げ

マルチファンクション・ディスプレイのシンボル

ACCメイン・メニュー	ステータス・ディスプレイ	意味
		車線逸脱警告システムがONで、無効になっています。
		車線逸脱警告システムがONで、有効になっています。
		車両は、車線区分線から逸脱しました (オレンジ)。
		車線逸脱警告とアダプティブ・クルーズ・コントロールは有効になっています。

警告タイミングおよび警告音量の調節

警告音が鳴るタイミングおよび音量は、マルチファンクション・ディスプレイで個別に調節できます。

▷ 「車線逸脱警告–システムの設定」(313ページ) を参照してください。

▷ 「車線を逸脱しているときの警告音量の調整」(313ページ) を参照してください。

ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム

図93: フロントとリヤのリフティング・プラットフォームおよびジャッキ用のジャッキ・ポイント

⚠ 警告 不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティング・プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップ・ポイント(図93)で持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート・スタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
- ▶ やむを得ずエンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させて 、ギヤ・レバーをニュートラル位置に入れるか、またはセレクター・レバーを **P** の位置にしてください。

▷ 「ホイールの交換」(179ページ) を参照してください。

⚠ 警告 レベル・システムの操作

レベル・システムが作動している車両は不意に動いたり、ジャッキやリフトなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ リフト・アップ前に、手動でノーマル・レベルに設定し、その後レベル・コントロール・システムをOFFにしてください。

▷ 「レベル・コントロールのON/OFF」(68ページ) を参照してください。

ジャッキによるリフト・アップ

インフォメーション

ジャッキは、折りたたみ式スペア・ホイールまたは標準のスペア・ホイールを装備した車両にのみに付属します。

ジャッキは工具セットと共に、ラゲッジ・コンパートメントの左側の床下に収納されています。

▷ 「工具セットの取り外し」(332ページ) を参照してください。

✓ レベル・コントロール装備車＊：レベル・システムがOFFになります。

✓ 車両が動き出さないように固定してください。

✓ 車両下部のジャッキ・ポイントを清掃してください。

1. ジャッキは、提供されたジャッキング・ポイントに取り付けてください。このとき、ジャッキが傾かないように、ジャッキ・ポイントの真下にジャッキを置いてください。
   必要な場合、リジット・ラックを併用してください。
2. ジャッキが動かないように固定し、ジャッキの皿がジャッキ・ポイントに接するまでジャッキを伸ばしてください。
   このとき、ジャッキの皿がジャッキ・ポイントの切り欠き（図93）にしっかりとはまるようにジャッキの位置を調整してください。
3. 取り外すタイヤが地面から離れるまで車体を持ち上げてください。
4. 車体を下げた後でジャッキを取り外してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ジャンパー・ケーブルによる始動

バッテリーが上がったときは、他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパー・ケーブルを使用して外部電源を接続することができます。どちらの車両も12Vバッテリー搭載車でなくてはなりません。支援車側のバッテリーの容量（Ah）が、バッテリーが上がった車両のバッテリーの容量に比べ低すぎないよう確認してください。上がったバッテリーを車両電気系統に正しく接続してください。

▷ 「バッテリー」（244ページ）を参照してください。

通常の作動状態でジャンパー・ケーブルによる始動を繰り返し行わなければならない場合は、バッテリーの損傷が考えられます。

⚠ 警告 ジャンパー・ケーブルや始動手順が不適切な場合

不適切なジャンパー・ケーブルを使用した場合や、ジャンパー・ケーブルによる始動が適切に行われなかった場合、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ ジャンパー・ケーブルはエンジン始動に適した製品を使用し、バッテリー容量に対して十分な断面積があることを確認してください。また、端子接続部のクリップが完全に絶縁体で覆われているものを使用してください。ジャンパー・ケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- ▶ 車両同士を接触させないでください。電流が流れ、ショートする恐れがあります。
- ▶ 指輪、ネックレス、時計バンドなど、電気を通す装飾品が通電部に触れないように注意してください。
- ▶ ジャンパー・ケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。ジャンパー・ケーブルは、必ずジャンパー・ケーブル接続用端子に接続してください。

⚠ 警告 凍結または損傷したバッテリーのジャンプ・スタート

凍結または損傷したバッテリーをジャンプ・スタートすると、爆発したり酸による火傷を負う危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーには**決して**ジャンパー・ケーブルを接続しないでください。

⚠ 注意 腐食性電解液

鉛蓄電池には、触れると皮膚や衣服を損傷させる原因となる腐食性の高いバッテリー酸が含まれています。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ 酸が漏出する原因となるために、バッテリーを傾けないでください。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動

図94: 電極

A プラス端子+
B アース箇所（マイナス端子）–

1. ボンネットを開いてください。
2. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス（+）端子のキャップを開いてください。
3. 充電器の赤色のプラス・ケーブルをバッテリーのプラス端子 **A** に接続してください。
4. 赤色のプラス・ケーブルを支援車バッテリーのプラス端子に接続してください。
5. 黒色の**マイナス・ケーブル**を支援車バッテリーのマイナス端子に接続してください。
6. 黒色のマイナス・ケーブルをアース・ポイント **B**に接続してください。
7. 支援車のエンジンを始動し、回転数を上げてください。

8. エンジンを始動してください。ジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動するときは、スターターを15秒以上作動させないでください。始動に失敗したときは、1分以上待ってから再試行してください。
9. エンジンが作動状態のまま、最初に、黒色のマイナス側ケーブルをアース・ポイント **B** から外し、次に支援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外してください。
10. エンジンが作動状態のまま、まず、赤色のプラス・ケーブルを支援車バッテリーのプラス端子から外してください。次に、上がったバッテリーのプラス端子 **A** からケーブルを外してください。
11. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス **A** 端子カバーを閉じてください。

充電中（ハイブリッド）

高電圧バッテリーの充電

できるだけ多くの電動モーター走行をするために、車両を一晩駐車するときなどは高電圧バッテリーを充電することを推奨いたします。

⚠ 危険 感電、短絡、火災、爆発、火傷

間違った充電プロセス、一般的に適用可能な安全上の注意事項の非順守、高電圧バッテリーの不適切な取り扱いは感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因となります。

- 車両を始動する前に、車両充電ケーブルを外し、カバーおよび充電ポート・リッドを閉じ、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。
- 高電圧バッテリーの充電時は、必ず規定の順序を遵守してください。充電プロセス中は、電気ソケットから車両充電ケーブルを外さないでください。充電が終了した後に電気ソケットから車両ケーブルを切り離してください。
- ポルシェ充電装置の取扱説明書の安全に関する指示を参照してください。
- 充電プロセス中は車内または車両の作業を実施しないでください。

重要な注意事項：

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、充電中の機器本体部からの電磁波がペースメーカー、ICDの作動に一時的な影響を与える場合があるため、以下を必ずお守りください。

- 充電器に近づかない。
- 充電器を使用する場合は、操作を他の人に依頼する。

その他の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響がないかご確認ください。

⚠ 危険 感電、短絡、火災、爆発、火傷

不適合なまたは損傷した電気ソケットと車両充電ケーブルの使用、および高電圧バッテリーの不適切な取り扱いは、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因となります。

- プラグイン・ハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、メーカーにより点検され承認された車両充電ケーブルのみを使用してください。
- ポルシェ・ユニバーサル充電器(AC)を、充電ドックまたは初歩的なウォール・マウントと一緒に使用するように推奨します。
- 車両充電ケーブルを接続する電気ソケットの取り付けは必ず専門家が行ってください。
- 損傷した、または汚れた電気ソケットに車両充電ケーブルを接続しないでください。
- 損傷した車両充電ケーブルを使用しないでください。
- 延長ケーブル、ケーブル・リール、電源タップ、またはトラベル・アダプターを使用しないでください。
- すべての電子部品に対し、改造や修理を行わないでください。
- 雷雨のときはポルシェ・ユニバーサル・チャージャー(AC)を主電源から外してください。
- 電気ソケットおよびプラグ接続は水、湿気およびその他のフルードや液体を避けてください。
- 充電ソケットの汚れや氷、雪を鋭いものまたは先が尖ったもので取り除かないでください。

⚠ 警告 固定されていない積荷

車両充電ケーブルを固定していない、正しく固定していない、または不適切な位置に置いていると、ブレーキ/ステアリング操作中や事故の際に飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- 車両充電ケーブルは、車内で固定していない状態で運搬しないでください。常にラゲッジ・コンパートメントの充電バッグ内に収納してください。
- 車両充電ケーブルは常にラゲッジ・コンパートメント内に収納し、決して乗員スペース（シート前方やシートの上など）には置かないでください。

⚠ 警告 エンジン・コンパートメント・ブロワーおよびエンジン付近の他の可動部品

エンジン・コンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、または長い髪などが可動部品（エンジン・コンパートメント・ブロワーまたはドライブ・ベルトなど）に引き込まれる恐れがあります。エンジン・コンパートメント・ブロワーはエンジン・コンパートメント・リッドの下に取り付けられています。充電プロセスの間、高電圧バッテリーとオンボード充電器を冷却するために、エンジン室ブロワーが作動する場合があります。

- この付近で作業する場合は、充電が機能していないときで、エンジンをOFFにして、そして、身体の一部、衣服の一部、または装飾類がラジエーター・ファン、エンジン・コンパートメント・ブロワー、ドライブ・ベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

知識

電源の過電圧による充電装置および-オンボード充電器の損傷の恐れ

▸ 雷雨のときは車両充電ポートを使用して高電圧バッテリーを充電しないでください。

高電圧バッテリーの充電に関する指示

– プラグイン・ハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、点検および承認済みの車両充電ケーブルのみを使用してください（IEC 62196-2、SAE J1772またはGB/T 20234-2に準拠して標準化された車両プラグおよびIEC 61851-1、SAE J1772またはGB/T 18487（モード2および3）にしたがった充電プロセス）。また、法規に適合した車両充電ケーブルのみを使用してください。
– ポルシェ・ユニバーサル充電器(AC)を、充電ドックまたは初歩的なウォール・マウントと一緒に使用するように推奨します。
ポルシェ充電装置および車両充電ケーブルの操作に関する取扱説明書（別冊）を参照する
– 保護機能の付いていない車両充電ケーブル（IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487（モード1）に準拠して標準化）には対応していません。
– 充電プロセス中の車両の温度は約 –20°C ～ +40°Cでなければなりません。

▷ 「車両を長期保管する場合の注意点」（83ページ）を参照してください。

車両のプラグを車両の充電ポートに挿入し、充電プロセスを開始する

図95: 充電ポートのドアを開く

✓ エンジンを停止する
✓ イグニッションをOFFにする
✓ 車両をロック解除する
✓ セレクター・レバーを**P**位置にシフトする
✓ 主電源装置に接続された車両の充電ケーブル。
✓ ポルシェ充電装置および車両充電ケーブルの操作に関する取扱説明書（別冊）を参照する

1. 充電ポートのドアの後部を押してドアを開けてください（**矢印**）。

図96: 挿入された車両プラグ

2. カバー **A**を外し、充電ポート・リッドのブラケットにはめ込んでください。
3. 車両プラグ**B**を充電ポートに完全に挿入してください。
車両プラグがロックされ、充電プロセスが開始されます。
インジケーター・ライト **C** は、高電圧バッテリーの充電状態を示し、インジケーター・ライト **D** は、車両プラグの接続状態を示します。

▷ **「車両充電ポートの充電および接続表示」（148ページ）を参照してください。**

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A–Z

インフォメーション

– 車両をロックしたときに車両プラグが挿入されていた場合、車両プラグはロックされたままになります。
– イグニッションを OFF にして再度 ON にした後、イグニッションが ON の状態（イグニッション・ロック位置**1**）で充電プロセスを開始することが可能です。
– 充電プロセスの間、キーまたはコントロール・ユニットがイグニッションのロック位置 **2** に変わると、充電プロセスは中断します車両プラグを外さなかった場合、充電プロセスは約20秒後に再開します。
– 充電タイマーの機能が作動していると、充電タイマーがいつ充電プロセスが開まるかを制御するため、充電プラグを挿入しロックしても直ちに充電プロセスが開始しないこともあります。
充電タイマー機能に関するインフォメーション：

▷ 「充電タイマー機能の作動/解除」（149ページ）を参照してください。

充電プロセスの終了および車両プラグの車両充電ポートからの取り外し

1. ドアをロック解除してください。
車両プラグのロックが解除されます。
充電プロセスが開始していた場合でも、停止します。
2. 約20秒以内に、充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。
3. 電源装置から車両の充電ケーブルを取り外し、安全な場所に保管してください。

▷ ポルシェ充電装置および車両充電ケーブルの操作に関する取扱説明書（別冊）を参照する

4. 充電ポートに異物などが入らないようにカバー **A**を取り付けてください。
5. 充電ポート・リッドを閉じてください。

インフォメーション

– 高電圧バッテリー充電のための規定順序を遵守してください。
– 充電が終了した後に電気ソケットから車両ケーブルを切り離してください。

▷ 高電圧バッテリーの充電に関する安全指示を守ってください。

車両充電ポートの充電および接続表示

インジケーター･ライト **A** は高電圧バッテリーの充電状態を示し、インジケーター・ライト **B** は車両プラグの接続状態を示します。

図97: 充電および接続状態のインジケーター・ライト

A	B	意味
OFF	点滅	車両プラグが挿入されていますがロックされていません。
OFF	点灯	車両プラグが挿入されておりロックされています。主電源への接続が確立されていません。
OFF	点灯	車両プラグが挿入されておりロックされています。充電プロセスはまだ始まっていません。
点滅	点灯	車両プラグが挿入されておりロックされています。高電圧バッテリーは充電されています。
点灯	点灯	車両プラグが挿入されておりロックされています。充電プロセスは終了しています。
点灯	点灯	車両プラグが挿入されておりロックされています。充電プロセスは終了しています。電源への接続が確立されていません。
OFF	点灯	高電圧バッテリー充電中にエラーが発生しました。
OFF	OFF	車両プラグが挿入されていません。 **または** 車両プラグが挿入されています：車輌がアイドル状態です。 現在の接続状態および充電状態を確認するには：ドライバー・キーの 🔓 または 🔒 ボタンを押してください。

充電プロセスが開始していなかった場合：
- ▸ 車両プラグが正しく挿入されているか確認してください。
- ▸ コントロール・ユニットのディスプレイで、車両充電ケーブルをチェックしてください。
- ▷ ポルシェ充電装置および車両充電ケーブルの操作に関する取扱説明書（別冊）を参照する
- ▸ 車両プラグを取り外してから再挿入してください。

インフォメーション

車両充電ポートの車両プラグ接続状態がマルチファンクション・ディスプレイの上部ステータス・エリア、およびポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・エネルギー・フロー・ディスプレイ＊に表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイの上部ステータス・エリアに関するインフォメーション：
- ▷ 「上部のステータス・エリアの表示を変更する」（309ページ）を参照してください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・エネルギー・フロー・ディスプレイ＊に関するインフォメーション：
- ▷ 「PCM にエネルギー・フローを表示する」（241ページ）を参照してください。

充電タイマー機能の作動/解除

図98: 充電タイマー機能

充電タイマーが作動中のとき、プログラムされた出発時間に高圧バッテリーがフル充電されます。

高電圧バッテリーの現在の充電状態が車両のマルチファンクション・ディスプレイとインストルメント・パネルのバッテリー充電状態表示に表示されます。

充電タイマー機能の作動

- ✓ 出発タイマーがマルチファンクション・ディスプレイでプログラムされています。
- ▷ 「乗車タイマーのプログラミング」（315ページ）を参照してください。
- ✓ 車両をロック解除する
- ✓ 車両プラグが挿入されています。
- ▸ ボタン**A**を押してください。
  ボタン **A** のインジケーター・ライトが点灯します。
  充電タイマーは充電プロセスが開始された後制御します。高電圧バッテリーはプログラムされた時間になるまで充電されます。

インフォメーション

充電タイマー機能を作動させたとき出発タイマーがマルチファンクション・ディスプレイでプログラムされていない場合、ボタン **A** のインジケーター・ライトが3回点滅してから消えます。

充電タイマー機能の解除

- ✓ 車両プラグが差し込まれている
- ✓ 充電タイマー機能が作動している
- ▸ ボタン**A**を押してください。
  ボタン **A** のインジケーター・ライトが消えます。
  高電圧バッテリーの充電が直ちに開始されます。
  高電圧バッテリーの充電が完了するまでの時間は、マルチファンクション・ディスプレイの上部ステータス・エリアに表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイの上部ステータス・エリアに関するインフォメーション：
- ▷ 「上部のステータス・エリアの表示を変更する」（309ページ）を参照してください。

充電時間に関するインフォメーション：
- ▷ ポルシェ充電装置の取扱説明書の「充電時間」の章を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

充電タイマー機能が作動していない場合、車両の予冷/暖房は利用できません。
充電タイマー機能のボタン **A** が無効です。

PCMで出発タイマーを作動させる

出発タイマーは、PCMを介して作動したり設定したりすることもできます。

1. CAR ボタン ▸ **ハイブリッド**
2. **出発タイマー**ページを閲覧（スワイプ）してください。

充電時間

充電時間に関するインフォメーション：

▷ ポルシェ充電装置の取扱説明書の「充電時間」の章を参照してください。

家庭用コンセント

接続	3.6 kWでの充電時間	7.2 kWでの充電時間
EU	約3.8時間	約3.8時間
米国	約8.2時間	約8.2時間
日本	約10時間	約10時間
中国、スイス、オーストラリア、ブラジル	約5.2時間	約5.2時間

工業用電気ソケット

接続	3.6 kWでの充電時間	7.2 kWでの充電時間
EU：230 V、16 A	約2.3時間	約2.3時間
EU：230 V、32A	約2.3時間	約1.2時間
EU：230/400 V、16/32 A	約2.3時間	約1.1時間
米国：240 V、30/50 A	約2.3時間	約 1.1 ～ 1.4 時間
日本：200 V、16 A	約2.3時間	約2.3時間
日本：200 V、30A	約2.3時間	約1.4時間
中国：220 V、30 A	約2.3時間	約1.2時間

充電ポートのドアの緊急ロック解除

図99: 緊急ロック解除

電気的リリース・メカニズムに欠陥がある場合、充電ポートのドアを手動で開くことができます：

1. 左側ラゲッジ・コンパートメントのトリム・パネルを慎重に取り外してください。
2. ラゲッジ・コンパートメント左側のトリム・パネル裏側にある緊急ロック解除ストラップを**矢印の方向に**引いてください。
   充電ポート・リッドが開きます。

▸ 充電ポート・リッドのロック解除機構を点検してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車輌プラグの緊急リリースを実行する

ドライバー・キーで車両プラグを解除できない場合（例えば、ドライバー・キー・バッテリーが消耗している）、緊急操作を実施する必要があります。

1. イグニッション・キーまたはコントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**2**に回してください。
   車両プラグが自動的に解除され、充電が約20 秒間中断されます。
2. 約20秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。
   約20秒後、車両プラグが再度ロックされ、充電プロセスが再開されます。

ステアリング・ホイール

ステアリング・ホイールの調節

⚠ 警告 運転中のステアリング・ホイールの調節

運転中にシステアリング・ホイール調節を行うと、ステアリングが予期せず大きく動き、運転操作を誤る恐れがあります。

▶ 運転中はステアリング・ホイールの調節を行わないでください。

ステアリング・ホイールの手動調節

図100: ステアリング・ホイール調節用ロック・レバー

1. キーをイグニッション・ロックに完全に差し込んでください。
2. ロック・レバーを押し下げてください。
3. シート・バックレスト角度や着座位置に合わせて、ステアリング・ホイールを前後上下に動かし、希望の位置に調節してください。
4. ステアリング・ホイールが確実に固定されるまで、ロック・レバーを元の位置まで戻してください。

ステアリング・ホイールの電動調節

⚠ 注意 メモリー設定の不意の呼び出し

ステアリング・ホイールを調節するときに、人や動物がステアリング・ホイールの動く範囲にいると、身体の一部が圧迫されたり挟まれたりする恐れがあります。

▶ お子様のみを車内に残さないでください。

図101: ステアリング・ホイール調節用コントロール・スイッチ

▶ ステアリング・コラム下に取り付けられているコントロール・スイッチを前後上下に動かして、ステアリング・ホイールを希望の位置に調節してください。

ステアリング・ホイール設定の保存

メモリー・パッケージ装備車では、ステアリング・ホイールの設定を運転席ドアやキーのメモリー・ボタンに保存することができます。

▷ 「パーソナル設定」(237ページ) を参照してください。

ステアリング・ホイール・ヒーターのON/OFF

図102: ステアリング・ホイール・ヒーター・ボタン

✓ エンジンを作動状態にする

▶ マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが短く表示されるまで、中央のステアリング・ホイール・スポーク(図102)のボタンを押します。

スポーツ・エキゾースト・システム

スポーツ・エキゾースト・システムのON/OFF

図103: センター・コンソールのスポーツ・エキゾースト・システム操作ボタン

スポーツ・エキゾースト・システムはイグニッションがONのときに排気音最適化モードに切り替えることができます。

- ボタン を押してください。
  スポーツ・エキゾースト・システムが作動すると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モード

スポーツおよびスポーツ・プラス・モードを使用する

全体的によりスポーティーで多様なシャーシ設定の選択が可能です。
スポーツ・モードは毎日の走行の間、躍動感とパフォーマンスを向上させるようにコントロール・システムを調節します。
「スポーツ・プラス」モードでは、レース・サーキットでの走行に適した最高性能を発揮できる設定に切り替わります。

– エンジンはスロットル操作に対して忠実に反応します。スポーツ・モードが ON の状態で車速が 40km/h を下回った場合、この機能を作動させるには、アクセル・ペダルをいっぱいまで踏み込むか素早く放す必要があります。
– ダイナミック・コーナリング・ライト(PDLS)およびダイナミック・ハイ・ビーム（PDLS プラス）は、コーナリング中または対向車がいるときの走行などの場合により速く、よりダイナミックな制御を行います。
  ▷ 「ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS)」（328ページ）を参照してください。
  ▷ 「ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス (PDLS Plus)」（329ページ）を参照してください。
– オート・スタート/ストップ機能および惰性走行モードは解除されます。
  ▷ 「オート・スタート/ストップ機能」（76ページ）を参照してください。
– アダプティブ・クルーズ・コントロールはよりダイナミックに速度と距離を制御します。
  ▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)」（36ページ）を参照してください。
– ティプトロニクSは、スポーティなシフト特性に切り替わり、シフト時間が短縮されます。ギヤシフトがより高回転で行われます。シフトアップはより遅く始まり、シフトダウンはより早く行われます。ギヤ・シフトが素早く実行されます。
– PTM（ポルシェ・トラクション・マネージメント）は「スポーツ・プラス」モードがONのとき更にダイナミックな制御マップに切り替わります。
– PSM（ポルシェ・スタビリティ・マネージメント）コントロールは、「スポーツ・プラス」モードで更にスポーティーな設定になります。PSMの介入がノーマル・モードより遅めになります。ドライバーは緊急時のPSM の介入を無効にすることなく、性能限界域で車両をより俊敏に操ることができます。これにより、特にドライ・コンディションのサーキットではラップ・タイムの短縮に貢献します。
  ▷ 「ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)」（293ページ）を参照してください。
– PTVプラス（ポルシェ・トルク・ベクトリング・プラス）は「スポーツ・プラス」モードが ON のとき更にダイナミックな制御マップに切り替わります。
  ▷ 「トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム」（213ページ）を参照してください。
– PASM（ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント）は自動的に「スポーツ」または「スポーツ・プラス」モードに変わり、サスペンションはハードな設定となります。
  スポーツ・プラス・モードのとき、PASMはエア・サスペンションおよびレベル・コントロールを制御して車高をロー・レベルまで約10mm下げます。
▷ 「エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)」（65ページ）を参照してください。
– PASM と同様に、PDCC（ポルシェ・ダイナミック・シャーシ・コントロール）と連動して「スポーツ」または「スポーツ・プラス」モードに切り替わり、車両のロールを選択されたモードに合わせて、更に抑制します。
  ▷ 「ポルシェ・ダイナミック・シャーシ・コントロール(PDCC)」（282ページ）を参照してください。
– スポーツ・エキゾースト・システムは排気音最適化モードに切り替わりますが、 ボタンで個別にOFFにすることができます。
  ▷ 「スポーツ・エキゾースト・システムの ON/OFF」（153ページ）を参照してください。
– エンジンがスポーティーな設定に切り替わります。

インフォメーション

オフロード走行プログラムが作動しているときは、スポーツ・モードは選択できません。マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

スポーツ・モードのON/OFF

図104: スポーツ・ボタン

✓ イグニッションがONのとき

▷ オフロード・モードをOFFにしてください。「オフロード・モード」（88ページ）を参照してください。

▶ ボタン SPORTを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
デジタル・スピードメーターに「SPORT」の文字が表示されます。

– ティプトロニクSは、スポーティなシフト特性に切り替わり、シフト時間が短縮されます。

– ドライバーのスポーティーなドライビング・スタイルをいち早く認識し、そのときのドライビング・パフォーマンスに応じたギヤ・シフト時間になります。

– 減速時のシフトダウンが早いタイミングで実行されます。またエンジン回転数が高いときでも、わずかな減速でシフトダウンされます。

インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モードは自動的にリセットされます。

「スポーツ・プラス」モードのON/OFF

図105: 「スポーツ・プラス」ボタン

✓ イグニッションがONのとき

▷ オフロード・モードをOFFにしてください。「オフロード・モード」（88ページ）を参照してください。

▶ SPORT PLUSボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
デジタル・スピードメーターに「SPORT PLUS」の文字が表示されます。

スポーツ・プラス・モードでは、ティプトロニクSはレース・サーキットでの走行に合わせて設計されたシフト特性に切り替わります。

インフォメーション

オフロード・モードがONのときに「スポーツ」または「スポーツ・プラス」モードの選択はできません。

「スポーツ」/「スポーツ・プラス」および「PASMスポーツ」/「PASMスポーツ・プラス」モード

スポーツまたはスポーツ・プラス・モードとスポーツ・エギゾースト・システムの特性を使用したいが、より快適なシャシー・セットアップの方を好む場合は、PASMモードを手動で切り替えることができます。

▶ 対応するボタンを(繰り返し)押してPASMおよびPDCCを「コンフォート」モードに別々に切り替えてください。
選択したシャシー設定のボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
更に、選択したシャーシ設定はマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

▷ 「ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)」（282ページ）を参照してください。

▷ 「ポルシェ・ダイナミック・シャーシ・コントロール(PDCC)」（282ページ）を参照してください。

または

▶ センター・コンソールのロッカー・スイッチを前方に押すと、車両の走行時の高さが上がります。
調整プロセス後、ロッカー・スイッチ横の該当するインジケーター・ライトが常時点灯します。レベル変更もマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

▷ 「エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)」（65ページ）を参照してください。

警告シンボルへの対応

PASMの故障がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

ハイブリッド車でスポーツおよびスポーツ・プラス・モードを使用する

スポーツまたはスポーツ・プラス・モードが作動しているときでも、ハイブリッド・システムが利用できます:

– アクセル・ペダルを約80%踏み込むと、ブースティング・モードが作動します。キックダウンは必要ありません。
– 内燃エンジンは約 60km/h(38mph) 以下の速度、例えば惰性走行時、OFFになります。
– Tiptronic Sのシフト・ポイントがより高速方向に変更されます。

インフォメーション

Eパワー・モードまたはE-チャージ・モードが作動すると、スポーツまたはスポーツ・プラス・モードが解除されます。

スポーツ・クロノ・ストップウォッチ

スポーツ・クロノ・ストップウォッチはレース・サーキットや業務上の走行時等の時間計測にご使用いただけます。計測した時間は保存したり、評価したりすることができます。

以下の情報を保存および評価することができます。

- ラップ回数
- ラップ距離
- ラップ・タイム
- オプション：その他の各種データ（車両位置、速度、または外気温度など）

記録中、以下の項目を表示することができます。

- 現在のラップ回数
- 最速ラップ・タイムおよび、それと比較した現在のラップ・タイム
- 基準ラップに関して走行した距離の割合
- 現在のラップ・タイムが最新のラップ・タイムより速いか、遅いか、または同一かを表示するカラー・レート
- 現在の燃費の残量で走行可能な残りの距離およびラップ回数
- まだ残っている記憶時間
- オプション：現在のラップのトラック進捗状態と基準ラップ

ダッシュボードのストップウォッチ

図106: ダッシュボードのスポーツ・クロノ・ストップウォッチ

ストップウォッチにはアナログ・ディスプレイとデジタル・ディスプレイがあります。

アナログ・ディスプレイ

- 大きい指針：秒
- 小さい指針：時間および分

このディスプレイは12時間が経過するとゼロから再スタートします。

デジタル・ディスプレイ

- 秒、1/10秒、および1/100秒

デジタル・ディスプレイおよびマルチファンクション・ディスプレイは99時間と59分まで表示できます。

ストップウォッチの明るさ調節

▷ 「インストルメント・ライトの明るさ調整」（45ページ）を参照してください。

ストップウォッチ時刻の表示

▷ 「ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示」（311ページ）を参照してください。

ストップウォッチ・タイムの表示

ラップ・タイムは異なる場所に表示することができます。

- ダッシュボードのスポーツ・クロノ・ストップウォッチ
- マルチファンクション・ディスプレイの**クロノ**メニュー
- PCMのメイン・メニュー CAR の **SC**

マルチファンクション・ディスプレイでの実行

図107: クロノメニュー

A	ラップ・カウンター – 現在のラップ回数
B	現在のラップ・タイム（緑色：最速ラップよりも速い、黄色：最速ラップと同タイム、赤色：最速ラップよりも遅い）
C	最速のラップ・タイム
D	サークル・ディスプレイ（基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示す）

インフォメーション

ストップウォッチ作動中にクロノメニューを終了しても、計測は続きます。
ストップウォッチはイグニッションをOFFにすると停止します。約4分以内にイグニッションを再度と、ストップウォッチは作動を再開します。

計時の開始

▸ **クロノ ▸ 開始**
データの記録が開始されます。基準ラップがまだ保存されていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

✓ 計時が開始されている

▸ **クロノ ▸ 停止**

計時の継続

✓ 計時が停止している

▸ **クロノ ▸ 停止 ▸ 継続**

ラップの停止/新しいラップの開始

現在のストップウォッチ・タイムはラップ・タイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

✓ 計時が開始されている

▸ **クロノ ▸ 周回**
ラップ・カウンターの値（図107、**A**）が1ずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップ・タイム(図107、**C**)として保存されます。現在のラップ・タイム(図107、**B**) とサークル・ディスプレイ (図107、**D**) の色が変わることによって、現在のラップ・タイムが最速ラップより速いか、遅いか、または同一かを表示します。

インフォメーション

1回のセッションで最大99ラップを保存することができます。

中間ラップの保存

✓ 計時が開始されている

▸ **クロノ ▸ 中間ラップ**
中間タイムが短時間表示されますが、保存はされません。時間測定はバックグランドで継続しています。

ストップウォッチ・タイムのリセット

✓ 計時が停止されている

▸ **クロノ ▸ 停車 ▸ リセット**
すべてのストップウォッチ・タイムをゼロにリセットすることができます。

PCMでの計時の表示

インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション管理(PCM)の操作に関するインフォメーション:
▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作」（284ページ）を参照してください。

ストップウォッチの表示

✓ 計時が開始されている
▷ 「計時の開始」（158ページ）を参照してください。

1. CAR ボタン ▸ **SC**
2. ストップウォッチ・ディスプレイをスクロール（スワイプ）してください。

図108: ストップウォッチ・ディスプレイ（記録中）

- **A** 現在の燃費の残量で走行可能なラップ回数
- **B** まだ残っている記憶時間
- **C** 最速のラップ・タイム
- **D** 現在のラップ・タイム（緑色：最速ラップよりも速い、黄色：最速ラップと同タイム、赤色：最速ラップよりも遅い）
- **E** ラップ・カウンター – 現在のラップ回数
- **F** サークル・ディスプレイ（基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示す）

トラック進捗の表示

✓ 計時が開始されている

▷ 「計時の開始」(158ページ) を参照してください。

✓ CAR ボタン ▸ SC ▸ **Sport Chrono設定、追加データを記録**機能が作動している

1. CAR ボタン ▸ SC
2. トラック進捗ディスプレイをスクロール（スワイプ）してください。

P170_35

図109: 記録中 – トラック進捗ディスプレイ

A 基準ラップ（灰色）

B 現在の車両位置

C 現在のラップ（緑色：最速ラップよりも速い、黄色：最速ラップと同タイム、赤色：最速ラップよりも遅い）

記録の表示および編集

1回のセッションで最大99ラップを記録することができます。基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されます。

最大で10時間の記録が可能です。

記録の表示

✓ 計時が停止している。

▷ 「計時の停止」(158ページ) を参照してください。

1. CAR ボタン ▸ SC
2. **記録**ページにブラウズ (スワイプ) してください。
3. **記録**フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して（記録001など）、記録を表示させてください。

記録データの表示

1. CAR ボタン ▸ SC
2. **記録**ページにブラウズ (スワイプ) してください。
3. **記録**フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して（記録001など）、記録を表示させてください。
5. コントローラーの**統計** を選択してください。
   個別のラップに関する情報が表示されます。

記録のトラック進捗の表示

✓ ボタン CAR ▸ SC ▸ ボタン OPT ▸ **Sport Chrono設定追加データを記録**機能が作動している

1. CAR ボタン ▸ SC
2. **記録**ページにブラウズ (スワイプ) してください。
3. **記録**フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して（記録001など）、記録を表示させてください。
5. コントローラーの**地図** を選択してください。
   ラップのトラック進捗に関する情報が表示されます。

ラップの表示および編集

1. CAR ボタン ▸ SC
2. **記録**ページにブラウズ (スワイプ) してください。
3. **記録**フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して（記録001など）、記録を表示させてください。
5. コントローラーの**統計** を選択してください。
   個別のラップに関する情報が表示されます。
6. 希望のラップを選択してください。
7. コントローラーの希望の設定を選択してください。

– **保存** ：基準ラップとしてラップの保存
– **地図** ：ラップのトラック進捗を表示
– **消去** ：ラップの削除

基準ラップの設定

✓ 計時が停止されていて、リセットされている

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイでの実行」(157ページ) を参照してください。

1. CAR ボタン ▸ **SC**
2. **記録**ページにブラウズ（スワイプ）してください。
3. **基準ラップ**の中から希望の基準ラップを選択してください。
   希望の基準ラップが表示されます。
4. コントローラーの**Set Ref.(基準ラップの設定)** を選択してください。

PCMの設定入力

記録および基準ラップの管理

1. CAR ボタン ▸ **SC** ▸ OPT ボタン
2. 希望のオプションを選択してください。

– **データ名を変更する**：基準ラップおよび記録のデータ名を変更することができます。
– **データを移動**：記録および基準データを、SDカードまたはUSB大容量記憶装置にエクスポート、またはインポートすることができます。
  – **Import**：データをインポートできるようにするためには、データが記憶装置のスポーツクロノ・フォルダーに保存される必要があります。**Select**および**Deselect**で、インポートするデータを選択してください。**Import**で、選択したデータをインポートしてください。
  – **Export**：**Select**および**Deselect**で、エクスポートするデータを選択してください。**Export**で、選択したデータをエクスポートしてください。
– **データを削除**：基準ラップおよび記録のデータ名を削除することができます。

その他の設定

1. CAR ボタン ▸ **SC** ▸ OPT ボタン ▸ **Sport Chrono設定**
2. 希望のオプションを選択してください。

– **追加データを記録**：ラップの長さおよびラップ・タイムとは別に、他の走行データ（速度など）を1秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。
  ▷ 「記録の表示および編集」（159ページ）を参照してください。
– **許容距離差**：基準ラップの長さと任意のラップの長さがどのくらい異なるかを表示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。
– **評価の最大タイム差**：記録時に速度が同一（黄色マーク）と評価されたラップ間の最大のタイム差を表示します。

スモーカーズ・パケージ

灰皿の使用

⚠ 警告 灰皿による火災の危険

灰皿に紙くずなどを入れると発火するおそれがあります。

- 絶対に灰皿を紙くず入れとして使用しないでください。

フロントの灰皿の使用

図110: フロントの灰皿の使用

灰皿を開く

- 灰皿のリッドを素早く押してください(図110)。
  リッドは自動で開きます。

灰皿を空にする

1. 灰皿のインサートを外すには、灰皿を開き、灰皿のリッドを押し下げてください。
2. 灰皿のインサートを引き上げて取り外してください。
3. 灰皿を掃除した後、インサートを取り付けて、カチッと音がするまで所定の位置に押し込んでください。

リヤの灰皿の使用

図111: リヤの灰皿の使用

灰皿を開く

- 灰皿のリッドを素早く押してください(図111)。
  リッドは自動で開きます。

灰皿を空にする

1. 灰皿を開いてください。
2. インサートのリッド部分を保持して取り外してください。

シガー・ライターを使用する

⚠ 警告 高温のシガー・ライター

シガー・ライターの先端は、使用後は非常に熱くなります。

- お子様のみを車内に残さないでください。
- ヒーター・エレメントまたはシガー・ライターの側面部は絶対に触れないでください。
- 作動ボタン以外で高温のシガー・ライターを持たないでください。

図112: フロント・シガー・ライター

図113: リヤ・シガー・ライター

シガー・ライターはイグニッションの位置に関係なく使用できます。

1. 作動ボタンをソケットに押し込んでください (図112, 図113)。ライターのフィラメントが赤熱すると、ライターが元の位置まで飛び出します。
2. シガー・ライターを取り外してください。

シガー・ライター・ソケットで充電アダプターを使用する際のインフォメーション：

▷ 「充電アダプターの接続」(261ページ) を参照してください。

接続

データ接続を確立する（接続）

ポルシェ専用SIMカードを使用してデータ接続を確立する

図114: SIMカードの挿入および取り出し

✓ ドライブ・カバーが開いています。

1. SIM カード **B**（ミニ SIM、寸法：25 x 15 mm）を挿入してください（切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にしてください）。

データ接続が確立されます。

▸ SIMカードを取り出すには、挿入されたカードを押して抜き出します。

知識

SIMカードを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

1枚のSIMカード・アダプタを使用している場合、振るとSIMカードがアダプタから落ちる危険性があるため、カードはPCMにはめたままにしてください。

▸ SIMカード・アダプターは使用しないでください。

インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください：

– SIM カードが正しく挿入されている
– SIM カードが損傷していない、および適切に作動している
– 車両が十分ネットワーク受信が可能な場所にある（遮蔽された場所でない）。
– 必要に応じて PCM を再始動してください。

データ接続の設定に関するインフォメーション：

▷ 「データ接続の設定」（205ページ）を参照してください。

SIMカードのPIN設定およびその他の電話設定に関するインフォメーション：

▷ 「電話設定の変更」（204ページ）を参照してください。

Bluetooth®を用いて、PCMに携帯電話を接続する方法の詳細については：

▷ 「携帯電話をBluetooth®で接続する（携帯電話の準備）」（198ページ）を参照してください。

接続の利用**

ポルシェ・コネクト・ポータルのサービスを起動する

ポルシェ・コネクト・サービスを初めて使用する前に、起動/設定が必要です。

▸ ポルシェ・コネクト・ポータルを使用してポルシェ・コネクト・サービスを起動してください。サービスの起動/設定についての詳細なインフォメーションについては：
  ▷ www.porsche.com/connect にアクセスしてください。

ナビゲーション・システムおよびボイス・コントロール・システムを使用する

✓ 挿入されたSIMカードにより、データ接続が正常に確立されている
  ▷ 「データ接続を確立する（接続）」（163ページ）を参照してください。

– ナビゲーション目的地、ポータル POI、および興味のあるカテゴリーの他のポイントの入力のためのオンライン検索機能をポルシェ・コネクト・ポータルから読み込んでください。
– 追加地図画面
– インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関するリアルタイム交通情報

** 掲載のサービスは2017年度以降の提供を予定しております。
サービス開始時期等詳細に関しましては当社Webサイトに掲載予定です。

「アプリ」メニューのサービスを使用する

✓ 挿入されたSIMカードまたは外部WiFiホットスポットにより、データ接続が正常に確立されている
▷ 「データ接続を確立する（接続）」（163ページ）を参照してください。

1. HOME ボタン ▸ **アプリ**
利用可能なサービスが表示されます。

ポルシェ・コネクト・アプリ機能の詳細については：
▷ 「Porsche Connect App」（371ページ）を参照してください。

ポルシェ・コネクト・ログイン

パーソナル設定を、ポルシェ・コネクト・ポータルから呼び出すためには、一部のサービスについてPCMにペアリング・コードを入力する必要があります。

1. HOME ボタン ▸ **アプリ** ▸ OPT ボタン
2. **ポルシェ・コネクトにログイン ▸ 新しいユーザーの作成 ▸ ペアリングコードを入力。**
3. サービスを正常に作動/設定した後、ポルシェ・コネクト・ポータルに表示されたペアリングコードを入力してください。

ポルシェ・コネクト・ログアウト

✓ ポルシェ・コネクト・ユーザーが作成されます。

1. HOME ボタン ▸ **アプリ** ▸ OPT ボタン
2. **ポルシェ・コネクト・ログアウト**
現在ログインしているユーザーがログアウトします。

目次を更新する

1. HOME ボタン▸ **アプリ** ▸ OPT ボタン▸ **更新**
購入したサービスのコンテンツが更新されます。

サービス情報の表示

1. HOME ボタン ▸ **アプリ** ▸ OPT ボタン ▸ **サービス情報**
購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

PCMデータ接続を使用する（WiFi ホットスポット）

ホットスポットに接続可能な WiFi 機器は最大 8 個です。

✓ SIMカード経由でデータ接続が確立されている

1. フッターの または (接続状況により異なる)▸ **ホットスポット**を選択します。
2. **OK** をクリックしてメッセージを確認してください。
PCMのWiFiアクセス・データ（機器名およびWiFiパスワード）が表示されます。
3. PCMのWiFiアクセス･データを機器のWiFi設定に入力してください。
PCMデータ接続を使用する（ワイヤレス・インターネット・アクセス）

WiFi設定に関するインフォメーション：
▷ 「WiFi設定の設定」（204ページ）を参照してください。

インフォメーション

– ワイヤレス・インターネット・アクセスを使用しているとき、データ保護、アンチウイルス保護、使用されているデバイス上のデータの損失に対する保護に対する予防措置を講じてください。

セレクター・レバーの緊急解除

知識

セレクター・レバーを緊急解除した場合、車両が固定されずに動き出してしまうため、人身事故や器物の損壊を招く恐れがあります。

- ▸ エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、、車両が動き出さないように固定してください（車止めを使用するなど）。
- ▹「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」（262ページ）を参照してください。
- ▹「車両が動き出さないように固定してください」（248ページ）を参照してください。

電気系統が故障した場合は、セレクター・レバーを**N**位置に動かすため、セレクター・レバーの緊急解除を行ってください。

セレクター・レバーの緊急解除

図115: セレクター・レバーの緊急解除

1. フロント灰皿のインサートを取り外してください。
   - ▹「灰皿の使用」（161 ページ）を参照してください。
2. シフト・カバーを引き上げてセレクター・レバーから外してください。
3. 適切な道具（スクリュードライバー）などを緊急解除用の開口部（黄色のプラスチック部分）に差し込み、スプリングの反発力に対抗して押し下げてください。
   - ▹「工具セットの取り外し」（332ページ）を参照してください。
4. 同時にセレクター・レバーの解除ボタンをしっかりと押して、セレクター・レバーを**N**の位置にしてください。

セントラル・ロック

概要 – 車外からのドアの開閉操作とロック

この概要説明は「セントラル・ロッキング・システム」に記載されているすべての情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

図116: キー

図117: ポルシェ・エントリー＆ドライブ

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	その結果は？	ページ
ロック解除	キーを使用する： ▸ キーの 🔓 ボタンを押します。 ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車： ▸ ドア・ハンドルをしっかり握ってください。	ハザード・ライトが1回点滅します。 ドアを開くことができます。	167
ロック	キーを使用する： ▸ キーの 🔒 ボタンを押してください。 ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車： ▸ ドア・ハンドルのボタン**A**を押してください。	ハザード・ライトが2回点滅します。ドアおよびリヤ・リッドはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。 室内モニタリング・システム装備車の場合：ドアは、インナー・ドア・ハンドルを引いて車内から開くことができません（セーフロック）。	168
人/動物を車両に残してロックする場合（室内モニタリング・システム装備車） – セーフロックの作動を無効にする **および** – 室内モニタリング・システムをOFFにする	キーを使用する： ▸ キーの 🔒 ボタンを（約2秒以内に）2回押してください。 ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車： ▸ ドア・ハンドルのボタン**A**を2回押してください（約2秒以内）。	ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。 ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。	168
アラーム・システムのアラーム音をOFFにする	▸ キーの 🔓 ボタンを押してください。 **または** イグニッションをONにしてください。	アラーム音がOFFになります。	127

セントラル・ロッキング・システムの使用

車両装備により、キーまたはポルシェ・エントリー&ドライブ装備車ではキーを使用せずにドアのロックおよびロック解除ができます。

セントラル・ロッキング・システムは、次の部位をロック/ロック解除します：

– ドア
– リヤ・リッド

キーを使用する

▸ キーのボタンを使用します。

インフォメーション

ここでは初期設定の機能をもとに説明しています。

ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

▷ 「ドア・ロック機能を設定する」(315ページ)を参照してください。

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車[1)]

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車の場合、キーを使用せずにロックおよびロック解除を行なうことができます。車両がロックされていてもリッドを開くことができます。

第三者の不正なロック解除および車両の始動を防ぐため、車両キーを使用してポルシェ・エントリー & ドライブを一時的に解除することができます。

1) ポルシェ・エントリー & ドライブ・システムは最先端技術です。しかし、無線キーのキー・コードが遮断されたり、使用されて車両の盗難にあう、といった可能性を完全に排除できていません。

車両キーによるポルシェ・エントリー & ドライブの解除

1. 🔒 ボタンを押し続けてください。
2. **同時に**、🔓 ボタンを 1 秒以内に押し、車両キーのインジケーター・ライトが継続して点灯するまで両方のボタンを押し続けてください。

   車両キーのインジケーター・ライトが継続して点灯することで、車両キーによる解除を確認できます。

車両キーのボタンを押す、またはコントロール・ユニットを回転させると、ポルシェ・エントリー & ドライブは自動的に起動します。

▸ キーを強い電磁波にさらさないでください。ポルシェ・エントリー &ドライブに悪影響を与える場合があります。

ドア・ロックを解除してドアを開く

ドアのロック解除機能の設定

車両のロック解除で運転席ドアとリヤ・リッドのみを解除するか、またはすべてのドアを解除するかは設定に左右されます。

▷ 「ドア・ロック機能を設定する」(315ページ)を参照してください。

設定にかかわらず、すべてのドアのロックを解除します：

▸ キーの 🔓 ボタンを5秒以内に2回押してください。

キーによるドアのロック解除

図118: キーによるドアのロック解除

1. ボタン 🔓 を押してください。
   ハザード・ライトが1回点滅します。
   ドア・ロックが解除されます。
2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ（キーレス）によるドアのロック解除

図119: ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック解除

✓ キーを携行して運転席または助手席側のドアに近づくと、車両のロックを解除することができます。

1. ドア・ハンドルをしっかり握ってください。
   ハザード・ライトが1回点滅します。
   ドア・ロックが解除されます。
2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

インフォメーション

車両のロックを一定時間以内に解除しなかった場合、ポルシェ・エントリー＆ドライブの作動待機がOFFになります。運転席ドアは96時間後、助手席ドアは36時間後に作動待機がOFFになります。

1. ドア・ハンドルを1回引くと、ポルシェ・エントリー＆ドライブが作動待機状態に戻ります。
2. ドア・ハンドルをもう１回引くと、ドアが開きます。

インフォメーション

ドア・ロックを解除してからドアまたはリヤ・リッドを開かなかった場合、30秒後に自動的にロックされます。警報システムは起動します。傾斜センサー＊と室内モニタリング・システムは解除されます（盗難防止機能が制限されます）。

この場合、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

▸ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

再度ロックされた後は、室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー＊が再び作動します。

インフォメーション

エアバッグが作動する事故が起きた場合、救助者が車両に入りやすくするためにドアが自動的にロック解除されます。更に、ハザード・ライトも自動的に作動します。

ドアをロックする

セーフロックの使用

セーフロックは、ロックされた車両のインナー・ドア・ハンドルとセントラル・ロッキング・ボタンを無効にし、不正な車内への侵入を難しくします。

⚠ 警告 車外からのドアのロック

車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります（セーフロック）。そのため、ロックする前に車両に人または動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

▸ 車両をロックするときは、車内に人や動物がいないことを確認してください。

キーによるドアのロック

1. ドアを閉じてください。
2. 🔒 ボタンを1回押してください。
   ハザード・ライトが2回点滅します。
   室内モニタリング・システム（セーフロック）装備車の場合：
   ドアをインナー・ドア・ハンドルを引いて車内側から開くことはできません。
   室内モニタリング・システム非装備車：
   ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
   または
   人や動物を車内に残してロックする場合（ロックされた車両のセーフロックの解除）：

▸ 🔒 ボタンを2秒以内に2回押してください。
ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。
ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

▸ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

– ドア、ボンネット、またはリヤ・リッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。
警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ハザード・ライトは点滅しません。
– 運転席ドアのみが閉じている状態でロックすると、車両はプリロックされます。

▸ 他のドア、リヤ・リッドをロックするときは、キーが車外にあることを確認してください。
キーを車内に残したままにすると、スペア・キーを使用しなければロックを解除することができなくなります。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ（キーレス）によるドアのロック

図120: ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック

✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行する

1. ドアを閉じてください。
2. ドア・ハンドルのボタン**A**を押してください。
ハザード・ライトが2回点滅します。
室内モニタリング・システム（セーフ・ロック）**装備車の場合：**
ドアをインナー・ドア・ハンドルを引いて車内側から開くことはできません。
室内モニタリング・システム非装備車：
ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
または
人や動物を車内に残してロックする場合（ロックされた車両のセーフロックの解除）：

▸ ドア・ハンドルのボタン **A** を2秒以内に2回押してください。
ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。
ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

▸ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

インフォメーション

– ドア、ボンネット、またはリヤ・リッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ハザード・ライトは点滅しません。
– 運転席ドアのみが閉じている状態でロックすると、車両はプリロックされます。
– ドアをロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあるとドアをロックできません。

車内からのドアの開閉操作とロック

ドアをロックする

図121: ドア・パネルのセントラル・ロッキング・ボタン

✓ ドアを閉じる

▸ ドア・パネルのまたはリヤの 🔒 ボタンを押してください。
すべてのドアとリヤ・リッドがロックされます。フィラー・フラップはロックされません。
イグニッションをONにすると、インジケーター・ライト **A** が点灯します。
ドアはインナー・ドア・ハンドルを引くことにより、内側から開くことができます。

リヤのセントラル・ロッキング・ボタンはリヤ・シート・ヒーターまたは4ゾーン・エアコンを装備した車両にのみ付いています。

自動ドア・ロック

この機能が作動しているときは、車両の速度が約5km/hを超えると自動的にロックされます。

▷ 「ドア・ロック機能を設定する」(315ページ)を参照してください。

ドア・ロックの解除

▶ ドア・パネルのまたはリヤの 🔓 ボタンを押してください。
すべてのドアとリヤ・リッドのロックが解除されます。
インジケーター・ライト**A**が消灯します。

リヤのセントラル・ロッキング・ボタンはリヤ・シート暖房または4ゾーン・エアコンを装備した車両にのみ付いています。

自動ドア・ロック解除

ポルシェ・エントリー＆ドライブ非装備車：
キーを抜くと、車両のロックが自動的に解除されます。
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車
運転席ドアを開くと、車両は自動的にロック解除されます。

▷ 「ドア・ロック機能を設定する」(315ページ)を参照してください。

i インフォメーション

ドライバー・キーまたはエマージェンシー・キーで車両をロックした場合、車内の 🔓 ボタンでロックを解除することはできません。

ドアを開く

図122: 車内からドアを開く

▶ インナー・ドア・ハンドル(図122)を引っ張ってください。

i インフォメーション

ドアがロックされ、セーフロックが作動している場合、車内からドアを開くことはできません。

ソフト・クローズ機能を装備してない車両のリヤ・ドアでチャイルド・ロックを作動/解除する

室内からリヤ・ドアが開かないようにできます。リヤ・ドア開口部のキャッチの近くに、チャイルド・ロックを作動/解除するためのキー・スイッチがあります。

図123: 右リヤ・ドアのチャイルド・ロック

ロックする：

▶ エマージェンシー・キーを使用して、右リヤ・ドアのチャイルド・ロックを約45°反時計回り (図123)に回してください。左リヤ・ドアのチャイルド・ロックは約45°時計回りに回してください。
チャイルド・ロックが作動すると、ロック・シリンダーが縦位置になります。
リヤ・ドアを内側から開くことはできません。

ロックを解除するには：

▶ エマージェンシー・キーを使用して、右リヤ・ドアのチャイルド・ロックを約45°時計回り (図123)に回してください。左リヤ・ドアのチャイルド・ロックは約45°反時計回りに回してください。
リヤ・ドアを内側から開くことができます。

▷ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」(94ページ) を参照してください。

ソフト・クローズ機能装備車のリヤ・ドアでチャイルド・ロックを作動/解除する

チャイルド・ロック機能はチャイルド・プロテクション作動時に作動します。

図124: チャイルド・ロックを作動する

ロックする：

- ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

ロックを解除するには：

- ボタンを再度押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

インフォメーション

チャイルド・ロック機能が作動している場合は、リヤ・ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチと、リヤ・センター・コンソールのコントロール・パネルの機能が無効になります（セントラル・ロッキング・システムを除く）。

チャイルド・ロック機能に故障がある場合、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

ドアを閉じる（ソフト・クローズ機能装備車）

ソフト・クローズ機能装備車には、すべてのドアにパワー・クロージング・メカニズムが装備されています。

⚠ 注意 パワー・クロージング・メカニズム

閉操作時、ドアはロックに自動的に引き込まれます。

- ドアと車両固定部間に指を挟まないように注意してください。
- パワー・クロージング・メカニズムの作動部品（ロックのロータリー・ラッチ）の近くに物を置いたり、手足を近づけないでください。
- お子様のみを車内に残さないでください。

- ドアを軽く押す、または引いて閉じてください。
  ドアは自動的に引き込まれて閉じます。

緊急時の閉作動の中断

- インナー・ドア・ハンドルを引いてください
  または
  アウター・ドア・ハンドルを引いてください

閉鎖補助器が失敗した場合、閉鎖操作を中断する

- ドアを押す、または引いて手動で閉じてください。

緊急ドア・ロック解除

キーのリモコンが機能しない場合、リモコンなしでもドアを開閉することができます。

リモコンが作動しない場合は、以下の原因が考えられます。

- 送信中に電磁波が干渉している場合があります（ポルシェ・エントリー＆ドライブの場合、キーと車両間の電波接点）。
  キーと電源の入った電子機器（携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブルなど）と一緒に保管しないように注意してください。必要に応じて、キーの保管場所を変更してください。
- リモコンが作動しない場合、故障が原因と考えられます。
- キーのバッテリーが切れている場合があります（「キーの電池交換」（94ページ）を参照してください。）。

緊急ドア・ロック解除

- リヤ・ウィンドウの右上にドライバー・キーを置き、同時に 🔓 ボタンを押してください。

車両のロックがまだ解除できない場合：

図125: 緊急ロック解除

1. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
   ▷ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」（94ページ）を参照してください。
2. エマージェンシー・キーをドア・ハンドル下の開口部に差し込み、ロックのカバーを取り外してください。
3. エマージェンシー・キーをドア・ロックに差し込み、抵抗のある方向へ一定の力で90°回してロックを解除してください。その後、初期ポジションへ戻し、キーを抜き取ってください。
4. ロック・カバーを取り付けてください。
5. 盗難防止警報システムの作動を回避するため、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしてください。

インフォメーション

警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車の追加作業：

イグニッションをONにできない場合、またはエンジンが始動しない場合、キーが車内にないことを知らせるメッセージがインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

6. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置0に戻してください。
7. エンジンを再度始動してください。
   またはエンジンが始動しない場合、キーが車内にないことを知らせるメッセージがインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに再度表示されます。
8. 約1秒後に、メッセージ**パネル：左へ回し、取り外し、キーを差し込む**のメッセージが表示されます。
9. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置0に戻し、イグニッション・ロックから取り外してください。
   ▷ 「キー／ コントロール・ユニットの緊急ロック解除」（95ページ）を参照してください。
10. キーを使用してイグニッションを ON にしてください（エマージェンシー・キーは除く）。

緊急ドア・ロック

図126: 緊急ロック

1. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
   ▷ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」（94ページ）を参照してください。
2. エマージェンシー・キーをドア・ハンドル下の開口部に差し込み、ロックのカバーを取り外してください。
3. エマージェンシー・キーをドア・ロックに差し込み、抵抗のある方向へ一定の力で時計回りに90°回してロックを解除してください。その後、初期ポジションへ戻し、キーを抜き取ってください。
4. 車両がロックしていることを確認してください。
5. ロック・カバーを取り付けてください。

インフォメーション

セントラル・ロッキング・システムに異常があるときは、運転席ドアのドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んでロックすると、正常に機能しているロックのみが作動します。

▷ 「セントラル・ロッキング・システムが故障した場合のドアの緊急ロック」(174ページ)を参照してください。

▶ セントラル・ロッキング・システムの故障を修理してください。

▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ・エントリー &ドライブ

ポルシェ・エントリー &ドライブのアンテナの取り付け位置

ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車は、リモート・コントロール付きキーと車両のアンテナが電波で通信することで、ドアやリヤ・リッドをロック/ロック解除できます。

植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器を装着されているお客様へ

警告

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室外アンテナAおよび車室内アンテナBから約22cm以内の範囲に、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を近づけないでください。

▶ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室外アンテナ**A**および車室内アンテナ**B**から約22cm以内の範囲に近づかないでください。アンテナからは電波が出ており、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与える恐れがあります。

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用されている方は、医師や医療用電気機器製造業者などに電波の影響の有無について事前に確認してください。電波により医療用電気機器の作動に影響を与える恐れがあります。

セントラル・ロッキング・システムが故障した場合のドアの緊急ロック

1. 右側ドアを開いてください。

図127: 助手席ドアの緊急ロック

2. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
3. エマージェンシー・キーを使用して、キー・スイッチを車両の外側方向に回してください。
4. リヤ・ドアについても同様の作業を行ってください。
5. すべてのドアを閉じてください。

図128: 運転席ドアの緊急ロック

6. エマージェンシー・キーをドア・ロックに差し込み、抵抗のある方向へ一定の力で時計回りに90°回してロックを解除してください。その後、初期ポジションへ戻し、キーを抜き取ってください。
7. ロック・カバーを取り付けてください。
8. すべてのドアがロックしているか確認してください。
   ドアはインナー・ドア・ハンドルを引くことにより、内側から開くことができます。

タイヤとホイール

タイヤの寿命は、タイヤ空気圧やシャシー設定以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右されます。

急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

▷ 「サーキット走行の前に」（16ページ）を参照してください。

積載重量と速度

- 適切な速度で運転してください。
- 過積載を避け、ルーフに積載する場合は注意してください。

▷ 「重量（メーカー発表値）」（380ページ）を参照してください。

タイヤ空気圧の点検

知識

タイヤ空気圧が不足していると、タイヤが過熱して目に見えない損傷が発生します。

- このような損傷が発生した場合は、空気圧を調整しても正常な機能を回復できません。
- タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない（空気を抜かない）でください。タイヤの温度が上昇すると、空気圧も上昇します。温度が下がったときに空気圧が不足する原因になります。

図129: ドア・シル（ドア開口部）のタイヤ空気圧プレート

タイヤを規定の空気圧に保ってください。タイヤ空気圧は運転席側ドア・シル（ドア開口部）にあるタイヤ空気圧プレート（図129）、および本書（384ページ）の「テクニカル・データ」の章に記載されています。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき(20°C)を基準にしています。

- 少なくとも2週間に1回はタイヤの冷間時にタイヤ空気圧を点検してください。

▷ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」（304ページ）を参照してください。

タイヤ空気の充填

⚠ 注意 高温の充填ホース

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの充填ホースが高温になり、やけどの原因となります。

- 作業用手袋を着用してください。

圧力計付きコンプレッサーは、ラゲッジ・コンパートメントの進行方向から見て右側の床下に収納されています。

▷ 「工具セットの取り外し」（332ページ）を参照してください。

▷ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。

1. 充填ホースをタイヤ・バルブにねじ込んでください。

図130: バッテリー端子

A プラス端子+
B アース箇所（マイナス端子）–

2. コンプレッサーの電源クリップをジャンパー・ケーブル接続用の端子に接続してください。必ず下記の手順に従ってください：
   a. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス（+）端子のキャップを開いてください。
   b. ジャンパー・ケーブル接続用のプラス(+)端子にコンプレッサーのプラス・ケーブル（赤）を接続してください。
   c. ジャンパー・ケーブル接続用のマイナス(−)端子にコンプレッサーのマイナス・ケーブル（黒）を接続してください。
3. コンプレッサーをONにしてください。
   タイヤに空気が充填されます。
4. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であれば調整してください。もう1回タイヤ空気圧を点検してください。
5. コンプレッサーをOFFにしてください。
6. コンプレッサーの充填ホースをタイヤ・バルブから取り外してください。

インフォメーション

また、ガソリンスタンドでもタイヤ空気圧の点検、およびタイヤに空気の充填ができます。

タイヤ空気圧を下げる

1. コンプレッサーをOFFにしてください。
2. 充填ホースのエア抜きスクリューを規定のタイヤ空気圧になるまで開いてください。

タイヤ表記の読み取り

図131: タイヤに記入された文字

A タイヤ幅(mm)
B 偏平率(%)
C タイヤ構造記号
D リム径（インチ）
E ロード・インデックス
F 速度記号

速度記号Fは、そのタイヤの許容最高速度を示します。

H	210km/hまで	**V**	240km/hまで
W	270km/hまで	**Y**	300km/hまで

(Y) 300km/hまで（Y記号タイヤの場合）タイヤのロード・インデックス（最大積載容量）の85 %までを積載した状態で300km/h以上の速度で走行することも可能です（300km/h以上で走行する場合はタイヤ・メーカーの確認が必要です）。

ホイール表記の読み取り

ホイールの情報は、タイヤ・バルブの近くのホイール・スポーク裏面に刻印されています。

図132: ホイールに記入された文字

A リム幅（インチ）
B リムフランジ形状記号
C ドロップ・センター・リム記号
D リム径（インチ）
E ダブル・ハンプ
F リム・オフセット(mm)

タイヤ損傷の点検

⚠ 警告 見えないタイヤ損傷とリム・フランジの損傷

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- 定期的にタイヤの状態（側面も含めて）を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがないか確認してください。
- 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体（石など）に強くぶつかったり乗り上げたりしないように注意してください。
- ホイールを損傷した可能性があるとき（特に内側）は、専門家による点検を受けてください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合に限り1回のみ、最寄りの修理工場までの短距離移動を可能にします。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください：

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、異常な負荷がかかったりした可能性があるとき

タイヤとホイールの交換

- ホイールを交換するときは、イグニッションをOFFにしてください。

⚠ 警告 グリップしない

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- 最初の200kmは、控えめな速度で走行して新しいタイヤを慣らしてください。これによりタイヤ寿命を伸ばし性能を最大限に引き出すことができます。

- 原則として、4輪に装着するタイヤは同一メーカーの同一仕様（N0、N1など）に統一してください。
- 新しいタイヤに交換する前に、最新の承認タイヤについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は30 %を超えないようにしてください。
- 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- トレッド溝の深さの差を原因とする不必要な車両操作への影響を避けるため、同一アクスル上の両方のタイヤは必ず同時に交換してください。
- タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で実施してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。

i インフォメーション

新しいホイールには、タイヤ空気圧モニタリング(TPM)のタイヤ空気圧センサーを取り付けなければなりません。

- この車両のTPMシステムに適合するホイールであることを確認してください。適正ホイールとTPMに関する情報：ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- タイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

フロントまたはリヤ・タイヤのみを交換した場合は、前後タイヤのトレッド溝の深さに差があるため、それまでの走行とはっきりした違いが感じられます。この違和感は特にリヤ・タイヤを交換した場合に顕著になります。この違和感は、走行距離が伸びるにつれて次第に減少します。

バルブおよびバルブ・キャップの点検と交換

- タイヤ空気圧モニタリング（TPM）用のポルシェ純正バルブのみを使用してください。
- タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。
  ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブ・キャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- バルブ・インサートの汚れを防ぐため、必ずバルブ・キャップをしっかりと閉めてください。バルブが汚れると、タイヤ空気圧減少の原因となります。
- 紛失した場合は、直ちに新しいバルブ・キャップを取り付けてください。
- プラスチック製のバルブ・キャップのみを使用してください。

ウィンター・タイヤを使用する

⚠ 警告 最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- タイヤの最高許容速度を守ってください。
- タイヤの側面に「M+S」の表示があるタイヤに限り、許容最高速度がこの車両の最高速度に満たないウィンター・タイヤを装着できます。オール・シーズンおよびオールラウンド・タイヤも速度制限の対象となり、これが表示されています。
- 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- マルチファンクション・ディスプレイで最高許容速度を制限速度として設定する：
  - ▷ 「制限速度の設定」（304ページ）を参照してください。

- 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウインター・タイヤを装着してください。
- ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- 新しいタイヤに交換する前に、最新の承認タイヤについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

i インフォメーション

このようなタイヤを気温が低い時に使用し続けると、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にジャダー・ノイズが発生することがあります。
サマー・タイヤの走行性能は、気温が7℃を下回ると低下し、快適性も損なわれます。このため、ポルシェ社では気温が7℃を下回る時期にはウィンター・タイヤへの交換を推奨しています。更に外気温度が極端に低くなると（–15℃以下）、サマー・タイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。
ウインター・タイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

スノー・チェーンを使用する

知識

スノー・チェーンを取り付ける前にスペーサーを取り外さなかった場合、ホイール・ハウジングを損傷する危険性があります。

- スノー・チェーンを取り付けるアクスルから、必ずスペーサーを取り外してください。

スノー・チェーンはリヤ・タイヤのみに装着してください。また「テクニカル・データ」の章を参照して、スノー・チェーンの装着に適したタイヤ/ホイールを使用しなければなりません。

- スノー・チェーンとホイール・ハウジングのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェ社が承認したスノー・チェーンのみを使用してください。
- ▷ 認定スノー・チェーンに関するインフォメーション：
  「タイヤとホイール」（384ページ）を参照してください。
- スノー・チェーンを装着する前に、ホイール・ハウジングの内側にこびりついた雪や氷を取り除いてください。
- 最高速度については各国の法規に従ってください。
- スノー・チェーンを取り付ける前にスペーサーを取り外してください。

i インフォメーション

18インチ・ホイール装着車の場合、ポルシェ社が4輪に装着することを認証したチェーンであれば、フロント・アクスルにもスノー・チェーンを装着することができます。

タイヤ・トレッドの点検

- タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。
- 多くのタイヤはトレッド中央分にウェア・インジケーターを備えています。ウェア・インジケーターは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の1.6mmになると現れます。
  安全のため、ウェア・インジケーターが現れる**前に**タイヤを交換してください。ウインター・タイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

トレッド溝の深さの測定

- 市販のトレッド溝ゲージまたはキャリパーをタイヤ・トレッドに挿入し、タイヤ・トレッドの深さを測定してください。

i インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます：

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの保管

- タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- 外気温が–15°C以下の場所にサマー・タイヤを保管したり、またはサマー・タイヤ装備車を駐車したりしないでください。
- 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。
- 製造から 6 年以上が経過したタイヤは**使用しない**でください。年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。例えば、最後の4つの数字が3016の場合、タイヤは2016年の30番目の週に製造されたことを示します。

ホイールのバランス調整

安全で快適なドライブを楽しんでいただくために、サマー・タイヤは春に、「M+S」付きのスノー・タイヤは冬に入る前にホイール・バランスの調整を受けてください。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ホイールの交換

⚠ 警告 車両の下に入っての作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ジャッキ・アップしてタイヤを交換する前に、すべての乗員を降ろしてください。
- 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。
- 車両が斜面（上り坂や下り坂など）や道路脇に駐車されている場合は絶対にジャッキ・アップしないでください。
- ジャッキは、タイヤ交換時に車両を持ち上げるためのみに使用してください。

i インフォメーション

ホイール交換に必要な工具（ジャッキ、ホイール・ボルト・レンチ、組み付け補助工具など）は車両に標準装備されておりません。

- 必要となる工具に関する情報：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

i インフォメーション

前輪と後輪のタイヤ/ホイール・サイズは異なります。

ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- 認可されたサイズの前輪/後輪用ホイール/タイヤを必ず使用してください。

ホイール取り付け面のお手入れ

図133: ホイール取り付け面

知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ブレーキ・ディスクのホイール取り付け面**B**およびホイール本体の取り付け面に**油脂類を塗布しない**でください。
- **A**部分のみに油脂類を塗布できます。この部分にはOptimoly® TAグリースを薄く塗布してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。
  他の油脂類は使用しないでください。

ホイール・ボルトのお手入れ

- ホイール・ボルトは取り付ける前に、必ず清掃してください。
- ホイール・ボルトには油脂類を塗布しないでください。
- 損傷したホイール・ボルトは交換してください。この車両専用のポルシェ純正ホイール・ボルト、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- ホイール・ボルトは160Nmの締め付けトルクで締め付けてください。

盗難防止ホイール・ボルトの使用

図134: 盗難防止ホイール・ボルト・アダプター

盗難防止ホイール・ボルト用アダプターは、工具セットに収納されています。

- 盗難防止ホイール・ボルトを脱着するときは、このアダプターをホイール・ボルトとホイール・ボルト・レンチの間に入れて使用してください。
- アダプターを取り付けるときは、ホイール・ボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

インフォメーション

17mmスペーサーがリヤ・アクスルに取り付けられている場合は、盗難防止機能のないスチール・ナットを使用してホイールを取り付けてください。

ホイール・ボルトに適した5mmスペーサーを使用

図135: 青い球面キャップ・リング付きロング・ホイール・ボルト

- スペーサーを装着する場合は、**ロング・**ホイール・ボルト(54mm)でホイールを取り付けてください。

ロング・ホイール・ボルトは、ボルトの頭に青色のマークが付いているか、球面キャップ・リングが青色にメッキされています（**矢印**）。
ホイール・ボルトの締め付けトルク：**160Nm**

タイヤ交換および17mmスペーサーの取り外し

警告 スペーサーの不適切な使用

17mmスペーサーをフロント・アクスルに装着した場合、およびポルシェで認定されていないタイヤと組み合わせた場合、安全な走行が保証されません。

- 17mmスペーサーは、必ずリヤ・アクスルに、かつポルシェ認定ホイールとの組み合わせでのみ使用してください。
- スペーサーの装着をポルシェ正規販売店にご依頼になる前に、最新の認可情報についてお問い合わせください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告 クリアランス不足

コラプシブル・スペア・ホイールを取り付ける前にスペーサーを取り外さなかった場合、事故を起こす恐れがあります。

- コラプシブル・スペア・ホイールを取り付ける前に5mmまたは17mmスペーサーを取り外さなかった場合、ホイールを正しく取り付けられません。

警告 不適切なホイール・ボルト

5mmスペーサーを装着する場合、ホイールはロング・ホイール・ボルト(54mm)を使用しなければ確実に固定できません。短いホイール・ボルトで取り付けると、運転中にホイールがゆるむ恐れがあります。

- 5mmスペーサーを装着した場合は、4輪とも必ずロング・ホイール・ボルト(54mm)を使用してホイールを取り付けてください。

▷ 「ホイール・ボルトに適した5mmスペーサーを使用」（180ページ）を参照してください。

知識

スノー・チェーンを取り付ける前にスペーサーを取り外さなかった場合、ホイール・ハウジングを損傷する危険性があります。

- スペーサーを取り付けるときは、ポルシェ社が認証したホイールを使用してください。上部ステータス・エリアに関するインフォメーション：ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- スノー・チェーン、コラプシブル・スペア・ホイールを取り付けるときは、スペーサーを取り外してください。
- スペーサーを取り外さない場合、交換用ホイールまたはフルサイズ・スペア・ホイールを取り付ける際に、取り付け補助工具を使用する必要はありません。

ホイールの交換

車両の準備

1. セレクター・レバーをP位置に入れてください。
2. エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
3. キーを抜き取ってください。
   ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車：リモート・コントロール・ユニット
4. 車両が動き出さないよう、反対側のタイヤの下に輪止めをかけるなどして固定してください。
   ▷ 「車両が動き出さないように固定してください」（248ページ）を参照してください。
5. 交換するホイールのホイール・ボルトまたはホイール・ナットをわずかに緩めてください。

⚠ 警告 レベル・システムの操作

レベル・システムが作動している車両は不意に動いたり、ジャッキやリフトなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- リフト・アップ前に、手動でノーマル・レベルに設定し、その後レベル・コントロール・システムをOFFにしてください。

▷ 「レベル・コントロールのON/OFF」（68ページ）を参照してください。

6. 車両のリフト・アップは必ず所定のジャッキアップ・ポイントで行ってください。
   ▷ 「ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム」（143ページ）を参照してください。
7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

ホイールの交換

インフォメーション

5 mmスペーサーなしにホイールを取り付ける場合、5mmより短いホイールを使用する必要があります。

▷ 「ホイール・ボルトに適した5mmスペーサーを使用」（180ページ）を参照してください。

図136: 組み付け補助工具

1. PCCB非装備車：ホイール・ボルト **A** を取り外してください (図136)。
   または
   PCCB装備車：ホイール・ボルト **A** および **B** を取り外してください(図136)。

知識

正しくホイール交換を行わないと、ブレーキ・ディスクを損傷する恐れがあります。特にPCCB装備車の場合は注意してください。

- タイヤを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。

2. 残りのホイール・ボルトまたはホイール・ナットを取り外してください。
   ▷ 「ホイール・ボルトのお手入れ」（180ページ）を参照してください。
3. ホイールを取り外してください。
   ▷ 「ホイール取り付け面のお手入れ」（179ページ）を参照してください。

図137: 5mmスペーサー

図138: 17mmホイール・スペーサー

4. **17mmおよび5mmホイール・スペーサー装着車**:必要に応じて、ホイール・スペーサー **B** (図138) と **A** (図138、図137)からボルトを取り外してください。
5. 新しいホイールを取り付けてください。
6. ホイール・ボルトを挿入し、対角線方向の順に少しだけ締め付けてください。
7. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイール・ボルトを仮締めしてください。

   すべてのホイール・ボルトを対角線方向の順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
8. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。

   ▷「タイヤ空気圧」(385 ページ) を参照してください。
9. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
10. ホイール・ボルトを対角線方向の順に完全に締め付けてください。
11. **ホイール・ボルトを締め付けたら、直ちにトルク・レンチを使用してホイール・ボルトを160Nmの締め付けトルクで増し締めしてください。**

インフォメーション

ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリング・システム(TPM)の設定をマルチファンクション・ディスプレイで更新する必要があります。

▷「タイヤ空気圧メニュー (タイヤ空気圧モニタリング、TPM)」(304ページ) を参照してください。

チャイルド・シート

安全に関する注意事項

⚠ 危険 チャイルド・シート装置の誤った使用

チャイルド・シートを正しく使用しなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

車種に適さないチャイルド・シートを使用した場合、またはチャイルド・シートを車両に正しく取り付けていない場合は、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- チャイルド・シートは道路交通法に従って使用してください。
- ポルシェ社が推奨するチャイルド・シートのみを使用してください。
  ポルシェ社推奨のチャイルド・シートは、ポルシェ社がテストを実施し、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。
  推奨外のISOFIXシステム付きチャイルド・シートを使用すると、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- チャイルド・シートを助手席で使用する前には、必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。

ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のチャイルド・シートを使用することを推奨いたします。
取り付け方法に関するインフォメーション：

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▷ 「チャイルド・シートの使用（シートベルトによる固定）」（186ページ）を参照してください。
- ▷ 「チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）」（188ページ）を参照してください。

⚠ 危険 チャイルド・シートの助手席での使用

助手席エアバッグは、ある程度の体格と最低限の体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルド・シートを助手席に取り付けた場合、または小柄な乗員が助手席に乗車している場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

- チャイルド・シートを助手席に取り付けるときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▷ 「助手席エアバッグのON/OFF – 助手席エアバッグOFF警告灯」（189ページ）を参照してください。
- 助手席シートとチャイルド・シートがしっかりと接するように、助手席シートのバックレスト角度を調節してください。

- チャイルド・シートを取り付けるときは、常にシート・ヒーターのスイッチをOFFにしてください。
- 前向きに着座するタイプのチャイルド・シートを取り付ける前には、ヘッドレストを可能な限り高く調節してください。
  - ▷ 「ヘッドレストの調節」（134ページ）を参照してください。

図139: サン・バイザーのエアバッグ警告ラベル

- どのような場合でも、エアバッグの警告ラベルや警告表示の表面を汚したり読み取りできない状態にしないでください。

チャイルド・シートの体重グループによる分類

体重グループ0、0+のお子様：13kgまで

この体重グループのお子様は、**後ろ向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

体重グループIのお子様：9～18kg

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

この体重グループのお子様は、特別な状況に限り、後ろ向きに着座するタイプのチャイルド・シートを使用することができます。

このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

体重グループIIのお子様：15～25kg

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

体重グループIIIのお子様：22～36kg

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

このタイプのチャイルド・シートは、可能な限りリヤ・シートに取り付けてください。

チャイルド・シートの使用（シートベルトによる固定）

推奨するチャイルド・シート（シートベルトによる固定）

「チャイルド・シートの使用（シートベルトによる固定）」（186ページ）を参照してください。

体重グループ	メーカー	形状	承認番号	ポルシェ部品番号	助手席への取り付け	リヤ・シートへの取り付け	
						リヤ・シート外側 1)	センター
グループ0および0+： 13kgまで	Britax-Römer	ポルシェ・ベビー・シート G0+	E_1 04301146	955.044.802.94	– 後ろ向きに取り付けること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。 – 助手席シートを後方、上方に調節すること。1)	可能	可能
グループI： 9～18kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・シート ISOFIX G1	E_1 04301199	955.044.802.92	– 前向きに取り付けること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。 – 助手席シートを後方、上方に調節すること。1) – チャイルド・シートのベルト・ガイドが助手席シートベルト引き出し口よりも前側および下側に位置していることを確認すること。 – 助手席シートとチャイルド・シートが確実に接するように助手席シートのバックレスト角度を調節すること。	可能	許可されていません 2)
グループII： 15～25kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・プラス G2 + G3	E_1 04301169	955.044.802.90		可能	可能
グループIII： 22～36kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・プラス G2 + G3	E_1 04301169	955.044.802.90		可能	可能

1) フロント・シートとその後方に座っている乗員との間に十分な距離を確保すること。
2) 中央のリヤ・シートは、サポート・レッグ付きのチャイルド・シートの取り付けに適していません。

チャイルド・シートの使用（シートベルトによる固定）

下表は、ECE-R16規格を遵守し、シートベルトで固定して使用できるチャイルド・シートの概要です。
「汎用（ユニバーサル）」のマークは、チャイルド・シートのECEラベル（オレンジ色）に表示されています（図140を参照）。

体重グループ	チャイルド・シートの助手席での使用 1) 2)	リヤ・シートで使用できるチャイルド・シート	
		リヤ・シート外側	センター 3)
グループ 0: 10kgまで	U/L	U/L	U/L
グループ 0+: 13kgまで	U/L	U/L	U/L
グループI： 9～18kg	U/L	U/L	U/L
グループII： 15～25kg	U/L	U/L	U/L
グループIII： 22～36kg	U/L	U/L	U/L

U： この体重グループに属する「汎用（ユニバーサル）」のチャイルド・シートの取り付けに適しています。

L： （185ページ）に記載されている特定のチャイルド・シート、および認可された「準汎用（セミ・ユニバーサル）」シートの取り付けに適しています。チャイルド・シートに付属の適応車種一覧表、およびインターネット上でチャイルド・シート・メーカーが公開している適応車種一覧表を参照してください。

図140: ECEラベル

A サイズ分類

B 「汎用（ユニバーサル）」または「準汎用（セミ・ユニバーサル）」マーク

C 体重グループ

1) 助手席エアバッグをOFFにすること。（189ページ）の助手席へのチャイルド・シート取り付けに関する注意事項を参照してください。
2) （185ページ）の助手席へのチャイルド・シート取り付けに関する注意事項を参照してください。
3) 中央のリヤ・シートは、サポート・レッグ付きのチャイルド・シートの取り付けに適していません。

推奨するチャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）

推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）

「チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）」（188ページ）を参照してください。

体重グループ	メーカー	形状	承認番号	ポルシェ部品番号	助手席への取り付け 1)	リヤ・シートへの取り付け	
						リヤ・シート外側 2)	センター 3)
グループ0および0+： 13kgまで	Britax-Römer	ポルシェ・ベビー・シート ISOFIX G0+ **使用部品：** ISOFIXベース	E_1 04301146	955.044.802.94 **使用部品：** 955.044.802.95	– 後ろ向きに取り付けること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。 – 助手席シートを後方、上方に調節すること。 2)	可能	許可されていません 4)
グループI： 9～18kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・シート ISOFIX G1	E_1 04301199	955.044.802.92	– 前向きに取り付けること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。 – 助手席シートを後方、上方に調節すること。 2) – チャイルド・シートのベルト・ガイドが助手席シートベルト引き出し口よりも前側および下側に位置していることを確認すること。 – 助手席シートとチャイルド・シートが確実に接するように助手席シートのバックレスト角度を調節すること。	可能	許可されていません 4)
グループII： 15～25kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・プラス ISOFIT G2 + G3	E_1 04301198	955.044.802.96		可能	ISOFIX非装備車の場合、シートベルトでのみ取り付けが可能。
グループIII： 22～36kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・プラス ISOFIT G2 + G3	E_1 04301198	955.044.802.96		可能	ISOFIX非装備車の場合、シートベルトでのみ取り付けが可能。

1) **助手席シート**にISOFIX用のリテーニング・ラグが装備されている場合、「準汎用（セミ・ユニバーサル）」のチャイルド・シートの取り付けに適しています。
2) フロント・シートとその後方に座っている乗員との間に十分な距離を確保すること。
3) 中央のシートにチャイルド・シートを取り付ける場合、すべてのポルシェ ISOFIXチャイルド・シートをシートベルトで固定する必要があります。
4) 中央のリヤ・シートは、サポート・レッグ付きのチャイルド・シートの取り付けに適していません。

チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）

下表は、ECE-R16規格に従ってISOFIXシステムで固定して使用できるチャイルド・シートの概要です。
「汎用（ユニバーサル）」または「準汎用（セミ・ユニバーサル）」のマークは、チャイルド・シートのECEラベル（オレンジ色）に表示されています。

体重グループ	サイズ分類	固定具	車両のISOFIXリテーニング・ラグ		
			リヤ・シート外側	中央のリヤ・シート 1)	助手席シート 2) 3) 4)
ベビー・シート（左向きまたは右向きチャイルド・シート）	F	ISO/L1	X	X	X
	G	ISO/L2	X	X	X
グループ 0:10kgまで	E	ISO/R1	IL	X	IL
グループ 0+:13kgまで	E	ISO/R1	IL	X	IL
	D	ISO/R2	IL	X	IL
	C	ISO/R3	IL	X	IL
グループI：9～18kg	D	ISO/R2	IL	X	IL
	C	ISO/R3	IL	X	IL
	B	ISO/F2	IL/IUF	X	IL
	B1	ISO/F2X	IL/IUF	X	IL
	A	ISO/F3	IL/IUF	X	IL
グループII：15～25kg			IL	X	IL
グループIII：22～36kg			IL	X	IL

X：　このサイズ分類のチャイルド・シートには適していません。

IL：　（187ページ）に一覧された特定のISOFIXチャイルド・シート、および「準汎用（セミ・ユニバーサル）」認可されたISOFIXチャイルド・シートに適しています。チャイルド・シートに付属の適応車種一覧表、およびインターネット上でチャイルド・シート・メーカーが公開している適応車種一覧表を参照してください。

IUF：　この体重グループへの使用が認められた「汎用（ユニバーサル）」に分類され、車両のISOFIXシステムと「トップ・テザー」固定ストラップで固定された、前向きタイプのチャイルド・シートに適しています。
「ISOFIXチャイルド・シート・システムの取り付け」（190ページ）を参照してください。

1) 中央のリヤ・シートは、サポート・レッグ付きのチャイルド・シートの取り付けに適していません。
2) **助手席シート**にISOFIX用のリテーニング・ラグが装備されている場合、「準汎用（セミ・ユニバーサル）」のチャイルド・シートの取り付けに適しています。
チャイルド・シートに付属の車両リストおよびポルシェ社が推奨するチャイルド・シート（（187ページ））を参照してください。
3) 助手席エアバッグをOFFにすること。
4) （187ページ）の助手席へのチャイルド・シート取り付けに関する注意事項を参照してください。

チャイルド・シートの取り付け

ベビー・キャリア

サイズ分類FおよびGの左向きまたは右向きタイプのチャイルド・シート（ベビー・キャリアなど）は、いかなるシートにも使用できません。

▷ 「チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）」（188ページ）を参照してください。

ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のチャイルド・シート（ポルシェ・ベビー・シートISOFIX GO+など）を使用することを推奨いたします。

▷ 「推奨するチャイルド・シート（シートベルトによる固定）」（185ページ）を参照してください。

▷ 「推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）」（187ページ）を参照してください。

助手席エアバッグのON/OFF – 助手席エアバッグOFF警告灯

図141: 助手席エアバッグのON/OFF

1. イグニッションをOFFにしてください。
2. グローブ・ボックスを開いてください。
3. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
   ▷ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」（94ページ）を参照してください。

知識

助手席エアバッグ・スイッチまたはエアバッグ・システムが損傷することがあります。

- エマージェンシー・キーは、キー・スイッチに挿入するときに、2回抵抗を感じた位置でのみ回してください。
- 助手席エアバッグは、イグニッションがOFFのときにのみ、ONまたはOFFに切り替えてください。

4. キー・スイッチにエマージェンシー・キーを2回抵抗を感じる位置まで挿入してください。
   エマージェンシー・キーは、キー・スイッチに3/4ほど挿入される必要があります。
5. エマージェンシー・キーに大きな力をかけずに回し、助手席エアバッグを**OFF（解除）**または**ON（作動）**にしてください。

⚠ 危険 助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キー・スイッチにエマージェンシー・キーを挿入したまま走行すると、振動によりエマージェンシー・キーが不意に回転してエアバッグが作動する恐れがあります。

- 走行中は、キー・スイッチにエマージェンシーキーを差したままにしておかないでください。

6. エマージェンシー・キーをキー・スイッチから抜き取ってください。
7. グローブ・ボックスを閉じてください。

⚠ 危険 助手席エアバッグをOFFにする

チャイルド・シートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- チャイルド・シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。
- チャイルド・シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

助手席エアバッグOFF インジケータは、オーバーヘッド・コンソールにあります。

助手席側のエアバッグがのスイッチがOFFになっているときに、イグニッションのスイッチをONにするか、エンジンが作動していると、**助手席エアバッグOFF** インジケーターが継続点灯します。

⚠ 危険 助手席エアバッグの故障と作動不良

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときに**助手席エアバッグOFF**警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- 助手席にチャイルド・シートを取り付けないでください。
- ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ISOFIXチャイルド・シート・システムの取り付け

▷ 「推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）」（187ページ）を参照してください。

- チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

チャイルド・シートの助手席への取り付け

ISOFIXチャイルド・シートを固定するリテーニング・ラグは、助手席のシート面にあります（装備によって異なります）。

1. エマージェンシー・キーを使用して、助手席エアバッグ・スイッチを**OFF**（解除）にしてください。
   オーバーヘッド・コンソールの警告灯 **助手席エアバッグOFF** が点灯しなければなりません。

▷ 「助手席エアバッグのON/OFF – 助手席エアバッグOFF警告灯」（189ページ）を参照してください。

2. チャイルド・シートの操作マニュアルの記述に従って、チャイルド・シートをリテーニング・ラグに固定してください。
3. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグに確実に固定されているか点検してください。

チャイルド・シートのリヤ・シートへの取り付け

図142: リヤ・シート外側のISOFIXアタッチメント・ブラケット

ISOFIXチャイルド・シートを固定するリテーニング・ラグ**A**の位置を示すマークは外側のリヤ・シートの座面にあります（国別仕様により異なります）。

1. チャイルド・シートの操作マニュアルの記述に従って、チャイルド・シートをリテーニング・ラグに固定してください。
2. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグに確実に固定されているか点検してください。

ISOFIXトップ・テザー付きチャイルド・シートの上部固定位置

図143: トップ・テザー

ISOFIXトップ・テザー付きチャイルド・シートを使用するときは、外側のリヤ・シート・バックレスト後方の固定位置**B**を使用してトップ・テザーを固定してください。

1. チャイルド・シートを付属の説明書に従ってリテーニング・ラグ**A**に固定してください。

図144: ISOFIXリテーニング・ラグが装備されているチャイルド・シートのリヤ・シートへの取り付け

2. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグに確実に固定されているか点検してください。
3. ISOFIXトップ・テザー**C**をヘッドレストに通してください。

図145: IISOFIXトップ・テザーが装備されているチャイルド・シートのリヤ・シートへの取り付け

4. ISOFIXトップ・テザー **C** をバックレスト後方の固定箇所 (図145) に取り付け、テザー・ストラップを締め付けてください。

テスト・スタンドでの測定

⚠ 警告 有毒な排気ガスの吸引

排気ガスを吸引して中毒を起こす恐れがあります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

⚠ 警告 不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティング・プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップ・ポイント (図93ページ143) で持ち上げてください。
- 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート・スタンドで車体を支えてください。ジャッキで車体を支えるのは危険ですのでおやめください。
- 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

テスト・スタンド測定の実施

パフォーマンス・テスト

ポルシェ社ではローラー・タイプ・テスト・スタンドでのパフォーマンス・テストを承認していません。

ブレーキ・テストの実施

- ブレーキ・テストには、ローラー・タイプ・テスト・スタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください。

– 測定速度：7.5km/h以下
– 測定時間：20秒以内

エレクトリック・パーキング・ブレーキのテスト

- ブレーキ・テスト・スタンドでエレクトリック・パーキング・ブレーキを測定するときは、**必ずイグニッションをONにし、セレクター・レバーをNの位置にしてください。**

車両が自動的にブレーキ・テスト・モードに切り替わり、エレクトリック・パーキング・ブレーキのテストが可能になります。マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

デバイス・マネージャー

デバイス・マネージャーを開く

図146: デバイス・マネージャーを開く

▸ フッターの ▮ または ▮ を選択してください（接続状態によって異なる）。
または
PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **デバイス・マネージャー**。

以下の接続は、デバイス・マネージャーを使用して集中管理できます。

– **電話**：PCMを携帯電話にBluetooth®で接続してください。
  ▷ 「携帯電話をBluetooth®で接続する（携帯電話の準備）」（198ページ）を参照してください。
  ▷ 「別の携帯電話を接続して使用する」（199ページ）を参照してください。
– **Bluetooth オーディオ**：PCMを外部Bluetooth®メディア・ソースに接続してください。
  ▷ 「外部機器をBluetooth®経由で接続する」（290ページ）を参照してください。
– **データ接続**：SIMカードを挿入してください。
  ▷ 「データ接続を確立する（接続）」（163ページ）を参照してください。
– **WiFiホットスポット**：PCMのワイヤレス・インターネット・アクセスを利用する
  ▷ 「PCMデータ接続を使用する（WiFi ホットスポット）」（164ページ）を参照してください。
– **Porsche Connect App**：WiFi を使用して Porsche Connect App を PCMに接続する
  ▷ 「Porsche Connect App」（371ページ）を参照してください。
– **スマートフォンリンク**：Apple® CarPlayを使用してください。
  ▷ 「Apple® CarPlay」（366ページ）を参照してください。

接続ステータスの表示

▷ 「接続ステータスの表示」（200ページ）を参照してください。

インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション管理(PCM)の操作に関するインフォメーション：
▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作」（284ページ）を参照してください。

テレビ(TV)

概要

この概要説明は「テレビ(TV)」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション管理(PCM)の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作」(284ページ) を参照してください。

図147: 放送局を選択する

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
テレビの呼び出し	▸ ヘッドラインに **TV** が表示されるまで、TUNER ボタンを数回押してください (**A**を参照)。	195
放送局リストから放送局を選択する	▸ TUNER ボタン ▸ **リスト** ▸ 放送局を選択してください。	195
放送局リストから放送局を保存する	▸ TUNER ボタン ▸ **リスト** ▸ **保存** ▸ **保存** /放送局ボタン	195
保存した放送局を選択	▸ TUNER ボタン ▸ **プリセット** ▸ 希望の放送局ボタンを選択してください (**C** を参照)。	195
放送局リストをスキップする	▸ 希望の放送局が表示されるまで または を繰り返し押してください。	
プログラム・ガイド（EPG）の呼び出し	▸ TUNER ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **EPG** を選択してください。	195

テレビ(TV)の呼び出し

1. SOURCEボタンを押してください。
2. **TV** を選択してください。

または

1. ヘッドラインに **TV** が表示されるまで TUNER ボタンを数回押してください (図148ページ195)。

または

1. TUNER ボタンを押してください。
2. ヘッドラインに表示された周波数帯を選択してください。
3. **SOURCE** メニューの **TV** 機能を選択してください。

PCMのTVチューナーにより、12セグTVまたはワンセグTVで暗号化されていない地上波デジタルISBD放送TVチャンネルを選局することができます。

選局

保存した放送局を表示および選択する

図148: TVチャンネルを含む放送局ボタン

1. TUNER ボタン ▸ **TV** ▸ **プリセット**
2. TV 画像を表示するには、コントローラーの **TV** を選択してください。

計15の放送局ボタン（プリセット、**C**を参照）を使用して、TV放送局を割り当てることができます。
最初の3ページでラジオとTV局を放送局ボタンに自由に割り当てることができます（現在選択されているページを表示させるには、**B**を参照）。受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、自動的に4ページの放送局ボタンに割り当てられます（ベストFMレベル）。

▷ 「放送局の保存」(195ページ) を参照してください。

放送局リストから放送局を選択する

▸ TUNER ボタン ▸ **TV** ▸ **リスト**

現在の周波数帯にあるすべてのTV放送局が、放送局リストに表示されます（最高100局まで）。

インフォメーション

TV局もEPGリストから選択することができます。

▷ 「プログラム・ガイド(EPG)の呼び出し」(195ページ) を参照してください。

放送局の保存

1. TUNER ボタン ▸ **TV** ▸ **プリセット**
2. 放送局ボタンを3秒間押してください。

または

1. TUNER ボタン ▸ **TV** ▸ **リスト**
2. 放送局を選択し、を選択してください。
3. 希望の放送局ボタンを選択してください。

または

1. TUNER ボタン ▸ **TV** ▸ OPT ボタン ▸ **放送局を保存**
2. 希望の放送局ボタンを選択してください。

プログラム・ガイド(EPG)の呼び出し

PCMには電子プログラム・ガイド(EPG)が備わっており、デジタル・プログラムに関する様々な情報を提供します。番組は時間順に掲載されます。

プログラム・ガイドを表示する

▸ TUNER ボタン ▸ **TV** ▸ OPT ボタン ▸ **電子プログラムガイド (EPG)**

プログラム・ガイド内を移動する

✓ プログラム・ガイド（EPG）を表示してください。

図149: 電子プログラム・ガイド

A 矢印ボタンを操作して、ページを移動
B **Details**：黄色でマーキングされた番組情報の詳細表示
C **View**：番組情報の詳細ビューと全体ビューの切り替え
D **Play**：選択した番組の表示
E 番組プレビュー +/–24hの表示

設定の変更

1. TUNER ボタン ▸ **TV** ▸ OPT ボタン ▸ **SET TV**
2. 希望の項目を選択してください。

– **放送局トラッキング**：機能が有効になっていて電波品質が低い場合は、システムが自動的に選局した放送局の代替周波数に切り替えます。
– **暗号化（CAS）**：B-CAS IDがPCMディスプレイに表示されます。これはライセンスの有効化や延長に必要となります。
– **TVノルム**：納車時に、該当する国向けのTV基準が設定されます。
– **緊急警報システム(EWS)**：緊急メッセージのON/OFFを切り替えます。
– **ビデオセッティング**：サイド・メニューのコントローラーを操作して、明るさ、コントラスト、色調を希望の値に設定してください：
  – **明るさ**を選択します。（明るさ設定）、**コントラスト**（コントラスト設定）または**彩度**（色調設定）を選択してください。
– **画面比率**：アスペクト比を設定します。
– **オーディオチャンネル**：オーディオ・チャンネルをf選択してください。
– **字幕**：機能を有効化すると、字幕が表示されます（利用可能な場合）。
– **チャイルド・ロック**：番組の再生を制限するには、パスワードを入力し、**OK** を選択して確定してください（デフォルトのパスワード：1234）。
  – **TV のセーフティーレベル**：セーフティ・レベルを選択してください。たとえば、セーフティ・カテゴリー5を選択すると、セーフティ・レベル1～5のすべての番組が再生されます。これよりセーフティ・レベルの高い番組の再生はブロックされます。セーフティ・レベルが必要ない場合は、**レベル0** を選択してください。
  – **パスコードを変更**：チャイルド・ロック用に新しいパスワードを入力できます。

インフォメーション

– 選局中の TV 放送局に応じてチャイルド・ロックのON/OFFを切り替えることができます
– チャイルド・ロックのパスワードを間違って3回入力した場合:

▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

無効なまたは損傷したB-CASカードを使用すると、TV受信ができなくなります。

▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

電話

概要

この概要説明は「電話」の章に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション管理(PCM)の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作」（284ページ）を参照してください。

図150: 電話番号を入力する

図151: 電話番号を入力する

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
Bluetooth® 経由で電話を接続する（携帯電話の準備）	▸ PHONE ボタン ▸ **電話を接続** ▸ **新しい電話を検索**	198
接続された2つの携帯電話を切り替える	▸ ヘッドラインの または (A および Eを参照）を選択してください。	199
データ接続を確立する（接続）	▸ SIMカード経由でデータ接続を確立する。	163
番号をダイヤル	▸ PHONE ボタン ▸ **キーパッド** (Bを参照）▸ 数字フィールドDを使用して、番号を入力 ▸ を選択（Cを参照）。	200
着信に応答する/拒否する	▸ **Accept（応答）** または **Cancel（キャンセル）** を選択してください。	201
通話を終了する	▸ フッターまたは電話メニューで を選択してください。	201
電話会議を開始する＊	▸ PHONE ボタン ▸ 番号をダイヤルする ▸ **キーパッド** ▸ ▸ 他の参加者の番号をダイヤルする ▸ ▸	201
ボイスメールを聞く	▸ PHONE ボタン ▸ **キーパッド** ▸ 押し続けます 1。	200
通話履歴を表示する	▸ PHONE ボタン ▸ **Calls（通話）** (Fを参照）▸ 通話履歴を選択してください。	201
メッセージを表示する＊	▸ PHONE ボタン ▸ **Messages（メッセージ）** (Gを参照）▸ **SMS**または**Eメール** ▸ フォルダーを選択してください。	203
連絡先を表示する	▸ PHONE ボタン ▸ Select **Contacts（連絡先）** (Hを参照）を選択してください。	202

＊ 日本仕様に設定はありません。

⚠ 警告 事故を起こす恐れがあります

走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

▸ 必ずハンズフリー機器を使用してください。

⚠ 警告 怪我をする恐れがあります

ガソリン・スタンド、燃料貯蔵所、化学工場、およびの爆破作業の近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は車両の装備品と電波干渉を起こすことがあります。

▸ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

インフォメーション

適合する携帯電話の一覧はウェブサイト（www.porsche.com）から入手することができます。

携帯電話をBluetooth®で接続する（携帯電話の準備）

新しい携帯電話を接続する

✓ 携帯電話のBluetooth®機能を有効にし、他の機器から探索可能な状態にする

✓ PCMのBluetooth®機能を有効にする

▷ 「PCMのBluetooth®機能を有効にする」（198ページ）を参照してください。

1. PHONE ボタン ▸ **電話を接続します**
   または
   フッターの ⊘ または ▁▂▃ （接続状態により異なる）▸ **電話**を選択してください。
2. **新しい電話を検索**を選択し、機器リストから携帯電話を選択してください。
   6桁のBluetooth®コードが生成され、PCMおよび携帯電話に表示されます。
3. PCMおよび携帯電話のBluetooth® コードを比較します。
4. PCMと携帯電話のBluetooth® コードが一致するかどうかを確認してください。
   電話の接続に成功すると、数字入力（メニュー **Keypad（ダイヤル）** ▦ ）がPCMに表示されます。

インフォメーション

Windows®およびiOS®オペレーティング・システムを搭載した携帯電話については、携帯電話から接続を開始することをお勧めします。

▸ 携帯電話の Bluetooth® メニューから利用可能な機器を検索してください。PHONE ボタンを押してCD/DVDが見えるようにしてください。接続操作にはディスプレイに**電話を接続**を表示する必要があります。

▸ 利用可能な機器リストから PCM を選択してください。PCMのBluetooth® デバイス名を表示させるには、PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **PHONE 設定** ▸ **Bluetooth** ▸ **Bluetooth 名**を選択してください。

▷ 「PCMのBluetooth®機能を有効にする」（198ページ）を参照してください。

インフォメーション

Bluetooth® 接続の場合、ハンズフリー・プロファイル(HFP)を介して、携帯電話をPCMに接続することができます。

ハンズフリー・プロファイルを使用すると、PCMは接続された携帯電話のBluetooth®ハンズフリー・ユニットとして機能し、携帯電話によっては電話帳、通話履歴、およびメッセージ＊の内容にアクセスすることができます。そのため、車両を停車した後に現在の通話を携帯電話に転送し、車両の外でも通話を継続することができます。

▷ Bluetooth® のプロファイルに関する詳細な情報は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

PCMのBluetooth®機能を有効にする

1. PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **PHONE 設定**
2. **Bluetooth** ▸ **BluetoothをON**を選択して、PCMの Bluetooth®機能を有効にしてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

登録済みの携帯電話に接続する

✓ 携帯電話のBluetooth®機能を有効にし、他の機器から探索可能な状態にする

✓ PCMのBluetooth®機能を有効にする

▷ 「PCMのBluetooth®機能を有効にする」（198ページ）を参照してください。

✓ これまでにPCMと接続したことのある携帯電話

1. フッターの または を選択してください（接続状態によって異なる）。
または
PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **デバイスマネージャー**
2. **電話**を選択してください。
登録されている携帯電話のリストが最大20件表示されます。
3. リストから携帯電話を選択してください。
携帯電話がBluetooth®経由で接続されます。

別の携帯電話を接続して使用する

✓ 携帯電話がPCMに既に接続されている

1. フッターの または を選択してください（接続状態によって異なる）。
または
PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **デバイスマネージャー**
2. **電話2**を選択してください。
3. リストから携帯電話を選択するか、新しい携帯電話を接続してください。
▷ 「新しい携帯電話を接続する」（198ページ）を参照してください。
接続された携帯電話は両方とも着信可能ですが、発信は有効な携帯電話でのみ行うことができます。

▸ ヘッドラインの または （**A**を参照、図150ページ197）を選択し、接続された2つの携帯電話を切り替えてください。

Bluetooth®デバイスの削除、またはBluetooth®インフォメーションの表示

1. PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **PHONE 設定** ▸ **Bluetooth** ▸ **Bluetoothデバイス**
2. リストから携帯電話を選択してください。
3. 登録された Bluetooth® デバイスのリストから任意の携帯電話を削除するには、**Delete**を選択してください。
または
Bluetooth®デバイスのインフォメーションを見るには、**詳細**を選択してください。
Bluetooth®アドレス、接続ステータス、および利用可能なBluetooth®プロファイルが表示されます。
または
Bluetooth®デバイスとPCM間の接続を確立する、または切断するには、**Establish connection/Disconnect**を選択します。

インフォメーション

開始後、PCMは前のデバイス設定を自動的に復元します。デバイスが車内にない場合は、システムが他の認識済みデバイスを探索します。

接続ステータスの表示

以下のアイコンがフッターに表示されます（接続状態により異なる）。

シンボル	意味
	電話が接続されていません
	SIMカードが挿入されていることデータ接続を確立することができます。
	SIMカードが挿入されていることLTE携帯電話ネットワークなどを経由してデータ接続が確立されています。
	UMTS/HSPA携帯電話ネットワーク(3G)経由でデータ接続が確立されています。
	EDGE携帯電話ネットワーク(GSM)経由でデータ接続が確立されています。
	電話機能用の携帯電話ネットワーク受信強度を示しています。

デバイス・マネージャーを開く

▷ 「デバイス・マネージャーを開く」（193ページ）を参照してください。

電話番号をダイヤルする

電話番号を入力する（キーパッド）

1. PHONE ボタン ▸ **キーパッド** 。
2. 数字フィールドから番号を入力してください。
   電話番号が既知の場合は、選択が提示されます（vCardが表示されます）。
3. を選択してください。

インフォメーション

DTMF（デュアル・トーン・マルチ周波数）トーンおよび付加サービス（＊及び＃キーによるコード・サービス）に対応しています。

リダイヤル機能を開く

1. PHONE ボタン ▸ **キーパッド** 。
2. キーパッドで前回ダイヤルした電話番号を表示するには、 を選択してください。
3. を選択してください。

インフォメーション

リダイヤルのメモリーはイグニッションをOFFにすると消去されます。

通話履歴から番号をダイヤルする

▷ 「通話履歴を表示する」（201ページ）を参照してください。

1. PHONE ボタン ▸ **Calls（通話履歴）** 。
2. 希望の通話履歴を選択し、項目を選択してください。
3. を選択してください。

連絡先から番号をダイヤルする

▷ 「連絡先を使用する」（202ページ）を参照してください。

1. PHONE ボタン ▸ **Contacts（連絡先）** 。
2. 希望の連絡先を検索し、選択してください。
3. 希望の電話番号をダイヤルしてください。
4. を選択してください。

ボイスメールを聞く

1. PHONE ボタン ▸ **キーパッド** 。
2. ボイスメールを聞くには、 を押し続けてください。

インフォメーション

この機能を最初に使用するときは、ボイスメール番号の入力プロンプトが1回表示されます。

▷ 「電話設定の変更」（204ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

着信に応答する/通話を終了する

着信に応答する/拒否する

✓ 着信が入ったとき

- **応答**を選択してください。
  または
  携帯電話の通話ボタンを押してください。
  または
  ステアリング・ホイールの通話ボタンを押してください。
- 着信を拒否するには、**拒否**を押してください。
  または
  携帯電話の終話ボタンを押してください。
  または
  ステアリング・ホイールの終話ボタンを押してください。

インフォメーション

携帯電話で「ミュート」または「会議」プロファイルを設定している場合、一部のデバイスでは、着信があった場合にもPCMの呼び出し音が鳴らないことがあります。

通話を終了する

- フッターまたは電話メニューで を選択してください。
  または
  携帯電話の終話ボタンを押してください。
  または
  ステアリング・ホイールの終話ボタンを押してください。

通話中の各種機能

マイクのミュート

✓ 通話中である

- マイクをミュートにするには を選択してください。

通話の保留

✓ 通話中である

- **接続**アイコンの隣にある を選択してください。
  または
  OPT ボタン ▸ **通話を保留**を選択してください。
- 通話を再開するには、**保留中**アイコンの隣にある を選択してください。
  または
  OPT ボタン ▸ **通話する**を選択してください。

電話会議を開始する＊

✓ 通話中である

1. PHONE ボタン ▸ **キーパッド** 。
2. を選択して、別の会話を追加してください。
3. 新しい会議を追加するには：
   数字フィールドを使用して新しい電話番号をダイヤルします。
   または
   通話履歴から電話番号を選択します。
   または
   電話帳にある既存の連絡先を選択します。
4. を選択してください。
5. 会議を開始するには を選択してください。
   または
   PHONE ▸ OPT ▸ **会議**
6. 会議を保留にするには、PHONE ▸ OPT ▸ **会議を保留**を選択してください。

2つの会議間の切り替え（スワッピング）＊

✓ 通話中である

✓ 通話が保留中である

- 保留中の通話を選択して有効にし、それまで有効だった通話を保留にします。
  または
  PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **通話を切り替え**

通話履歴を表示する

通話の表示

1. PHONE ボタン ▸ **Calls（通話履歴）** 。
2. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
   – **すべての通話**
   – **不在着信**
   – **発信**
   – **着信**
3. 通話履歴から項目を選択してください。
   詳細画面が表示されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

通話を消去

✓ 携帯電話がBluetooth® SIMアクセス・プロファイルによって接続されている

1. PHONE ボタン ▸ **Calls（通話履歴）**。
2. 希望の通話履歴を選択し、発信者を選択してください。
3. OPT ボタンを押してください。
4. PCMの通話履歴から通話を消去するには、**通話を消去**を選択してください。

インフォメーション

車両から発信された通話のみが消去されます。

マルチファンクション・ディスプレイで電話を使用する

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」（299ページ）を参照してください。

電話番号をダイヤルする

1. メニュー**電話**を選択してください。
2. リストから希望の番号を検索し、項目を選択してください。

– **電話帳**
– **発信記録**

着信に応答する/拒否する

✓ 着信が入ったとき

▸ メニュー**電話**を選択してください。

– **応答**
– **拒否**

同時に複数の通話を行う/通話を終了する＊

✓ 通話中である

▸ メニュー**電話**を選択してください。

– **新しい通話**：通話中に別の参加者に電話します。
– **切り替え**：個別に通話を行うために、参加者間を切り替えます。
– **会議**：電話会議に参加者を追加します。
– **通話終了**：通話中の電話を終了します。

連絡先を使用する

連絡先の表示

▸ PHONE ボタン ▸ **Contacts（連絡先）**

連絡先の検索

右側のアルファベット・ストリップを使用して、希望の連絡先を最初の文字から検索することができます。テキストを入力して検索することも可能です。

1. PHONE ボタン ▸ **連絡先** ▸ **連絡先を検索**
2. 入力フィールドに名前を入力してください。結果リストが表示されます。
3. 希望の項目を選択してください。

連絡先の送信

1. PHONE ボタン ▸ **Contacts（連絡先）**
2. 連絡先を選択してください。連絡先詳細が表示されます。
3. OPT ボタンを押してください。
4. **vCardで送る**を選択してください。
5. 利用可能な状況に応じて、送信（**SMS**、**E-mail**）またはメモリー・オプション（**SD**、**USB**）を選択してください。

連絡先リストの並び替え

1. PHONE ボタン ▸ **Contacts（連絡先）** ▸ OPT ボタン ▸ **ソート順序**
2. ソート順序**姓**、**名**または**名**、**姓**を選択してください。

MyScreenにお気に入りを追加

1. HOME ボタン ▸ **MyScreen** ▸ OPT ボタン ▸ **SET MyScreen**
2. **MyScreen 1**、**MyScreen 2**、または **MyScreen 3** を選択してください。
3. カテゴリー**電話**を選択してください。
4. タイル**Smith**，**John**を左プレビュー側にある任意のコンテナーにドラッグ＆ドロップしてください。タイルは、緑色のエッジが見えるとすぐにコンテナーに挿入することができます。
5. ✕ または ＜ を選択し、**MyScreenを設定**メニューを終了してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

6. **連絡先を選択するにはここをタッチ。**
   連絡先リストが開きます。
7. 希望する連絡先を選択してください。
   連絡先詳細が表示されます。
8. 電話番号をダイヤルしてください。
   選択した画面に連絡先がお気に入りとして保存されます。

MyScreenのお気に入りを消去

▷ 「MyScreen を作成する」（288 ページ）を参照してください。

メッセージの表示および消去＊

メッセージ 機能により、テキスト・メッセージ（SMS）やEメールを読んだり、音声によりメッセージを読み上げたり、文字メッセージに含まれる電話番号に電話をかけることができます。

この機能は、携帯電話がBluetooth®メッセージ・アクセス・プロファイルに対応している場合のみ利用することができます。携帯電話はテキスト・メッセージ機能に対応していても、Eメール機能には対応していないことがあります。

この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。

インフォメーション

– 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されているテキスト・メッセージしか表示できない場合、車両で受信したテキスト・メッセージは携帯電話メッセージ・リストには表示されません。
– PCMはマルチメディア・メッセージング・サービス（MMS）に対応していません。

テキスト・メッセージの表示

1. PHONE ボタン ▸ **メッセージ** ▸ **SMS**
2. ▸ フォルダを選択してください。
3. 希望のテキスト・メッセージを選択してください。

Eメールの表示

1. PHONE ボタン ▸ **メッセージ** ▸ **Eメール**
2. Eメール・アカウントを選択してください。
   受信トレイが開きます。最大で100件のEメールが表示されます。
3. 必要に応じて、▸ フォルダを選択してください。
4. 希望のEメールを選択してください。

インフォメーション

多く携帯電話は、複数のアカウントからのPCMへのEメール転送に対応していません。多くの場合、メーカー固有のアプリによって管理されたEメールのみが転送されます。

メッセージを聞く（テキスト、Eメール）

1. PHONE ボタン ▸ **メッセージ** 。
2. **SMS**または**Eメール**メニューを選択してください。
3. ▸ フォルダを選択してください。
4. 希望のテキスト・メッセージまたはEメールを選択してください。
5. **読み上げ** を選択してください。

メッセージの削除（テキスト、Eメール）

1. PHONE ボタン ▸ **メッセージ** 。
2. **SMS**または**Eメール**メニューを選択してください。
3. ▸ フォルダを選択してください。
4. 希望するテキスト・メッセージまたはEメールを選択してください。
5. OPT ボタンを押してください。
6. **消去**メッセージを選択してください。
   メッセージが消去されます。

メッセージの作成

テキスト・メッセージの作成

1. PHONE ボタン ▸ **メッセージ** ▸ **SMS**
2. ▸ **新しいSMS**を選択してください。
3. 入力フィールドに受信者の番号を入力してください。
   または
   電話帳にある既存の連絡先を選択します。
4. テキスト・ボックスを選択してください。
5. 入力フィールドにテキストを入力し、**入力**で確定してください。
6. **送信** を選択してください。
   メッセージが送信されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

Eメールの作成

1. PHONE ボタン ▸ **メッセージ** ▸ **Eメール**
2. ▸ **新しいEメール**を選択してください。
3. 入力フィールドに受信者のEメール・アドレスを入力してください。
   または
   電話帳にある既存の連絡先を選択します。
4. テキスト・ボックスを選択してください（件名など）。
5. 入力フィールドにテキストを入力し、**入力**で確定してください。
6. **送信** を選択してください。
   Eメールが送信されます。

設定の変更

通話中の設定（プライベート・モード）

✓ 携帯電話がBluetooth® および ハンズフリー・プロファイル (HFP) を介して接続されている
✓ 通話が確立している

1. PHONE ボタン ▸ OPT ボタン
2. 以下から希望の設定を選択してください。

– **プライベートモードを起動**：通話はハンズフリー機器から電話に転送されます。

電話設定の変更

1. ボタン PHONE ▸ ボタン OPT ▸ **PHONE 設定** ▸ **電話**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

– **通信事業者検索**：通信事業者を選択するか、または自動通信事業者選択を作動します。
– **SIMカード**：挿入されたSIMカード用の設定を変更してください。
– **メールボックス・ナンバー**：接続している携帯電話のメールボックス電話番号を表示または変更します。
– **シリアル・ナンバー**：PCM 電話モジュールのIMEIシリアル・ナンバーを表示します。

Bluetooth® 機能とデバイスを管理する。

1. ボタン PHONE ▸ ボタン OPT ▸ **PHONE 設定** ▸ **Bluetooth**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

– **新しいデバイスを追加する**:新しいBluetooth® デバイスを検索し、PCMに登録します。
– **Bluetoothデバイス**：登録したBluetooth® デバイスを管理し、登録したBluetooth®デバイスをPCMに接続します。
  ▷ 「Bluetooth®デバイスの削除、または Bluetooth®インフォメーションの表示」（199ページ）を参照してください。
– **Bluetoothを起動/Bluetoothを停止**:Bluetooth® 機能を作動/停止します。
– **知識:電話を忘れないでください**：車両を離れるときは、接続したBluetooth®デバイスのリマインダーを作動させてください。
– **Bluetooth name**：PCM のBluetooth®名を設定します。

WiFi設定の設定

1. PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **PHONE 設定** ▸ **WiFi設定**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

– **WiFi を起動／停止する**：PCM の WiFi 機能を ON/OFFにします。
– **PCMのWiFiホットスポット設定**:PCMのWiFi アクセス・データを表示し、設定します。このデータはデバイス（携帯電話など）をWiFi 経由でPCMに接続したり、PCMのWiFiホットスポットを使用するために必要です。

データ接続の設定

1. ボタン PHONE ▸ ボタン OPT ▸ **PHONE 設定 ▸ データ接続**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **データ接続**：
  - **ON:**常にデータ接続を許可します。
  - **OFF：**データ接続をOFFにします。
  - **プロンプト：**データ接続を使用する前に、データ接続を許可するかを確認するメッセージが表示されます。
- **データ接続を共有する：**WiFi デバイス用のデータ接続を可能にします。
- **ローミング：**他のネットワークのデータ接続を許可する/許可しません。
- **設定をリセット:**APN設定を工場出荷時の設定に戻します。

  ▷ APNの設定に関するインフォメーション：「データ接続を確立する（接続）」（163ページ）を参照してください。

連絡先の管理

1. ボタン PHONE ▸ ボタン OPT ▸ **PHONE 設定 ▸ 連絡先**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **連絡先メモ：**使用している連絡先メモリーを表示します。
- **ソート順序：**姓または名で、携帯電話に保存されている連絡先を並び替えます。
- **連絡先を移動する**：Bluetooth® 経由で接続されている携帯電話、またはSIMカードの連絡先をPCMに手動で移動することができます。

着信音設定の変更

✓ 携帯電話がPCMに接続されている

1. ボタン PHONE ▸ ボタン OPT ▸ **PHONE 設定 ▸ 着信音設定**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

以下のオプションが設定可能です。

- **着信音を選択：**接続している携帯電話がBluetooth®経由で着信音を送信しない場合、PCMの着信音を設定します。
- **着信音量：**着信音量を設定します。
- **マイク音量:**電話マイクの音量を設定します。
- **メッセージの受信音：**メッセージの受信音を設定またはOFFにします。

盗難を防止するために

盗難を防止するために

車両から離れるときは、必ず次のことを守ってください：

- ウィンドウを閉じてください。
- ルーフ・システムを閉じる
- エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- キーを抜き取ってください（またはポルシェ・エントリー &ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください）。
- グローブ・ボックスを閉じてください。
- すべての小物入れを閉じてください。
- 貴重品、車両の登録書類、携帯電話機、自宅の鍵などを車内に残さないでください。
- リヤ・リッドを閉じてください。
- ボンネットを閉じてください。
- 車両をロックしてください。

イモビライザー

各キーには、コード信号が保存されたトランスポンダー（電子回路）が組み込まれています。イグニッションを前に、イグニッション・ロックがコードを照合します。
あらかじめ登録されているキーを使用したときのみイモビライザーが解除され、エンジンを始動することができます。

ステアリング・コラムのロック解除/ロック

ポルシェ・エントリー&ドライブ非装備車

ステアリング・コラムを自動的にロック解除する

- キーのリモート・コントロールで車両をロック解除してください。
  または
  キーをイグニッション・ロックに差し込んでください。

ステアリング・コラムを自動的にロックする

- キーを抜き取ってください。

ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車

ステアリング・コラムを自動的にロック解除する

- ポルシェ・エントリー & ドライブを使用して、運転席ドアを開いてください。
  または
  イグニッションをONにしてください。

ステアリング・コラムを自動的にロックする

- イグニッションをOFFにした状態で、運転席ドアを開いてください。
  または
  車両をロックしてください。

ドライビング・データの表示（トリップ情報）

トリップ・メニューには、走行時間、走行距離、平均車速、平均燃費などの一連のドライビング・データが表示されます。

インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション管理(PCM)の操作に関するインフォメーション：

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作」（284ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」（299ページ）を参照してください。

マルチ–ファンクション・ディスプレイにドライビング・データを表示する

1. **トリップ**メニューを選択してください。
2. リストから項目を選択してください。

– **時間単位**:現在運転中のドライビング・データです。イグニッションOFFで2時間以上停車すると、ドライビング・データが自動的にリセットされます。
– **合計蓄積量**：手動でリセットするまでデータが蓄積されます。ドライビング・データは、イグニッション・キーをOFFにして長時間駐車した場合でも保持されます。
– **目的地まで**：ルート案内を開始すると目的地までのドライビング・データが計算され、表示されます。
– **E トリップ走行時**
  – **ゼロ・エミッション**：電動モーターにより走行した距離
  – 「**走行可能距離**：走行可能距離(燃料タンクのレベル)。
  – 「**E-Range (電動モーターで走行可能な距離)**：電動モーターで走行可能な距離(高電圧バッテリー)。

マルチファンクション・ディスプレイでドライビング・データをリセットする

1. **トリップ ▸ リセット**
2. リストから項目を選択してください。

– **時間単位**
– **連続**
– **すべて**：**時間単位**および**合計蓄積量**のドライビング・データをリセットします。

PCM のドライビング・データを表示/リセットする

1. ボタン CAR ▸ **トリップ**
2. 希望の表示レベルへスワイプしてください。

– **パーソナル・トリップ**：必要に応じて、ドライビング・データを4つのデータ・フィールドにグループ分けできます。
– **Trip since**：現在運転中のドライビング・データです。イグニッションOFFで2時間以上停車すると、ドライビング・データが自動的にリセットされます。
– **Total trip**：手動でリセットするまでデータが蓄積されます。車両が長期間駐車してあった場合でも(イグニッション・キーをOFFにしたまま)、ドライビング・データは保持されたままになっています。
– **E トリップ**
  – **ゼロ・エミッション**：電力のみを使用して運転された距離。
  – 「**走行可能距離**：走行可能距離(燃料タンクのレベル)。
  – **E-Range** 電動モーターにより走行可能な距離 (高電圧バッテリー)。

3. **リセット**を選択して、希望の走行データをリセットしてください。

PCMのパーソナル・ディスプレイの内容を設定する

パーソナルトリップメニューでは、個々のデータ・フィールドの内容を個別に設定することができます。日付、時刻、外気温、到着時刻、平均車速、燃費データなどの一般情報、およびナビゲーション・エリアから選択された様々なデータ・フィールドの車両パラメーターから選択することができます。

1. CAR ボタン ▸ **トリップ** ▸ **パーソナルトリップ** ▸ **設定**
2. 変更したいデータ・フィールドを選択してください。
3. データ・フィールドの希望のコンテンツを選択してください。

インフォメーション

メニュー項目**次のガソリンスタンドまでの距離**をデータ・フィールドに指定した場合、タッチスクリーンに表示されたシンボルを素早く押すと、このガソリン・スタンドまでのルート計算が開始されます。
このガソリン・スタンドまでのルート案内開始するには、を選択してください。

トランスミッション

ティプトロニック S による走行

ティプトロニックSはオートマチック・モードとマニュアル・セレクション・モードを備えた8段変速トランスミッションです。

オートマチック・モード（セレクター・レバーが**D**の位置）では、変速が自動的に行われます。マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのシフト・パドルを操作することにより、トランスミッションをオートからマニュアル・モードへ一時的に変更できます。

マニュアル・モード（セレクター・レバーが **M** の位置）では、マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのセレクター・レバーの操作、またはシフト・パドルを使用することで変速できます。

セレクター・レバーの**D**と**M**は、走行中でも切り替えることができます。

- オートマチックとマニュアルのどちらのモードにあるときでも、マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールのシフト・パドルを誤って操作しないように注意してください。トランスミッションが思わぬタイミングで変速されます。

図152: セレクター・レバーの操作

セレクター・レバーの操作

イグニッションがOFFのとき、セレクター・レバーは動かないように**P**位置に固定されます。

✓ イグニッションがONのとき

- **P**と**N**の位置からセレクタ・レバーを動かすには、ブレーキ・ペダルを踏みながらリリース・ボタンを押してレバーを引いてください。

ロック解除ボタン

セレクター・レバーのロック解除ボタン（**矢印**）は、ギヤ・シフトの誤操作を防止するための機構です。

- **R** または **P**位置にシフトするときは、リリース・ボタンを押してください。

エンジン始動

セレクター・レバーが**P**か**N**の位置にあり、ブレーキ・ペダルを踏んだ状態でないとエンジンを始動することはできません。

インフォメーション

Cayenne S E-Hybrid：電動モーター走行のための作動条件（バッテリー電圧、温度など）が満たされている場合、内燃エンジンが始動していなくても車両はスタンバイ状態になります。

車両の発進

- エンジンがアイドリング状態で、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、走行位置（**D**、**M**、**R**）にシフトしてください。
- セレクター・レバーを走行位置に動かすと車両がゆっくりと動き出します。発進の準備が整うまでブレーキ・ペダルから足を放さないでください。

坂道での発進

発進アシスタントにより坂道で発進しやすくなります。ドライバーがフット・ブレーキを解除した直後にブレーキ・ペダルからアクセル・ペダルに踏み替える時間を確保するため、短時間のみ車両がその位置に保持されます。

▷ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」（370ページ）を参照してください。

停車

- 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクター・レバーを走行位置のまま保持し、ブレーキ・ペダルを踏んでください。
- 上り坂ではアクセル・ペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキ・ペダルを踏むか、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- 車両から離れるときは、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、セレクター・レバーを**P**の位置にしてください。

駐車

- アクセル・ペダルは慎重に操作してください。
- 特に、狭い場所で駐車や移動をする場合は、フット・ブレーキを使用して速度を調節してください。

図153: セレクター・レバー・ポジション・インジケーターおよびギヤ・ポジション・インジケーター

セレクター・レバー・ポジション・インジケーターおよびギヤ・ポジション・インジケーターを読み取る

エンジン作動中に、セレクター・レバー位置および選択されたギヤが表示されます。

セレクター・レバーが2つのポジションの間にある場合

原因：

– 該当するセレクター・レバーの位置が点滅し**加えて**
– マルチファンクション・ディスプレイに警告が表示されます。

処置：

- フット・ブレーキを踏んで、セレクター・レバーを正しい位置に動かしてください。

ブレーキを踏んでいない状態で不意にセレクター・レバーが**P**または**N**位置から動いてギヤに入ってしまった場合（故障または誤った操作で）、シフト・インジケーターが点滅し、駆動力がカットされます。

- 発進するには、ブレーキ・ペダルを踏み、セレクター・レバーを再び**P**または**N**から希望のギヤに入れてください。

インストルメント・パネルのセレクター・レバー位置RまたはDが点滅する

駆動力が伝達されません。

原因：

– フット・ブレーキを踏まずにセレクター・レバーを切り替えた
– 最高許容速度以上でセレクター・レバーを**R**にシフトした

処置：

- ブレーキ・ペダルを踏み、セレクター・レバーを再び**P**または**N**から希望するギヤに入れてください。

セレクター・レバー・ポジション

P – パーキング・ロック

- 車両が完全に停止してからパーキング・ロックをかけてください。
  セレクター・レバー・ポジション**P**が点滅している場合、パーキング・ロック がかかっていません。車両が不意に動き出す恐れがあります。
  セレクター・レバーを再び**R**から**P**の位置に入れてください。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ非装備車：
キーは、セレクター・レバーが**P**の位置にあるときのみ、抜き取ることができます。

R – リバース・ギヤ

- 車両が完全に停止し、ブレーキをかけてからシフトしてください。

N – ニュートラル

けん引するときや自動洗車機を使用するときなどは、セレクター・レバーを**N**の位置にしてください。

- エンジンがアイドリング状態で、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、走行位置（**D**、**M**、**R**）にシフトしてください。

i インフォメーション

Cayenne S E-Hybrid：電動モーター走行のための作動条件（バッテリー電圧、温度など）が満たされている場合、内燃エンジンが始動していなくても車両はスタンバイ状態になります。

D – オートマチック・モード

- 「通常」の走行時には、セレクター・レバーの**D**の位置を使用してください。
  車速とアクセル・ペダルの踏み込み方により、ギヤが自動的に切り替わります。

インフォメーション

ステアリング・ホイールのシフト・ボタンを操作することにより、一時的にオートマチック・モード**D**からマニュアル・モード**M**に切り替えることができます。

例：

- コーナー前でシフトダウンしたいとき
- 下り坂でエンジン・ブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき
- 急加速時にシフトダウンしたいとき

次の場合は、マニュアル・モードが維持されます。

- オーバーラン・モードのとき
- 車両が交差点などで停車した場合

次の場合は、オートマチック・モードに戻ります：

- オーバーラン時以外は、自動的に約6秒後、
- 発進後

M – マニュアル・モード

図154: オートマチック・モード

▶ セレクター・レバーを**D**から**M**の位置に押してください。
現在のギヤは、**D**から**M**にシフトしてもそのまま維持されます。

Mから**D**にシフトした場合は、現在のドライビング・スタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。

図155: シフト・パドル付きステアリング・ホイール

セレクター・レバーまたは右「+」シフト・パドルでのシフトアップ

▶ セレクター・レバーを前方に押してください。または右側シフト・パドルを手前に引いてください。

セレクター・レバーまたは左「–」シフト・パドルでのシフトダウン

▶ セレクター・レバーを後方に押してください。または左側シフト・パドルを手前に引いてください。

シフト・パドルを使用してN – ニュートラルにシフトする

▶ 両方のシフト・パドルを同時に引いて、すぐに放してください。
トランスミッションは **N** – ニュートラルにシフトします。
車両はエンジンを切り離した状態でアイドル回転数で走行し、エンジン・ブレーキの効果は得られません。ギヤ・インジケーターの数値は消灯し、セレクター・レバー・ポジションが点滅します。

いずれかのシフト・パドルを引くか、セレクター・レバーを操作すると、再びギヤが締結します。

低燃費走行のためのシフトアップ・インジケーター

✓ スポーツまたはスポーツ・プラス・モードは作動していません。

燃費重視の運転を促すシフトアップ・インジケーター**A**は、ドライバーが経済的な運転をできるように支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル・ペダルの踏み込み量に応じてこのインジケーターが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

▸ シフトアップ・インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

図156: シフトアップ・インジケーター **A**、ギヤ・インジケーター **B**

キックダウン機能を作動させる

キックダウン機能はセレクター・レバーが**D**または**M**のときに機能します。

▸ 追い越し時などで大きな加速力が必要な場合は、アクセル・ペダルを素早くいっぱいに（キックダウンの位置まで）踏み込んでください。
車速とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。
そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

惰性走行モードで走行する

惰性走行とは、車両がエンジンを切り離した状態でアイドル回転数で走行し、エンジン・ブレーキの効果が得られない状態をいいます。この標準機能は、燃費と乗り心地の向上を目的として自動的に作動します。アクセル・ペダルを通常通り完全に放すと惰性走行モードになります。加速するためにアクセル・ペダルを踏み込むと、エンジンが素早く再始動し、惰性走行が終了します。

自動惰性走行モードの作動条件

✓ セレクター・レバー **D**位置で走行している
✓ オート・スタート/ストップ機能/惰性走行モードがONである
Ⓐ ボタンのインジケーター・ライトが消灯している
✓ スポーツ、スポーツ・プラスおよびオフロード・モードがOFFである
✓ PSMが作動している
✓ クルーズ・コントロールまたはアダプティブ・クルーズ・コンロールが作動していない
✓ エンジン、トランスミッション、バッテリーが作動温度に達している
✓ 穏やかな/エコ走行スタイル
✓ ゆるやかな上り/下り勾配

▸ ゆっくりとアクセル・ペダルから足を放してください。
エンジンは切り離され、アイドル回転数で走行します。走行中、エンジン・ブレーキの効果は得られません。

惰性走行モードを手動で開始する

交通状況に応じて、惰性走行を手動で開始し、慎重に運転することで効率を向上することができます。このためには、シフト・パドルまたはセレクター・レバーを操作して、可能な限り高いギヤに手動でシフトアップしてください。

例えば、前走車や赤信号に接近するときは、エンジン・ブレーキを積極的に使用してください。ブレーキをより強く踏むか、シフト・パドルまたはセレクター・レバーを操作することで、エンジンへの燃料供給を効果的に節約できます。

オート・スタート/ストップ・ボタンを使用した惰性走行モードのON/OFF

▷ 「オート・スタート/ストップ機能および惰性走行モードのON/OFF」（77ページ）を参照してください。

パフォーマンス・スタートを使用した発進

パフォーマンス・スタートは、停車状態から最大加速を達成します。

⚠ 警告 車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況（路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど）では、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険がおよぶ恐れがあります。

▸ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチ・コントロールを使用してください。
▸ ローンチ・コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。

インフォメーション

– 通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。
– Cayenne S E-Hybrid：ローンチ・コントロールは利用できません。

✓ エンジンが作動温度に達している
✓ スポーツ・プラス・モードをONにしている
1. 左足でブレーキ・ペダルを踏んでください。
2. 素早くアクセル・ペダルをいっぱいに踏み込んで、そのまま保持してください。
   エンジン回転数が上昇します。
   マルチファンクション・ディスプレイにローンチ・コントロールが有効であることを示すメッセージが表示されます。
3. 数秒以内にブレーキを解除してください。

オフロード・モードを作動した状態で走行する（Cayenne S E-Hybridは除く）

トランスミッションがオフロード用の-変速特性に切り替わります。
変速ポイントは様々な地形に対応して最適なコントロールができるように選択されます。
急な下り坂では、エンジン回転数が中速域に達するまでシフトアップは行われません。

インフォメーション

オフロード・モード中のマニュアル・モード**M**では、エンジン回転数がレブリミットに達しても、自動的なシフトアップは行われません。

トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム

システム/名称	適用	ページ
PSM ポルシェ・スタビリティ・マネージメント	– ドライビング・スタビリティ・コントロール – アンチロック・ブレーキ・システム（ABS） – ブレーキ・システム・プレフィル – ブレーキ・ブースター – オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD) – アンチ・スリップ・コントロール(ASR) – エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール（MSR） – トレーラー・スタビリティ・マネージメント – ステアリング・トルク・パルス – HOLD機能：発進アシスタント、停止制御	293
PASM ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント	– 無段階補正コントロール付きショック・アブソーバー・システム	282
PTVプラス ポルシェ・トルク・ベクトリング・プラス（Cayenne、Cayenne S、Cayenne GTS、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S）	– より俊敏なコーナリングのためのラテラル・ダイナミック・ブレーキ制御 – 可変電子制御式リヤ・ディファレンシャル・ロック	–
PDCC ポルシェ・ダイナミック・シャーシ・コントロール	– 走行中のロールを軽減して姿勢を安定させるアクティブ・シャーシ・コントロール・システム	–
PTM ポルシェ・トラクション・マネージメント	– マップ・コントロール多板クラッチ付き電子制御4WDシステム（Cayenne、Cayenne S、Cayenne Sディーゼル＊、Cayenne GTS、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S） – フルタイム4WD（Cayenneディーゼル＊、Cayenne S E-Hybrid）	–
エア・サスペンション レベル・コントロールおよび車高調整機能付き	– ショック・アブソーバー内蔵全荷重式エア・スプリング・ストラット – スポーツ・プラス・モードのロー・レベル設定付き車高調整機能、およびオフロード・モードのレベル設定 – プレッシャー・アキュムレーター付きエア・サプライ・システム	65

＊ 日本仕様に設定はありません。

トレーラー・ヒッチ（トレーラー・カップリング）

- トレーラー車両の取扱説明書をよくお読みください。
- トレーラー・ヒッチを自分で修正または修理しないでください。

重要な定義

– **車両のけん引能力**（トレーラー車両の総重量）とは、トレーラー車両の空車重量と積載重量を合算したものです。
– **垂直連結荷重**とは、トレーラー・ドローバーの重量（この車両のトレーラー・ヒッチが支える重量）です。
– **リヤ軸荷重**とは、この車両のリヤ・アクスルの軸荷重、積載重量、およびトレーラー車両の垂直連結荷重を合算したものです。
– **車両およびトレーラー車両の総重量**とは、この車両（けん引する車両）の重量とトレーラー車両の重量を合算したものです。
  ▷ 「重量（メーカー発表値）」（380ページ）を参照してください。

トレーラー・ヒッチの後付け

トレーラー・ヒッチの後付けは常に正規の工場に依頼してください。ポルシェ正規販売店は、取り付けが許可されているトレーラー・ヒッチ、メーカー仕様、必要な変換作業について熟知しています。
ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

電気接続の使用

この車両には、トレーラー車両の電気系統を接続するために13ピンのプラグが用意されています。

- トレーラー車両のプラグが7ピンの場合、適切なアダプターを使用してください。

知識

トレーラー・ヒッチにアダプターが接続された状態でトレーラー・ヒッチを格納すると、車両またはトレーラー・ヒッチに損傷を与える恐れがあります。

- トレーラー・ヒッチを格納する前に必ずアダプターを取り外してください。

トレーラー車両の検出

車両がけん引されたトレーラーを検出すると、例えば、自動スタート・ストップ機能など、車両の操作に多くの影響がでます（イグニッションのスイッチをONにした後、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます）。
スピードメーターのインジケーター・ライト⇦10⇨がトレーラー車両が検出されているかどうかを表示します。このインジケーター・ライトは方向指示灯を操作した際に点滅しなければなりません。

トレーラーけん引の準備

- 許容されるけん引重量、垂直カップリング荷重、リア・車軸荷重仕様を守ってください。
  ▷ 「重量（メーカー発表値）」（380ページ）を参照してください。
- 車両にトレーラー車両を連結した状態で、トレーラー車両が水平になるよう調整してください。必要に応じて調整可能なドローバーを使用してください。
- 山岳地帯を走行する場合、高度（標高）が上がるにつれてエンジン出力が低下します。
  テクニカル・データの許容重量は海抜0mでの数値です。ルートを計画するとき、車両とトレーラーを組み合わせた総重量を考慮に入れてください。

荷物の配置

- トレーラー車両に積載する荷物はできるだけアクスルの近くに配置してください。
- 必ずすべての荷物を動かないように確実に固定してください。
- トレーラー車両に荷物を積載するときは、トレーラー・ヒッチの許容垂直連結荷重を絶対に超過しないようにしてください。

タイヤ圧力を観察する

- トレーラー車両をけん引するときは、タイヤ空気圧を全積載時の値に調整してください。
  ▷ 「タイヤ空気圧」（385ページ）を参照してください。
- トレーラー・メーカーの取扱説明書にしたがって、トレーラー車両のタイヤ空気圧を設定してください。

エクステリア・ミラーの視野を点検する

- トレーラー車両の幅が広く、後方視界が妨げられる場合は、補助ドア・ミラーを装着する必要があります。

ヘッドライトや他のライトの点検

- トレーラー車両をけん引する前に、必ずヘッドライトの調整を点検してください。必要であればヘッドライトの光軸を調整してください。
- トレーラー車両のプラグが正しく接続されており、すべてのライトが正常に作動するか点検してください。

電気トレーラー・ヒッチを使用する

図157: トレイラー・ヒッチの取り出し

図158: ボール・ヒッチの格納

電動式トレーラー・ヒッチのボタンAまたはBの該当するインジケーター・ライトが点灯していれば、該当する機能が作動します。

⚠ 警告 トレーラー・ヒッチの拡張/格納

トレーラー・ヒッチの拡張/格納の際に、動いているトレーラー・ヒッチと車両の固定パーツの間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ボール・ヒッチの作動を緊急停止するときは、ボタン **A** または **B** を再度押してください。作動の途中位置でトレーラー・ヒッチを使用しないでください。
- ボール・ヒッチの可動範囲に人や動物がいないか、物がないか確認してください。

知識

ボール・ヒッチの拡張や格納時に車両を損傷する恐れがあります。

- トレーラー車両をけん引しているときや、バイク・キャリアなどがボール・ヒッチに取り付けられている場合、またはボール・ヒッチにより支えられている場合は、ボール・ヒッチを回転させないでください。
- トレーラー・ヒッチは、ボール・ヒッチを完全に拡張した状態で使用してください。
- 補助具やツールなどを使用してボール・ヒッチの作動を妨げないでください。ロック機構が損傷します。この場合、トレーラー・ヒッチの安全性が保証できません。
- 出発前に毎回、ボール・ヒッチが所定の位置に適切にロックされているか点検してください。

ボール・ヒッチの拡張

知識

トレーラー・ヒッチにアダプターが接続された状態でトレーラー・ヒッチを格納すると、車両またはトレーラー・ヒッチに損傷を与える恐れがあります。

- トレーラー・ヒッチを格納する前に必ずアダプターを取り外してください。

✓ 停車しているとき
✓ リヤ・リッドが開いている
- ボタン**A**を押してください。
  ボール・ヒッチが自動的に拡張して、けん引位置になります。
  ヒッチの格納中は、ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。
  作動位置になると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

ボール・ヒッチの格納

✓ 停車しているとき
✓ リヤ・リッドが開いている
✓ けん引されていないトレーラー。
✓ プラグ（および任意のアダプタ）はソケットから取り外されます。
✓ ボール・ヒッチの保護キャップ、バイク・キャリアなど、ボール・ヒッチに取り付けられているものがあれば必ず取り外してください。
- ボタン **B** を押してください
  (図158ページ215)。
  ボール・ヒッチが自動的に格納します。
  ヒッチの格納中は、ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。
  ヒッチが完全に格納されると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

インフォメーション

- ボール・ヒッチの格納中、ボール・ヒッチのロックは自動的に解除されます。格納中に音が発生する場合がありますが、これは正常で故障ではありません。
- ボール・ヒッチを使用しないときは格納してください。
- トレーラー・ヒッチを使用するときは、トレーラー（バイク・キャリアなど）のプラグを必ず接続してください。
- トレーラー・ヒッチに問題がある場合、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。
  - ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

トレーラー・ソケット

ソケットは拡張したボール・ヒッチの右側にあります。

過積載保護をモニターする

動きを妨げる抵抗を検知するとボール・ヒッチの作動が中断されます。

オーバーロード・プロテクションの一時的な停止

- ▶ ボール・ヒッチが作動位置または格納位置になるまで、ボタン**A**または**B**を押し続けてください。

インフォメーション

高圧洗浄機、スチーム・クリーナーなどを使用して車両を洗浄するときは、回転アームのシール部分やトレーラー・ソケットに直接噴射ノズルを向けないでください。湿気がボール・ヒッチに入り込む可能性があります。

トレーラー・カップリングの固定位置の保存

バッテリーの接続を切り離したときや故障の後は、電子回路に保存されているトレーラー・ヒッチの固定位置が消去されます。
この場合、ボタン **A** および **B** のインジケータ・ライトが同時に点滅します。
固定位置の保存方法：

- ▶ ボール・ヒッチが1回作動位置になり、次に完全に格納されるまで、ボタン**A**または**B**を押し続けてください。
  固定位置が保存されます。

故障を修理する

取り扱い中に問題があった、異常に気づいた場合、あるいは故障した場合は：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

取り外し可能なボール・ヒッチを有するトレーラー・ヒッチを使用する

図159: ボール・ヒッチを使用する

着脱式ボール・ヒッチはラゲッジ・コンパートメント・フロア左下に収納されています。

- ▷ 「ラゲッジ・コンパートメント・フロアを開く」（334ページ）を参照してください。

⚠ 警告 適正にロックされていないボール・ヒッチ

ボール・ヒッチを間違ってロックすると、トレーラーが気づかぬうちに外れ、重大事故を招く場合があります。

- ▶ ボール・ヒッチをロックしてキーを抜いている場合のみ、トレーラー・ヒッチを使用してください。

⚠ 警告 固定されていないボール・ヒッチ

ボール・ヒッチが確実に固定されていないと、事故が発生したときや、ブレーキまたはステアリング操作をしたときに乗員がケガをする恐れがあります。

- ボール・ヒッチが車両に固定されていない状態でトレーラーを連結しないでください。
- ボール・ヒッチは必ずツール・ボックスに格納してください。

知識

ボール・ヒッチのロック機構を損傷する恐れがあります。

ボール・ヒッチの脱着に補助器具やツールを使用しないでください。使用した場合、ボール・ヒッチが損傷し、トレーラー・ヒッチの使用安全性を失う恐れがあります。

- ボール・ヒッチの脱着に補助器具やツールを使用しないでください。

ボール・ヒッチの脱着は通常は手の力で行うことができます。

インフォメーション

- ボール・ヒッチまたはマウント・チューブに改造、修理を行わないでください。
- 取り扱い中に問題があった、異常に気づいた場合、あるいは故障した場合は：ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- 出発前に毎回、ボール・ヒッチが所定の位置に適切にロックされているか点検してください。
- トレーラーを引いて運転しているとき、常にロックを合わせ、キーを取り外してください。
- トレーラーを連結した状態で、ボール・ヒッチをロック解除しないでください。
- トレーラーを連結していないときは、必ずボール・ヒッチを取り外してツール・ボックスに収納してください。
- ボール・ヒッチが取り外されているときは、常にプラグを取り付けチューブに挿入してください。
- 初めてボール・ヒッチを使用する前に、常にキーに刻み込まれた数字を書き留めてください。
- ボール・ヒッチと取り付けチューブは常にきれいにしてください。
- ボール・ヒッチの取り外しおよびストッパーの取り付けは、高圧洗浄機、スチーム・クリーナーまたは同様の洗浄機を使用して洗浄する前に行ってください。
- ボール・ヒッチは高圧洗浄機、スチーム・クリーナーまたは同様の洗浄機を使用して洗浄しないでください。ボール・ヒッチ内部の潤滑用グリースが洗い流されます。

キー番号をこちらに記録しておいてください。 .....

ボール・ヒッチの取り付け

図160: ストッパーの取り外し

ボール・ヒッチ・マウントおよびソケットはバンパー下部にあります。

マウント・チューブは、ストッパーにより汚れが侵入しないように保護されています。

ストッパーの取り外し

1. 取り付けチューブからプラグ **A** を引き抜き、ツールボックスに保管してください。
2. ボール・ヒッチを取り付ける前に、マウント・チューブが汚れていないか必ず点検してください。ボール・ヒッチを確実にロックするためにはマウント・チューブの汚れを取り除くことが重要です。

ボール・ヒッチの準備

図161: ボール・ヒッチの準備

- 軸**B**、ロック・ボール**C** ハンドル**D**から汚れをふき取り、損傷がないか点検してください。
- 挿入前に、ボール・ヒッチ **E** に張力をかけてください。

ボール・ヒッチに張力がかかっているか点検する

– キー **F** がロックに挿入され、キーの矢印が「**ロック・オープン**」記号の方を指し、キーを取り外すことができません。
– ハンドホイールの赤いマーキング **G** がボール・ヒッチの緑色のエリア **H** の方を指しています。
– ハンドホイールとボール・ヒッチの間にはっきりと分かるスペースがあります。ハンドルとボール・ヒッチの間のギャップ**J**は約5mmにしてください。
– ロック・ボール**C**を軸の中に完全に押し込んでください。

ボール・ヒッチに前もって張力がかかっていない場合 - ボール・ヒッチに張力をかける

✓ ボール・ヒッチのロックが解除されています。つまり、キーの矢印がハンドホイールの「**ロック・オープン**」記号の方を指しています。

図162: ボール・ヒッチに張力をかける

- 左手でボール・ヒッチを持ってください。
  右手でハンドルを**矢印 1 の方向** に引き出し、引いたまま**矢印 2 の方向**に回して締結させてください。
  ボール・ヒッチに前もって張力がかかっています。

インフォメーション

ボール・ヒッチにプリテンションがかけられない場合、そのボール・ヒッチは使用しないでください。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボール・ヒッチの車両への取り付け

図163: ボール・ヒッチの車両への取り付け

ボール・ヒッチ**E**を差し込む際、手がハンドル**D**に触れないようにしてください。ボール・ヒッチを所定の位置にロックすると、ハンドルは反時計方向に回転して戻り、再びボール・ヒッチに当たります。

1. 張力のかかったボール・ヒッチ **E** を矢印の方向に取り付けチューブ **K** に挿入し、ボール・ヒッチが所定の位置にパチンと音を立ててかみ合うまでしっかり押し込みます。

図164: ロックを閉じる

2. キー **L** を反時計方向に回してボール・ヒッチをロックし、キーを取り外します。キーを取り外したら、ハンドホイールを横に引っ張ることができるか点検します。
3. キャップ**M**でロック部を覆ってください。
4. キーはツール・ボックスに収納してください。

安全点検を実施する

図165: 安全点検を実施する

▸ 次の4つのポイントを使用して、ボール・ヒッチがきちんとフィットしているか点検します。

⚠ 警告 適正に装着されていないボール・ヒッチ

ボール・ヒッチを間違って取り付けると、トレーラーが気づかぬうちに外れ、重大事故を招く場合があります。

▸ 正しく取り付けられたトレーラー・ヒッチのみを使用してください。

たとえ以下の4つのポイントを1つでも満たさない場合でも、そのトレーラー・ヒッチを使用しないでください:ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

– ハンドルの緑のマーク**N**がボール・ヒッチの緑のエリア**H**に合っている。
– ハンドルがボール・ヒッチに接触している。
– 手で強くゆすっても、ボール・ヒッチがマウント・チューブに確実にはまっている。
– キーが抜き取られ、キャップ **M** が所定の位置に取り付けられている。

トレーラー・ソケットを使用する

ソケットは差し込んだボール・ヒッチの左側にあります。

ボール・ヒッチの取り外し

図166: ボール・ヒッチの取り外し

1. ロックからキャップ **M** を取り外します。
2. キーを差し込み、時計方向に回してロックを解除してください。
3. キーの矢印はハンドホイールの「**ロック・オープン**」記号の方を指している必要があります。

⚠ 警告 ボール・ヒッチの重量

ボール・ヒッチが重いので、取り外すときに負傷する原因となる場合があります。

- ボール・ヒッチを取り外すときは、地面とボール・ヒッチの間に手を挟まれないように十分注意してください。

4. 左手でボール・ヒッチ**E**を持ってください。ハンドホイール **D** を右手で **矢印 1** の方向に引き抜き、次にハンドホイールを引き抜かれた状態のまま、**矢印2**の方向にはめ込まれるまで回します。
5. この位置でハンドルを保持してください。
6. ボール・ヒッチをマウント・チューブから**矢印3の方向**に取り外してください。
7. ハンドルを放してください。
   ボール・ヒッチのテンションが抜け、この状態でツール・ボックスに格納できます。
8. 必ずストッパーをマウント・チューブに差し込み、汚れが侵入しないようにしてください。

トレーラーを連結しての運転

⚠ 警告 トレーラー車両をけん引する場合の車両ハンドリング特性の変化

トレーラー車両のけん引は車両のハンドリング特性に大きく影響します。

- トレーラー車両を連結したときのハンドリング特性やブレーキ特性に慣れるまでは、特に慎重に運転してください。
- ブレーキング、コーナリング、追い越し、駐車をするときなど、車両のハンドリング特性や車体寸法がいつもと異なることを常に念頭に置いてください。
- 急なステアリング操作やブレーキ操作は避けてください。
- トレーラー車両のみに荷物を積まないでください。重量バランスを考慮し、けん引する車両にも荷物を積んでください。やむを得ず、トレーラー車両のみに荷物を積載する場合は、低速で走行してください。

⚠ 警告 速度超過

トレーラー車両をけん引するときは、道路条件、交通状況、路面状態、車両/トレーラー車両重量に合わせて適切な速度で運転してください。トレーラーけん引中の速度の出し過ぎは、車両およびトレーラーのコントロールを失う可能性があります。

- 地域の法律等を遵守してトレーラー車両をけん引してください。
- トレーラー車両を連結した場合の走行安定性は、速度が上がるにつれて悪化します。下り坂や悪路、悪天候（強風）のときは特に速度を落として運転してください。
- 長い下り坂では適切な低速ギヤに入れ、エンジン・ブレーキを使用してください。
- トレーラー車両のみに荷物を積まないでください。重量バランスを考慮し、けん引する車両にも荷物を積んでください。
  やむを得ず、トレーラー車両のみに荷物を積載する場合は低速で走行してください。
- トレーラー車両が軌道から外れたときは、直ちに減速してください。カウンターステアで走行姿勢を保たないでください。必要に応じてブレーキをかけてください。車両とトレーラー車両の姿勢をまっすぐに立て直すために加速しないでください。

⚠ 警告 後退時に距離警告が利用できないことによる事故

後退時にトレーラー車両の接続（トレーラー・コネクターの接続）を検出すると、パーキング・アシスタントが自動的に解除されます。

- 十分注意して運転してください。
  ▷ 「パーキング・アシスタント」（233ページ）を参照してください。

⚠ 警告 車線変更時に警告が利用できないことによる事故

トレーラー車両の接続（トレーラー・コネクターの接続）を検出すると、レーン・チェンジ・アシストが自動的に解除されます。

- 十分注意して運転してください。
  - ▷ 「レーン・チェンジ・アシスト(LCA)」(358ページ）を参照してください。

⚠ 警告 車両を動かす際には

動いているトレーラー・ヒッチと車両の間に身体の一部が挟まれ、押しつぶされる恐れがあります。

- 車両が動いているときに、車両とトレーラー車両の間に人、動物、物が入らないようにしてください。

i インフォメーション

トレーラー車両を連結すると、車両のあらゆる部分に大きな負荷がかかります。車両の機能を正常かつ安全に作動させるには、トレーラー車両をけん引する度に、専門家による点検およびメンテナンスが必要です。

- 急な坂道の走行には、オフロード・モードを作動させてください。
  - ▷ 「オフロード・モード」(88ページ）を参照してください。

トレーラーの連結と切り離し

図167: トレーラー・ヒッチのラグを締め付ける

A 電気格納式の締め付けラグ・トレーラー・ヒッチ

B 取り外し可能なボール・ヒッチを有するトレーラー・ヒッチの締め付けラグ

トレーラーの連結

1. トレーラーを取り付ける前に、警報システムを切ってください。傾斜センサー＊が作動して、警報が鳴ることがあります。
   - ▷ 「室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー *をOFFにする」(127ページ）を参照してください。
2. 連結しているときに車両からトレーラーが外れることを防ぐため、セーフティー・ワイヤーをトレーラー・ヒッチのボール・ジョイントにある固定用フック**A**に取り付けてください。

車両器材によっては、締め付けラグがボール・ヒッチ **A** の上にあったり、バンパー **B**の下にあったりします。

i インフォメーション

着脱式ボール・ジョイント付きトレーラー・ヒッチの場合は、トレーラーの着脱ケーブルを右または左の固定用フック**B**に取り付けてください。

トレーラーの切り離し

1. トレーラー車両を切り離す前に、必ず警報システムをOFFにしてください。プラグを外すときに警報が鳴ることがあります。
2. トレーラー車両にオーバーラン（惰性走行用）・ブレーキが装着されている場合、トレーラー車両のブレーキがかかっているときにトレーラー車両を切り離さないでください。

i インフォメーション

トレーラー車両のライトがすべてLED仕様の場合は、トレーラー・プラグを切り離しても警報は鳴りません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

アタッチメントおよびアクセサリーの使用

⚠ 警告 不適切なアクセサリー

不適切なアクセサリーを使用すると、トレーラー・ヒッチが破損する恐れがあります。

- ▸ アタッチメントおよびアクセサリーのメーカーがトレーラー・ヒッチでの使用を承認していることを確認してください。
- ▸ アタッチメントおよびアクセサリーがポルシェ車での使用に適合しており、承認されていることを確認してください。

アタッチメントおよびアクセサリー（バイク・ラック・システムなど）使用時には以下に注意してください：

– 荷物を含むキャリア・システムの許容最大総重量は75kgです。
ただし、負荷の重心とボール・ヒッチ間の距離が長くなると、許容最大総重量は減少します (図168)。
  ▷ 「荷物を含むキャリア・システムの許容最大総重量の遵守。」（222ページ）を参照してください。

– バイク・キャリアは最大3台まで積載できるもののみが許可されています。

– アクセサリー/アタッチメントからボール・ヒッチ (図168, **1**) までの最大長さは700mmを超えてはいけません。

荷物を含むキャリア・システムの許容最大総重量の遵守。

図168: アタッチメントおよびアクセサリーの負荷配分図

ボール・ヒッチ (図168、**1**)から積載物の重心までの距離が大きくなればなる程、それだけ搬送システムの許容される総重量は小さくなります。許容値は以下の通りです：

重心までの距離	許容最大総重量（キャリア・システムと荷物）
A = 300mm	75kg
B = 600mm	35kg

ナビゲーション

概要

この概要説明は「ナビゲーション」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション管理(PCM)の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作」（284ページ）を参照してください。

図169: 目的地入力

図170: マップ・ビュー

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
目的地を検索する	▸ NAV ボタン ▸ **検索**または**オンライン検索** （Aを参照）▸ 目的地を入力/選択してください。	224
ポルシェ・コンシェルジュ・サービスを開始する	▸ NAV ボタン ▸ **ポルシェ・コンシェルジュ** （Bを参照）▸ **コンシェルジュサービスに連絡**を選択してコンシェルジュを呼び出してください。	224
目的地住所を入力する	▸ NAV ボタン ▸ **都道府県**、**市区町村**（Cを参照）▸ 目的地住所を入力してください。	225
前回の目的地を選択する	▸ NAV ボタン ▸ **前回の目的地** ▸ リストから項目を選択してください。	225
施設情報を入力する	▸ NAV ボタン ▸ 施設情報を選択 ▸ 施設情報を選択してください。	225
地図コードを入力する	▸ NAV ボタン ▸ **マップコード** ▸ 地図コードを入力してください。	225
連絡先から目的地を選択する	▸ NAV ボタン ▸ **Fav（お気に入り）** ★（Dを参照）▸ **連絡先**ページをブラウズ（スワイプ）する ▸ リストから項目を選択してください。	225
すぐにルート案内を開始/停止する	▸ MAP ボタン ▸ **Start（開始）** 🏁 または **Stop（停止）** 🏁（Hを参照）を選択してください。	226
経由地を入力する/ツアーを計画する	▸ NAV ボタン ▸ 目的地を入力する ▸ **New（新規）**（Eを参照）▸ 経由地を入力する ▸ **Add（追加）** を選択してください。	226
保存したツアーを開始する	▸ NAV ボタン ▸ **Fav（お気に入り）** ★（Dを参照）▸ **保存した目的地**ページをブラウズ（スワイプ）する ▸ **ツアー** ▸ ツアーを選択する ▸ **Start（開始）**を選択してください。	226
渋滞情報の表示	▸ NAV ボタン/ MAP ボタン ▸ **VICS**（Fを参照）を選択してください。	229
ルートを表示および編集する	▸ NAV ボタン/ MAP ボタン ▸ **Route（ルート）**（Gを参照）を選択してください。	228
道路通行料自動徴収システム(ETC)を設定する	▸ CAR ボタン ▸ **Toll（通行料）**	232

⚠ 警告 事故を起こす恐れがあります

ポルシェ・ナビゲーション・システムは、目的地まで快適に到着できる走行ルートを案内し、ドライバーを補助します。推奨された走行指示が実際の交通規則と反する場合は、必ず実際の交通規則に従って走行してください。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▸ 常に周囲の交通状況に注意して下さい。
- ▸ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビング・スタイルと速度で走行してください。

図171: 目的地入力

目的地を検索する（検索/オンライン検索）

検索機能を使用して検索すると、PCMの内部データベースにアクセスします。インターネットで目的地を検索するには、**オンライン検索**機能を利用してください。

✓ **オンライン検索**：オンライン検索を行うにはデータ接続を確立してください。

▷ 「データ接続を確立する（接続）」（163ページ）を参照してください。

1. ボタン NAV を押してください。
2. **検索**または**オンライン検索**を選択してください（**A** 図169を参照）。
3. 検索する語句を入力してください（例：市、町名、名前）。
4. 候補のリストから希望の項目を選択してください。
5. **Start（開始）** を選択してください。

ポルシェ・コンシェルジュ・サービスを開始する**

コンシェルジュ・サービスはドライバーのパーソナル・アシスタントです。リクエストに応じて、希望の施設や個人住所へのナビゲーション・データをPCMに直接送信し、ドライバーをサポートします。

✓ 挿入されたSIMカードにより、データ接続が正常に確立されている。

✓ 携帯電話がPCMに接続されている。

▷ 「携帯電話をBluetooth®で接続する（携帯電話の準備）」（198ページ）を参照してください。

**掲載のサービスは2017年度以降の提供を予定しております。
サービス開始時期等詳細に関しましては当社Webサイトに掲載予定です。

✓ アップル® カープレイは使用されていません。

1. NAV ボタンを押してください。
2. **ポルシェ・コンシェルジュ**を選択してください(**B**図171を参照)。
3. コンシェルジュを呼び出すには、**コンシェルジュサービスに連絡**を選択してください。
4. 呼び出しを開始することを**承認**してください。
5. コンシェルジュ・エージェントと会話を開始し、施設情報または個人住所を要求してください。
   コンシェルジュが通話を終了させた後に、ナビゲーション目的地が送信されます。そのため、先に通話を終了させないでください。
6. POI (施設情報)または個々の目的地を選択してください。
7. **Start（開始）** を選択してください。

インフォメーション

- 現在位置、ナビゲーション目的地の地理的位置などのコンシェルジュ・サービス・データの使用時は、車両識別データ、言語設定がコンシェルジュ・コンタクト・センターに転送される場合があります。
- 1回のコンシェルジュ・コールにつき、最大5つの目的地のナビゲーション・データをPCMに送信することができます。

目的地住所の入力

1. ボタン NAV を押してください。
2. **都道府県**または**市区町村**を選択してください（C 図169参照）。
3. 住所（都道府県, 市/区、施設情報）を入力してください。
4. リストから希望の項目を選択してください。
5. **Start（開始）** を選択してください。

保存した目的地または連絡先の使用（前回の目的地）

1. NAV ボタンを押してください。
2. **前回の目的地**を選択してください。
3. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
   - **前回の目的地**：前回使用した目的地
   - **保存した目的地**：お気に入りとして保存された目的地。「保存した目的地の呼び出し（お気に入り）」（227ページ）を参照してください。
   - **連絡先**：接続している電話に保存されている連絡先住所
4. リストから項目を選択してください。
5. **Start（開始）** を選択してください。

施設情報の入力

1. NAV ▸ **施設情報**
2. 希望する施設情報オプションを選択してください（**目的地周辺検索**など）。
3. 施設情報カテゴリーまたは施設情報を入力または選択してください。
4. **Start（開始）** を選択してください。

インフォメーション

NAV ▸ **Nav（ナビ）** ▸ **施設情報** ▸ 希望の施設情報オプション（例：**目的地周辺検索**）▸ **Portal List POIs（ポータルリストPOI）** を選択して、ポルシェ・コネクト・ポータルから他の施設情報カテゴリーを読み込んでください。

▷ 「ポルシェ・カー・コネクト」（293ページ）を参照してください。

地図コードを使用した目的地の入力

1. NAV ボタン ▸ **マップコード**
2. 希望する目的地の**地図コードを入力してください。**
3. ポップアップ・リスト内から希望の地図コード位置を選択してください。
   - **Toll gate（料金所）**
   - **Ferry（フェリー）**
   - **高速道路**
   - **Others（その他）**
4. **Start（開始）** を選択してください。

GPS座標を使用した目的地の入力

✓ ルート案内がまだ開始されていない

1. NAV ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **GPS 座標を入力**
2. GPS 座標を入力し、**OK**をクリックして確定してください。
3. **Start（開始）** を選択してください。

地図からの目的地入力

✓ ルート案内がまだ開始されていない

1. MAP ボタンを押してください。
2. 地図上で目的地を選択してください（必要に応じて、ボタンを長押しする）。
3. ヘッドラインに表示された目的地を選択してください。
   目的地の詳細が表示されます。
4. **Start（開始）** を選択してください。

ツアーの計画（経由地の入力）

ツアーは1つの目的地、および1箇所～8箇所までの経由地で構成されます。

ツアーの入力および保存

1. NAV ボタンを押してください。
2. 目的地を入力し、ルート案内を開始してください。
3. **Route（ルート）** を選択してください。
4. **ツアー**を選択してください。
5. **New（新規）** を選択してください。
6. 経由地を入力してください。
7. **追加** を選択してください。
8. ツアー名を入力し、**OK**をクリックして確定してください。
   ツアーが保存されます。

インフォメーション

経由地は後で変更することができます。
NAV ボタン ▸ **ルート** ▸ **ツアー**を選択し、該当する経由地を押したまま希望の位置に移動させてください。

保存したツアーの呼び出し

✓ ツアーが保存されます。

1. NAV ボタン ▸ **Fav（お気に入り）**
2. **保存した目的地**ページをブラウズ（スワイプ）してください。（**D** 図169を参照）
3. **Tours** を選択してください。
4. 希望するツアーを選択してください。
5. **Start（開始）** を選択してください。

マルチファンクション・ディスプレイでの目的地の入力

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」（299ページ）を参照してください。

1. **ナビゲーション** ▸ **目的地入力**
2. 希望のリストを選択してください。
   – **前回の目的地**：前回使用した目的地
   – **保存した目的地**：恒久的に保存した目的地
3. リストから項目を選択して、ナビゲーションを開始してください。

ルート案内の開始/停止

目的地入力メニューでのルート案内の開始

✓ 目的地データが入力されている
✓ ルート案内がまだ開始されていない

▸ NAV ボタン ▸ **Start（開始）**

目的地入力によるルート案内の開始

✓ 目的地データが入力されている
✓ ルート案内がまだ開始されていない
✓ 詳細画面で目的地が表示されている

▸ **Start（開始）** を選択してください。

目的地入力メニューでのルート案内の停止

✓ ルート案内を開始している

▸ NAV ボタン ▸ **ルート案内の停止**
または
Stop（停止） を選択します。

マルチファンクション・ディスプレイによるルート案内の開始および停止

✓ 目的地データが入力されている
✓ ルート案内がまだ開始されていない

1. **ナビゲーション**メニューを選択してください。
2. 希望の項目を選択してください。

– **ルート案内の開始**：ルートを計算します。
– **ルート案内の停止**：ルート案内を停止します。

目的地の保存、および保存した目的地の呼び出し（お気に入り）

目的地の保存（お気に入り）

✓ 目的地データが入力されている
✓ ルート案内が開始されていない

1. **保存** ★を選択してください。
2. **OK**をクリックして目的地名を確定してください。
   目的地が保存されます。
   または
   目的地名を変更し、**OK**をクリックして確定してください。
   目的地は、入力した名前で保存されます。
   または
   すでに割り当てられている名前(**自宅**など)をリストから選択し、**OK**をクリックして確定してください。
   既存の名前の目的地情報は、新しい情報で上書きされます。

インフォメーション

目的地は、ボタン NAV ▸ **Fav（お気に入り）** ★ ▸ **保存した目的地** ▸ **お気に入りとして保存**を使用して保存することもできます。

保存した目的地の呼び出し（お気に入り）

1. NAV ボタンまたは MAP ボタン ▸ **Fav（お気に入り）** ★。
2. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
   – **前回の目的地**：前回使用した目的地
   – **保存した目的地**：お気に入りとして保存した目的地またはツアー
   – **連絡先**：接続している電話に保存されている連絡先住所
3. リストから項目を選択してください。

インフォメーション

ポルシェ・コネクト・ポータルから他の目的地を読み込むには、NAV または MAP ボタン ▸ **Fav（お気に入り）** ★ ▸ **保存した目的地** ▸ **ポータルパーソナルPOI**の順に選択してください。

▷ 「ポルシェ・コネクト・ログイン」（164ページ）を参照してください。

目的地およびツアーの消去または編集

1. NAV ボタンまたは MAP ボタン ▸ **Fav（お気に入り）** ★。
2. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
   – **前回の目的地**：前回使用した目的地
   – **保存した目的地**：お気に入りとして保存した目的地
   – **連絡先**：接続している電話に保存されている連絡先住所
3. リストから項目を選択してください。
4. OPT ボタンを押してください。
5. 希望の項目を選択してください。
   – **名前の変更**
   – **消去**
   – **お気に入りを地図上に表示**

インフォメーション

保存したすべての目的地またはツアーを消去するには、リストから項目を選択する前に、NAV ボタンまたは MAP ボタン ▸ **Fav（お気に入り）** ★ ▸ OPT ボタンを選択してください。

ルートの表示および編集

✓ ルート案内が開始されていること。

1. NAV ボタン／MAP ボタン ▸ Route（ルート）
2. オプションを選択して、設定を変更してください。

– **ルートオプション**：
  – **ルートの種類**：ルートの計算方法（推奨は有料道路を含めない、最短時間）を設定します。
  – **回避オプション**：ルート計算をするとき、フェリーおよび季節規制道路を除外するか、または含めるかを設定します。
  – **ダイナミックリルート**：動的なルート管理を使用して、渋滞や障害を回避します。
  – **手動ダイナミック・リルート**：確認後に、動的なルート管理が作動します。
– **リスト表示**：次の特徴的なルート地点（施設情報、分岐点など）が表示されます。
– **ツアー**：開始されたツアー・ルート案内の目的地および距離が表示されます。
– **代替ルート**：このオプションは経由地のあるツアーでは選択できません。ここでは、現在の案内中のルートに代わるルートを選択することができます。代替ルートを開始するには、**Start（開始）** を選択してください。

マップ・ビューを開いて設定する

マップ・ビューを開く

図172: マップ・ビュー**地図**表示および機能要素

▸ ボタン MAP を押してください。
地図 メニューおよび現在地のマップ・ビュー、およびルート案内中の場合は、現在のルートが表示されます。

– **A**：車両位置を地図の中央に置く
– **B**：ルート案内情報、目的地までの時間および距離、または到着時間
– **C**：縮尺表示とオートズームを切り替える
– **D**：地図サイド・メニューを開く
  ▷ 「地図コンテンツの設定」（228ページ）を参照してください。
– **E**：地図の向きを北向きまたは進行方向に切り替える

地図コンテンツの設定

図173: 地図サイド・メニューを含む地図コンテンツ

1. MAP ボタン ▸ サイド・メニュー を選択してください。
2. 希望の地図コンテンツを選択してください。
   必要に応じてロータリー・プッシュ・ボタン、またはタッチスクリーンを使用してサイド・メニュー内をスワイプ・ダウン（スクロール）し、追加メニューを表示してください。

✓ インターネットからデータを読み込むマップ・ビューの利用には有効なデータ接続が必要です。
  ▷ 「データ接続を確立する（接続）」（163ページ）を参照してください。

有効な地図コンテンツは赤色、無効なコンテンツは白色で表示されます。
– **A(3D)**：3Dビュー（または2Dビュー）
– **B(オンライン交通)**：インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関するリアルタイム交通情報の表示/非表示を切り替えます。
– **C（Google Earth）**：オンライン・データを地図表示します。停車中はこのアイコンから Street View を開くことができます。
– **D（POI表示）**：地図上の施設情報の表示/非表示を切り替える

– **E（コンパス）**：地図上のコンパスの表示/非表示を切り替える
– **天気**：地図上の天気情報の表示/非表示を切り替える
– **オートズーム**：地図上のオートズーム機能の表示/非表示を切り替える

インフォメーション

地図のサイド・メニューから各種機能に素早くアクセスすることができます。これらの機能を設定するには、ボタン MAP ▸ OPT ボタン ▸ **SET Map** ▸ **マップビュー** ▸ **レイヤー**を選択してください。

Street Viewの起動

✓ 停車していること（走行中は利用できません）

1. MAP ボタン ▸ サイド・メニュー を選択してください。
2. **Google Earth**地図画面を起動してください。
3. 地図の縮尺を100m未満に設定してください。
4. シンボルを選択してください。
   Street Viewが起動します。タッチスクリーンを使用して、周囲の状況を少しずつ探索することができます。

マルチファンクション・ディスプレイによるマップ・ビューの表示および設定

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」（299ページ）を参照してください。

1. **地図**メニューを選択してください。
2. 希望する表示オプションを選択してください。

– **オートズーム**：現在地点から次の注意点までの距離に応じて、地図の縮尺が自動的に切り替わります。
– **3D地図**：3次元地図を表示します。
– **北向き**：常に地図の上方が北になります。
– **ズーム手動**：地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
– **目的地を表示**：地図上でナビゲーション目的地を選択し、拡大表示します。
– **現在地を表示**：地図上で車両の現在地を選択し、拡大表示します。

交通情報の表示

図174: 交通情報の表示

NAV メニューおよび MAP メニューで、現在地または選択したルートに関する交通情報を取得することができます。
以下の情報が表示されます。
– 斜線区間：交通渋滞の長さを示します。
– 色付き警告シンボル：選択したルート上に差し迫った交通渋滞ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がカラー表示されます。
– グレー表示の警告シンボル：選択したルート上ではない交通渋滞

交通情報は、動的なルート管理により渋滞や障害を避けるのに役立ちます。迂回を有効にするには、MAP ボタン ▸ **Route（ルート）** ▸ **ダイナミックリルート**を選択してください。

VICS交通情報の表示

図175: DSRC/VICS交通情報

1. NAV ボタンまたは MAP ボタンを押してください。
2. **交通** を選択してください。
   受信したすべての交通情報のリストが表示されます。
   Traffic（交通）メニューに表示されている数字は、選択されたルートに関する交通情報の件数を示します。
3. 交通情報を選択してください。
   または
   すべての交通情報を表示させるには、**すべての交通情報を表示**を選択してください。

希望する交通情報のカテゴリーを選択してください。

- **DSRC/VICS 交通情報**：アイコンを選択したときは、交通情報が読み上げられます。ミニマップ（「DSRC/VICS交通情報」（229ページ）を参照してください。）はエリア内の交通情報の概要を提供します。
- **FM図形情報**：ラジオ局によって提供される地図形式、またはスクロール可能なテキスト概要形式のFM交通情報を表示します。
- **FMテキスト情報**：個別のスクロール可能なテキスト形式で提供されるFM交通情報を表示します。
- **突発的な事態**：予期せず発生した交通渋滞を図形で表示/非表示します。
- **DSRC交通ボイス・メッセージ**：DSRC交通情報の自動アナウンスのON/OFFを切り替えます。

インフォメーション

ラジオ局には交通情報に対する責任があります。従って、この情報の完全性および正確性に対してポルシェ社では責任を負いかねます。

交通情報の表示

✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと

▷ 「データ接続を確立する（接続）」（163ページ）を参照してください。

1. ボタン MAP ▸ サイド・メニューを選択してください。
2. **オンライン交通**を選択してください。

以下の交通量情報が表示されます。

- 緑色のライン：順調
- 橙色のライン：流れの遅い交通状態
- 赤色のライン：渋滞

▷ 「地図コンテンツの設定」（228ページ）を参照してください。

インフォメーション

- ポルシェ・コネクト・サービス**（カー・コネクト・サービスを含む、セーフティおよびセキュリティ・サービスを除く）は、期間はサービス・パッケージにより異なりますが、少なくとも3カ月の無料利用期間を提供しております。無料利用期間についての詳細なインフォメーションおよびそれ以降の費用および各サービスの利用についてのインフォメーションは、当社Webサイトまたはポルシェ正規販売店から入手できます。
- ポルシェ・コネクト・サービスを利用するには、データ対応の SIM カードが必要となります。携帯電話プロバイダーとの料金ベースの個別契約が必要です。

オフロード・モードでのナビゲーション

⚠ 警告 事故を起こす恐れがあります

システムに関連する精度および人工衛星ベースのナビゲーションの不具合リスクのため、コンパス誤差と不具合の可能性は排除できません。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

▸ オフロード・ナビゲーションのみに依存することのないようにしてください。

▸ オフロードの状態に常に注意を払って下さい。

オフロード・モードでは、デジタルデータ化されていない区間を走行するときでもルートを記録（トレース、追跡）することができます。この記録は複数の通過点を設定することにより行います。

オフロード・モードの作動/解除

オフロード・モードは、データとして記録されている道やルートから離れ、自由にナビゲーションを行えます。

1. NAV ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **NAV 設定**
2. **オフロードモード**を選択し、必要に応じてプロンプトを確認してください。
   オフロード・モードを有効または無効にする。

記録の開始と通過点の設定

✓ オフロード・モードが作動しているとき

1. MAP ボタン ▸ **Start（開始）**
2. **追加** を選択してください。
   現在の通過点が記録されます。通過点（最大10まで)を追加できます。
3. 記録を停止するには**Stop（停止）**を選択してください。
4. **保存**を選択してください。
5. 名前を入力し、**OK**をクリックして確定してください。
   入力は NAV ▸ **Fav（お気に入り）** ★ ▸ **保存した目的地** ▸ **ツアー**に保存されます。

**掲載のサービスは2017年度以降の提供を予定しております。
サービス開始時期等詳細に関しましては当社Webサイトに掲載予定です。

通過点のトレース

✓ オフロード・モードが作動しているとき

1. NAV ボタン ▸ **Fav（お気に入り）** ★ ▸ **保存した目的地** ▸ **ツアー**から希望するツアーを呼び出します。
2. **Start（開始）** 🏁 を選択してください。
3. 希望のオプション選択してください。

– **前方にトレース**：通過点は開始点から終点までトレースされます。
– **後方にトレース**：通過点は開始点から終点までトレースされます。
– **「最初から」**：出発地点は開始点です。
– **ここからは**：出発地点は現在の車両位置です。

ナビゲーション設定の変更

1. NAV ボタン ▸ OPT ボタン
2. 希望のオプション選択してください。

– **地点情報**：位置情報に関するインフォメーションが表示されます。
– **GPS 座標を入力**：GPS 座標を入力し、**OK**をクリックして確定してください。
– **NAV 設定**
  – **ルート案内音量**：ナビゲーション案内の音量を調節、および案内のON/OFFを切り替えます。
  – **オフロードモード**：モード（記録された道やルートから離れた追跡を容易にします）を有効または無効にする。
  ▷ 「オフロード・モードでのナビゲーション」（230ページ）を参照してください。
  – **ナビゲーションデータベースアップデート**：地図データを再読込または更新します。
  ▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。
  – **燃料警告**:残可走距離情報を表示/非表示します。
  – **ナビ情報非表示**：ナビゲーション情報を表示/非表示します。
  – **オフロードモードを隠す**オフロード情報を表示/非表示します。

地図設定の変更

1. MAP ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **MAP 設定**
2. 希望のオプション選択してください。

– **マップビュー**：マップ・ビュー（北向き、3D地図、3D建築物）と地図コンテンツを調整します。
– **ズーム**：拡大縮小の適用。
  – **オートズーム**：現在のルート案内におけるズーム・レベルの自動選択
  – **交差点拡大**：現在のルート案内で交差点に接近したときのズーム・レベルの自動選択
  – **交差点詳細地図**：交差点に到達した際に、より詳細な走行案内を表示
– **警告**：施設、低燃料残量、および他の国に近づいた時の警告の設定
  – **目的地接近警告**
  – **燃料警告**
  – **DSRC/VICS交通情報**:現在の交通警告を表示します。
  – **交通事象通知マップ**：表示の ON/OFF を切り替えます。
  – **合流**：表示のON/OFFを切り替えます。
  – **踏み切り**：踏み切りを表示/非表示します。
  – **レーン警告**：表示の ON/OFF を切り替えます。
  – **スピード・カメラ**：地図上の現在の速度制限を表示/非表示します。
– **初期設定**
  – **日中/夜間ビュー**：昼/夜表示を切り替える
  – **フッターを表示**：マップ・ビューにタッチスクリーン・フッターを表示します。
  – **レイヤー表示**：マップ・ビューにレイヤー・サイド・バーのボタンを表示します。
  – **到着時刻表示**：到着時刻と残りの走行時間を切り替えます。
  – **立ち寄り地までの走行データ**：経由地までの時間および距離を表示します。
  – **オフロードモードを隠す**
– **オフロードモード**：モード（記録された道やルートから離れた追跡を容易にします）を有効または無効にする。
  ▷ 「オフロード・モードでのナビゲーション」（230ページ）を参照してください。

全般的なVICS設定の変更

1. NAV ボタン ▸ **VICS** ▸ OPT ボタン
   または
2. MAP ボタン ▸ **VICS** ▸ OPT ボタン
3. 希望の項目を選択してください。

– **ポップアップ時間**：交通情報をポップアップ表示する時間を選択してください。5秒、10秒、15秒
– **Popup message interruption(ポップアップ・メッセージの停止)**：ポップアップのON/OFF切り替え、および：
  – **DSRC運転支援情報**
  – **DSRC一般**
  – **DSRC交通ボイス・メッセージ**
– **VICSサービス・ステータス**
– **DSRC更新機能**：ON/OFF切り替え
– **SET NAV**：「ナビゲーション設定の変更」(231ページ）を参照してください。
– **SET MAP**：「地図設定の変更」（231ページ）を参照してください。

道路通行料自動徴収システム (ETC) の使用

ETCカード・リーダーにカードを挿入/取り出し

図176: グローブ・ボックス内のETCカード・リーダー

1. 有効なETCカードを、グローブ・ボックス内のカード・リーダーにロックされるまで差し込んでください。
   アイコン ETC はスクリーンの下部に表示されます。
2. ETCカードを取り出すには、⏏ ボタンを押してください。
   カードの紛失またはカードのエラーを表示するアイコン ETC はPCMスクリーンの下部に表示されます。

支払履歴の表示

✓ ETCカードが挿入されていること

▸ CAR ボタン ▸ **Toll（料金）** ▸ **通行料履歴**通行料履歴は、このカードを使用して以前に支払われたすべての金額を表示します。

インフォメーション

車両から離れるときは、カードをカード・リーダーから抜き取ることを推奨いたします。
これには**カード取り忘れリマインダー**機能が役に立ちます。(「一般的なETC設定」（232ページ）を参照してください。)

一般的なETC設定

✓ ETCカードが挿入されていること

1. CAR ボタン ▸ **Toll（料金）** ▸ **Set（設定）** ▸ **ETC設定**
2. 希望のオプション選択してください。

– **通行料通知**：現在支払が必要となっている通行料金を表示します。
– **通行料アナウンス**：通行料の音声アナウンスのON/OFFを切り替えます。
– **ETC 警告**：現在のルート上にある、支払いが必要な通行料に関する警告を表示/非表示します。
– **カード取り忘れリマインダー**：車両を離れるときに、ETCカードをカード・リーダーから抜き取ることを促すメッセージのON/OFFを切り替えます。

パーキング・アシスタント

ドライバーが駐車操作をしているとき、パーキング・アシスタントが車両と障害物の間の距離を表示（車両装備により異なる）と音で知らせます。

パーキング・アシスタントのパーキング・エイドがPCMに表示されます。車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の形や車両との距離が分かります。

⚠ 警告 運転中または駐車中の不注意

パーキング・アシスタントにより操作の快適性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。パーキング・アシスタントを使用している場合も、ドライバーには駐車時や障害物に注意を払う責任があります。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

▸ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず十分に確認してください。

距離測定

図177: 距離測定用超音波センサー

フロントおよびリヤ・バンパーの超音波センサー **A**が障害物との距離を測定します（車両装備により異なる）。障害物を検出すると**警告音が断続的に**鳴ります。障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。障害物との距離が約30cm以下になると、**警告音が連続して**鳴ります。

天井から吊り下がっている物体や地面の近くにある障害物など、センサーの検出範囲よりも上または下にある物体は、センサーの死角になります。このためパーキング・アシスタントが障害物として検出できません。

警告音の音量をマルチファンクション・ディスプレイで変更できます。

▷ 「警告音量およびパーキング・アシスタントの調節」（315ページ）を参照してください。

パーキング・アシスタントの作動

自動作動（約15km/hの速度まで）

✓ イグニッションがONのとき
✓ リバース（後退）ギヤを選択する
または
✓ 前方との距離が約80cm以下である
または
✓ パーキング・アシスタントが、車両が後退していることを検出したとき

手動での作動

1. CAR ボタン ▸ **アシスト** ▸ **パーキング・アシスタントを表示する**

PCMの表示

図178: 色で距離を知らせる

カラー	フロント側の距離	リヤ側の距離
緑色	< 120cm	< 180cm
黄色	< 80cm	< 80cm
赤色	< 40cm	< 45cm
赤色と連続音	< 30cm	< 30cm

インフォメーション

パークアシストがトレーラーを検出すると、リヤ側の距離情報は表示されません。

インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション管理(PCM)の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作」(284ページ)を参照してください。

パーキング・アシスタントの停止

自動停止

✓ リバースから前進にギヤを切り替える（障害物が検出されない場合は約2分後）
または
✓ セレクター・レバーが**P**の位置にある

手動での停止

図179: オーバーヘッド・コンソールのボタン

▸ オーバーヘッド・コンソールのボタン**A**を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
PCMには何も表示されません。
PCMのディスプレイを手動で再び作動させることはできません。

リバース・カメラ

図180: 後進カメラはバンパーのライセンス・プレート・ライトの間に取り付けられています。

リバース・カメラの映像がPCMに表示されます。

リバース・カメラの作動

自動

✓ リバース・ギヤに入れてイグニッションをONにする
または
✓ パーキング・アシスタントが、車両が後退していることを検出したとき

手動

1. CAR ボタン ▸ **アシスト** ▸ **パーキング・アシスタントを表示する**

リバース・カメラの停止

自動

✓ リバースから前進にギヤを切り替える（障害物が検出されない場合は約2分後）
または
✓ セレクター・レバーがPの位置にある

サラウンド・ビュー

図181: サラウンド・ビュー・カメラの位置

A センターおよびフロント・エプロンのカメラ
B 両方のドア・ミラーのカメラ
C バンパーのライセンス・プレート・ライトの間にあるカメラ

⚠ 警告 怪我をする恐れがあります

リバース・カメラに映し出される障害物は実際とは異なって見えます。多くの場合、画面の映像では、車両周辺全体を映し出すことはできません

- ▸ 常に車両周囲の状況に十分注意を払ってください。
- ▸ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず十分に確認してください。

Surround View（サラウンド・ビュー）は車両を上面からみた映像で、車両周辺の全域を映し出したものです。複数のカメラで障害物や路面のマーキングを捉え、視野が狭い状態でも車両の正確な位置を検出します。

Surround View（サラウンド・ビュー）を有効にする

自動

✓ パーキング・アシスタントが再び作動します。
▷ 「パーキング・アシスタントの作動」（233ページ）を参照してください。

手動

1. CAR ボタン ▸ **アシスト** ▸ **パーキング・アシスタントを表示する**
2. シンボルで希望するビューを選択します（**トップビュー**など）。
有効になっているビューのシンボルは赤色で強調されます。

シンボル	ビュー
	トップビュー（車両の周囲と位置）
	フロントビュー：
	リヤビュー
	サイドビュー
	フロント・コーナービュー
	リヤ・コーナービュー

インフォメーション

フロントおよびリヤ・カメラのビューにはガイドラインが重ねられて表示されます。
これらのガイドラインは、ステアリングが現在位置にある時に車両が進むことのできる方向を示しています。ガイドラインは前輪の位置に応じて変わります。

Surround View（サラウンド・ビュー）を無効にする

- ▸ パーキング・アシスタントの停止
- ▷ 「パーキング・アシスタントの停止」（234ページ）を参照してください。

例外

構造上、パーキング・アシスタントは以下のものを検出できません。

– 音波を吸収する物体（例：粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など）
– 音波を反射する物体（例：ガラス面や平らな塗装面など）
– 非常に細い物体（細い支柱など）
– その他、他車のエア・ブレーキ、掃除機、エア・ジャッキなど、超音波を発する機器の近くでは障害物の検出が妨げられる恐れがあります。

メンテナンス上の諸注意

▶ センサーとカメラの正常な機能を維持するため、付着した汚れ、氷、雪などはすぐに取り除いてください。
▶ 擦り傷や引っ掻き傷でセンサーやカメラを損傷しないでください。
▶ 高圧洗浄機を使用して清掃するときは、センサーとの距離を十分に確保してください。圧力が高すぎるとセンサーやカメラが損傷します。
▶ ナンバー・プレート・ホルダーの改造、またはナンバー・プレートの移設、曲がり、取り付け不良などはシステムに悪影響を及ぼす恐れがあります。

パーソナル設定

概要

この概要説明は「パーソナル設定」に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全に関する指示および警告を必ずお読みください。

どこでパーソナル設定の保存/呼び出しができますか？	メモリー・パッケージでは、どのようなパーソナル設定の保存/呼び出しができますか？
キーを使用して車両をロック/ロック解除すると自動的に行われます。	✓ マルチファンクション・ディスプレイで、**オート・メモリー** 機能を有効にしてください。 ▷ 「オート・メモリーのON/OFF」（315ページ）を参照してください。 **人間工学に基づいた設定** – 運転席シートおよびドア・ミラー（運転席メモリー・パッケージ） – 運転席、ドア・ミラー、運転席シート、ドア・ミラー、ステアリング・ホイール（コンフォート・メモリー・パッケージ） **コンフォート設定**（コンフォート・メモリー・パッケージ） – エアコン・システム、マルチファンクション・ディスプレイ **知識:オート・メモリー** 機能を有効にした場合、キーまたはキー・ボタン ⊸ に保存した設定は、車両をロックするたびに更新されます。
運転席ドアのメモリー・ボタン **1** または **2** または **3**（助手席ドア）による手動の呼び出し	**人間工学に基づいた設定** – 運転席シートおよびドア・ミラー（運転席メモリー・パッケージ） – 運転席シート、ドア・ミラー、助手席シート、ステアリング・コラム（コンフォート・メモリー・パッケージ）
運転席ドアのキー・ボタン ⊸ を使用して手動で行います。	**人間工学に基づいた設定** – 運転席シートおよびドア・ミラー（運転席メモリー・パッケージ） – 運転席、ドア・ミラー、運転席シート、ドア・ミラー、ステアリング・ホイール（コンフォート・メモリー・パッケージ） **コンフォート設定**（コンフォート・メモリー・パッケージ） – エアコン・システム、マルチファンクション・ディスプレイ 設定は運転席ドアのキー・ボタン ⊸ とキーに保存されています。

パーソナル設定の保存と呼び出し

⚠ 注意 シート、ミラー、およびステアリング・ホイールの自動設定の呼び出し

メモリー設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫される恐れがあります。

- ▸ メモリー・ボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押すと、必要に応じて設定の自動呼び出し機能をキャンセルできます。
- ▸ お子様のみを車内に残さないでください。

運転席メモリー

図182: 運転席ドアのメモリー・ボタン（運転席メモリーまたはコンフォート・メモリー）

車両の装備仕様により、運転席メモリー・パッケージでは様々な設定をキーおよび運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

人間工学に基づいた設定：

- 運転席シート
- ドア・ミラー

コンフォート・メモリー・パッケージ

図183: 助手席ドア・メモリー・ボタン（コンフォート・メモリー・パッケージのみ）

車両の装備仕様により、コンフォート・メモリー・パッケージでは、様々な設定をキーおよび運転席・助手席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

人間工学に基づいた設定：

- 運転席シート
- 助手席シート（助手席ドアのメモリー・ボタンに保存された設定）
- ドア・ミラー
- ステアリング・ホイール

コンフォート設定：

- エアコン・システム
- マルチファンクション・ディスプレイ

キーへの設定の保存

人間工学に基づいた設定とコンフォート設定をキーに個別に割り当てることができます。

ℹ インフォメーション

各メモリーの情報は最大で4本のキーに保存することができます。更にキーを追加する場合は、最後に車両に登録されたキーのメモリー情報が適用されます。

車両ロック時の自動保存

✓ オート **メモリー** 機能を有効にします。

▷ 「オート・メモリーのON/OFF」（315ページ）を参照してください。

- ▸ 車両をロックしてください。
  設定が使用中のキーに保存されます。

「オート・メモリー」機能が役立つ状況

各ドライバーは個別のキーを使用しています。車両をロックすると、最後に選択した設定がキーに保存されます。ドライバーが交代すると、パーソナル設定が個々のキーから呼び出されます。

ℹ インフォメーション

オート**メモリー**機能を有効にした場合、手動操作でキーに保存した設定は、車両をロックするたびに更新されます。

運転席ドアの運転席キー・ボタン ⊸ を押す

✓ イグニッションがONのとき

1. **SET**ボタンを押してください。
   ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 10秒以内にキー・ボタン ⊸ を押してください。
   人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定（キー特定）が保存されます。
   保存されると確認音が鳴り、**SET**ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

設定をキー・ボタンに保存することが役立つ状況 ⊸?

車両のロック/ロック解除時に加えて、停車中に設定の保存/呼び出しを行いたい場合があります。

▸ オート**メモリー**機能を無効にします。
  有効のままだと、車両ロック時に設定が更新されます。

キーから設定を呼び出す

車両ロック解除による自動呼び出し

▸ 車両をロック解除し、運転席ドアを開いてください。
  使用中のキーから現在の設定が呼び出されます。

運転席ドアの運転席キー・ボタン ⊸ を押す

▸ すべての設定が呼び出されるまで、キーボタン ⊸ を押し続けてください。
  または

✓ イグニッションがOFFのとき

✓ 運転席ドアが開いている

▸ ドライバーのキー・ボタン ⊸ を短く押してください。
  使用中のキーから現在の設定が呼び出されます。

キー・ボタン ⊸ の設定が保存した内容と違う場合

オート・メモリー 機能をマルチファンクション・ディスプレイで有効にした場合、人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定は車両ロック時にキーに保存されます。このとき、キー・ボタン ⊸ に保存された設定が更新されます。

メモリー・ボタン1、2または3への設定の保存

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのメモリー・ボタン1と2に割り当てることができます。

助手席シートの設定を助手席ドアのボタン1、2および3に個別に割り当てることができます。

✓ イグニッションがONのとき

1. **SET**ボタンを押してください。
   ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 10秒以内にメモリー・ボタン **1**, **2** または **3**（助手席ドアのみ）を押してください。
   設定が保存されます。
   保存されると確認音が鳴り（運転席ドアのみ）、**SET** ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

メモリー・ボタン1、2または3による設定の呼び出し

運転席ドアのメモリー・ボタン1または2を押して人間工学に基づいた設定を呼び出す

▸ すべての設定が呼び出されるまで、メモリー・ボタン **1** または **2** を押し続けてください。
  または

✓ イグニッションをOFFにする

✓ 運転席ドアが開いている

▸ **メモリー・ボタン**または **1** を**2**短く押してください。
  設定が自動的に呼び出されます。

助手席ドアのメモリー・ボタン1、2、または3を押して助手席シートの設定を呼び出す

▸ すべての設定が呼び出されるまで、メモリー・ボタン **1**、**2** または **3** を押し続けてください。
  または

✓ イグニッションをOFFにする

✓ 運転席ドアが開いている

▸ メモリー・ボタン **1**、**2** または**3**を短く押してください。
  設定が自動的に呼び出されます。

ハイブリッド車

警告ラベル

エンジン・ルームのフロント・クロスメンバーおよび高電圧バッテリーに黄色の警告ラベルが貼付されており、ハイブリッド・システム構成部品に触れないよう警告しています。

ハイブリッド・システムの構成部品には、構成部品や高電圧部に触れないよう警告する2枚一組の警告ラベル（**下記イラスト参照**）が貼付されています。

- いかなる場合であっても、警告ラベルや警告表示の表面を汚したり読み取りできない状態にしないでください。
- ハイブリッド・システム構成部品の警告ラベルが貼付されたカバーは、どのような場合であっても取り外さないでください。

イラストの示す意味

正しい使用方法を守らなかった場合、感電する恐れがあります。

危険な電圧に関する警告

危険！

ハイブリッド車のシステム構成の指示に従ってください。

走行中のハイブリッド機能と作動モード

ハイブリッド機能と作動モードは、車両コントロール・システムにより自動的に設定されます。これにより、車両は考え得る最良の作動モードに入ります。
運転者が特別な走行モードを選択しなければならない状況では例外となります。
パラレル・プラグイン・ハイブリッド走行により、車両は次のハイブリッド作動モードで走ります：

モーター・ジェネレーターによる走行

モーター・ジェネレーターが車両に動力を供給します。
高電圧バッテリーが放電しています。

内燃エンジンによる走行

内燃エンジンが車両に動力を供給します。タコメーターにはアイドル回転数が表示されます。

モーター・ジェネレーターと内燃エンジンによる走行

モーター・ジェネレーターと内燃エンジンは車両に動力を供給します。

エネルギーを回収しながら走行する

モーター・ジェネレーターは、例えば、ブレーキをかけている間、内燃エンジンを作動させたまま車両が速度オーバーした場合、下り坂を走行しているとき、自動的に高電圧バッテリーに充電をします。

ハイブリッド・システムの作動条件

✓ 高電圧バッテリーが十分に充電されている
✓ エンジン油温が約0°C以上である場合
✓ 高電圧バッテリーの温度が異常に低下または上昇していない場合
✓ モーター・ジェネレーターの温度が高すぎない場合
✓ エンジン・コンパートメント・リッドが閉じている場合

これらの条件が満たされない場合、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

インフォメーション

新車から最初の1,000kmは、車両が始動後すぐに電動モーターのみで走行するには、エンジン油温が約15°C以上である必要があります。

車両を発進させる（ハイブリッド）

✓ 車両プラグが車両充電ポートに挿入されていません。

1. フットブレーキを踏んでください。
2. ティプトロニックSセレクター・レバーを**P**または**N**の位置にしてください。
3. キーまたはコントロール・ユニット（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）をロック位置**2**に回してください。エンジン・スターターを約10秒以上連続して作動させないでください。
   パワー・メーターの指針が**READY**位置に移動し、信号音が鳴ります。エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。
   指針位置 **READY** に関するインフォメーション：

▷ 「A – READY」(49ページ) を参照してください。

インフォメーション

車両が発進したときに車両プラグが車両充電ポートに挿入されていた場合、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

▸ 約20秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。

車両を離れた後の反応（ハイブリッド）

パワー・メーターの指針が **READY** を示しているとき、またはエンジンの自動停止後（運転席ドアが開いていて、ブレーキを解除している場合）などに車両から降車すると、エンジンは自動的に始動**しません**。

ドライバーが車両を離れてから30秒以内に戻った場合（運転席のドアが閉められ、ブレーキがかけられていると）、システムはまだ操作可能です。

上記の条件が満たされなかった場合、エンジンを手動操作で始動する必要があります。

エンジンを手動で始動する必要があることを示すメッセージが、マルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

インフォメーション

ティプトロニックSセレクター・レバーが**D**、**R**または**M**の位置にあり、車両が停止状態で、運転席ドアが開いている場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキがロックされます。

スイッチⓅのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのブレーキ警告灯(!)が点灯します。

インフォメーション

内燃エンジンが作動した状態で運転手が降車した場合、内燃エンジンは作動したままになります。

運転者が車両に戻った場合（運転席ドアが閉じられ、ブレーキを踏み込まれた状態）、エンジンを再度停止できます。

PCM にエネルギー・フローを表示する

ハイブリッド・エネルギー・フローは、内燃エンジン、高電圧バッテリー、ハイブリッド・モジュールおよび駆動輪の間のエネルギーの流れを表示します。

図184: ハイブリッド・エネルギー・フロー

1. CAR ボタン ▸ **ハイブリッド**
2. **エネルギーフロー**ページを閲覧（スワイプ）してください。

高電圧バッテリーの充電状態は、青色の充電バーの本数により表示されます。10個の青いバーは、高電圧バッテリーが完全に充電されていることを示しています。

エネルギー・フローの方向と種類は、異なる色のシンボルにより区別されます：

– **オレンジ色の三角形**
  内燃エンジンが車両に動力を供給します。
– **青色の三角形**
  モーター・ジェネレーターが車両に動力を供給します。
– **青色とオレンジ色の三角形**
  モーター・ジェネレーターと内燃エンジンは車両に動力を供給します。

– **緑色の三角形**
高電圧バッテリーが充電されていません（例えば、ブレーキをかけている間、または下り坂を走行しているとき）。
– **ハイブリッド・モジュールからバッテリーへの青い矢印**
高電圧バッテリーは充電されています。
– **バッテリーからハイブリッド・モジュールへの青い矢印**
モーター・ジェネレーターが、車両に動力を供給しているか、電力を消費する機器を作動しています。

高電圧バッテリーの充電に関するインフォメーション：
▷ 「高電圧バッテリーの充電」（146ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイにエネルギー・フローを表示する

図185: モーター・ジェネレーターで走行しているときのエネルギー・フロー・メニュー

▶ **エネルギーフロー**メニューを選択してください。

ハイブリッド・システムの現在の作動モード、高電圧バッテリーの充電状態、および電動モーターによる走行可能距離が、マルチファンクション・ディスプレイに表示されます。
カラー表示された矢印は内燃エンジン、高電圧バッテリー、駆動輪の間のエネルギーの流れを示します。
– **オレンジ色の矢印**
内燃エンジンから出力されるエネルギー・フロー
– **青色の矢印**
高電圧バッテリーに出入りするエネルギー・フロー
– **灰色の矢印**
エネルギー・フローなし

高電圧バッテリーの充電状態は、青色の充電バーの本数により表示されます。10個の青いバーは、高電圧バッテリーが完全に充電されていることを示しています。

マルチファンクション・ディスプレイにEパワー・アシスト・メニューを表示する

図186: Eパワー・アシスト

▶ **E-POWER アシスト**メニューを選択してください。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される「**E-POWER アシスト**」メニューは、電気駆動力の調節の補助として役立ちます。

セグメント・ディスプレイ**A** はアクセル・ペダルの動きを表示します。アクセル・ペダルを踏み込むとより多くの電力が出力されます。内燃エンジンは出力しきい値**B**に達すると始動します。

– **青色のセグメント**
  モーター・ジェネレーターによる駆動
– **オレンジ色のエリア**
  内燃エンジンの作動

PCMにゼロ・エミッションを表示する

図187: ハイブリッド・ゼロ・エミッション

1. CAR ボタン ▸ **ハイブリッド**
2. **ゼロエミッション**ページを閲覧(スワイプ)してください。

ハイブリッド・ゼロ・エミッション・ディスプレイに、現在の走行に関する情報が示されます:

– 内燃エンジン停止時間のグラフ表示内燃エンジンの停止時間が、5分間間隔でパーセントとして示されます。
– 内燃エンジンの合計停止時間（分、秒）の表示

インフォメーション

イグニッションをOFFにしてから約2時間以上駐車すると、ディスプレイは自動的にリセットされます。

バッテリー

⚠ 警告 感電、ショートまたは火災

車両の通電部品に触れると、感電する恐れがあります。車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。
ショートは火災の原因となります。

- 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス・ケーブルの端子を外してください。
- 工具や電気を通す装身具（指輪、ネックレス、時計バンドなど）が、車両の電気部品と接触しないように注意してください。

⚠ 警告 火災または爆発

燃料、エンジン・オイル、トランスミッション・オイルなど、車両に使用される油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは発火、爆発する危険があります。鉛バッテリー充電時には爆発性の高い混合ガスが発生することがあります。

- 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス・ケーブルの端子を外してください。
- 静電気の帯電を防ぐため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
- バッテリーを取り扱う前に、車両などに触れて静電気を逃がしてください。
- バッテリーの近くで喫煙したり、裸火を近づけたりしないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
- メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。

⚠ 注意 腐食性電解液

鉛蓄電池には、触れると皮膚や衣服を損傷させる原因となる腐食性の高いバッテリー酸が含まれています。

- 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。

知識

回路のショート、火災またはオルタネーターおよび電気系統を損傷する恐れがあります。

- バッテリーの脱着は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。
  ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス・ケーブルの端子を外してください。

バッテリーはフロント左シートの下にあります。

- ジャンパー・ケーブルによるエンジン始動時は、黒色のマイナス・ケーブルを絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。必ず充電器の黒色のマイナス・ケーブルをアース箇所（マイナス端子）**B**（図188ページ 246）に接続してください。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動に関するインフォメーション：

▷ 「ジャンパー・ケーブルによる始動」（144ページ）を参照してください。

警告シンボルへの対応

バッテリーの充電レベルが低いときは、マルチファンクション・ディスプレイに または のシンボルが表示されます。

シンボルは、オルタネーターの故障を示します。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

バッテリー取り扱い上の注意

取扱説明書をお読みください。

保護眼鏡を必ず着用してください。

お子様を絶対に近づけないでください。

爆発の危険があります。
バッテリー充電中は爆発性の高い電解質のガスが発生します：

火気、火花、裸火を近づけたり、そばで喫煙することは絶対に避けてください。
電気配線や電装品を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。
ガス抜きホースが付いたバッテリーは、ホース出口から高濃度の電解質ガスが放出されます。ガス抜きホースによじれや詰まりがないようにしてください。

酸による火傷の危険があります。
バッテリー液には極めて強い腐食性があります。
保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
ガス抜き穴からバッテリー液が漏れる恐れがあるため、バッテリーを傾けないでください。

応急処置

バッテリー液が目にかかった場合、直ちに水で数分間洗い流し、
至急医師の診察を受けてください。
皮膚、衣服にかかった場合、直ちに石鹸水で中和し、多量の水で洗い流してください。
万一バッテリー液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

廃棄

古いバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

バッテリーのお手入れ

インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。バッテリーが充電不足のときは温度が0°Cであっても凍結することがあります。完全に充電されている場合は-40°Cまで凍結しません。

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？
バッテリー上がりを防ぐには	▶ 短距離の運転時は、不要な電気装備類をOFFにしてください。 ▶ 車両から離れるときはイグニッションをOFFにし、キーを抜いてください。 ▶ エンジン停止時には、PCMを使用しないでください。
バッテリーのお手入れ	▶ バッテリー表面は清潔で乾いた状態に保ってください。 ▶ バッテリー端子は必ず確実に接続してください。
冬季の走行に備えて	▶ 冬になる前に、ポルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。
バッテリーを充電する	▶ 凍結または損傷したバッテリーは決して充電しないでください。 ▷ 「バッテリーの充電」（246ページ）を参照してください。

車両を保管するとき

- ▶ 車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間保管する場合は、ドアやリッド類を確実に閉じてください。
- ▶ キーを抜き、必要に応じてバッテリーの端子を外してください。またはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。

インフォメーション

バッテリーを切り離している場合、警報装置は作動しません。バッテリーを切り離す前に車両がロックされていた場合、バッテリーを再接続したときに警報システムが作動します。

▷ 「警報システム」（127ページ）を参照してください。

インフォメーション

車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。

- ▶ 正常に使用可能な状態を保つには、約 6 週間ごとの充電または AGM（**浸透ガラスマット**）バッテリーに適したトリクル充電器の使用が必要です。
  ポルシェ社では、Porsche Tequipmentの充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。
- ▶ 取り外したバッテリーは、湿気がなく風通しの良い冷暗所に保管し、凍結に注意してください。

バッテリーの充電

図188: バッテリー端子

A プラス端子+
B アース箇所（マイナス端子）–

⚠ 警告 凍結または損傷したバッテリーの充電

凍結または損傷したバッテリーを充電すると、爆発や酸による火傷を負う危険があります。

- 凍結または損傷したバッテリーは**絶対に充電しないでください**。

- 充電器メーカーの取扱説明を遵守してください。
- 十分に換気ができる場所でバッテリーを充電してください。

1. ボンネットを開いてください。
2. -ジャンプ・ケーブル始動（+）用のプラス端子カバーを開いてください。
3. 充電器の赤色のプラス・ケーブルをバッテリーのプラス端子**A**に接続してください。
4. 充電器の黒色のマイナス・ケーブルをアース箇所**B**に接続してください。
5. 充電器のスイッチをONにしてください。
6. バッテリーの充電が完了したら、充電器の電源をOFFにしてから、ケーブルを外してください。

▷ 「バッテリー交換後の車両の作動復帰」（246ページ）を参照してください。

- 適切な充電器に関する情報は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。

バッテリーの交換

バッテリー本体に表示された規格/仕様のみでは、そのバッテリーがポルシェ社の要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

- バッテリーの交換時は、車両が必要とする要件を満たしたAGM（**A**bsorbent **G**lass **M**at：浸透ガラス・マット）バッテリーを必ず使用してください。ポルシェ純正バッテリーの使用を推奨いたします。
- バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。
- バッテリーの脱着は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。
- 新しいバッテリーを取り付けた後は、コントロール・ユニットでの初期化が必要です。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バッテリー交換後の車両の作動復帰

バッテリーを接続した後、または放電してしまったバッテリーを充電した場合、以下の作業を実施してください：

1. パワー・ウィンドウの停止位置を保存してください。

▷ 「ウィンドウ停止位置の保存」（53 ページ）を参照してください。

2. タイヤ空気圧モニタリング・システム（TPM）にタイヤを登録してください。

▷ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」（304ページ）を参照してください。

3. 電動格納式トレーラー・ヒッチ装備車は、固定位置を保存してください。

▷ 「トレーラー・カップリングの固定位置の保存」（216ページ）を参照してください。

4. ルーフ・システムの停止位置を保存してください。

▷ 「ルーフ・システムとサン・ブラインドの停止位置を保存する」（352ページ）を参照してください。

パワー・ステアリング

⚠ 警告 パワー・アシストの作動不良

エンジンを停止しているとき（けん引時など）(Cayenne S E-Hybridを除く）や、油圧機構に異常がある場合、操舵力がアシストされません。ステアリング操作に大きな力が必要になります。

- 車両をけん引するときは十分注意してください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ステアリングをいっぱいに切ったときに聞こえる流動音は、パワー・ステアリング・システムの構造上の特性であり、システムの故障ではありません。

油圧フルードを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

- ポルシェ純正油圧フルード、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準に適合する油圧フルードのみを使用してください。

警告シンボルへの対応

油圧フルード液量が少ない場合、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

- エンジンをOFFにして冷やしてください。
- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

油圧フルード・レベルの点検と補充

図189: 油圧フルード・リザーバー

✓ エンジンを OFF にして冷やしてください（エンジン温度約 20°C)。

1. リザーバーのキャップを開いてください。
2. 油圧フルード液量は レベル・ゲージ の MIN マークと MAX マークの間に維持されなければなりません。
3. 必要に応じて油圧フルードを補充してください。
4. リザーバーのキャップを閉めてください。
5. ボンネットを閉じてください。

i インフォメーション

油圧フルードの減りが著しい場合は、油圧システムに漏れが発生しています。

- 早急に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

パンクしたとき

モデルと装備に従って、車両にはタイヤ・シーラント/工具セットまたはコラプシブル・スペア・ホイール/フルサイズ・スペア・ホイールが付属します。

タイヤ・シーラント/工具セットが付属する車両：

▷ 「損傷したタイヤの補修」(249ページ) を参照してください。

コラプシブル・スペア・ホイール装備車

▷ 「コラプシブル・スペア・ホイールの使用」(250ページ) を参照してください。

スペア・ホイール装備車：

▷ 「標準・スペア・ホイールの使用」(253ページ) を参照してください。

警告シンボルへの対応

シンボルが警告シンボルとともにマルチファンクション・ディスプレイに表示された場合、タイヤ空気圧モニタリング・システムが著しい空気圧低下を検出しています。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

▸ 安全な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(104ページ) を参照してください。

車両を安全な場所に停車する

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。ジャッキがセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザード・ライトを点滅させてください。
3. エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
4. セレクター・レバーを**P**位置に入れてください。
5. フロント・ホイールを直進位置にしてください。
6. ステアリングのロックおよびエンジン始動の防止：
   キーを抜き取ってください。
   ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車：
   リモート・コントロール・ユニット
7. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。このとき、周囲の交通状況に注意してください。
8. 停止表示板を適切な場所に設置してください。
9. 車両が動き出さないよう、反対側のタイヤの下に輪止めをかけるなどして固定してください。

車両が動き出さないように固定してください

✓ 折りたたみ式または標準のスペア・ホイール装備車

図190: 輪止めの取り外し

1. 輪止め **A**を取り外します。
2. 折り畳まれている両方の輪止め **A** を起こして固定してください。

図191: 輪止めの配置

3. 取り外すタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に輪止めを設置してください。

損傷したタイヤの補修

⚠ 警告 一時的なタイヤの補修

タイヤ・シーラントで補修した損傷タイヤのまま不適切な速度、または連続的な負荷状態で走行すると、バースト（破裂）または空気圧が低下する恐れがあります。

- ▸ タイヤ・シーラントを使用したタイヤの補修は、緊急の場合の応急処置であり、最寄りの修理工場までの短距離移動のみに使用してください。
- ▸ タイヤ・シーラントは4mm以下の切傷や刺傷のみに使用してください。
- ▸ ホイール・リムが損傷している場合は、タイヤ・シーラントを使用しないでください。
- ▸ 速やかにポルシェ正規販売店でタイヤを交換してください。タイヤ・シーラントを使用したことを専門整備工場に伝えてください。
- ▸ タイヤ**を修理しない**でください。
- ▸ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▸ 許容最高速度 80km/h を超えて走行しないでください。
- ▷ タイヤ・シーラントおよびコンプレッサーに添付されている安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

タイヤがパンクした場合、車両に装備されているタイヤ・シーラントで損傷したタイヤを応急処置することができます。損傷したタイヤを適切に補修するには以下が必要です。

- タイヤ**シーラント・セット**はラゲッジ・コンパートメントに収納され、以下が含まれます。
  - 充填ボトル
  - 充填ホース
  - バルブ回し
  - 交換バルブ・インサート
  - 許容最高速度表示用ステッカー
  - 操作説明
- **コンプレッサー**はトランク・ルームにあります

▷ 「コンプレッサー /タイヤ・シーラントの取り外し」(333ページ) を参照してください。

タイヤ・シーラントの充填

⚠ 警告 人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。

- ▸ タイヤ・シーラントの近くで喫煙したり、裸火を使用しないでください。
- ▸ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▸ お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▸ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。

⚠ 注意 タイヤ・シーラントが付着したとき

タイヤ・シーラントが付着すると炎症やアレルギーを引き起こすことがあります。

- ▸ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▸ タイヤ・シーラントが皮膚に付着したり目に入ったりしたときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▸ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▸ パンク修理剤でアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▸ タイヤ・シーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告 タイヤ空気圧の低下

タイヤ・シーラントが付着したタイヤ空気圧センサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▸ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

図192: タイヤ・シーラントの充填

A 充填ボトル
B 充填ホース
C 充填ホース・プラグ
D バルブ回し
E バルブ・インサート
F タイヤ・バルブ

充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. ラゲッジ・コンパートメントからタイヤ・シーラントおよび付属のステッカーを取り出してください。
   ▷ 「コンプレッサー/タイヤ・シーラントの取り外し」(333ページ) を参照してください。
3. 最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

タイヤ・シーラントの充填

▶ タイヤ・シーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. 充填ボトル**A**を振ってください。
2. 充填ホース **B** を充填ボトルに取り付けてください。
   充填ボトルを開封してください。
3. タイヤ・バルブ**F**からバルブ・キャップを取り外してください。
4. バルブ回し**D**を使用して、バルブ・インサート**E**をタイヤ・バルブから取り外してください。
   交換用バルブ・インサートが入手できない場合は、バルブ・インサートを清潔で乾燥した場所に保管してください。
5. 充填ホース **B** のプラグ **C** を取り外してください。
6. 充填ホースをタイヤ・バルブに押し付けてください。
7. 充填ボトルをタイヤ・バルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
8. 充填ホースをタイヤ・バルブから引き抜いてください。
9. 入手可能な場合は、バルブ回し **D** を使用して、交換用バルブ・インサートまたはバルブ・インサート **E** にしっかりとねじ込んでください。

タイヤ空気の充填

▶ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。

▷ 「タイヤ空気の充填」(175ページ) を参照してください。

1. コンプレッサーを車両のプラグ・ソケットに接続し、圧力が2.5bar以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。このようなタイヤで運転を続けないでください。
2. バルブ・キャップをタイヤ・バルブ**F**に取り付けてください。

タイヤ空気圧の点検

▶ 約10分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。

タイヤ空気圧が1.5bar以下の場合は、運転を中止してください。タイヤ空気圧が1.5bar以上の場合は、指定のタイヤ空気圧に調整してください。

▷ 「タイヤ空気圧」(385ページ) を参照してください。

タイヤ交換

▷ 「タイヤとホイールの交換」(177ページ) を参照してください。

ホイールを交換した後は、マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ設定を必ず更新してください。

▷ 「タイヤ空気圧メニュー (タイヤ空気圧モニタリング、TPM)」(304ページ) を参照してください。

コラプシブル・スペア・ホイールの使用

⚠ 警告 車両操縦性の変化

コラプシブル・スペア・ホイールを装着すると車両の挙動が乱れる場合があります。

▶ コラプシブル・スペア・ホイールは緊急時に短距離を走行する場合にのみ使用してください。
  走行安全性を維持するため、トレッドのスリップ・サインが現れる**前**にタイヤを交換してください。スリップ・サインは、溝の深さが1.6mmまで摩耗すると現れます。
▶ ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)システムを解除しないでください。
▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
  コラプシブル・スペア・ホイールを装着すると車両の走行特性が大きく変化します。また、タイヤの摩耗を避けるためにも**80km/h**の最高速度を厳守してください。
▶ 他車用のコラプシブル・スペア・ホイールを使用しないでください。
▶ この車両用のコラプシブル・スペア・ホイールを他車で使用しないでください。
▶ 同時に**複数のコラプシブル・スペア・ホイール**を使用しないでください。

⚠ 警告 クリアランス不足

コラプシブル・スペア・ホイールを取り付ける前にスペーサーを取り外さなかった場合、事故を起こす恐れがあります。

- コラプシブル・スペア・ホイールを取り付ける前に5mmまたは17mmスペーサーを取り外さなかった場合、ホイールを正しく取り付けられません。

コラプシブル・スペア・ホイールのホルダーからの取り外し

図193: ラゲッジ・コンパートメント内のコラプシブル・スペア・ホイール

コラプシブル・スペア・ホイールはラゲッジ・コンパートメントのフロア下に収納されています。

1. ロータリー・ノブ **A** を取り外し、スクリュー **B**に取り付けてください。
2. スクリュー **B** をゆるめて固定クリップを外し、コラプシブル・スペア・ホイールを取り出してください。

ラゲッジ・コンパートメント内のコラプシブル・スペア・ホイールの取り外し（Cayenne S E-Hybrid のみ）

⚠ 警告 コラプシブル・スペア・ホイールの不適切な取り外し

ホイールはとても重くなっています。

- 注意してコラプシブル・スペア・ホイールをホルダーから取り外してください。

図194: コラプシブル・スペア・ホイールのホルダーからの取り外し

1. ホイール・カバー（ジッパー）を開いてください。

図195: ホイール・ホルダーを緩めてください。

2. 工具セットのホイール・ボルト・レンチを使用して、ホイール・ホルダー **A** を緩めてください。
3. ホイールをホイール・カバーと共にラゲッジ・コンパートメントから取り外してください。

図196: コラプシブル・スペア・ホイールを取り外します。

4. リテーニング・プレート **B** を反時計回りに回してください。
5. アダプター **C** およびリテーニング・プレート**B**を取り外してください。
6. リテーニング・ストラップ**D**を開き、コラプシブル・スペア・ホイールを取り外してください。

コラプシブル・スペア・ホイールを車両に取り付ける

1. 車両を**ジャッキ・アップ**した状態で、車両に空気の入っていないコラプシブル・スペア・ホイールを取り付けてください。
   ▷ 「ホイールの交換」（179ページ）を参照してください。
2. タイヤに空気を入れてください。
   ▷ 「タイヤ空気の充填」（250ページ）を参照してください。
   ▷ 「タイヤ空気圧」（385ページ）を参照してください。

コラプシブル・スペア・ホイールを使用した後は

1. コラプシブル・スペア・ホイールを収縮させます。そのためには、コラプシブル・スペア・ホイールのバルブをゆるめます。
2. コラプシブル・スペア・ホイールはラゲッジ・コンパートメントのフロア下に収納されています。

インフォメーション

リヤ・シート位置によっては、コラプシブル・スペア・ホイールを装着するとノイズが発生することがあります。

▶ リヤ・シートをできるだけ前方に動かし、バックレストを垂直位置に調節してください。

⚠ 警告 ホルダーの締め付け不良

ホルダーがしっかりと締め付けられていない場合、ブレーキや車線変更、または衝突の際に、コラプシブル・スペア・ホイールがホルダーから外れて飛び出し、乗員がケガをする恐れがあります。

▶ ホイール・ホルダー **A**の締め付けトルク(20Nm(15 ftlb))遵守してください。

インフォメーション

コラプシブル・スペア・ホイールは元の形状に戻るのに空気を抜いてから数時間かかります。コラプシブル・スペア・ホイールは元の形状に戻ってからでないと、ラゲッジ・コンパートメントのフロア下に収納できません。

▶ コラプシブル・スペア・ホイールに不具合が発生した場合は：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

折りたたみ式スペア・ホイールをラゲッジ・コンパートメントのホルダーに装着する （Cayenne S E-Hybrid のみ）

図197: アダプターおよびリテーニング・プレートを取り付けてください。

1. アダプター **C** およびリテーニング・プレート**B**を取り付けてください。

2. リテーニング・プレートBを時計回りに止まるまで回してください。
3. ホイールをホイール・カバーにしまい、リテーニング・ストラップDを固定し、ジッパーを閉じてください。
4. ホイールをホイール・カバーと共に取り付け位置まで持ち上げてください。

図198: コラプシブル・スペア・ホイールを固定する

5. ジッパーを開き、工具セットのホイール・ボルト・レンチを使用してホイール・ホルダー **A** をねじ込んでください。
6. トルク・レンチ（別途ご用意ください）を使用して、ホイール・ホルダーが20Nmの締め付けトルクで締め付けられているか確認してください。

標準・スペア・ホイールの使用

⚠ 警告 車両操縦性の変化

取り付けられているタイヤとスペア・タイヤのホイール・サイズ、タイヤ・サイズ、タイヤ規格を確認してください。取り付けられているタイヤとスペア・タイヤが異なる場合、車両の挙動が乱れる場合があります。

- スペア・ホイールは緊急時に短距離を走行する場合にのみ使用してください。安全のため、トレッドの溝にスリップ・サイン（深さ1.6mm）が現れる前にタイヤを交換してください。
- ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)システムを解除しないでください。
- スペア・ホイールのタイヤが製造から4年以上経過している場合、タイヤがパンクした時の緊急用としてのみ使用してください。
- 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。車両に取り付けられている他の3本のホイールとスペア・ホイールが異なっている場合、最高許容速度の **80km/h (50mph)** を厳守してください。
  走行特性が大きく変化するため、また摩耗を避けるため、最高許容速度を超えた速度で走行しないでください。

⚠ 警告 スペア・ホイールの不適切な取り外し

ホイールの重量はとても重くなっています（最大約35kg）。

- 注意してスペア・ホイールをスペア・ホイール・ブラケット（取り付け金具）から取り外してください。

⚠ 警告 ホルダーの締め付け不良

ホルダーがしっかりと締め付けられていない場合、ブレーキや車線変更、または衝突の際にスペア・ホイールがホルダーから外れて飛び出し、乗員がケガをする恐れがあります。

- ホイール・ホルダー（図202ページ254、**B**）の締め付けトルク（**20Nm** (15ftlb)）を遵守してください。

ラゲッジ・コンパートメント内の標準・スペア・ホイールの取り外し

図199: ホイール・カバーを開く

1. ホイール・カバー（ジッパー）を開いてください。
2. 締め付けベルトをゆるめ、ラゲッジ・コンパートメント・フロアの前後の取り付け位置Aから取り外してください。

図200: ホイール・ホルダーを緩めてください。

1. 工具セットのホイール・ボルト・レンチを使用して、ホイール・ホルダー **B**を緩めてください。
2. ホイール・ホルダーからホイールを取り外してください。
3. リテーニング・プレート**C**を反時計回りに回してください。
4. アダプター**D**とリテーニング・プレート**C**を取り外してください。
5. スペア・ホイールを装着し、膨らませてください。

▷ 「ホイールの交換」(179ページ) を参照してください。

6. タイヤに空気を入れてください。

▷ 「タイヤ空気の充填」(250ページ) を参照してください。

▷ 「タイヤ空気圧」(385ページ) を参照してください。

ラゲッジ・コンパートメント内ホルダーへの標準・スペア・ホイールの取り付け

図201: アダプターおよびリテーニング・プレートを取り付けてください。

1. アダプター**D**とリテーニング・プレート**C**を取り付けてください。
2. リテーニング・プレート**C**を時計回りに止まるまで回してください。
3. ホイールをホイール・カバーにしまい、締め付けベルトをタイヤ・トレッドの付近に取り付け、ジッパーを閉じてください。
4. ホイールをホイール・カバーと共に取り付け位置まで持ち上げてください。

図202: ホイール・ホルダーを締める

1. ジッパーを開き、工具セットのホイール・ボルト・レンチを使用してホイール・ホルダー **B** をねじ込んでください。
2. トルク・レンチ（別途ご用意ください）を使用して、ホイール・ホルダーが20Nmの締め付けトルクで締め付けられているか確認してください。
3. 締め付けベルトをラゲッジ・コンパートメント・フロアの前後の取り付け位置**A**に取り付けてください。
4. タイヤ・トレッド付近の締め付けベルトの位置を点検し、必要な場合は調整してください。
5. 締め付けベルトを締め付けてください。
6. ホイール・カバーのジッパーを閉じてください。

インフォメーション

リヤ・シート位置によっては、スペア・ホイールを装着するとノイズが発生することがあります。

▸ リヤ・シートをできるだけ前方に動かし、バックレストを垂直位置に調節してください。

ヒューズ

⚠ 警告 ショート

車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。回路のショートが原因で火災が発生する恐れがあります。

- 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス・ケーブルの端子を外してください。

⚠ 警告 不適切な処置および不適切なアクセサリー

ヒューズ・ボックスへの不適切な処置、または不適切なアクセサリーの使用は、電気/電子回路に損傷や不具合を発生させる恐れがあります。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ポルシェ社が承認した電装品（アクセサリー）のみを使用してください。認定アクセサリーに関するインフォメーション：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

リレー

リレーの点検と交換はポルシェ正規販売店で行ってください。

- ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヒューズの点検および交換

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各々の回路がヒューズで保護されています。
ラゲッジ・コンパートメントの右側にヒューズ・ボックスが1個あります。ヒューズ・ボックスは運転席側、助手席側両方のダッシュボード端部にあります。
プラスチック製のヒューズ・リムーバーと交換用ヒューズは運転席側、助手席側両方のダッシュボード端部のヒューズ・ボックス・カバーに入っています。

インフォメーション

ヒューズ・ボックス・カバーにある交換用ヒューズ：
– 運転席側：7.5 A ■ および10 A ■
– 助手席側：20 A ■ および 25 A ■

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品をOFFにしてください。
2. ヒューズ・ボックス・カバーを開いてください。
3. ヒューズを点検するため、プラスチック製のヒューズ・リムーバー **A** (図203) を使用して、スロットから対応するヒューズを引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
4. 新しいヒューズを差し込んでください。交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。

インフォメーション

ヒューズを交換するときは、交換するヒューズに目印をつけて、ポルシェ純正ヒューズと交換してください。目印をつけることにより、緊急対応者が安全に高電圧システムを解除することができます。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

運転席側ダッシュボードのヒューズ・ボックスを開く

図203: 運転席側ダッシュボードのヒューズ・ボックス

1. 適切な工具（例：スクリュードライバー）を使用して、プラスチック・カバーを慎重にこじって引き外してください。
2. プラスチック製のグリッパー **A** を使用してヒューズを慎重に取り外し、必要に応じて交換してください。

1 シート・メモリー・コントロール・ユニット、左；左側シートのシート調整スイッチ 25 A
2 補助ヒーター・コントロール・ユニット 30 A
3 ホーン用リレー 15 A
4 フロント・ワイパー・モーター 30 A
5 ルーフ・システム・モーター 30 A
7 ステアリング・コラム調整用コントロール・ユニット 15 A
8 タイヤ空気圧モニタリング(TPM)コントロール・ユニット、シャシー・コントロール・スイッチ 5 A
9 フロントガラス・ヒーター、雨 / 光センサー 5 A
10 パノラマ・ルーフ用ロール・アップ式サンブラインド・モーター 30 A
13 サブ・ウーファー (Bose/Burmester＊) 30 A
14 BCM1 30 A
15 Cayenne S E-Hybrid：高電圧充電器 5 A
16 セントラル・ロッキング・コントロール・ユニット、運転席パワー・ウィンドウ 30 A
17 エンジン・コンパートメント・リッド、コンタクト・スイッチ、ホーン予備 5 A
18 BCM1 30 A
19 Cayenneディーゼル＊、Cayenne S ディーゼル＊、Cayenne、Cayenne S、Cayenne GTS、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S：エンジン・コントロール・ユニット 5 A
20 BCM1 30 A
21 補助ヒーター用サーキュレーター・ポンプ・リレー＊ 10 A
22 BCM1 30 A
23 CANネットワーク・ゲートウェイ/故障診断用ソケット、イグニッション・ロック、ステアリング・コラム・ロック、ライト・スイッチ 7.5 A
24 フロント・ウィンドウ・ヒーター、左 30 A
25 フロント・ウィンドウ・ヒーター、右 30 A
27 Cayenne S E-Hybrid：バッテリー制御システム 5 A
28 Cayenne S E-Hybrid：パワー・エレクトロニクス 5 A
29 Cayenne S E-Hybrid：スピンドル・アクチュエーター 5 A
30 Cayenne S E-Hybrid：シングル・パワー・パック（油圧ポンプ）、ステアリング 5 A
31 Cayenne S E-Hybrid：アウトサイド・サウンド、インテリア・サウンド 5 A
32 Cayenne S E-Hybrid：アクセル・モジュール 5 A
33 セントラル・ロッキング・コントロール・ユニット、後席左パワー・ウィンドウ 30 A
36 エレクトリック・パーキング・ブレーキ・スイッチ 5 A
38 Cayenne S E-Hybrid：パワー・エレクトロニクス 5 A
39 Cayenne S E-Hybrid：スピンドル・アクチュエーター 30 A
40 Cayenne S E-Hybrid：断路器 10 A
41 Cayenne S E-Hybrid：バッテリー制御システム 10 A
42 ルーム・ミラー 5 A
43 ヘッドライト・ビーム調整（キセノン）、ダイナミック・フロント・ライティング・コントロール・ユニット 5 A
44 シート・ベンチレーター 7.5 A
45 車両トラッキング・システム・コントロール・ユニット、BCM2、エンジン・コントロール・ユニット 5 A
46 レーン・チェンジ・アシスト（LCA） 5 A

＊ 日本仕様に設定はありません。

47 CANネットワーク・ゲートウェイ/故障診断ソケット、ガレージ・ドア・オープナー＊、パーキング・アシスタント 5 A

48 Cayenne、Cayenne S、Cayenne GTS、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S：スターター・リレー、冷媒圧力センサー 10 A

Cayenneディーゼル＊、Cayenne S ディーゼル＊：スターター・リレー、冷媒圧力センサー、マス・エアフロー・センサー 10 A

Cayenne S E-Hybrid：冷媒圧力センサー 10 A

49 アダプティブ・クルーズ・コントロール用レーダー・センサー (ACC)、アダプティブ・クルーズ・コントロール用スタビリゼーション・リレー (ACC) 7.5 A

50 フロント・カメラ・コントロール・ユニット 5 A

52 リヤ・ワイパー・モーター 15 A

53 ステアリング・コラム・スイッチ・モジュール 5 A

54 キセノン・ヘッドライト、左 25 A

56 レベリング・システム・コンプレッサー・リレー 40 A

57 エアコン（フロント）用ブロア・レギュレーター 40 A

助手席側のダッシュボードのヒューズ・ボックス・カバーを開く

図204: 助手席側ダッシュボードのヒューズ・ボックス

1. 適切な工具（例：スクリュードライバー）を使用して、プラスチック・カバーを慎重にこじって引き外してください。
2. プラスチック製のグリッパー **A** を使用してヒューズを慎重に取り外し、必要に応じて交換してください。

1 PDCCコントロール・ユニット 10 A

2 PASMコントロール・ユニット 15 A

3 リヤ・ディファレンシャル・ロック・コントロール・ユニット 10 A

4 リヤ・ディファレンシャル・ロック・コントロール・ユニット 30 A

5 トレーラー・ヒッチ・ピボット・モーター・コントロール・ユニット、ブレーキ・ブースター・プレパレーション、トレーラーヒッチ・プレパレーション、ウェストファリア・カップリング・ポイント 25 A

6 トレーラー・ヒッチ・コントロール・ユニット 15 A

7 トレーラー・ヒッチ・コントロール・ユニット 15 A

8 トレーラー・ヒッチ・コントロール・ユニット 15 A

9 セントラル・ロッキング・コントロール・ユニット、後席右パワー・ウィンドウ 30 A

10 ラゲッジ・コンパートメント・ライト 5 A

11 セントラル・ロッキング・コントロール・ユニット、助手席パワー・ウィンドウ 30 A

12 ハングオン・アクチュエーター 30 A

14 エアバッグ・コントロール・ユニット、シート・センサー 10 A

16 PSMコントロール・ユニット、エレクトリック・パーキング・ブレーキ、PDCC 5 A

17 キセノン・ヘッドライト、右 25 A

19 トランスミッション・コントロール・ユニット/トランスミッション予備配線 5 A

20 シート・メモリー・コントロール・ユニット、右：右側シートのシート調整スイッチ 25 A

21 シート・ヒーター、リヤ 25 A

22 シート・ヒーター、フロント 25 A

23 オートマチック・リヤ・リッド・コントロール・ユニット 25 A

24 TVチューナー＊ 5 A

25 リヤ・ブロア・レギュレーター 30 A

26 リヤ・ウィンドウ・ヒーター 30 A

27 補助ヒーター＊、ラジオ・レシーバー 5 A

29 PSMコントロール・ユニット、PSMバルブ 30 A

30 ハングオン・アクチュエーター 5 A

31 BCM2 20 A

32 Cayenne S E-Hybrid：NT 回路2/3 ウェイ・バルブ、フロント・エバポレーター・シャットオフ・バルブ、ウォーター・ポンプ・リレー 7.5 A

33 BCM2 15 A

＊ 日本仕様に設定はありません。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A–Z

34	BCM2	15 A
35	ビークル・トラッキング・システム・コントロール・ユニット	5 A
36	BCM2	20 A
37	トランスミッション・コントロール・ユニット、トランスミッションオイル・ポンプ	20 A
38	シガー・ライター、小物入れのソケット グローブ・ボックス下のソケット	15 A
39	リヤ・ソケット ラゲッジ・コンパートメント・ソケット	15 A
40	リヤ・シート・エンターテインメント	10 A
42	トレーラー・ヒッチ・コントロール・ユニット	5 A
43	リヤ・ディファレンシャル・ロック・コントロール・ユニット、ハングオン・アクチュエーター	10 A
44	エア・クオリティ・センサー	5 A
45	DC/DCコンバーター（スタート/ストップ）	30 A
46	DC/DCコンバーター（スタート/ストップ）	30 A
47	MIB中央コンピューター	20 A
50	フロント・エアコン、リヤ・エアコン・コントロール・パネル	10 A
51	コントロール・ユニット・ディスプレイ	5 A
	コントロール・ユニット・ディスプレイ（日本）、USBハブ（日本）、DRSCカード・リーダー（日本）	10 A
52	マルチファンクション・ディスプレイ	5 A
53	ステアリング・コラム・スイッチ・モジュール、ステアリング・ヒーター、リバース・カメラ・コントロール・ユニット、Boseアンプ（日本仕様）	10 A
54	オーバーヘッド・コンソール	7.5 A
55	アダプティブ・クルーズ・コントロール用スタビリゼーション・リレー（ACC）	7.5 A
56	PSMコントロール・ユニット/PSMポンプ	40 A
57	エレクトリック・パーキング・ブレーキ用コントロール・ユニット	40 A

エンジン室のヒューズとリレー・キャリアを開く

図205: エンジン室のヒューズ・ボックス

1. カバーを取り外してください。

図206: エンジン室のヒューズ・キャリア

2. 適切な工具（例：スクリュードライバー）を使用して、ヒューズ・ボックス・カバーのツイスト・ロックを反時計回りに90°回し、カバーを取り外してください。

1	Cayenneディーゼル＊、Cayenne S ディーゼル＊、Cayenne、Cayenne S、Cayenne GTS、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S：スターター・リレー	40 A
2	Cayenne Sディーゼル＊パワー・スイッチ	30 A
3	Cayenne S、Cayenne S E-Hybrid、Cayenne GTS、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S：セカンダリ・エア・ポンプ	40 A
4	Cayenne S E-Hybrid：バキューム・ポンプ・リレー	30 A
5	Cayenne Sディーゼル＊触媒コンバーター・ヒーター・コントロール・ユニット	50 A

＊ 日本仕様に設定はありません。

6 Cayenne Sディーゼル＊ 触媒コンバーター・ヒーター 50 A

7 Cayenne S、Cayenne GTS、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S：ロッド・イグニッション・コイル 15 A

Cayenneディーゼル＊、Cayenne Sディーゼル＊：高圧コントロール・バルブ、高圧ポンプ 15 A

Cayenne、Cayenne S E-Hybrid：ロッド・イグニッション・コイル 20 A

8 Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S：タンク・ベント・バルブ、ブースト・プレッシャー・バルブ、誘導バルブ、クランク・ケース・デアイサー 15 A

Cayenne Sディーゼル＊ウォーター・サーキュレーション・ポンプ 10 A

Cayenne、Cayenne S E-Hybrid：インター・クーラー・ウォーター・ポンプ 10 A

Cayenne S、Cayenne GTS：タンク・ベント・バルブ、エレクトロニックニューマチック・コンバーター、クランク・ケース・デアイサー、誘導バルブ、セカンダリ・エア・ポンプ・リレー、サウンド・シンポーザー 10 A

9 Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S：エンジン・コントロール・ユニット、フロー・コントロール・バルブ 20 A

Cayenneディーゼル＊、Cayenne、Cayenne S、Cayenne S E-Hybrid、Cayenne GTS：エンジン・コントロール・ユニット 30 A

Cayenne Sディーゼル＊ エンジン・コントロール・ユニット（マスター） 30 A

10 Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S：タンク漏れ自己診断、セカンダリ・エア・ポンプ・リレー、電子制御式エキゾースト・フラップ、ホール・センサー、オイル・レベル・センサー 10 A

Cayenne：タンク漏れ自己診断、マス・エアフロー・センサー 10 A

Cayenne S、Cayenne GTS：タンク漏れ自己診断、電子制御式エキゾースト・フラップ 10 A

Cayenne S E-Hybrid：バキューム・ポンプ、セカンダリ・エア・ポンプ、タンク漏れ自己診断 10 A

Cayenneディーゼル＊：グロー・プラグ・コントロール・ユニット、EGRクーラー切り替えバルブ、制御式オイル・ポンプ用コントロール・バルブ、マップ・サーモスタット、エンジン・マウント、プレッシャー・コンバーター 10 A

Cayenne Sディーゼル＊グロー・プラグ・コントロール・ユニット、制御式オイル・ポンプ用コントロール・バルブ、EGRクーラー切り替えバルブ、冷却水切り替えバルブ 10 A

すべてのエンジン：ラジエーター・ファン・コントロール・ユニット、ブレーキ・ペダル・センサー、ラジエーター・シャッター 10 A

11 Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S：バルブ・リフト・アジャスター、カムシャフト・コントローラー、マップ・サーモスタット 15 A

Cayenne：PCVヒーター、温度/オイル・レベル・センサー 10 A

Cayenne S、Cayenne GTS：マップ・サーモスタット、カムシャフト・コントローラー、バルブ・リフト・アジャスター 10 A

Cayenneディーゼル＊：オイル・レベル・センサー 5 A

Cayenne Sディーゼル＊オイル・レベル・センサー、クランクケース・デアイサー 15 A

Cayenne S E-Hybrid：温度/オイル・レベル・センサー 10 A

12 Cayenne：インテーク・パイプ切り替えバルブ、タンク・ベント・バルブ、ON/OFFコントロール付きウォーター・ポンプ用バルブ、冷却水切り替えバルブ 10 A

Cayenne S E-Hybrid：カムシャフト・コントロール、チャージ・モーション・フラップ 10 A

Cayenne Sディーゼル＊HREリレー 5 A

13 燃料ポンプ・システム・コントロール・ユニット 25 A

＊ 日本仕様に設定はありません。

14 Cayenne：カムシャフト・コントロール、フロー・コントロール・バルブ/高圧燃料ポンプ 10 A

Cayenne S E-Hybrid：制御式オイル・ポンプ・コントロール・バルブ、高圧ポンプ用フロー・コントロール・バルブ、タンク・ベント・バルブ、セカンダリ・エア・バルブ、メイン・ウォーター・ポンプ・バルブ、モーター・ジェネレーター・バイパス・バルブ 15 A

Cayenne S、Cayenne GTS：カムシャフト・センサー、オイル・レベル・センサー 7.5 A

Cayenneディーゼル＊：SCR供給モジュール、電子制御タンク 15 A

Cayenne Sディーゼル＊エンジン・コントロール・ユニット（スレーブ） 30 A

15 メイン・リレー 10 A
追加 Cayenne S E-Hybrid：エンジン・コントロール・ユニット

16 Cayenne S E-Hybrid：電気式ウォーター・ポンプ 10 A

Cayenneディーゼル＊：パワー・スイッチ 30 A

Cayenne Sディーゼル＊Nox センサー、パティキュレート・センサー、触媒コンバーター・ヒーターのコントロール・ユニット 15 A

17 Cayenne S ディーゼル、Cayenne Cayenne S E-Hybrid、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S：触媒コンバーター上流O2センサー 15 A

Cayenne S、Cayenne GTS：触媒コンバーター上流O2センサー 10 A

Cayenneディーゼル＊：O2センサー、触媒コンバーター上流Noxセンサー、触媒コンバーター下流Noxセンサー、パティキュレート・センサー 15 A

18 Cayenne、Cayenne S E-Hybrid、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S：触媒コンバーター下流O2センサー 10 A

Cayenne Sディーゼル＊SCR供給モジュール、電子制御タンク 15 A

＊ 日本仕様に設定はありません。

プラグ・ソケット

12Vプラグ・ソケットの使用

12Vプラグ・ソケットには、12V仕様の電装品（アクセサリー）を接続できます。

プラグ・ソケットは、車両の装備仕様により、次のいずれかの位置にソケットが取り付けられています：

- フロント・シート間センター・コンソールの小物入れ内の右側
- フロント・カップ・ホルダー内
- グローブ・ボックスの下側
- リア・センター・コンソール内
- ラゲッジ・コンパートメント内

充電アダプターの接続

インフォメーション

- 12Vプラグ・ソケットおよび接続している電装品（アクセサリー）は、イグニッションがOFFのときでも、キーを抜いた状態でも使用できます。
  エンジンを停止したままアクセサリーを使用すると、バッテリー上がりの原因になります。車両のバッテリーを保護するため、30分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションをONにしてください。
- 電装品が1つだけ作動している場合、12Vプラグ・ソケットまたはシガー・ライターの最大電流値は20Aです。複数の電装品を同時に使用する場合は、12Vプラグ・ソケットまたはシガー・ライター1つ当たりの電流値が10Aを超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、ラジオ、TVおよび車両電装品に対する電波干渉の原因となることがあります。

図207: 12Vプラグ・ソケットおよびシガー・ライター用の充電アダプター

A 使用可能な充電アダプター
B 使用できない充電アダプター

知識

電気系統を損傷する恐れがあります。

- 適切な充電アダプター（**A**）のみを使用してください：
  グラウンド端子部から充電アダプター上端までの**寸法 X** が**約16mm以下**である必要があります。
- グラウンド端子部から充電アダプター上端までの**寸法X**が16mm以上の不適切な充電アダプター（**B**）を使用すると、12Vプラグ・ソケットが損傷することがあります。

ブレーキ

エレクトリック・パーキング・ブレーキ

エレクトリック・パーキング・ブレーキは後輪に作用し、停車中に車両が動き出さないように固定します。

図208: エレクトリック・パーキング・ブレーキ・スイッチ

パーキング・ブレーキを作動させる

▸ スイッチ (P)を押してください。
(P) スイッチのインジケーター・ライトとブレーキ警告灯 (!) が点灯します。

警告灯およびインジケーター・ライトに関するインフォメーション：

▷ 「インストルメント・パネル」（47 ページ）を参照してください。

パーキング・ブレーキを手動で解除する

✓ イグニッションがONのとき

1. ブレーキ・ペダルを踏んでください。
2. スイッチ (P)を引いてください。
ブレーキ警告灯(!)が消灯します。

パーキング・ブレーキの自動解除

パーキング・ブレーキをかけたままでも通常のように発進することができます。

✓ エンジンが作動している
✓ 運転席ドアを閉じている
✓ 運転席シートベルトを着用している

エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。

これらの条件のいずれかが満たされていない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリック・パーキング・ブレーキが自動解除されません。

マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ブレーキ警告灯 (!) および (P) ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

緊急ブレーキ機能を作動させる

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

▸ スイッチ(P)を押し続けてください。
ブレーキ警告灯 (!) および (P) ボタンのインジケーター・ライトが点滅します。

緊急ブレーキ機能を解除するには：

▸ (P) スイッチを放してください。

⚠ 警告 急減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失う恐れがあります。

▸ 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用してください。
▸ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

警告シンボルへの対応

停車中にエレクトリック・パーキング・ブレーキを確実にかけることができない場合、(P) スイッチのインジケーター・ライトおよびブレーキ警告灯 (!) が点滅します。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

フット・ブレーキ

⚠ 警告 ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マット、正しく固定されていないフロア・マット、またはその他の障害物はペダルの可動域を制限したり、またはペダル操作の妨げになる可能性があります。

▸ フロア・マットなどでペダルの動きを妨げないようにしてください。

⚠ 警告 ブレーキ・ブースターの機能停止

ブレーキ・ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンOFF時やブレーキ・ブースターの負圧が低下している場合は、ブレーキ・ペダルを踏み込むときに強い力が必要になります。

- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▷ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」（128ページ）を参照してください。

⚠ 警告 ブレーキ・ディスクに付着した水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

⚠ 警告 制動力の低下

凍結防止剤（塩分）が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキ・ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

車両を長期に渡り駐車したまま放置した場合、ブレーキ・ディスクの腐食は避けられません。その結果、ブレーキは「引きずり」を発生します。

- ▶ ブレーキ・ディスクの腐食を避けるため、「ブレーキを乾燥させてから」駐車してください（ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ装備車を除く）。
- ▶ ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ポルシェ正規販売店でブレーキ・システムを点検してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ ブレーキの効きを持続するため、下り坂を走行するときは、タイミング良くギヤを落とし、エンジン・ブレーキを利用してください。
  急な下り坂でエンジン・ブレーキの効果のみでは不十分な場合、間隔をおいてブレーキ・ペダルを踏んでください。ブレーキ・ペダルを連続して踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなります。

ブレーキ液とブレーキ液レベルに関するインフォメーション：

- ▷ 「ブレーキ・フルード」（264ページ）を参照してください。

ブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスク

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクの摩耗は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

この車両の高性能ブレーキ・システムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境（気温、湿度等）によってブレーキから異音が発生することがあります。

警告シンボルへの対応

ブレーキ・パッドが摩耗限度に達すると、警告シンボル が表示されます。

- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。
- ▶ 直ちにポルシェ正規販売店でブレーキ・パッドを交換してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)

この車両の高性能ブレーキ・システムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

このため、特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境（気温、湿度等）によってブレーキから異音が発生する場合があります。

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクなどのブレーキ・システムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

ポルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ブレーキ・フルード

図209: ブレーキ液タンク

警告シンボルへの対応

ブレーキ液量が許容範囲を下回ると、インストルメント･パネルに (!) のシンボルが表示され、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ブレーキ・ペダルの踏み代が過大になる他、警告灯が点灯してブレーキ・システムの故障を示す場合もあります。

- 直ちに安全な場所に停車し、運転を続けないでください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

ブレーキ液量の点検

- ブレーキ液タンクのブレーキ液量を読み取ってください（図209）。液体レベルは、最小/最大マーキングの間になっている必要があります。
- ブレーキ液量が MIN マークより下にある場合は、ブレーキ液を補充してください：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキ・フルードの交換

ブレーキ･フルードを定期的に点検および交換することは、メンテナンスの一部です。

▷ 「サーキット走行の前に」（16ページ）を参照してください。

フロント・ワイパー

概要

この概要説明は「フロント・ワイパー」に代わるものではありません。
操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

図210: フロント・ワイパー操作レバー

図211: レイン・センサー /間欠的な操作感度の切り替え(**A**)およびリヤ・ワイパー (**B**)

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
フロント・ワイパー・オート作動 (レイン・センサー	操作レバーを**1**の位置にしてください。	267
レイン・センサー感度の設定	操作レバー右部のスイッチ**A**を上（作動回数が増える）または下（作動回数が減る）方向に押してください。	267
フロント・ワイパー作動	低速：操作レバーを**2**の位置にしてください。 高速：操作レバーを**3**の位置にしてください。 ワンタッチ：操作レバーを**4**の位置に押してください （**4**の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります）。	266
フロント・ワイパー &ウォッシャー作動	操作レバーをステアリング・ホイール方向**5**に引いて、保持してください。	266
リヤ・ワイパー（間欠作動）	操作レバーのスイッチ**B**を上方向**INT**位置まで押してください。	268
リヤ・ワイパー（ワンタッチ）	スイッチ**B**を上または下方向いっぱいに押してください。	268
フロント・ワイパーを立てる	イグニッションをOFFにして、ワイパー・レバーを1回下方向**4**に押してください。 フロント・ワイパーが上方に約45 °移動します。	266

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A–Z

⚠ 警告 ワイパーの不意の作動

レイン・センサー・モードでは、フロント・ウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイプ作動を行います。

- フロント・ウィンドウを清掃する前に、常にフロント・ウインドウ・ワイパーをOFFにしてください。

知識

ボンネット、フロント・ウィンドウ、およびワイパー・システムを損傷する恐れがあります。

- フロント・ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- 走行前に、フロント・ウインドウから凍り付いたワイパー・ブレードを慎重に取り外してください。
- 凍結時はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
- （レイン・センサー機能により）不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント・ワイパーをOFFにしてください。
- 洗車機での洗車中はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
- ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・アームをしっかりと保持してください。
- ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・ブレードの長さが異なるので注意してください。
- ボンネットを開く前に、必ずフロント・ワイパーをOFF（ワイパー・レバーを **0**の位置）にしてください。イグニッション・スイッチがOFFで、ワイパー・アームが停止位置にない場合、ボンネットを開くとワイパーアームが停止します。エンジン・コンパートメント・リッドを閉じ、ワイパーシステムをOFFにしてから再度ONにするまで、この位置が保持されます。

フロント・ワイパーの操作

図212: フロント・ワイパー操作レバー

0 フロント・ワイパー OFF
フロント・ワイパーまたはイグニッションをOFFにすると、ワイパー・アームが通常位置からわずかに上方に動きます。この動きにより、ワイパー・ブレードのウィンドウ接触面の向きを整えます。

1 レイン・センサー /間欠作動
フロント・ワイパー
ワイパー・レバーを1段目の位置まで上方向に押してください。

2 フロント・ワイパー低速
ワイパー・レバーを2段目の位置まで上方向に押してください。

3 フロント・ワイパー高速
ワイパー・レバーを3段目の位置まで上方向に押してください。

4 フロント・ワイパーのワンタッチ機能
ワイパー・レバーを下方向に押してください。
フロント・ワイパーが1回作動します。

5 ワイパー /ウォッシャー・システム
ワイパー・レバーをステアリング・ホイールの方向に引いてください。
レバーを手前に引いている間、ウォッシャー・システムとワイパーが作動します。レバーを放すとウォッシャー・システムが停止し、その後ワイパーが数回作動します。なお、フロント・ウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライト・ウォッシャー・システムが自動的に作動します。

i インフォメーション

- 汚れが激しい場合はウォッシャーを繰り返し作動させてください。
- 頑固な汚れ（昆虫の死骸など）は定期的に清掃してください。

車両のお手入れに関するインフォメーション：
▷ 「お手入れ」（79 ページ）を参照してください。

良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパー・ブレードが不可欠です。
▷ 「ワイパー・ブレード」（365 ページ）を参照してください。

アイス / サン・シールドの装着とワイパー・ブレードの交換

- イグニッションをOFFにして、ワイパー・レバーを1回下方**4**に押してください。
  フロント・ワイパーが上方に約45°移動します。

ワイパー作動間隔の調整

図213: レイン・センサー操作感度の切り替え

レイン・センサー作動の調節

レイン・センサーが作動すると、フロント・ウィンドウに付着する水滴の量を感知して、ワイパーの作動速度を自動調節します。ワイパーの作動間隔は、状況に応じて自動的に調節されます。

フロント・ワイパーをONにしているときに速度が約4km/h以下になると、レイン・センサーが自動的に作動します。

速度が約8km/hを超えると、ワイパーの動きがレバーで設定した速さに復帰します。

インフォメーション

- イグニッションをONにしたとき、ワイパー・レバーが既に**1**の位置にあった場合、速度が4km/hを超えるまでレイン・センサーは作動しません。
- イグニッションをONにしたときに、すでにワイパー・レバーが**2**または**3**の位置にある場合、フロント・ワイパーはワイパー・レバーを操作しなければ作動しません。

レイン・センサー感度の手動調節

ワイパー速度を手動で設定することができます：

高感度。

▸ スイッチ **A を上方に**押してください。
フロント・ワイパーが1回ワイプ作動を行い、感度が切り替わったことを知らせます。

低感度。

▸ スイッチ **A を下方**に押してください。

ヘッドライト・ウォッシャー・システムの操作

図214: ヘッドライト・ウォッシャー・システムのボタン

✓ ロー /ハイ・ビームが作動している
▸ ワイパー・レバーの下側のボタン**C**を押してください。

インフォメーション

なお、フロント・ウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライト・ウォッシャー・システムが自動的に作動します。
ロー・ビームを消灯すると、フロント・ウィンドウ・ウォッシャーの作動回数カウントがリセットされ、再度ゼロからカウントします。

リヤ・ワイパーの操作

図215: リヤ・ワイパーのスイッチ

リヤ・ワイパーの間欠作動をONにする

- スイッチを **B** 位置まで上方向に押してください **INT**。

リヤ・ワイパーの間欠作動をOFFにする

- スイッチを **B** 位置まで下方向に押してください **OFF**。

手動ワイパー /ウォッシャー

- スイッチ**B**を**OFF**位置から下方向に押すか、または**INT**位置から上方向に押してください。
  スイッチを押している間、ウォッシャー・システムとワイパーが作動します。
  スイッチを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。

リバース機能をONにする

雨天時やフロント・ワイパーを作動させているときにリバース（後退）ギヤを選択した場合に、リヤ・ワイパーが自動的に作動するかどうかをマルチファンクション・ディスプレイで切り替えることができます。

リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定に関するインフォメーション：

▷ 「リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定」（314ページ）を参照してください。

ヘッドライト

⚠ 警告 バイキセノン・ヘッドライトの構成部品による感電

ヘッドライトには高電圧が作用するため、感電する恐れがあります。

- ヘッドライト周辺の作業を行うときは、感電しないように十分注意してください。
- バルブ交換の前に、ライトをOFFにし、イグニッションをOFFにしてください。

知識

摩擦や過熱によりヘッドライトが損傷する恐れがあります。

- ヘッドライトにカバー（ストーン・ガードやフィルムなど）を装着しないでください。

i インフォメーション

気温と湿度により、ヘッドライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

- 通気を確保するため、ヘッドライトとボディの隙間にカバーをしないでください。

ヘッドライト調整

- ヘッドライトの調整は、専用の調整装置がある整備工場のみで実施してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヘッドライトの照射方向を右側/左側通行用に切り替える（ダイナミック・コーナリング・ライト装備車）

✓ ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS)またはポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス(PDLSプラス)装備車両

車両通行帯（右側通行または左側通行）が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトをマルチファンクション・ディスプレイで切り替える必要があります。これによりロー・ビームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。

▷ 「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」（313ページ）を参照してください。

i インフォメーション

変更後は、イグニッションをONにするたびにマルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

- 帰国した時は、ヘッドライトを元に戻すことを忘れないでください。

i インフォメーション

ダイナミック・コーナリング **ライト** (PDLS/PDLS Plus)非装備車のバイキセノン・ヘッドライトは左側または右側通行用に切り替えできません。このタイプのヘッドライトの配光は両方の通行帯に共通で、対向車の眩惑を防止します。

ヘッドライトの取り外し

図216: エンジン・コンパートメント・トリム・パネル・パーツ

1. イグニッションを OFF にしてキーを抜き取ってください。ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車はコントロール・ユニットを取り外してください。

▷ 「キー/コントロール・ユニットの緊急ロック解除」（95ページ）を参照してください。

2. ボンネットを開いてください。
3. 工具セットからソケット・レンチを取り出してください。

▷ 「工具セットの取り外し」（332ページ）を参照してください。

4. ソケット・レンチをヘッドライト・ヘッドライト・ロッキング機構にセットし、ヘッドライトが外れる音と感触があるまで、（車両の前進方向に対して）左側のヘッドライトは時計回りに/右側のヘッドライトは反時計回りに回してください。続けてヘッドライトがフェンダーから押し出されるまで回してください。

図217: ヘッドライトを引き抜く

5. ヘッドライトをフェンダーから約 10cm 前方に引き出してください。
6. コネクターのリリース・タブを押してコネクターを引き抜いてください。
7. ヘッドライトを完全に取り外してください。

ヘッドライトの取り付け

図218: ヘッドライトの挿入

インフォメーション

ヘッドライトを取り付ける場合、スプリング**B**が完全に押し下げられた状態で、ロッキング・ロッド**A**が保持されている必要があります。
プラスチック・スプリング **B** が完全に押し下げられておらず、ロッキング・ロッド **A**で保持されていない場合：

- 必要に応じてソケット・レンチを (車両の前進方向に対して) 左側のヘッドライトは時計回りに/右側のヘッドライトは反時計回りに回して、固定させてください。

図219: ヘッドライトの固定クリップを取り付ける

1. ヘッドライトをフェンダーに差し込み、コネクターを接続した後、フェンダー内に完全に押し込んでください。

図220: ヘッドライトのファスニング・スクリューを締め付ける

2. ヘッドライトを後方へ押しながら、ソケット・レンチを（車両の前進方向に対して）左側のヘッドライトでは反時計回りに/右側のヘッドライトでは時計回りに止まるまで回し、ヘッドライトをロックしてください。
3. ヘッドライトが確実に取り付けられていることを確認してください。
4. ソケット・レンチを取り外し、工具セットに収納してください。
5. ボンネットを閉じてください。

発光ダイオード(LED)とロングライフ・バルブの交換

方向指示灯、バイキセノン・ヘッドライトのガス・ディスチャージ・ヘッドライト、テール・ライト、ライセンス・ライト、およびインテリア・ライトなど、様々なライトに発光ダイオード(LED)とロングライフ・バルブが使用されています。

LEDは個別に交換できません。

ロングライフ・バルブの交換には専門知識が必要です。

- 発光ダイオード(LED)とロングライフ・バルブの交換はポルシェ正規販売店にお任せください。
  ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▷ 「スタティック・コーナリング・ライトのバルブ交換(H7)」（272ページ）を参照してください。
- ▷ 「補助ハイ・ビーム・ヘッドライトのバルブ交換 (H7)」(273ページ)を参照してください。

バルブの交換

知識

高出力（ハイ・ワット）バルブを使用すると、ライト・ハウジングが損傷する恐れがあります。

- 必ず取扱説明書に記載されているバルブを使用してください。

知識

ショートによる損傷の恐れがあります。

- バルブを交換するときは、必ず電装関係のスイッチをOFFにしてください。

インフォメーション

- バルブを素手で触れないでください。バルブ交換時は、汚れや油脂が付着しないよう、布かやわらかい紙でバルブを包んでください。
- 常にスペア・バルブを携行してください。国によってはスペア・バルブの携行が義務付けられています。

適用	形状	ワット数
スタティック・コーナリング・ライト (PDLS付きバイキセノン・ヘッドライト)	H7	55W
補助ハイ・ビーム (バイキセノン・ヘッドライト/PDLS 付きバイキセノン・ヘッドライト)	H7	55W

スタティック・コーナリング・ライトのバルブ交換(H7)

図221: カバーを開く

1. ヘッドライトを取り外してください。
   ▷ 「ヘッドライトの取り外し」(269ページ)を参照してください。
2. リリース・タブを押して、カバーを開いてください。

図222: 不具合のあるバルブを取り外す

3. バルブ・ソケットを反時計方向に回して取り外してください。

図223: バルブの交換

4. 不具合のあるバルブを交換してください。
5. バルブ・ソケットを差し込み、時計方向に回してください。
   バルブが正しい位置にセットされたことを確認してください。
6. ヘッドライトのカバーを閉じてください。
   カバーのリリース・タブを確実にかみ合わせてください。
7. ヘッドライトを取り付けてください。
   ▷ 「ヘッドライトの取り付け」(270ページ)を参照してください。
8. ライトの作動を確認してください。

補助ハイ・ビーム・ヘッドライトのバルブ交換 (H7)

図224: カバーを開く

1. ヘッドライトを取り外してください。
   ▷ 「ヘッドライトの取り外し」(269ページ) を参照してください。
2. リリース・タブを押して、カバーを開いてください。

図225: 不具合のあるバルブを取り外す

3. バルブ・ソケットを反時計方向に回して取り外してください。

図226: バルブの交換

4. 不具合のあるバルブを交換してください。
5. バルブ・ソケットを差し込み、時計方向に回してください。
   バルブが正しい位置にセットされたことを確認してください。
6. ヘッドライトのカバーを閉じてください。
   カバーのリリース・タブを確実にかみ合わせてください。
7. ヘッドライトを取り付けてください。
   ▷ 「ヘッドライトの取り付け」(270ページ) を参照してください。
8. ライトの作動を確認してください。

ボイス・コントロール

⚠ 警告 事故を起こす恐れがあります

緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス・コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。これにより電話接続の要求が認識できずに失敗したり、接続に時間を要してしまう恐れがあります。

▸ PCM経由で緊急電話にダイヤルしてください。

PHONE、TUNER、NAV、MEDIA メイン・メニューの各種機能はボイス・コマンドで呼び出すことができます。ボイス・コントロールはスピーカーに適応し、最初の会話から登録を開始します。

▷ ボイス・コマンドの例は（277ページ）を参照してください。

i インフォメーション

– **サウンド**および**車**のメイン・メニューはボイスコントロールでは操作できません。
– ボイス・コントロールはすべてのシステム言語に対応しているわけではありません。

i インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション管理(PCM)の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作」（284ページ）を参照してください。

ボイス・コントロールの呼び出し

図227: コントロール・レバーのボイス・コントロール・ボタン

ボイス・コントロールの作動

✓ イグニッションがONのとき
✓ 通話中でない
✓ パーキング・アシストを使用していない

1. 操作レバーの を押してください (図227)。起動音が鳴り、ボイス・コントロールのアイコン がPCMに表示されます。
2. 音声コマンドを発話してください。

ボイス・コントロールを無効にする

✓ ボイス・コントロールが作動している

▸ 操作レバーの を押してください (図227)。
または
ボイス・コマンドとして、**キャンセル**または**終了**と言ってください。
または
PCMの任意のボタンを押してください。

終了音が鳴ります。

ボイス・コマンド・ボタンのその他の機能

操作レバーの ボタン (図227) は、アプリケーションに応じて様々な機能を開始させます。

– 短く押すと、PCMのボイス・コントロールが有効になります。
– 長押しすると、Siri®ボイス・コントロール・システムが起動します。

▷ 「Siri の音声認識機能を使用して.® CarPlay Apple® を操作する」（367ページ）を参照してください。

– ボイス・コントロールの現在のアナウンスを終了します。
– アナウンスを次のパートにスキップします。
– 現在の会話を中止します。

i インフォメーション

– 会話中は、ナビゲーション案内および交通情報が中断されます。
– ボイス・コントロールが有効のとき、リスト項目をボイス・コントロール、ロータリー・プッシュ・ボタン、またはタッチスクリーンによって選択することができます。
– 発話されたボイス・コマンドが理解できない場合、または意味が解釈できなかった場合、ボイス・コントロールは**もう一度お願いします**と応答するので、再度ボイス・コマンドを繰り返してください。2回目以降はPCMが操作を支援します。
– 選択したメニュー言語によっては（NAV ボタン▸ **目的地入力**メニューで）、必要に応じて目的地入力時に目的地の綴りを発声する必要があります。

ボイス・コントロールによる対話を円滑に行うために、以下の点に注意してください。
- 通常通りの声量で、はっきりと分かりやすく発話してください。高速走行時は少し大きな声で発話してください。
- 長い間をおかずにむらなくボイス・コマンドを強調してください。
- ボイス・コントロールがアナウンスをしているときは発話しないでください。
- ドア、ウインドウ、スライディング・ルーフを閉じ、混乱の原因となる雑音を低減してください。
- ハンズフリー・マイクはドライバー側に向いているため、ドライバーのみがボイス・コントロールを操作してください。

ボイス・コントロールの調節

1. CAR ボタン▸ **Set (設定)** ▸ **システム▸ ボイスコントロール**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **ショートダイアログ**：この機能が有効のときは、音声応答に短いアナウンスが含まれます。
- **ヘルプテキスト**：この機能が有効のとき、発話可能なコマンドが表示されます。

ヘルプの呼び出し

文字による入力支援の呼び出し

1. 操作レバーの を押してください (図227ページ274)。
   コマンド例のリストがPCMに表示されます。
2. PCMのフッターの アイコンを選択してください。
3. 各メイン・メニューでコマンド例を表示させるには、PCMの該当するメイン・メニューのアイコンまたはコマンド例を選択してください。

インフォメーション

ヘルプテキスト機能が無効になっている場合は、ヘッドラインのアイコンで視覚的な入力支援を表示することができます。

▷ 「ボイス・コントロール」(274ページ) を参照してください。

Calling up acoustic input assistance (音声による入力支援) の呼び出し

✓ ボイス・コントロールが作動している

▸ **ヘルプ**と発話してください。
または
ヘルプボイスコマンドと発話してください。
または
例えば：**ラジオのヘルプ、ヘルプ メディア**

各メイン・メニューで入力支援が得られます。

ボイス・コマンドの発話

基本的に、使用可能なボイス・コマンドは3種類あります。
- グローバル・ボイス・コマンド
- 一般ボイス・コマンド
- ダイアログ関連ボイス・コマンド

表示されるボイス・コマンドは使用可能なすべてのコマンド集です。システムは同義語でも認識します。例えば、**山田太郎に電話する**と言う代わりに、**電話する山田**または**ダイヤル山田**と発声することもできます。

▷ ボイス・コマンドの例は (277ページ) を参照してください。

グローバル・ボイス・コマンドの発話

特定の機能を呼び出すために使用可能なすべてのボイス・コマンドは、グローバル・ボイス・コマンドです。グローバル・ボイス・コマンドは、選択したメイン・メニューに関係なく、いつでも使用することができます。これによって、対応するメイン・メニューに事前に切り替える必要なく、任意の機能を直接呼び出すことができます。例えば、**ナビ**メイン・メニューが表示されているときに、ボイス・コマンド**放送局**、**Radio station XY (ラジオ放送局XY)** と発声しても放送局が呼び出されます。
以下はグローバル・ボイス・コマンドの例です。
- **電話する** (例) **山田**

一般ボイス・コマンドの発話

一般ボイス・コマンドは会話中にいつでも発話することが可能です。

以下は一般ボイス・コマンドの例です。

- **新規項目**：ボイス・コントロールを再開します。
- **修正**:例えば、電話番号をいくつかのブロックに分けて発話した場合（0711 911など）、ボイス・コマンドは最後に発話したブロックを取り消します。
- **ヘルプ**：可能なボイス・コマンドを示す入力支援が表示されます。
- **キャンセル**：会話を中断します。

ダイアログ関連ボイス・コマンドの発話

ダイアログ関連ボイス・コマンドは、PCMとの会話が開始されるとすぐに必要になります。例えば、これには以下のボイス・コマンドが含まれています。

- **行1**
- **次のページ / 前のページ**
- **はい / いいえ**

音声でリストを使用する

リストをブラウズする

▸ リストを前 / 後にブラウズするには、**次のページ / 前のページ**と発話してください。
または
タッチスクリーンまたはロータリー・プッシュ・ボタンでリストを使用します。

リスト項目の発話

青いリスト項目を発話することができます。別の方法として、リスト項目を青い行番号で呼び出すこともできます。

▸ ボイス・コマンド**行1**と発声してください。

ラジオのボイス・コマンド

運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
受信範囲を切り替える	(設定/ONにする)**チューナー** (例) **FM/AM/TV**	
放送局を選択する	**放送局を選択する**	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
現在受信が可能な放送局を選局する	**放送局** (例) 放送局 XY **(選局)**	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
周波数の入力	**周波数**例えば、91.1 **(選択)**	必要な場合は、周波数の直接選択により、受信範囲が変更されます。
ヘルプの呼び出し	**ラジオのヘルプ**	チューナー機能で役に立つ音声ヘルプです。

メディアのボイス・コマンド

運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
メディア・ソースを変更	**選択** (例) **ディスク/SDカード/USB/AUX/Jukebox/Bluetooth**	
アーティストの直接選択	**再生 アーティスト** (例) **アラン・テーラー**	有効なメディア・ソース内にあるアーティスト/アルバム/トラック/ジャンルのみを発話することができます。
アルバムの直接選択	**再生するアルバム**例えば**Songs for the Road**	
トラックの直接選択	**再生するトラック**例えば **Let the Music Flow**	
ジャンルを直接選択する	**再生するジャンル**例えば**ロック**	
現在再生している曲と類似の音楽を選択する	**これと似たもの|(さらに((これ|同じもの)から[選択|再生])|同じようなもの|同じような音楽)**	
ヘルプの呼び出し	**ヘルプメディア**	メディア機能で役に立つ音声ヘルプです。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A–Z

電話のボイス・コマンド

✓ 電話がPCMに接続されている

▷ 「電話」（197ページ）を参照してください。

運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
リダイヤル機能を開く	**リダイヤル**	
電話番号を入力する	**番号をダイヤル**	次のステップで、システムが電話番号を尋ねます。
ボイスメールに電話する	**ボイスメールに電話する**	
連絡先に発信する	**Call contact (連絡先に発信) / display phonebook (電話帳を表示)**	次のステップで、システムが連絡先の名前を尋ねます。
通話履歴の呼び出し	**通話履歴 / 不在着信 / 着信 / dialled numbers (発信)**	ボイス・コマンドは、選択または通話が可能な項目から通話履歴全般を表示します。
保存されている連絡先に発信する	**電話**例えば**Smith (携帯 / プライベート / 仕事 / 一般)**	連絡先が1つ以上の場合、このコマンドにより会話が開始します。名、姓、またはその両方を発話することができます。連絡先の特定の電話番号を選択することも可能です。
Eメール/テキスト・メッセージを読み上げる	**読む（新しい）SMS** **読む（新しい）Eメール**	✓ 接続された携帯電話がBluetooth® メッセージ・アクセス・プロファイルに対応している ✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと ▷ 「データ接続を確立する（接続）」（163ページ）を参照してください。 言語および市場によっては、これらのサービスを利用できないものもあります。
ヘルプの呼び出し	**ヘルプ (電話) | (電話) ヘルプ**	電話機能で役に立つ音声ヘルプです。

ナビゲーションのボイス・コマンド

運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
新しい目的地を入力する	**目的地を入力**	「**ルート案内**」と一度に言うか順番に言うことで、ナビゲーションを使用することができます。
ポルシェ・コンシェルジュを呼び出す	**コンシェルジュ・コール**	
目的地履歴を選択してください。	**前回の目的地 / 保存した目的地**	
目的地として自宅/職場を選択する	**自宅へ帰る / 会社へ行く**	保存されている住所へのナビゲーションが開始されます。住所の保存方法に関するインフォメーション： ▷ 「目的地の保存（お気に入り）」（227ページ）を参照してください。
目的地または施設情報を検索する	**検索 (施設情報)** (例) **ポルシェ・サービス**	ブランド名や施設情報のカテゴリーを発話することができます（例えば、検索 施設情報 空港）。
目的地をオンライン検索する	**オンライン検索 / Internet search (インターネット検索)**	✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと ▷ 「データ接続を確立する（接続）」（163ページ）を参照してください。 これらのサービスは、一部の言語と市場ではご利用になれないことがございます。
都道府県を選択する 市町村を選択する	**都道府県を入力** **入力市**	
レストラン/休憩所/トイレ/ガソリンスタンドを検索する	**次のレストラン / 休憩所 / トイレ / ガソリンスタンド**	近隣のそれぞれの検索基準を表示します。
ルート案内を開始/終了する	**ルート案内を開始/終了する**	
残りの燃料を計算する	**走行可能距離 / 残可走距離 / タンク情報**	
到着時間を要求する	**[予想|概算] (到着時間) | (到着までの残り時間) | (いつ到着しますか)**	✓ ルート案内を開始している
ヘルプの呼び出し	**ヘルプ (ナビゲーション | ナビ) | (ナビゲーション | ナビ) ヘルプ**	最も重要なナビゲーション機能の音声ヘルプを呼び出します。

保管

荷物の収納

⚠ 警告 固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

荷物を固定しなかったり不適切な位置に積載すると、ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ 乗員スペースに荷物や固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 重量物を開いた小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

知識

重く大きな荷物は収納ネットを損傷する恐れがあります。

- ▶ 重く大きな荷物を収納ネット内に置かないでください。

車両の装備仕様により、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- – ペン・ホルダー付きグローブ・ボックス
- – フロントおよびリヤ・アームレスト内
- – フロントおよびリヤ・ドア・パネルの小物入れおよびボトル・ホルダー
- – フロントおよびリア中央コンソールの小物入れ
- – フロント・シート下の小物入れ
- – フロントおよびリア・カップホルダー
- – フロント・シートのバックレスト背面のマップ・ポケット
- – リヤ・グローブ・ハンドルの衣類用フック
- – ラゲッジ・コンパートメントの進行方向右側にある収納ネット

グローブ・ボックスの開閉

図228: グローブ・ボックスを開く

グローブ・ボックスを開く

- ▶ ハンドル（図228）を引いて、リッドを開いてください。

インフォメーション

グローブ・ボックス・リッドの内側にはペン・ホルダーがあります。

グローブ・ボックスを閉じる

- ▶ 不正アクセスからコンテンツを保護するには、エマージェンシー・キーでハンドルをロックします。
  - ▷ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」（94ページ）を参照してください。

グローブ・ボックスのクーラー機能に関するインフォメーション：

- ▷ 「グローブ・ボックスの冷却」（64ページ）を参照してください。

ETC受信機

ETC本体、およびETC受信機は日本仕様では標準で装備されております。

ETC本体はグローブ・ボックス内に取り付けられています。ご利用前にETC専用カードの利用期限を確認し、カードがスロットに確実に挿入されているか確認してください。

センター・コンソール・アームレストの収納ボックスを開く

図229: センター・コンソール・アームレストの収納ボックス

ハンドル**A**には2段階の作動位置があります。この2段階の作動位置は、ハンドルを操作する際にはっきりと感じ取れます。

アームレストを動かす – 1段目の位置

アームレストは前後に動かすことができます。

- ハンドル **A** を最初の圧感ポイントまで上方に引っ張り、アームレストを前方または後方動かして最終位置に入れてください。

収納ボックスを開く – 2 段目の位置

1. ハンドル **A** を2番目の圧感ポイントまで上方に引っ張ります。
2. 収納ボックスを開きます。

フロント・シート下の小物入れの開閉

図230: フロント・シート下の小物入れ

小物入れを開く

- ハンドル(矢印)を引いて、小物入れを開いてください。

小物入れを閉じる

- 小物入れを持ち上げてカチッと音がするまで押し込んでください。

ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)

PASMはショック・アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブル・ダンパー・システムは、走行状態や条件に応じて適切なダンパー・レベルを選択します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で、3種類のシャーシ設定を選択できます：

– コンフォート
– スポーツ
– スポーツ・プラス

コンフォート・モードでは快適な乗り心地のシャーシ設定になります。

「**スポーツ**」シャーシ設定ではスポーティーなショック・アブソーバー設定になります。

「**スポーツ・プラス**」モードではよりスポーティなショック・アブソーバー設定になります（サーキット走行時など）。走行状況に合わせて、マニュアル・モードに加えて、PASM もショック・アブソーバーを調整し、スポーティーまたは快適な走行を可能にします。

PASMモードの選択

図231: センター・コンソールのPASMボタン

1. イグニッションをONにしてください。
2. 適切なボタンを押してください。

更に、選択したシャシー設定はマルチファンクション・ディスプレイに約5秒間表示されます。

i インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、そのとき選択しているシャーシ設定がメモリーに保存されます。

警告シンボルへの対応

PASMの故障がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告シンボルに関するインフォメーション：

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

ポルシェ・ダイナミック・シャーシ・コントロール(PDCC)

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

PDCCを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PDCCが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

PDCCは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

▶ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。

ポルシェ・ダイナミック・シャーシ・コントロール(PDCC)は、走行中の車両の傾き（ロール）を抑制するシステムです。

フロントおよびリヤ・アクスルのアンチロール・バーをアクティブに制御して、快適性と走行安全性を高めます。車両バランスと俊敏性が最適化されます。

PDCCシステムを個別にコントロールすることはできません。

次のシャーシ・セットアップの1つが選択されると直ちに、PDCCシステムは対応するオンロード走行プログラムを自動的に作動させます:

– コンフォート
– スポーツ
– スポーツ・プラス

▷ 「ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)」（282ページ）を参照してください。

オフロード走行プログラムをONにした場合、PDCCがオフロード機能を自動的に作動させます。

▷ 「オフロード・モード」(88ページ)を参照してください。

警告シンボルへの対応

システムに故障がある場合、インストルメント・パネルに警告メッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(104ページ)を参照してください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作

概要

この概要は「ポルシェ・コミュニケーション管理(PCM)を操作する」で提供された完全な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

図232: PCM

図233: タッチスクリーン、ホーム・メニュー

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
PCMをONにする	▸ イグニッションをONにするか、ボリューム・スイッチ**A**を押してください。	
PCMをOFFにする	▸ イグニッションをOFFにするか、ボリューム・スイッチ**A**を押し続けてください。	
音量を調節する	▸ ボリューム・スイッチ**A**を回してください。	
オーディオ・ソースのミュート	▸ ボリューム・スイッチ**A**を短く押してください。	
メイン・メニュー（ラジオなど）を開く	▸ ボタンを押してください（例えば TUNER）。	
音質設定を表示する	▸ HOME ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **SET SOUND** ▸ **音量** または**サウンド**	291
デバイス・マネージャーを開く/接続の確立	▸ フッターの または を選択してください（**B**を参照）。	193/ 163
日付と時刻を変更する	▸ フッターの時刻を設定してください 9:34（**C**を参照）。	285
MyScreenを開いて設定する	▸ HOME ボタン ▸ **MyScreen**	288
システム設定を変更する	▸ HOME ボタン ▸ **設定**	291
CD/DVDまたはSDカードから音楽を再生する	▸ CD/DVD または SD カードを挿入 ▸ SOURCE ボタン ▸ 希望のメディア・ソースを選択してください。	289
外部機器から音楽を再生する	▸ 外部機器を USB、AUX または Bluetooth® を介して接続 ▸ SOURCE **ボタン** ▸ 希望のメディア・ソースを選択してください。	290

操作に関する重要なインフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)は、ラジオ、TVチューナー、サウンド設定、ナビゲーション・システム、様々なメディアや電話を操作するためのセンター・コントロール・ユニットです。

安全の理由で、車両が固定されているときしか使用できない機能も一部あります。

PCMの使用で他者を危険にさらしたり負傷させたりしないように、常に次の安全の手引きを守ってください:

⚠ 警告 事故を起こす恐れがあります

PCMを操作すると、道路状況から注意が逸らされる恐れがあります。

- 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限ってPCMの操作を行ってください。安全を確保できない場合は、車両を適切な場所に停車してからPCMの操作を行ってください。
- 緊急車両（パトカー、救急車など）のサイレンなど、常に車外の音が聞こえる程度の音量に設定してください。

⚠ 警告 事故を起こす恐れがあります

機器を固定しなかったり不適切な位置に載せると、ブレーキやステアリングを操作したとき、急加速時または事故の際に、飛び出して乗員がケガをする恐れがあります。

- 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。
- 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

⚠ 注意 負傷する恐れがあります

ハウジングが開いている場合や損傷した場合は、目に見えないレーザーが照射される危険があります。

- PCMはクラス1レーザー製品です。ハウジングを分解しないでください。メンテナンス作業が必要になった場合は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。

インフォメーション

バッテリーを保護するため、PCMはイグニッションをOFFにしてから数分経過すると自動的にOFFになります。

PCMのON/OFF

図234: PCMのON/OFF

- PCMはイグニッションをONにすると作動します。
- イグニッションの位置に関係なく、ボリューム・スイッチ**A**を長押しするとPCMのON/OFFを切り替えることができます。

日付と時刻の設定

時刻表示から、日付と時刻の設定に素早くアクセスできます。

- 時刻 9:34 を選択してください。

▷ 「全般的なシステム設定を変更する」（291ページ）を参照してください。

タッチスクリーンの操作ボタン

図235: タッチスクリーン・コントロール　A–D

A　ホーム画面
HOME ボタン を押すと、使用可能な機能が表示されます。

B　有効なメイン・メニューの機能
どのメイン・メニューが有効になっているかに応じて、ツールバーには異なるメニューが表示されます。

C　フッター
有効なメイン・メニューの機能、接続シンボルおよび設定可能な温度または時刻を表示します。

D　時刻または外気温ディスプレイ
▷ 「日付と時刻の設定」（285ページ）を参照してください。

図236: タッチスクリーン・コントロール E–H

E ヘッドライン
例えば、選択されたラジオまたはメディア・ソースが表示されます。

F デバイス・マネージャーを開く
(電話を接続する、ワイヤレス・インターネット・アクセスを設定する、Bluetooth® 機器を接続する、Apple® CarPlay および Porsche Connect App の接続状態を表示する)
▷ 「デバイス・マネージャー」(193ページ)を参照してください。

G コントローラー
タッチスクリーンに接近すると追加機能を表示します。

H 他のページを表示
スクロール（スワイプ）すると、他のページが開きます。

タッチスクリーンでPCMを操作する

図237: タッチスクリーンでPCMを操作する

A タッチ（選択）
タッチスクリーンを指で素早くタッチしてください。例：機能を選択する、またはボックスをチェックする/チェックを外す。

B 長押し
タッチスクリーンを長くタッチしてください。例：メイン・メニューに放送局を保存してください TUNER 。

C スワイプ
タッチスクリーンを指で左右にスワイプしてください。例：ラジオ放送局を含む他のページを表示する。

D スクロール
タッチスクリーンを指で上下にスワイプしてください。例：リストを手動でスクロールする。

E ズーム
2本の指をディスプレイに触れたまま指を広げる、または指を狭めてください。タッチスクリーンを2回タップすると、そのセクションが拡大表示されます。例：地図を拡大表示する。

ロータリー・プッシュ・ボタンでPCMを操作する

図238: ロータリー・プッシュ・ボタン

1. 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリー・プッシュ・ボタンを回してください。
2. ハイライトされた機能を有効にするには、ロータリー・プッシュ・ボタンを押してください。

メニューを開く

直接メイン・メニューを開く

▸ PCMのボタンを押してください（例えば、TUNER ）。

インフォメーション
いずれかのメイン・メニューから別のメニューにいつでも切り替えることができます。メイン・メニューに戻ると、前に開いていた内容が再び表示されます。

ホーム・メニューからメイン・メニューを開く

1. HOME ボタン ▸ メニュー
2. メイン・メニュー (例：**チューナー**) を選択してください。

有効な機能の設定を開く

✓ 希望のメイン・メニューが選択されました (例えば、TUNER)。

▸ ボタン OPT を押してください。
設定および関連する他の機能が表示されます。

テキストおよび文字を入力する

ナビゲーション目的地や検索語句の入力など、テキストや文字を入力する必要があるときは、入力フィールドが表示されます。

図239: タッチスクリーン・キーボード

A 現在のカーソル位置
B キーボードを表示する/隠す
C 手書き文字認識機能（タッチスクリーンを使用してアルファベットや文字を入力する）
D キーボードの調整
E スペースを挿入する
F 入力を決定する
G 文字、数字および特殊文字の入力を切り替える
H 入力データを削除する
I キャプス・ロックON/OFFの切り替え（大文字と小文字を切り替えます
J 候補のリスト

テキストおよび文字を入力するには、3種類の方法があります。

キーボードによる入力

1. 入力フィールドを選択してタッチスクリーン・キーボードを開きます。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。

▸ アクセントやウムラウトを入力するには、任意の文字を長押ししてください。
その後アクセントやウムラウトが表示されたウィンドウが開きます。

ロータリー・プッシュ・ボタンによる入力

1. 希望のアルファベットや文字がハイライトされるまで、ロータリー・プッシュ・ボタン（図 238を参照）を回してください。
2. ロータリー・プッシュ・ボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。

手書き入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。

図240: 手書き入力

1. を選択して入力フィールドを開きます。
2. 指で希望のテキストや文字を書いてください。

▸ スペースを入れるには、左から右に指でスワイプしてください。

▸ 入力データを削除するには、右から左に指でスワイプしてください。

インフォメーション

ボイス・コントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です（例：電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど）。

▷ 「ボイス・コントロール」(274ページ) を参照してください。

デバイス・マネージャーを開く

▷ 「デバイス・マネージャー」(193ページ) を参照してください。

アプリを開く

アプリ メニューから Porsche Connect サービスおよび Porsche Connect App 機能にアクセスすることができます。

▸ HOME ボタン ▸ **アプリ**

▷ 「接続」(163ページ) を参照してください。

バックグラウンド・イメージを表示する

HOME メニューのバックグラウンド・イメージは、表示したり非表示にしたりできます。

▸ HOME ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **バックグラウンド・イメージを表示**

MyScreenの設定

MyScreen メニューでは、様々なカテゴリー(例：**ナビ**や **電話**) のタッチスクリーンのコンテンツを希望により個別にグループ分けすることができます。
合計3種類のMyScreenを設定できます。

MyScreenを作成する

1. HOME ボタン ▸ **MyScreen** ▸ OPT ボタン ▸ **SET MyScreen**
2. **MyScreen 1**、**MyScreen 2**、または **MyScreen 3** を選択してください。
3. カテゴリー (例：**SOURCE**) を選択して、選択可能なタイルのリストを開いてください。

図241: MyScreenの設定

4. 必要なタイルをクリックし、押し続けたまま左側のプレビュー側の任意のコンテナにドラッグしてください (ドラッグ・アンド・ドロップ)。タイルは、緑色のエッジが見えるとすぐにコンテナーに挿入することができます。
5. ✕または ＜ を選択し、**MyScreenを設定** メニューを終了してください。

▸ 左側のプレビュー側からタイルを削除するには、ドラッグ・アンド・ドロップを使用してコンテナから関連するタイルをドラッグするか、別のタイルと置き換えます。

電話のお気に入りの追加に関するインフォメーション：

▷ 「MyScreen にお気に入りを追加」(202 ページ) を参照してください。

MyScreenを開く

1. ボタン HOME を押してください。
2. **MyScreen** を選択してください。
直前に有効にした **MyScreen** が表示されます。

MyScreenをリセットする

1. HOME ボタン ▸ **MyScreen** ▸ OPT ボタン ▸ **SET MyScreen**
2. **MyScreen をリセット**を選択してください。
MyScreenの2ページおよび3ページのコンテンツが削除されます。MyScreenの1ページのコンテンツが初期設定にリセットされます。

各種ドライブおよび外部接続機器に関する諸注意

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション：

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)」（389ページ）を参照してください。

– 記憶媒体に多くのファイル、フォルダーまたはプレイリストが含まれている場合、最初にトラックを読み込むのに時間がかかる場合があります。
– オーディオ・ファイルは再生時に保存された追加インフォメーション（例えば、アーティスト、タイトル、アルバム・カバー）と共に自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、Gracenote®[2] データベースが利用されます。それでも個々の追加情報が表示されない場合があります。
– USB 延長ケーブルまたはアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。
– USBハブには対応していません。
– ポルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。大切なデータは、SDカード、ジュークボックス、CD/DVDまたはポータブル・プレーヤーに決して保存しないでください。
– 外気温が異常に高いまたは低いときは、一時的にCD/DVDが再生できなくなる場合があります。CD/DVDおよび走査レーザーを保護するために、熱保護回路が搭載されています。
– PCMは、コピー・プロテクト機能付きのCD/DVDまたは規格に準拠していないCD/DVDを再生できない場合があります。
– 原則として私的使用を目的とする場合にのみ、CD/DVDのコピーを作成することが認められています。コピーされたCD/DVDを第三者に譲渡した場合は、著作権法に定められた例外の対象になりません。MP3で再生するために作成された音楽トラック、およびMP3にコピー可能な音楽トラックは、一般的に該当する国際的および国内の規制に従って著作権保護の対象となります。多くの国では、私的使用が目的であっても著作権保有者に事前の承諾なくしてコピーすることはできません。該当する著作権法を遵守してください。お客様自身が作曲およびレコーディングの著作権保有者である場合、あるいは著作権保有者によって権利を付与された場合は、これらの制約は適用されません。如何なる場合においても、現行の法的な見解が適用されます。

2) グレースノートは米国およびその他の国における Gracenote,In.の商標または登録商標です。

CD/DVDドライブにロードする

知識

CD/DVDを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

▸ 直径12cmの丸型、標準タイプのCD/DVDのみを使用してください。
▸ CD/DVD は、端にのみ触れてください。書き込みがされていない面には触れないでください。
▸ CD/DVD は清潔に保ち、必要に応じて拭いてください。
▸ CD/DVDには何も貼り付けないでください。
▸ CD/DVDを変形させないでください。
▸ CD/DVD をドライブに無理に押し込んだり、取り出したりしないでください。

CD/DVDを挿入する

図242: CD/DVDまたはSDカードのロード

1. CD/DVDのラベル面を上にして、自動的に引き込まれるまでスロット **B** に挿入してください。
2. SOURCE ボタンを押し、希望のメディア・ソースを選択してください。

CD/DVDを取り出す

▸ ⏏ ボタンを押してCD/DVDを取り出してください。

SDカードを挿入する

知識

SDカードを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

もし複数の部品からなるSDカードを使用する場合、振られたときにSDカードがアダプタから落ちる危険性があるため、それぞれのカードをSDカード・リーダーにしっかり差し込んでください。

▸ SD カード・アダプターは使用しないでください。

SDカードを挿入する

1. 指の爪でスロットCのカバーを上方に開いてください。
2. SDカード A をラベル面を上にして、SDカード・リーダー 1 (Dを参照)または2 (Eを参照)または2に、ぴったりと収まるまで押し込みます。

SDカードの取り出し

✓ SDおよびSIMカード・リーダー・カバーが開いている

1. 挿入されたカードを押して、取り出してください。
1. SDおよびSIMカード・リーダー・カバーを閉じてください。

SIMカードの挿入および取り出し

▷ 「ポルシェ専用SIMカードを使用してデータ接続を確立する」(163ページ) を参照してください。

外部機器の接続

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション：

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)」(389ページ) を参照してください。

インフォメーション

一部の外部機器では、音量の個別調節が必要になる場合があります。

1. 外部機器の音量を調節してください。
2. PCMで希望の音量に設定してください。

USBまたはAUXを介して外部機器を接続する

図243: センター・コンソールのUSBおよびユニバーサル・オーディオ(AUX)ポート

1. センター・アームレストを開いてください。
2. 外部デバイス (例えば、iPod®、USBフラッシュ・ドライブ) をUSBまたはオーディオ(AUX)ポートに接続します。
3. SOURCE ボタンを押し、希望のメディア・ソースを選択してください。

インフォメーション

USB充電ポートは、リア・センター・コンソールに配置されています。このポートは充電にのみ使用できます。メディア再生には使用できません。

外部機器をBluetooth®経由で接続する

1. フッターの ▂▃▅ または ⊘ を選択してください (接続状態によって異なる)。
   または
   PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **デバイスマネージャー**
2. **Bluetooth オーディオ ▸ 新しいデバイスを検索**を選択してください。
   6桁のBluetooth®コードが生成され、PCMおよび携帯電話に表示されます。
3. PCMおよび携帯電話のBluetooth® コードを比較します。
4. PCMと携帯電話のBluetooth® コードが一致するかどうかを確認してください。
   デバイスが正常に接続されたら、デバイス概要に表示されます。

Bluetooth®機器の管理に関するインフォメーション：

▷ 「Bluetooth®デバイスの削除、または Bluetooth®インフォメーションの表示」(199ページ) を参照してください。

全般的なシステム設定を変更する

1. HOME ボタン ▸ **設定** ▸ **システム**
   または
   CAR ボタン ▸ **設定** ▸ **システム**
2. 希望の項目を選択してください。

- **日付と時刻**
  - **オートタイム**：GPS信号で時刻、日付、サマータイムを同期
  - **時刻**
  - **日付**
  - **自動タイムゾーン**：オートタイム・モードでは、タイムゾーンも自動的に設定されます。
  - **タイムゾーン**
  - **時刻表示形式**
  - **日付表示形式**
- **単位**
  - **走行速度**
  - **温度**
  - **圧力** (タイヤ空気圧)
  - **燃費**
- **言語**：システム言語を選択してください。
- **音声操作**：
  - **ショートダイアログ**：ボイス・コントロールはショート・ボイス・コマンド・テキストを使用します。
  - **ヘルプテキスト**：アクティブ・ボイス・コントロールで可能なコマンドの表示
- **工場出荷時の設定**
  - **工場出荷時の設定**：すべての設定値が規定値にリセットされます。個人データは保持されます。
  - **車両の引き渡し**：すべての設定値が規定値にリセットされます。住所、目的地、電話番号など、すべての個人データが削除されます。

PCMディスプレイの設定を変更する

1. HOME ボタン ▸ **設定** ▸ **PCMディスプレイ**
   または
   CAR ボタン ▸ **設定** ▸ **PCMディスプレイ**
2. 希望のオプションを選択してください。

- **ディスプレイを OFF にする**：次にタッチするまでタッチスクリーンがOFFになります。
- **明るさ**
- **フッター**
  - **温度**：フッターに温度を表示する
  - **時刻**：フッターに時刻を表示する
- **近接センサー**：近接センサーのON/OFFの切り替え
- **タッチ操作音設定**：ディスプレイにタッチした時の操作音を有効/無効にする

音量および音質の変更

音量を調節する

ボリューム・スイッチA （図234ページ285を参照）を回すと、音量を調節できます。

オーディオ・ソースのミュート

▸ ボリューム・スイッチA（図234ページ285を参照）を短く押してください。
ミュート記号 はフッターに表示されます。
運転アドバイス、電話の会話および交通情報は聞くことができます。

▸ ミュート機能を解除するには、ボリューム・スイッチA を再び短く押してください。

音質設定を変更する

1. HOME ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **SET SOUND** ▸ **サウンド**
2. オプションを選択して、設定を変更してください。

- **Bass (ベース)**：低音域の調節
- **Treble (トレブル)**：高音域の調節
- **Fader (フェーダー)**：前後スピーカーの音量調節
- **Balance (バランス)**：左右スピーカーの音量調節

音量設定を変更する

1. HOME ボタン ▸ OPT ボタン ▸ SET SOUND ▸ 音量
2. 希望の項目を選択してください。

– **交通情報**：交通情報の音量を高く設定
– **ナビゲーション案内**：ナビゲーション案内の音量を設定
– **速度対応音量**：車速に応じた音量調節
– **AUX**：AUXオーディオ再生用の音量を設定
– **Bluetooth オーディオ**：Bluetooth®オーディオ再生用の音量を設定
– **マイク音量**：通話中のマイク音量を調整
– **着信音量**：着信音の音量を設定
– **電話中のナビゲーションをミュート**：通話中はナビゲーションアナウンスを再生しない
– **タッチ操作音設定**：ディスプレイにタッチした時の操作音
– **メッセージの受信音**：テキスト・メッセージおよびEメール受信時のサウンドON/OFFを切り替える

Burmester®音質設定を変更する

1. HOME ボタン ▸ OPT ボタン ▸ SET SOUND
2. Burmester を選択してください。
3. 希望のオプションを選択してください。

– **ピュア**：純粋で忠実な音響設定
– **スムーズ**：リラックスした長時間のリスニングに適した音響設定
– **サラウンド**：非常に開放感を感じる音響設定
– **ライブ**：ライブの臨場感を伴う広がりのある音響設定
– **ポジション**：座席別の音質調整
– **サウンド・コンディショナー**：音響を周囲の音量に合わせて適応させます。

BOSE®音質設定を変更する

1. HOME ボタン ▸ OPT ボタン ▸ SET SOUND
2. BOSE を選択してください。
3. 希望のオプションを選択してください。

– **サラウンド**：非常に開放感を感じる音響設定
– **リニア**：低音重視の音質設定（リニア OFF）からニュートラルでバランスのよい音質（リニアON）に変更
– **オーディオ・パイロット®**：この機能がアクティブになっているときは、車内の騒音レベルがモニターされそれに従ってオーディオ再生が最適化されます。

ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)

PSMは、過酷な走行条件下で車体を安定させるためのアクティブ・コントロール・システムです。エンジンが始動すると自動的に有効になります。PSMは、アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)とエンジン・ドラッグ・トルク・コントロール・システム(MSR)の機能と同様にオートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD)とアンチスリップ・コントロール(ASR)システムの両方を利用します。

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

PSMは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSMが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

- ▶ PSM を過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

以下の条件でPSMコントロールの作動を知ることができます。

- インストルメント・パネルの PSM 警告灯が点滅します。
- 油圧作動音が聞こえます。
- PSMがブレーキを制御することで、減速の度合いやステアリング操作力が変化します。
- エンジン出力が低下します。
- ブレーキ・ペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。

最大の制動力を得るため、ブレーキ・ペダルに振動を感じたら更に強く踏み込んでください。

オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル（ABD）

いずれかのアクスルで一方のホイールが空転し始めると、そのホイールにブレーキをかけて、反対側のホイールの駆動力を確保します。

アンチ・スリップ・コントロール（ASR）

アンチ・スリップ・コントロールがエンジン出力を制御することで、ホイールのスリップを防ぎ、直進安定性やハンドリング性能が維持されます。

エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール（MSR）

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジン・ドラッグ・トルク・コントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

ステアリング・トルク・パルス

ステアリング・トルク・パルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかけた場合に運転者のステアリング・アシストを行います。

カウンター・ステアリング中も操舵力を追加して運転者を支援します。

PSMをOFFにする

図244: センター・コンソールのPSM OFFボタン

⚠ 警告 PSMアシストの停止

PSMをOFFにすると、ABS制御の範囲外になるような過酷な走行状況でPSMサポートが行われません。

- ▶ 「通常」走行では常にPSMをONにすることを推奨いたします。
- ▶ コラプシブル・スペア・タイヤを装着して走行している場合は、PSMを解除しないでください。

- ▶ ボタンを 1 秒以上押してください。
  ボタンを押してから実際にPSMがOFFになるまでには、若干の遅れがあります。
  ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯 が点灯します。
  マルチファンクション・ディスプレイにPSMがOFFに切り替わったことを示す警告が表示されます。

インフォメーション

ABSコントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSMがOFFの状態でも車両は安定性を維持します。片方の駆動輪が空転すると、PSMをOFFにしていても空転を抑制します。

ただし次の場合は、例外として一時的にPSMをOFFにすることが有効です：

– ぬかるんだ路面、または積雪が多い場合
– スタックした車両を脱出させる場合

PSMを再度ONにする

▸ ボタンを押してください。
直ちにPSMが復帰します。
ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯が消灯します。
マルチファンクション・ディスプレイにPSMがONに切り替わったことを示すメッセージが表示されます。

オフロードPSM（オフロード走行プログラムのPSM）を有効にする

オフロード・モードが作動した場合、特にオフロード走行に適したオフロードPSMが作動し、自動的にトラクションを強化します。
オフロード・モードが設定されている場合、低速走行時にオフロードPSMの反応が遅くなり、様々な地形に対する安定性を向上させます。

▷ 「オフロード・モード」（88ページ）を参照してください。

警告シンボルへの対応

ABS警告灯に関するインフォメーション：

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

ABSブレーキ・システム（アンチロック・ブレーキ・システム）

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

ABSは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。
走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。ABSが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

▸ ABSのアドバンテージにもかかわらず、ドライバーは自分の走行スタイルを適用し、交通状況だけでなく、道路や気象条件に沿って操作する上で責任があります。

ABSの特徴：

– ステアリングの操作性の確保：安定したステアリング・コントロール性能を維持します。
– 優れた走行安定性：ホイール・ロックによるスリップを回避します。
– 制動距離の短縮：ほとんどの状況で、ブレーキをかけたときの制動距離が短くなります。
– ホイール・ロックの回避：ホイールがロックしたときに生じるタイヤのフラット・スポットを回避できます。

機能

ABSは緊急回避が必要な状況で最も効果を発揮し、走行安定性とステアリング・コントロール性を維持します。
ABSは、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、車両が停止する直前までホイール・ロックを回避します。
ホイールのロック点付近でブレーキをかけたときにABSは作動し始めます。
このブレーキ・コントロールは、非常に小刻みなポンピング・ブレーキをかけるのと似た状態です。
ブレーキ・ペダルの脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。
最大制動力が必要な場合：

▸ 急ブレーキ操作が必要な場面では、ブレーキ・ペダルが振動してもしっかりとブレーキ・ペダルを踏み続けてください。ペダルを踏む力をゆるめないでください。

警告シンボルへの対応

ABS警告灯に関するインフォメーション：

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

オフロードABS（オフロード・モードでのABS）を有効にする

オフロード・モードが作動した場合、特にオフロード走行に適したABS設定が自動的に作動します。

– ぬかるんだ路面上でブレーキをかけた場合、ABSの許容スリップ値が上がり、オフロードでの制動距離が短縮されます（ホイールが路面に食い込む）。
– ドライバーがステアリングを操作する必要がある場合、オフロード・モードが自動的に解除され、ステアリング操作ができるようになります。

▷ 「オフロード・モード」（88ページ）を参照してください。

マルチコリジョン・ブレーキング

マルチコリジョン・ブレーキングは、事故が起こった際に自動的にブレーキをかけ、衝突後の車両の横滑りや多重事故のリスクを軽減し、ドライバーを補助します。

前提条件

マルチコリジョン・ブレーキングは以下の場合にのみ作動します：

- 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時
- エアバッグ・コントロール・ユニットが事故の際に作動しきい値を検出したとき
- 車速約 10km/h 以上で走行しているときに事故に遭ったとき

インフォメーション

事故後にPSMや電気系統に損傷がなく、作動可能な場合、PSMが自動的に油圧ブレーキを作動させます。

例外

以下の状況では事故の際に自動的にブレーキが作動しません：

- ドライバーが急激にアクセル・ペダルを踏んだとき
- ドライバーがブレーキ・ペダルを踏み込んだときのブレーキ油圧がシステムのブレーキ油圧より強いとき

トレーラー・スタビリティ・マネージメント

(国によって異なります)

トレーラー・スタビリティー・マネージメントは、PSMの機能の一部です。

トレーラー・スタビリティ・マネージメントは、トレーラー車両の不安定な横揺れを検出します。

このような危険な走行状況を検出すると、挙動が安定するまでフロント・アクスルのブレーキに個別にブレーキをかけます。ドライバーはこの時点ではまだトレーラー車両を加速させることができます。より大きな横揺れが発生した場合、トレーラー・スタビリティー・マネージメント機能は挙動が安定するまで車両にブレーキをかけます。

ただし、トレーラー・スタビリティ・マネージメントはあらゆる状況で走行安定性を確保できるものではありません。例えば滑りやすい路面やぬかるんだ路面では、トレーラー車両のジャックナイフ現象が発生する恐れがあります。トレーラー車両の重心位置が高いと、転倒する恐れがあります。

- ▶ この制御が作動したときは、慎重にステアリングを操作してください。
- ▷ 「トレーラーを連結しての運転」(220ページ)を参照してください。

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

トレーラー・スタビリティ・マネージメントはスピードの出しすぎによる事故のリスクを減らすことはできません。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。トレーラー・スタビリティ・マネージメントが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

- ▶ トレーラー・スタビリティ・マネージメントを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

⚠ 警告 トレーラーのジャック・ナイフ現象

滑りやすい路面やぬかるみなどで、トレーラー車両のジャックナイフ現象が発生した場合、トレーラー・スタビリティ・マネージメントは、走行安定性を維持することができません。

- ▶ 路面状況に応じた適切な運転を心がけてください。

⚠ 警告 トレーラーの横転

トレーラー車両の重心位置が高いと、転倒する恐れがあります。

- ▶ 慎重な運転を心がけてください。

⚠ 警告 速度超過

トレーラー車両をけん引するときは、道路条件、交通状況、路面状態、車両/トレーラー車両重量に合わせて適切な速度で運転してください。トレーラーけん引中の速度の出し過ぎは、車両およびトレーラーのコントロールを失う可能性があります。

- ▸ 地域の法律等を遵守してトレーラー車両をけん引してください。
- ▸ トレーラー車両を連結した場合の走行安定性は、速度が上がるにつれて悪化します。下り坂や悪路、悪天候（強風）のときは特に速度を落として運転してください。
- ▸ 長い下り坂では適切な低速ギヤに入れ、エンジン・ブレーキを使用してください。
- ▸ トレーラー車両のみに荷物を積まないでください。重量バランスを考慮し、けん引する車両にも荷物を積んでください。
  やむを得ず、トレーラー車両のみに荷物を積載する場合は低速で走行してください。
- ▸ トレーラー車両が軌道から外れたときは、直ちに減速してください。カウンターステアで走行姿勢を保たないでください。必要に応じてブレーキをかけてください。車両とトレーラー車両の姿勢をまっすぐに立て直すために加速しないでください。

▷ 「重量（メーカー発表値）」（380ページ）を参照してください。

✓ トレーラー・コネクターが接続され、トレーラー車両が検出されていること。

✓ トレーラーのライト類（ライト、ブレーキ・ライト、インジケーター）が正常に作動すること。トレーラーが完璧に機能していること。

✓ 方向指示灯を ON にすると、トレーラーの方向指示灯インジケーター・パイロット・ライトが作動すること。

▷ 「警告灯および表示灯」（49ページ）を参照してください。

作動準備

✓ トレーラー・スタビリティ・マネージメントは、PSMがONのときに約65km/h以上の速度で作動します。

- ▸ 地域の法律等を遵守してトレーラー車両をけん引してください。

i インフォメーション

- PSMをOFFにすると、トレーラー・スタビリティ・マネージメントの作動もOFFになります。
- ブレーキ・ペダルを踏むと、PSM が解除されていてもトレーラー・スタビリティ・マネージメントが作動します。
- 電動可倒式トレーラー・ヒッチ装備車両では、ヒッチを完全に拡張させ、作動位置にしてください。

ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)

ポルシェ・ヒル・コントロール (PHC) は、急な坂道、冬場の山道などで下り坂を前進または後退でゆっくり走行する際にドライバーを支援するアシスト・システムです。

システムは4つのホイールすべてにブレーキをかけて、速度を制限します。ABSは作動を続け、ホイールのロックを防ぎます。

⚠ 警告 ブレーキの効きの低下

通常のブレーキと同様にブレーキ性能はすべりやすい路面状況（凍結路やぬかるみなど）によって制限され、事故につながることがあります。

▸ 常に走行状況に応じた適切な運転を心がけてください。

ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)の使用

ポルシェ・ヒル・コントロールは以下の条件が揃った場合のみ使用できます。

✓ ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)がONになっている
✓ 約3km/h～30km/hの速度で走行している
✓ 坂道の傾斜度が約12%以上
✓ ドライバーがアクセルまたはブレーキを踏んでいない

PHCの起動

図245: ポルシェ・ヒル・コントロール(PHC)ボタン

▸ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
マルチファンクション・ディスプレイに以下のいずれかのシンボルが表示されます。

PHCスタンバイ
マルチファンクション・ディスプレイのグレーのPHCアイコンは使用可能な状態（スタンバイ）を示します。

PHCコントロール作動/設定速度
設定速度がPHCシンボルの下に橙色で表示され、その後白色に変わります。

インフォメーション

坂道の勾配率が約6%未満の場合、作動状態のシステムはもう一度作動スタンバイ状態になります。

PHCの解除

▸ ボタンを再度押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

速度の変更

✓ PHCが作動している
▸ ブレーキまたはアクセル・ペダルを踏んでください。
または
クルーズ・コントロールまたはアダプティブ・クルーズ・コントロールがONの場合、クルーズ・コントロール操作レバーを使用して設定します。

ブレーキまたはアクセル・ペダルを放したとき、およびクルーズ・コントロールまたはアダプティブ・クルーズ・コントロール操作レバーを使用して希望する速度を設定したときに、新しい速度が保存されます。

▷ 「クルーズ・コントロール」（102ページ）を参照してください。
▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)」（36ページ）を参照してください。

ボンネット

ボンネットの開閉

ボンネットを開く

知識

ボンネットを開くときにフロント・ワイパー・アームが起きていると、ワイパーまたはボンネットが損傷する恐れがあります。

- ボンネットを開くときは、ワイパーが起きていないことを確認してください。
- ボンネットを開く前に、必ずフロント・ワイパーをOFF（ワイパー・レバーを**0**の位置）にしてください。イグニッション・スイッチがOFFで、ワイパー・アームが停止位置にない場合、ボンネットを開くと自動的にワイパー・アームが停止位置まで移動します。
- ボンネットを閉じ、ワイパーをOFFにしてから再度ONにするまで、この位置が保持されます。

▷「フロント・ワイパー」（265ページ）を参照してください。

図246: ボンネットのロックを解除する

1. 運転席ドアを開いてください。
2. リリース･レバー（図246）を引いてください。

図247: ボンネットを開く

3. ボンネットを少し持ち上げ、リリース レバー（図247）を押してください。
4. ボンネットを完全に開いてください。

ボンネットを閉じる

⚠ 注意 ボンネットは落下することがあります

ボンネットを閉じるときは、ボンネットを半分開いた位置まで引き下げた状態から落とし、ボンネットの重さを利用してロック部をロックします。

- ボンネットの可動部品（ヒンジ）の近くに物を置いたり、指を近づけないでください。

1. リッドを半分開いた状態まで引き下げ、ロック部にはまるようにリッドを落としてください。必要に応じてロック周辺部分を手のひらで押し、ボンネットを確実にロックしてください。
2. リリース・レバー（図246）が初期位置に戻り、リッドが完全にロックされているかを確認してください。
- ボンネットが正しく閉じていない場合、車両の発進時にマルチファンクション・ディスプレイに警告が表示されます。車両を安全な場所に停車し、ボンネットを再度開いて、ロック部に落としてロックしてください。必要に応じてロック周辺部分を手のひらで押し、ボンネットを確実にロックしてください。

マルチファンクション・ディスプレイ

この取扱説明書は機能の一部のみを紹介しています。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。

⚠ 警告 走行時の設定と操作

運転中にマルチファンクション・ディスプレイ、マルチファンクション・ステアリング・ホイール、ラジオ、ナビゲーション・システム、電話などの機器の操作、設定を行うと、注意力が散漫になることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください。
- 複雑な操作、設定は必ず車両を停止してから行ってください。

図248: マルチファンクション・ディスプレイの位置

インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイはイグニッションがONのときのみ操作できます。

安全の理由で、車両が固定されているときしか使用できない機能も一部あります。

マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作

図249: マルチファンクション・ステアリング・ホイールのファンクション・ボタン

インフォメーション

マルチファンクション・ステアリング・ホイールの操作では、ポルシェ・コミュニケーション・システムをON/OFFできません。

音量を上げる/下げる

- ボリューム・スイッチ**A**を上方または下方に回してください。

ミュート機能のON/OFFを切り替える

- ボリューム・スイッチ**A**を押してください。

メニューおよび機能/オプションを選択する（スクロール）

- ロータリー・ノブ**F**を上方向または下方向に回してください。

電話およびラジオ一覧から希望する項目の冒頭までスキップする

- ロータリー・ノブ**F**を上方向または下方向に素早く回してください。
  頭文字を選択する画面が表示されます。
- 任意の冒頭文字を選択してください。
  選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

選択の決定（Enter）

- ロータリー・ノブ**F**を押してください。

保存された機能を有効にする

- MFSボタン **C**を押してください。

ボタンは個別に割り当てることができます。初期設定ではオーディオ・ソースの選択に設定されています。

ボタンの個別設定に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更」（314ページ）を参照してください。

1つ前、または複数前のメニューに戻る

- バック・ボタン**E**を押してください。

着信を受ける

- ハンドセット・ピックアップ・ボタン**B**を押してください。

通話を終了するまたは着信を拒否する

- ハンドセット・ハングアップ・ボタン**D**を押してください。

マルチファンクション・ディスプレイの表示エリア

図250: マルチファンクション・ディスプレイの表示エリア

A/D – 上部/下部ステータス・エリア

上部/下部ステータス・エリアには、コンパス、時刻、温度などの基本情報が表示されます。

ステータス・エリア表示は個別の設定ができます。

▷ 「マルチファンクション–ディスプレイの表示を変更する」（309ページ）を参照してください。

B – タイトル・エリア/メニュー・インジケーター

タイトル・エリアには、現在選択しているメニュー項目が表示されます。

右側のメニュー・インジケーター（灰色のバー）には、選択可能な全メニューにおける現在のメニュー項目の位置および、選択できるメニュー項目の数が表示されます。

メニュー・インジケーターの幅が広いほど、選択できるメニュー項目の数が少ないことを意味します。

C – インフォメーション・エリア

インフォメーション・エリアには、現在選択できるメニュー項目が表示されます。メニュー項目を選択した後は、そのメニュー項目に関係する情報や、その他の選択肢が表示されます。

オプションの選択および機能の有効化

各オプションの項目名の前に付いているシンボル・マークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

複数のオプションから1つを選択する

選択されたオプション

選択されていないオプション

機能の作動/停止

機能が作動している

機能が停止している

メニュー概要

マルチファンクション・ディスプレイでは、車両の装備に応じてオーディオ（ラジオ、CD、iPod®など）、オイル・レベル、タイヤ空気圧、ストップウォッチ、ナビゲーション・システムといった車両情報を確認することができます。また、様々な車両設定を変更することができます。
タイヤ空気圧モニタリング・システム(TPM)の設定など一部のメニューは停車中のみ利用できます。

メニュー	何を行うか	ページ
▸ 車両▸ インフォメーション	車両情報の確認（メッセージ、サービス間隔、平均燃費、シャーシ設定）	303
▸ 車両▸ オイル レベル	エンジン・オイル・レベルの測定と表示	303
▸ 車両▸ 制限	速度制限の設定	304
▸ 車両▸ 設定▸ ディスプレイ	マルチファンクション・ディスプレイの表示の変更	309
▸ 車両▸ 設定▸ 日付と時刻	日付と時刻の調整	311
▸ 車両▸ 設定▸ アシストシステム	アシスタンス・システムの調整	312
▸ 車両▸ 設定▸ ライトと視界	エクステリア・ライト、インテリア・ライト、後退時のディスプレイ補助、およびフロント・ワイパー設定の調整	313
▸ 車両▸ 設定▸ ハンドル操作▸ ◊ キー	マルチファンクション・ステアリング・ホイールのMFSボタンの割り当て	314
▸ 車両▸ 設定▸ ロック	ロック解除/ロックの設定	315
▸ 車両▸ 設定▸ エアコン	エアコンの設定	315
▸ 車両▸ 設定▸ 音量	警告音およびパーキング・アシスタントの音量調節	315
▸ 車両▸ 設定▸ 単位	車両ディスプレイ用測定単位の調整	317
▸ 車両▸ 設定▸ 言語	言語の変更	318
▸ 車両▸ 出発タイマー	高電圧バッテリーを充電するために出発時間を定義する	315
▸ 車両▸ Precool/heat タイマー	選択した時間まで車内温度の予冷/暖房	316

メニュー	何を行うか	ページ
▶ **車両▸ Maintain temp.**	内燃エンジンが作動していない状態で車内のエアコンを使用する	317
▶ **車両▸ 設定**	工場出荷時の設定に戻す	318
▶ **オーディオ**	有効なオーディオ・ソースから放送局またはトラックを選択する	343/325
▶ **電話**	電話を使用する	202
▶ **地図**	地図画面を表示/調整する	228
▶ **ナビゲーション**	ナビゲーション・システムを使用する	226
▶ **トリップ**	走行データを表示/リセットする	207
▶ **タイヤ空気圧**	タイヤ空気圧を表示してタイヤ設定を調整する	304
▶ **Eパワー・アシスト**	電気駆動パワーに関するインフォメーションを見る	242
▶ **エネルギーフロー**	ハイブリッド・システム、高電圧バッテリー、走行可能距離に関するインフォメーションを見る	242
▶ **クロノ**	ストップウォッチで時間を計る	157
▶ **ACC**	アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の使用	36
▶ **制限速度**	制限速度の表示	167

車両メニュー

メッセージの表示

▸ **車両▸ インフォメーション▸ メッセージ**

未解決の警告または車両メッセージが表示されます。
下部のステータス・エリアに表示される警告シンボル・マークは、未解決の警告メッセージの数を示しています。
複数の警告メッセージが未解決の場合、メッセージ・リストで閲覧できます。

サービス・インターバルの表示

次回のサービス（点検）時期が表示されます。

1. **車両▸ インフォメーション▸ サービス間隔**
2. 任意のサービス・インターバルを選択してください。

選択したシャーシ設定の表示

▸ **車両▸ インフォメーション▸ レベル**

平均燃費の表示

▸ **車両▸ インフォメーション▸ 平均燃費**

エンジン・オイル・レベルの測定と表示

知識

オイル・レベルが下限マークより下にある場合、エンジンが適切に潤滑されません。これによりエンジンが損傷するおそれがあります。

- オイル・レベルを定期的に点検してください。
- オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。

エンジン・オイル・レベルの表示

インフォメーション

状況により、オイル・レベルが表示されないことがあります。以下の場合に発生します：

– エンジン冷間時
– フルスロットで高速走行後の停車時
– エンジン油温が高すぎる場合

マルチファンクション・ディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

✓ 車両を平坦な場所に駐車する
✓ エンジンが作動温度に達した状態で、1分間以上停止する

▸ **車両▸ オイル レベル**

図251: オイル・レベル・ゲージ

A オイル・レベルは適正 – 上限に達している
B 最小オイルレベルに達している
C オイル・レベルが下限を下回っている
D オイル・レベルが上限を超えている

表示が緑色**A**の場合、オイル・レベルは適正です。
最下部が黄色**B**で表示されている場合、オイル・レベルが下限まで低下しています。オイル・レベルが低下していることを知らせるメッセージが表示されます。

- 次の機会にマルチファンクション・ディスプレイに表示されているエンジン・オイルの量を補充してください。
- 表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。

最下部が赤色**C**で表示されている場合は、オイル・レベルが下限を下回っています。オイル・レベルが低過ぎることを知らせるメッセージが表示されます。

- 運転を続けないでください。
- マルチファンクション・ディスプレイに表示されているエンジン・オイルの量を**直ちに**補充してください。
- 表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。

最上部まで黄色で表示されている場合（**D**）、エンジン・オイルが許容される充填量を超えていることを示します（カイエン・ターボまたはカイエン・ターボSには適用されません）。これによって車両が損傷するおそれがあります。

エンジン・オイルの補充量が多すぎたときは、オイルレベルが上限を超えていることを知らせるメッセージが表示されます。

次の機会にオイル・レベルを適正に戻してください。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン・オイルの補充

▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」（71ページ）を参照してください。

故障

オイル・レベル測定が失敗した場合、オイル測定機能に不具合があることを知らせるメッセージが表示されます。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

制限速度の設定

制限速度を設定して機能を作動させると、その速度を超えたときに警告シンボルが表示されます。

例えば、装着しているタイヤの許容最高速度に合わせて制限速度を設定するなど、運転者に注意を喚起したいときに利用できます。

1. **車両▸ 制限▸ 制限 1**または**制限 2**
2. 任意の制限を選択してください。

– **現在の速度**：現在の速度を設定してください。
– **手動**：任意の速度値を設定してください。
– **作動**：
  ☑ 速度制限作動中。
  ☐ 速度制限の停止中。

車両設定の調節

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイを使用した車両設定」（309ページ）を参照してください。

オーディオ・メニュー

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイを使用して放送局を選択する」（343ページ）を参照してください。

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイを使用して、有効なオーディオ・ソースからトラックを選択する」（325ページ）を参照してください。

電話メニュー

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイで電話を使用する」（202ページ）を参照してください。

地図メニュー

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイによるマップ・ビューの表示および設定」（229ページ）を参照してください。

ナビゲーション・メニュー

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイでの目的地の入力」（226ページ）を参照してください。

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイによるルート案内の開始および停止」（226ページ）を参照してください。

トリップ・メニュー

▷ 「マルチ–ファンクション・ディスプレイにドライビング・データを表示する」（207ページ）を参照してください。

タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）

タイヤ空気圧モニタリング・システムには次の機能があります：

– タイヤ空気圧および温度を常時監視します。
– 走行中の実際のタイヤ空気圧　（実圧力）を表示します。
– 空気圧の低下を2段階（黄色/赤色）で警告します。
– 停車しているとき規定空気圧との差を表示し、タイヤ種類および積載状態を選択することができます。
– タイヤ空気圧モニタリング・システムは、自然放散による空気圧低下や、タイヤに異物が刺さったときなどの空気圧のゆっくりとした低下を検出して警告します。

⚠ 警告 間違った設定

タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの有無にかかわらず、タイヤ空気圧を適切に維持し、タイヤ空気圧メニューを適切に設定することは運転者の責務です。入力情報が不足または誤っていると、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼします。

- ご使用のタイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
  - ▷ 「タイヤ空気圧」（385ページ）を参照してください。
- タイヤ空気圧メニュー内の設定が、車両に装着されているタイヤ、および車両の積載重量と一致していることを確認してください（特にタイヤ交換後や積載重量が変わったとき）。
- そして、新しく装着したタイヤ/ホイールの設定が従来と同一であっても、タイプおよびサイズを改めてタイヤ空気圧メニュー内で選択してください。

⚠ 警告 欠陥のあるタイヤ

欠陥のあるタイヤで走行すると、重大な事故につながることがあります。

- マルチファンクション・ディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合は、速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じて、パンク修理剤で損傷を修復するか、折りたたみ式/標準のスペアタイヤを装着してください。
  - ▷ 「パンクしたとき」（248 ページ）を参照してください。
- 損傷したタイヤを装着したままで運転を続け**ない**でください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- 空気圧を調整しても短時間で空気が抜ける場合、そのタイヤでの運転を続けないでください。ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。
  ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリング・システムは、自然放散による空気圧低下や、タイヤに異物が刺さったときなどの空気圧のゆっくりとした低下を検出して警告します。突発的な外的要因によるタイヤのパンクなど、急激な空気圧の低下は検出できず、警告しません。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの故障

故障が発生すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムはタイヤ空気圧の監視を行うことができません。

インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯 が点灯し、マルチファンクション・ディスプレイに対応するメッセージが表示されます。

- 故障が継続する場合：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

以下の場合は監視が不完全になる場合があります：

- タイヤ空気圧モニタリング・システムが故障している場合
- タイヤ空気圧モニタリング・システム用のホイール・トランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤの設定を更新した直後の登録プロセス中
- ホイールを交換した後、設定を更新しなかった場合
- タイヤの温度が高すぎる場合

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

▷ 「警告灯および表示灯」（49ページ）を参照してください。

タイヤ空気圧の確認

インフォメーション

イグニッションをONにした後、車両の速度が約25km/hを超えたときのみタイヤ空気圧が「登録」されて表示されます。空気圧を表示するまではダッシュ記号「-.-」を表示します。
タイヤに0.1bar以上の空気を補充した場合、該当するタイヤ空気圧が更新されて表示されます。
タイヤに0.1bar以上の空気を補充した場合、該当するタイヤ空気圧が更新されて表示されます。

UH2_810

図252: タイヤ空気圧表示

▸ **タイヤ空気圧**メニューを選択してください。

この空気圧表示は、情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

▸ いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

充填情報を見る

UH2_818

図253: 充填情報の例

✓ 停車しているとき

▸ **タイヤ空気圧▸ 充填情報**

該当するホイールの規定圧との差が表示されます。

例：右リヤ・ホイールの位置に「**–0.1 bar (–1.5 psi)**」と表示された場合は、このタイヤに**0.1 bar (1.5 psi)** の空気を補充してください。

表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

▸ タイヤ空気圧を補正するときは、充填情報ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される圧力差を必ず使用してください。

タイヤをまだ登録していない場合、現在の圧力差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

▷ 「タイヤ空気圧モニタリング・システムの登録」（307ページ）を参照してください。

タイヤ種類の選択（装着タイヤの種類とサイズ）

インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデル・タイプにより異なります。このため本書で説明している選択項目の中には、マルチファンクション・ディスプレイで利用できないものが含まれることがあります。

▸ マルチファンクション・ディスプレイに登録されていないサイズのタイヤを装着するときは、そのタイヤを装着する前に、マルチファンクション・ディスプレイに不足情報を追加する必要があります。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▸ ポルシェ社が承認したタイヤのみを使用してください。

✓ 停車しているとき

▸ **タイヤ空気圧▸ タイヤ種類**

選択できる設定と略語：

- 18" サマー：**18" (S)**
- 18" ウィンター：**18" (W)**
- 18" オール・シーズン：**18" (AS)**
- 19" サマー：**19" (S)**
- 19" ウィンター：**19" (W)**
- 19" オール・シーズン：**19" (AS)**
- 20" サマー：**20" (S)**
- 20" ウィンター：**20" (W)**
- 20" オール・シーズン：**20" (AS)**
- 21" サマー：**21" (S)**

タイヤ空気圧メイン・メニューの**タイヤ種類**の行に選択された設定の略語が表示されます。

全積載または部分積載の選択

✓ 停車しているとき

▸ **タイヤ空気圧▸ 全積載**

- ☑ **全負荷**：
全積載が選択されます。
- ☐ **全負荷**：
部分積載が選択されます。

▸ 選択した荷重タイプに応じてタイヤ空気圧を調整してください。

▷ 「タイヤ空気圧の確認」（306ページ）を参照してください。

インフォメーション

全積載が表示されない場合は、荷重タイプに応じてタイヤ空気圧の調整が必要ないことを意味します。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの登録

タイヤ/ホイールを交換、ホイール・トランスミッターを交換、またはタイヤの設定を更新すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤとその装着位置を認識します。タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。

登録中に冷間時のタイヤ（20 °C）の規定圧力が充填情報に表示され、メッセージ**No monitoring, system learns over 25 km/h（モニターシステムは25km/h以上でないと学習しません）**がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

すべてのホイールが確認されるまで、インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯 は点灯したままになっています。

▷ 「警告灯および表示灯」（49ページ）を参照してください。

タイヤ空気圧警告

インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯 およびマルチファンクション・ディスプレイの対応するメッセージは、二段階で圧力の損失について警告します（圧力損失の量によって、黄色と赤色のタイヤ空気圧警告が表示されます）。

インフォメーション

タイヤ空気圧を適正値に調整すると、タイヤ空気圧警告灯が消灯します。

車両を停止してイグニッションをOFFにする、または再びイグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告が約10秒間表示されます。
イグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。
赤色の空気圧警告は走行中でも表示され、異常を知ることができます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

クロノメニュー

▷ 「スポーツ・クロノ・ストップウォッチ」(157ページ）を参照してください。

ACCメニュー

▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)」（36ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイを使用した車両設定

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な車両設定を調整できます。ここではすべての車両設定について記載していますが、これらがすべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。
車両設定はイグニッションをOFFにしても保存され続けます。
安全の理由で、車両が固定されているときしか使用できない機能も一部あります。
メモリー・パッケージ装備車では、この設定をキーや運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

▷ 「パーソナル設定」(237ページ) を参照してください。

オプションの選択および機能の有効化

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」(299ページ) を参照してください。

各オプションの項目名の前に付いているシンボル・マークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

複数のオプションから1つを選択する

◉	選択されたオプション
○	選択されていないオプション

機能の作動/停止

☑	機能が作動します
☐	機能が停止します

＊ 日本仕様に設定はありません。

PCMを介した車両設定

特定の車両設定はPCMからも行うことができます。

▸ CAR ボタン ▸ **設定** ⚙ ▸ **車両設定**

マルチファンクション–ディスプレイの表示を変更する

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイ」(299ページ) を参照してください。

図254: 情報エリアの構成例

A	上部ステータス・エリア（上段）
1 – 4	表示フィールド
B	下部ステータス・エリア（下段）

上部のステータス・エリアの表示を変更する

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **表示** ▸ **上のライン**
2. 希望する表示項目を選択してください。

– **放送局 / 曲**：現在のラジオ放送局 / ミュージック・トラック
– **残可走距離**
– **コンパス＊**
– **標高**：車両の海抜標高
– **チャージ圧力**：Cayenne S、Cayenne GTS、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S：
– **アドブルー**：カイエン・ディーゼル、カイエンSディーゼル
– カイエンS Eハイブリッドの**Eレンジ**
– **Cayenne S E-Hybrid の残り充電時間**
– **充電状態**：カイエンS Eハイブリッド
– **Eディスプレ**：カイエンS Eハイブリッド
– **表示なし**：上部のステータス・エリアAには何も表示しません。

インフォメーション

– 速度制限ディスプレイも作動させることができます。例えば、速度制限と燃料走行可能距離の表示項目が選択されている場合、適用できる制限速度がない場合や速度制限メイン・メニューが選択されている場合、直ちに燃料走行可能距離が表示されます。
– 上部のステータス・エリアには最大1つの交通標識が表示されます。交通標識の後ろに箇条書きがある場合、情報エリアに更に交通標識が表示されていることを示しています。＊

上部ステータス・エリアのハイブリッドI・ディスプレイ

車両プラグ・シンボルの他に、次の2つのシンボルも表示できます。

車両プラグが挿入されていません。電動走行距離も表示されます。

車両プラグが挿入され、出発タイマーがプログラムされています。

インフォメーション

車両充電ポートの充電および接続表示に関するインフォメーション：

▷ **「車両充電ポートの充電および接続表示」（148ページ）を参照してください。**

情報エリアを変更する

様々な車両情報の中から4つを選択して、フィールド1、2、3および4に表示できます。車両情報の1つの項目を複数のエリアに同時に割り当てることはできません。

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 表示 ▸ 車両メニュー ▸ フィールド 1** または**フィールド 2** または **フィールド 3** または**フィールド 4**
2. 希望する表示項目を選択してください。

- **ボード電圧**
- **チャージ圧力**：Cayenne S、Cayenne GTS、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S：
- **オイル圧力**：エンジン油圧
- **オイル温度**：エンジン油温
- **冷却水温度**：冷却水温度
- **残可走距離**
- **初期化**：**走行時間**：中間目的地までの走行時間
- **初期化**：**到着**：中間目的地への到着時間
- **目的地**：**走行時間**：目的地までの走行時間
- **目的地**：**到着**：目的地への到着時間
- **コンパス**：マルチファンクション・ディスプレイ上
- **標高**：海面上の車両の標高
- **日付**
- カイエンS Eハイブリッドの**Eレンジ**
- **Cayenne S E-Hybrid の残り充電時間**
- **充電状態**：カイエンS Eハイブリッド
- **HVバッテリー温度**：カイエンS Eハイブリッド
- **放送局/曲**：現在のラジオ放送局または音楽トラック
- **電話情報**：信号の強さ/ネットワーク名
- **表示なし**：空白

Cayenne GTS、Cayenne Turbo Sのみ：

- **横方向加速度**：現在のおよび最大発生横加速度
- **加速**：現在のおよび最大発生加速度
- **減速**：現在のおよび最大発生減速度

イグニッションをOFFにすると、最大値は自動的にリセットされます。

下部ステータス・エリアの表示を変更する

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 表示 ▸ 下のライン**
2. 希望の表示項目を選択してください：

- **時刻**
- **温度**
- **時間 & 温度**

メイン・メニューを変更する

メイン・メニューの特定の項目を必要に応じて表示する/非表示にすることができます。

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 表示 ▸ メニュー種類**
2. 希望する表示項目を選択してください。

- **オーディオ**
- **ナビ**
- **地図**
- **電話**
- **トリップ**
- **タイヤ空気圧**
- **エナジー・フロー**：カイエンS Eハイブリッド
- **Eパワー・アシスト**：カイエンS Eハイブリッド
- **クロノ**
- 「**ソクド limit**」

インフォメーション

車両および**ACC** メニュー項目は非表示にできません。

マルチファンクション・ディスプレイにPCM情報を一時的に表示する

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 表示 ▸ PCM 表示**
2. 希望するPCM情報を選択してください。

- **Map info（地図情報）**：ナビゲーション情報を利用すると、ナビゲーション地図が自動的に表示されます。
- **Arrow info（矢印情報）**：ナビゲーション情報を利用すると、進行方向を示す矢印が自動的に表示されます。

– **Phone info（電話情報）**：着信/発信電話の情報が表示されます。
– **音声操作**：ボイス・コントロール・ボタンを押すとヘルプ・テキストが表示されます。
– **速度制限**：制限速度が表示されます。

インフォメーション

制限速度表示装備車の場合、**速度制限**メニュー項目は表示されず、制限速度が自動的に表示されます。

オーディオ・メイン・メニューを変更する

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 表示 ▸ オーディオ**
2. 希望の表示項目を選択してください。

– **ラジオ局一覧**：現在受信可能なすべての放送局のリスト

▷ 「ラジオ」(342ページ)を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイの明るさを調節する

1. **車両 ▸ 設定 ▸ ディスプレイ ▸ 明るさ**
2. 希望の明るさを選択してください。

シフトアップインジケーターの表示/非表示を切り替える

ティプトロニックSトランスミッションをマニュアル操作する場合、デジタル・スピードメーターに、経済的な運転を促すためのシフトアップ・インジケーターを表示することができ、経済的な運転に適したシフト・アップのタイミングを知らせます。

▸ **車両 ▸ 設定 ▸ ディスプレイ ▸ シフト・リクエスト**

日付と時刻の設定

事前設定された日付と時刻の表示は、車両のすべてのディスプレイに採用されます。

時刻の設定

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 日付と時刻 ▸ 時刻 ▸ 時間/分**
2. 任意の時刻を設定してください。

タイム・ゾーンの設定

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 日付と時刻 ▸ 時刻 ▸ ゾーン**
2. 任意のタイム・ゾーンを設定してください。

時刻表示の設定

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 日付と時刻 ▸ 時刻 ▸ 形式**
2. 任意の時刻表示形式を選択してください。

– **12h**：12時間表示
– **24h**：24時間表示

GPS信号により自動的に時刻を同期する

▸ **車両 ▸ 設定 ▸ 日付と時刻 ▸ 時刻 ▸ 自動時刻**

機能が有効なときは、時刻はGPS信号と同期されます。

インフォメーション

時刻をGPS信号と同期させるよう設定した場合、日時を手動で設定することはできません。衛星電波の受信状態により、いくつかの設定オプションが一時的に利用できないことがあります。

サマー・タイムの設定

▸ **車両 ▸ 設定 ▸ 日付と時刻 ▸ サマー・タイム**

この機能が有効な場合、時計はサマータイムにかわります。

ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示

▸ **車両 ▸ 設定 ▸ 日付と時刻 ▸ タイム – Chrono**

機能が有効なとき、ダッシュボードのストップウォッチに時刻が表示されます。

日付の設定

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 日付と時刻 ▸ 日付 ▸ 日付**
2. 任意の日付を設定してください。

日付形式の設定

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 日付と時刻 ▸ 日付 ▸ 形式**
2. 希望の日付表示形式を選択してください。

– **DD.MM.YYYY（日.月.西暦年）**
– **MM/DD/YYYY（月/日/西暦年）**
– **YYYY/MM/DD（西暦年/月/日）**

アシスタンス・システムの設定

インフォメーション

設定はイグニッションのON/OFFを切り替えても保存され続けます。

ポルシェ・アクティブ・セーフ(PAS)のON/OFF

✓ アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)装備車

▸ **車両 ▸ 設定 ▸ アシストシステム ▸ アクティブセーフ (PAS) ▸ システム ON**

機能が有効なときは、すべてのポルシェ・アクティブ・セーフ機能がONになります。

すべてのポルシェ・アクティブ・セーフ機能をOFFにすると、マルチファンクション・ディスプレイのステータス・エリアに灰色のシンボルが表示されます。

▷ 「ポルシェ・アクティブ・セーフ (PAS)」(43 ページ）を参照してください。

ポルシェ・アクティブ・セーフ(PAS)のON/OFFを切り替える前の事前警告

✓ アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)装備車

インフォメーション

潜在的および予期警告機能は初期設定ではOFFになっています。緊急警告機能は有効になっており、解除できません。

▸ **車両 ▸ 設定 ▸ アシストシステム ▸ アクティブセーフ (PAS) ▸ 事前警告 ON**

機能が有効なとき、ポルシェ・アクティブ・セーフの潜在的および事前警告機能がONになります。

▷ 「ポルシェ・アクティブ・セーフ (PAS)」(43 ページ）を参照してください。

レーン・チェンジ・アシスト(LCA)のON/OFF

▸ **車両 ▸ 設定 ▸ アシストシステム ▸ LCA ▸ システム ON**

機能が有効なとき、レーン・チェンジ・アシストのインフォメーションおよび警告ステージがONになります。

ドア・ミラーのレーン・チェンジ・アシスト(LCA)の警告表示の明るさを設定する

インフォメーション

警告インジケーター（インフォメーションおよび警告ステージ）は周囲の明るさによって自動的に調節されます。

1. **車両 ▸ 設定 ▸ アシストシステム ▸ LCA ▸ 明るさ**
2. 希望の明るさを選択してください。

– **暗い**
– **中**
– **ライト**

設定作業中に新しく設定する明るさが短時間表示されます。これはインフォメーション・ステージで表示される明るさのレベルです。警告ステージの明るさはインフォメーション・ステージの明るさに基づきます。

▸ インフォメーション・ステージの明るさは、ドア・ミラーを見た際に警告インジケーターの点灯がはっきりと確認でき、まっすぐ前方を見ているときには気を取られないように設定してください。

▷ 「レーン・チェンジ・アシスト (LCA)」（358 ページ）を参照してください。

トレーラー運転時に速度制限表示のON/OFFを切り替えます

1. **車両 ▸ 設定 ▸ アシストシステム ▸ 速度制限 ▸ トレーラー・モード**
2. 希望の項目を選択してください。

– トレーラーをけん引して**いない**場合、制限速度の表示を **OFF にします**。この設定は、バイク・ラックなどを装着した車両に使用できます。
– **自動**:トレーラーを検出すると(トレーラー・ヒッチおよびトレーラー・コネクター接続状態)、**レーラーけん引用**の制限速度が表示されます。

インフォメーション

トレーラーをけん引している車両の最高制限速度は80km/hです。
ポルシェ以外のサプライヤーのトレーラー・ヒッチを後付けした車両では、トレーラーまたはキャンピング・カーけん引用の制限速度は表示できません。

車線逸脱警告–システムの設定

インフォメーション

警告タイミングは、気づかないうちに車線を逸脱していることをドライバーに警告するタイミングです。

1. **車両 ▸ 設定 ▸ アシストシステム ▸ LDW ▸ 警告タイミング**
2. 希望のオプション選択してください。

– **遅**
– **中**
– **早**

車線を逸脱しているときの警告音量の調整

1. **車両 ▸ 設定 ▸ アシストシステム ▸ LDW ▸ 警告トーン音量**
2. 希望のオプション選択してください。

– **高**
– **中**
– **低**

ライト、フロント・ワイパー、ミラーの調整

ウェルカム・ホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整

1. **車両 ▸ 設定 ▸ ライトと視界 ▸ エクステリアライト ▸ 消灯遅延**
2. 任意の遅延消灯を設定してください。

▷ 「オートマチック・カミング・ホーム・ライトをONにする」(328ページ)を参照してください。

左側/右側通行でヘッドライトを切り替える

✓ ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム (PDLS) またはポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス(PDLSプラス)装備車両
✓ 停車しているとき

1. **車両 ▸ 設定 ▸ ライトと視界 ▸ エクステリアライト ▸ 左/右側通行**
2. 希望の項目を選択してください。

– **標準**:ヘッドライトが左ハンドル車では右側通行、右ハンドル車では左側通行に最適な位置になります。
– **反転**:ヘッドライトが左ハンドル車では左側通行、右ハンドル車では右側通行に最適な位置になります。

インフォメーション

ヘッドライトの位置を**反転**に設定すると、イグニッションまたはロー・ビームを ON にするたびに、マルチファンクション・ディスプレイにライトが反転されたことを示すメッセージが表示されます。

ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止

✓ ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス(PDLS Plus)装備車

▸ **車両 ▸ 設定 ▸ ライトと視界 ▸ エクステリアライト ▸ ダイナミック・ハイ・ビーム**

機能が有効なとき、ダイナミック・ハイ・ビームを使用することができます。
▷ 「ダイナミック・ハイ・ビーム」(329ページ)を参照してください。

オリエンテーション・ライトの明るさを調節する

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **ライトと視界** ▸ **インテリアライト** ▸ **アンビエンド・ライト**
2. 希望の明るさを選択してください。

インテリア・ライトの遅延消灯モードを設定する

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **ライトと視界** ▸ **インテリアライト** ▸ **遅延消灯**
2. 任意の遅延消灯を設定してください。

リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **ライトと視界** ▸ **ワイパー** ▸ **リアワイパー**
2. 希望の項目を選択してください。

- **Automatically（自動）**：雨天時にリバース・ギヤを選択すると、リヤ・ワイパーが自動的に作動します。
- **Manually（手動）**：リバース（後退）ギヤを選択しても、リヤ・ワイパーが自動的に作動しません。

リバース・ギヤ選択時に助手席ドア・ミラーを下向きにする

✓ メモリ・パッケージまたはコンフォート・メモリ・パッケージを装備した車両。

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **ライトと視界** ▸ **後退オプション** ▸ **ミラー下向き**

機能が有効なとき、リバース・ギヤが締結すると助手席側のドア・ミラーが下向きになります。

マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更

マルチファンクション・ステアリング・ホイールのMFSボタンに、マルチファンクション・ディスプレイ、任意のPCMの機能または一般的な車両機能を個別に割り当てることができます。

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **ハンドル操作** ▸ **マルチファンクション・ボタン** ▸ **PCM 機能**または**組み合わせ機能**または**車両機能**
2. 希望のオプション選択してください。

PCM機能：

- **オーディオ**：オーディオを切り替えます。
- **音声操作**：ボイス・コントロールを有効にします。
- **音声案内繰返**：ナビゲーションの音声案内を繰り返します。
- **放送局/曲<**：前の放送局または曲を選択します。
- **放送局/曲>**：次の放送局または曲を選択します。
- **地図**：PCM にナビゲーション地図を表示します。
- **Menu change（メニュー変更）**：メイン・メニュー・エリアを変更します。
- **Surround View（サラウンド・ビュー）** PCMのサラウンド・ビュー表示

組み合わせ機能：

- **計時開始/停止**：計時を開始または停止します。
- **車両メニュー**：車両メニューを表示します。
- **トリップメニュー**：トリップ・メニューを表示します。
- **RDKメニュー**：TPMメニューを表示します。
- **クロノメニュー**：スポーツ・クロノ・メニューを表示します。
- **ACCメニュ**：ACCメニューを表示します。
- **オーディオ設定**：オーディオ・メニューを表示します。
- **エナジー・フロー**：エナジー・フロー・メニューを表示します
- **E パワー・アシスト**：E パワー・アシスト・メニューを表示します。
- **電話メニュー**：電話メニューを表示します。
- **ナビメニュー**：ナビゲーション・メニューを表示します。
- **地図メニュー**：マルチファンクション・ディスプレイにナビゲーション地図を表示します。
- **速度制限**：交通標識を表示します。

車両機能：

- **スタート/ストップ**：オート・スタート/ストップ機能のON/OFFを切り替えます。
- **スポーツ**：スポーツ・モードのON/OFF
- **スポーツプラス**：スポーツ・プラス・モードON/OFFの切り替え
- **スポーツ・エキゾースト**：スポーツ・エキゾースト・システムのON/OFF
- **車線逸脱警告システム**：車線逸脱警告システムのON/OFF
- **Eパワー**：Eパワー・モード（電気走行）ON/OFFの切り替え
- **Eチャージ**：走行中の高電圧バッテリー充電ON/OFFの切り替え

ダッシュボードのコンパス・ディスプレイを設定する

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **コンパス** ▸ **空白行**

機能が有効なとき、ダッシュボードのコンパス表示がOFFになります。

警告音量およびパーキング・アシスタントの調節

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **音量** ▸ **パーキング・アシスト**
   または
   車両 ▸ **設定** ▸ **警告トーン**
2. 希望のオプション選択してください。

– **高**
– **中**
– **低**

ドア・ロック機能を設定する

ドアのロック解除機能の設定

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **ロック** ▸ **ロック解除**
2. 希望の項目を選択してください。

– **すべてのドア**：車両のロックを解除すると、すべてのドアとリヤ・リッドのロックが解除されます。
– **運転席ドア**：車両のロックを解除すると、運転席ドアとリヤ・リッドのロックが解除されます。

ドアのロック機能の設定

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **ロック** ▸ **ドア・ロック**
2. 希望のオプション選択してください。

– **OFF**：乗車後にドアは自動でロックされません。
– **After ign. on（イグニッションONの後）**：イグニッションをと、ドアが自動的にロックされます。
– **After drive-off（発進後）**：車両を発進させると、ドアが自動的にロックされます。

イージー・エントリーのON/OFF

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **ロック** ▸ **イージーエントリー**

機能を有効にすると、運転者の乗降性を高めるために運転席シートとステアリング・ホイールを自動的に遠ざけることができます。

オート・メモリーのON/OFF

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **ロック** ▸ **オートメモリ**

この機能が有効な場合、車両をロックしたときにパーソナル設定が自動的にキーに保存されます。

▷ 「パーソナル設定の保存と呼び出し」（238ページ）を参照してください。

エアコン設定

送風の強さと送風量を調節する

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **エアコン** ▸ **風量**
2. 希望の項目を選択してください。

– **Soft（弱）**：エア・ベントからの送風が和らぎます。空気の流れに敏感な乗員に適しています。
– **ノーマル**：標準の設定です。
– **Strong（強）**：車内への送風が強くなります。風の流れをはっきりと感じられるようになります。

間接ベンチレーション・パネルのON/OFF

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **エアコン** ▸ **換気フィールド**

機能を有効にすると、ダッシュボード上部のベント・パネルのスイッチがONになります。

内気循環モードのON/OFF

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **エアコン** ▸ **自動内気循環**

機能を有効にすると、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。

乗車タイマーのプログラミング

出発タイマーが作動中のとき、プログラミングした時間までに十分な時間があり場合、高電圧バッテリーがプログラミングされた時間までに完全に充電されます。
各出発タイマーは 1 回（**シングルタイマー**）または定期的（**ハンプクタイマー**）のいずれかに設定可能です。また、車内温度を選択した時間までにあらかじめ調節できます（冷房/暖房）。

✓ 出発時間は未来に設定されます。
✓ 車両プラグが挿入されています。

インフォメーション

公共の充電ステーションがこれらの要件を満たしていない場合は、乗車タイマーをプログラミングしても充電プロセスを開始できません。

シングル・タイマーのプログラミング

1. **車両** ▸ **出発タイマー** ▸ **出発タイマー 1**、**出発タイマー 2**、または**出発タイマー 3** を選択してください。
2. **シングルタイマー**を選択してください。
3. 希望する時刻と日付を選択してください。プログラムされた日時は、**出発タイマー 1**、**出発タイマー 2**、または**出発タイマー 3** メニューに表示されます。

ハンプク・タイマーの曜日のプログラミング

1. **車両** ▸ **出発タイマー** ▸ **出発タイマー 1**、**出発タイマー 2**、または**出発タイマー 3** を選択してください。
2. **ハンプクタイマー**を選択してください。
3. 特定の曜日 (**月曜日**)、または複数の曜日 (**月曜日**および**日曜日**など) を選択してください。

ハンプク・タイマーの時間のプログラミング

1. **車両** ▸ **出発タイマー** ▸ **出発タイマー 1**、**出発タイマー 2**、または**出発タイマー 3** を選択してください。
2. **時刻**を選択してください。
3. 希望する時刻を選択してください。プログラムされた日時は、**出発タイマー 1**、**出発タイマー 2**、または**出発タイマー 3** メニューに表示されます。

乗車タイマーの作動/解除

プログラムされた出発タイマーは、作動することも停止することもできます。

1. **車両** ▸ **出発タイマー** ▸ **出発タイマー 1**、**出発タイマー 2**、または**出発タイマー 3** を選択してください。
2. **有効にする**を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   - ☑ 乗車タイマーが作動します。
   - ☐ 乗車タイマーを解除します。

インフォメーション

作動中の出発タイマーの表示：

– **出発タイマー**メニューのプログラムされたタイマーの前にチェックマークが表示されます。

– 車両プラグが挿入されていれば、充電タイマー・ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  充電タイマー機能に関するインフォメーション：

▷ 「充電タイマー機能の作動 / 解除」（149 ページ）を参照してください。

– 車両プラグが挿入されているとき、マルチファンクション・ディスプレイとPCMの上部ステータス・エリアにタイマー・シンボルが表示されます。
  上部ステータス・エリアに関するインフォメーション：

▷ 「上部のステータス・エリアの表示を変更する」（309ページ）を参照してください。

タイマーにより制御されるパーキング・プレエアコンの作動/解除

出発タイマーがプログラムされているとき、車内温度は選択された出発タイマーによって予冷/暖房することもできます。

1. **車両** ▸ **出発タイマー** ▸ **出発タイマー 1**、**出発タイマー 2**、または**出発タイマー 3** を選択してください。
2. **Precool / Heat**を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   - ☑ パーキング・プレエアコンが作動します。
   - ☐ パーキング・プレエアコンを解除します。

インフォメーション

– 車両停止時の設定に関係なく、風量、エア配分および温度設定を自動で調節することができます。エアコンの設定はパーキング・プレエアコン作動中に考慮されます。

– 選択されたエアコン設定は、プログラムされた時間の最大10分後まで維持されます。

Precool/heat timer機能の作動/解除

Precool/heat timerメニューでは、乗車タイマーを使用して選択した時間までに車両プラグが挿入されていなくても事前に冷房/暖房できます。
各タイマーは 1 回 (**シングルタイマー**) または定期的 (**ハンプクタイマー**) のいずれかに設定可能です。

インフォメーション

プログラムする乗車時間は未来時刻になるようにしてください。

シングル・タイマーのプログラミング

1. **車両** ▸ **Precool/heat タイマー** ▸ **タイマー**
2. **シングルタイマー**を選択してください。
3. 希望する時刻と日付を選択してください。プログラムされた日時は、**タイマー**メニューに表示されます。

ハンプク・タイマーの曜日のプログラミング

1. **車両** ▸ **Precool/heat タイマー** ▸ **タイマー**
2. **ハンプクタイマー**を選択してください。
3. 特定の曜日 (**月曜日**)、または複数の曜日 (**月曜日**および**日曜日**など) を選択してください。

ハンプク・タイマーの時間のプログラミング

✓ 高電圧バッテリーは十分に充電されています（最低15%)。

1. **車両** ▸ **Precool/heat** ▸ **タイマー** ▸ **ハンプクタイマー**
2. **時刻**を選択してください。
3. 希望する時刻を選択してください。プログラムされた時間は、**タイマー**メニューに表示されます。

インフォメーション

選択されたエアコン設定は、プログラムされた時間の最大10分後まで維持されます。

パーキング・プレエアコンの作動/解除

駐車場プレエアコン・システムは、内燃エンジンが作動していない状態でも、車室内を暖めたり冷したりすることができます。

✓ 高電圧バッテリーは十分に充電されています(最低15 %)。

1. **車両** ▸ **Maintain temp.**
2. 選択を決定してください。
   - ☑ パーキング・プレエアコンが作動します。
   - ☐ パーキング・プレエアコンを解除します。

駐車場プレエアコンのスイッチがONになっているとき、マルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライト が点灯します。車両が走行可能状態で (指針位置**READY**)、停車している場合、パーキング・プレエアコンは最大 30 分後に OFF になります。パーキング・プレエアコンが OFF になった後、「**Maintain temp.**」メニューを選択して再度作動させなければなりません。

インフォメーション

- 車両停止時の設定に関係なく、風量、エア配分および温度設定を自動で調節することができます。エアコンの設定はパーキング・プレエアコン作動中に考慮されます。
- 駐車場プレエアコンをONにすると、使用可能な電動走行距離は短くなります。

単位の設定

スピードメーターおよびコンパスの単位設定

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **単位** ▸ **スピードメーター**
2. 希望のオプション選択してください。

- **km / km/h**
- **マイル / mph**

インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。
- 積算距離計/トリップ・メーター
- デジタル・スピードメーター
- マルチファンクション・ディスプレイ
- ダッシュボードのコンパス

温度計の単位の設定

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **単位** ▸ **温度**
2. 希望の項目を選択してください。

- **°C**
- **°F**

インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイの単位が調整されます。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの表示単位の設定

1. 車両 ▸ 設定 ▸ 単位 ▸ タイヤ空気圧
2. 希望のオプション選択してください。

– bar
– psi

インフォメーション
マルチファンクション・ディスプレイの単位が調整されます。

ブースト圧計（過給圧計）の単位の設定

Cayenne S、Cayenne GTS、Cayenne TurboおよびCayenne Turbo Sではブースト圧計（過給圧計）の単位を設定することができます。

1. 車両 ▸ 設定 ▸ 単位 ▸ チャージ圧力
2. 希望のオプション選択してください。

– bar
– psi

インフォメーション
マルチファンクション・ディスプレイの単位が調整されます。

平均燃費の表示単位の設定

1. 車両 ▸ 設定 ▸ 単位 ▸ 消費量
2. 希望の項目を選択してください。

– l/100km
– mpg（米国）
– mpg（英国）
– km/L

インフォメーション
マルチファンクション・ディスプレイの単位が調整されます。

電力燃費ディスプレイの単位の設定

1. 車両 ▸ 設定 ▸ 単位 ▸ 燃料-消費量
2. 希望のオプション選択してください。

– kWh/100 km
– kWh/100 mi
– km/kWh
– mi/kWh

インフォメーション
マルチファンクション・ディスプレイの単位が調整されます。

言語設定

1. 車両 ▸ 設定 ▸ 言語
2. 任意の言語を選択してください。

インフォメーション
マルチファンクション・ディスプレイの言語が調整されます。

工場出荷時の設定に戻す

インフォメーション
工場出荷時の設定に戻すと、マルチファンクション・ディスプレイで選択した**すべての**設定が消去されます。

▸ 車両 ▸ 設定 ▸ リセット ▸ 工場設定 ▸ はい

ミラー

ドア・ミラーの使用

後方視野を広くするため、助手席ドア・ミラーは凸面形、運転席ドア・ミラーは非球面形になっています。

⚠ 警告

ドア・ミラーに映る周囲の様子は、実際の大きさより小さく、距離が離れているように見えます

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。

- 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、歪みを念頭に置いてください。
- 距離の判断はルーム・ミラーと併用して行ってください。

⚠ 注意

自動防眩ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出すことがあります

ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出す恐れがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

- 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
- 必要に応じて医師の診察を受けてください。

知識

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

知識

洗車機で洗車を行う場合にドア・ミラーを損傷する恐れがあります。

- 洗車機を使用する前にドア・ミラーを格納してください。

図255: ドア・ミラーの操作

A ドア・ミラーの選択 – 運転席側
B ドア・ミラーの選択 – 助手席側
C ドア・ミラーの調節
D ドア・ミラーの格納/復帰

ドア・ミラーの調節

図256: ドア・ミラーの調節

✓ イグニッションがONのとき
または
✓ イグニッションをOFFにして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態（最大10分以内）

1. 運転席側は選択ボタン **A** を、助手席側は選択ボタン **B** を押してください。
   選択したボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 調節ボタン**C**を操作して、ドア・ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

電動調節機能が故障した場合

- ミラー表面を手で押して角度を調節してください。

ドア・ミラーの格納/復帰

車内からのドア・ミラーの格納/展開

✓ 速度が50km/h 以下のとき

▸ ボタン **D** を押してください (図255ページ319)。
両方のドア・ミラーが格納または復帰します。

電動格納機能が故障した場合

▸ ドア・ミラーを手で格納または展開してください。

車外からのドア・ミラーの格納/復帰

車両をロックするときに、ドア・ミラーを自動的に格納することができます。

▸ キーの 🔒 ボタンを少なくとも1秒間押し続けてください。
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車：運転席側のドア・ハンドルのボタンを 1 秒以上押してください。
ドア・ミラーが格納されます。

ドア・ミラーの自動復帰

▸ イグニッションをONにしてください。
ドア・ミラーが自動的に復帰します。

i インフォメーション

ボタン**D**を押して手動でドア・ミラーを格納した場合は、イグニッションをONにした後、自動的に元の位置に復帰しません（図255ページ319)。

ドア・ミラー設定の保存

ドア・ミラー設定の保存と呼び出しに関するインフォメーション：

▷ 「パーソナル設定」(237ページ) を参照してください。

ドア・ミラーの自動防眩機能のON/OFF

ルーム・ミラーの自動防眩機能の切り替えに合わせて、ドア・ミラーの防眩機能が作動します。

▷ 「ルーム・ミラーの自動防眩機能のON/OFF」(321ページ) を参照してください。

駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動切り替え

運転席メモリーまたはコンフォート・メモリー装備車は、リバース（後退）ギヤを選択すると、**助手席ドア・ミラー**が自動的に下向きになり、助手席側の車両後方下部にある障害物を視認しやすくなります。

図257: 駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動切り替え

ドア・ミラーを自動で下向きにする

✓ イグニッションがONのとき

✓ 機能が作動している

▷ 「リバース・ギヤ選択時に助手席ドア・ミラーを下向きにする」(314ページ) を参照してください。

ドア・ミラーを手動で下向きにする

1. ギヤをリバース（後退）に入れてください。
運転席ドア・ミラーを調節するためのボタン **A** のインジケーター・ライトが点灯します。
2. 助手席ドア・ミラーを調節するためのボタン**B**を押してください。
助手席のドア・ミラーが下向きになります。

ドア・ミラーの下向き角度の個別調整：

▸ 調節ボタン **C** を操作して、ドア・ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

運転席メモリーまたはコンフォート・メモリー装備車は、この設定をキーや運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

▷ 「パーソナル設定」(237ページ) を参照してください。

ドア・ミラーを通常位置に戻す

次の条件の1つが満たされれば、ミラー・ガラスはその最初のポジションに戻ります:

– リバース（後退）以外のギヤを選択してから一定時間が経過した後、

– 車両が15km/h (9mph)以上になったとき

手動操作で助手席のドア・ミラーを通常位置に戻す：

▸ 運転席ドア・ミラーのボタン**A**を押してください。

ルーム・ミラーの自動防眩機能のON/OFF

図258: ルーム・ミラーの自動防眩機能

A インジケーター・ライト
B 自動防眩機能のボタン
C ライト・センサー

自動防眩機能をONにする

- ボタン**B**を押してください。
  インジケーター・ライト**A**が点灯します。
  光の強さに応じて防眩機能が自動的に作動し、ルーム・ミラーが暗くなったり、明るくなったりします。

インフォメーション

リバース・ギヤに入れた場合、**または**インテリア・ライトが点灯している場合は、ルーム・ミラーの自動防眩機能は作動しません。

自動防眩機能をOFFにする

- ボタン**B**を押します
  インジケーター・ライト**A**が消灯します。

インフォメーション

照度センサー**C**の検知エリアに当たる光を妨げないでください（リヤ・ウィンドウにステッカーを貼り付ける、後方視界を妨げるほど多くの荷物をラゲッジ・コンパートメントまたはラゲッジ・コンパートメント・カバーに積むなど）。同様に、フロント・ウィンドウを通ってフロント照度センサーに当たる光をステッカー等で妨げないようにしてください。

1 - 明るさ調整ノブ
2 - 電源ボタン

サイドビュー・モニター付きルーム・ミラー

サイドビュー・モニターは、助手席の死角を補うための補助的な装備です。助手席側ドア・ミラー・カバーにはTFT液晶を使ったディスプレイが組み込まれています。電源をONにすると、カメラの映像をルーム・ミラーで見ることができます。

⚠ 注意 サイドビュー・モニターは視野を完全に補うものではありません

サイドビュー・モニターはドライバーの死角を補うための補助的な装備であり、その視野を完全に補うものではありません。サイドビュー・モニターが装備されていても、直接目視するなど安全確認を怠らないでください。

▷ サイドビュー・モニターはドライバーの注意力を補うものではありません。サイドビュー・モニターを装備していても、車両の周囲の安全を常に確認することは運転者の責務です。

▷ 特にルーム・ミラーの映像が見えにくいときや、映像で識別できない物体があるときは、周囲の安全を必ず目視で確認してください。細い電柱や杭など、障害物の形状によっては解像度が不足して映像が鮮明に表示されなかったり、まったく表示されないこともあります。状況によっては車両から降りて、周囲の人や物に危険を及ぼす恐れがないか確認してください。

▷ サイドビュー・モニターは高感度で、夜間など周囲の明るさが不足しているときでも使用できますが、照明などがない暗闇では映像が見にくくなります。必要に応じて目視で安全を確認してください。

▷ システムの特性上、ルーム・ミラーには2次元の平面画像を表示します。したがって立体的な障害物や奥行きがある突起物などは実際の形状と異なって見えたり、映像に映らないことがあります。

▷ 走行中は、サイドビュー・モニターの明るさ調節や電源のON/OFFを行わないでください。注意力が散漫になって事故を起こす恐れがあります。

▷ サイドビュー・モニターが故障した状態で運転するときは、周囲の安全に特に気を使ってください。またカメラの映像に異常を感じたときは使用しないでください。

▷ サイドビュー・モニターが故障したときや、障害物との接触などでカメラの取り付け状態に異常があるときは直ちに修理してください。ポルシェ車に関する全ての整備点検は、ポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

⚠ 注意 サイドビュー・モニターを損傷する恐れがあります

▷ 高圧洗車装置などを使用するときは、高圧の水をカメラに直接かけないでください。

▷ レンズの汚れにより画像が曇ったときは、湿らせた布でレンズの表面を丁寧に拭き取ってください。洗浄剤や溶剤、研磨剤入りのクリーナーなどは使用しないでください。レンズ表面の耐水コーティングが剥がれる恐れがあります。

▷ 温水や熱水をカメラにかけないでください。レンズに亀裂が入る恐れがあります。

メディア

概要

この概要説明は「メディア」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション管理(PCM)の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作」（284ページ）を参照してください。

図259: メディア・ソース、iPod®など

図260: メディア・ソース、USBなど

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
メディア・ソースから音楽やビデオ・ファイルを再生する	▸ CD/DVDを挿入してください。 ▸ メディアの内容をジュークボックス（内部メモリ）にインポートしてください。 ▸ SDカードを挿入してください。 ▸ 外部機器をUSBまたはAUX経由で接続してください。 ▸ 外部デバイスをBluetooth®経由で接続してください。	289 326 289 290 290
メディア・ソースを選択する	▸ SOURCE ボタン▸ 希望のメディア・ソースを選択します。 **または** ▸ MEDIA ボタンを繰り返し押してください。	324
音楽を再生/一時停止する	▸ MEDIA ボタン▸ **プレーヤー** ▸ ▶ または ⏸ を選択してください (**A** を参照)。	324
再生中、前/後ろへジャンプする	▸ MEDIA ボタン▸ **プレーヤー** ▸ ⏮ または ⏭ を選択してください (**B** を参照)。	324
メディア・ライブラリーを検索する	▸ MEDIA ボタン▸ **検索** (**C** を参照) または **閲覧** (**D** を参照) を選択してください。	325
プレイリストを開く	▸ MEDIA ボタン▸ **プレイリスト** ★ (**E** を参照) を選択してください。	325
類似の音楽を聴く	▸ MEDIA ボタン▸ OPT ボタン▸ **More Like This (類似の音楽)**を選択してください。	325
オーディオ/ビデオ・ファイルをジュークボックスにインポートする	▸ MEDIA ボタン▸ OPT ボタン▸ **Jukebox へインポート**を選択してください。	326

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A–Z

メディア・ソースの挿入/接続

▷ 「CD/DVDドライブにロードする」（289ページ）を参照してください。

▷ 「SDカードを挿入する」（289ページ）を参照してください。

▷ 「外部機器の接続」（290ページ）を参照してください。

メディア・ソースの選択

▶ SOURCE ボタンを押し、希望のメディア・ソースを選択してください。

または

▶ 希望のメディア・ソースが選択されるまで、MEDIA ボタンを押します。

または

1. ヘッドラインに表示されたメディア・ソースを押してください。
   選択可能なソースが表示されます。
2. メディア・ソースを選択してください。

メディアの再生

メディア機能を使用して再生するには、オーディオおよびビデオ・フォーマットが特定の要件を満たしている必要があります。サポートされているメディアとファイル形式の詳細について：

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)」（389ページ）を参照してください。

図261: 音楽の再生

図262: ビデオの再生

機能	ボタン
メディアを再生する	▶
メディアを一時停止する	⏸
次のトラック/チャプターへ進む	⏭
前のトラック/チャプターに戻る	⏮
音楽をランダムに再生する	🔀
カバーフロー・ビューを表示する	
ビデオをフルスクリーン・モードで表示する	
カバーフロー・ビューまたは用意されたビデオ・ソースを開く	
ビデオ・メイン・メニューに戻る	

音楽を再生する

✓ オーディオ・ソースが選択されている

1. MEDIA ボタン▸ **プレーヤー**
2. カバーフロー・ビュー **A**（図261）で、希望のアルバムが中央に拡大表示されるまで左または右にスワイプしてください。
   または
   アルバムを再生するには、▶ を選択してください。
   または
   ロータリー・プッシュ・ボタンを押してください。
   または
   アルバムおよび希望の楽曲を選択してください。
   オーディオ・ソースを選択すると、メディアの最初の曲が自動的に再生されます。ジュークボックスを使用する場合は、最近再生された曲が再生されます。

次の/前のトラックの頭出しをする

✓ メディア・ソースが選択されている

▶ 前にスキップするには、⏮ を選択するか、⏮ ボタンを押します。
トラックの再生が始まった直後であれば、前のトラックの先頭に戻ります。トラックの再生が始まって3秒以上経過していれば、再生中のトラックの先頭に戻ります。

▶ 次にスキップするには、⏭ を選択するか、⏭ ボタンを押します。

早送り/早戻し

✓ メディア・ソースが選択されている

▸ 希望のポジションに達するまで、⏮/⏭または |◁/▷| ボタンを押し続けてください。
または
タイム・バーを希望の位置までスライドさせてください。

ランダム再生のON/OFF

✓ メディア・ソースが選択されている

▸ ⤮を選択してください。
ランダム再生がONになります。

▸ ランダム再生をOFFにするには、もう一度ボタンを押してください。

類似の音楽を表示する

1. OPTボタンを押してください。
2. **More Like This (類似した音楽)**を選択してください。

曲を繰り返し再生する

✓ メディア・ソースが選択されている
✓ アルバムまたはプレイリストが選択されている

1. OPTボタンを押してください。
2. **タイトルをリピート**を選択してください。
ヘッドラインに**リピート・モード**が表示されます。

▸ リピート・モードを OFF にするには、OPTボタンを押して**リピート OFF**を選択してください。

ビデオの再生

✓ ビデオ・ソースが選択されている

▸ ▶を選択してください。
または
希望するビデオを選択してください。
または
🎬 と希望のチャプターを選択してください。

▸ ビデオ・メイン・メニューに戻るには、☰を選択します。

マルチファンクション・ディスプレイを使用して、有効なオーディオ・ソースからトラックを選択する

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：
▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」（299ページ）を参照してください。

1. **オーディオ**メニューを選択してください。
2. 有効なオーディオ・ソース（ディスクなど）からトラックを選択してください。

メディア・ソースの検索

トラックまたはビデオを検索する

✓ メディア・ソースが選択されている

1. **検索** 🔍を選択してください。
2. **検索**を選択し、テキスト検索フィールドに希望のトラックを入力してください。
または
検索に使用するカテゴリー (**ジャンル**、**アーティスト**、**アルバム**、**トラック**、**ビデオ**) を選択してください。
3. 希望のトラックを選択してください。

メディアの閲覧

✓ メディア・ソースが選択されている

1. **ブラウズ** 🎵を選択してください。
2. 希望のフォルダーおよびメディア・トラックを選択してください。

▸ フォルダー構成に戻るには、ヘッドラインにある希望のメディア・フォルダーを選択してください。

プレイリストを開く

選択したメディア・ソースに応じて、追加のプレイリストを使用してメディアを再生できます。

プレイリストを開く

✓ オーディオ・ソースが選択されている

1. **プレイリスト**★を選択してください。
2. 希望のオプション選択してください。

– **現在の再生リスト**：選択したソースのフォルダー構成またはトラック/チャプター・リストが表示されます。
– **最近再生された曲**
– **再生回数が多い曲**
– 星評価を含むトラック

ジュークボックスのオーディオ / ビデオ・ファイルのインポートおよび削除

USBフラッシュ・ドライブまたはSDカードのオーディオおよびビデオ・ファイルをジュークボックスにインポートすることができます。

現在のトラックまたはアルバム

✓ ジュークボックスにコピーするトラックまたはアルバムが含まれるメディア・ソースを選択している
✓ 希望のトラックまたはアルバムが選択されている

1. OPT ボタン▸ **Jukebox へインポート**
2. **現在のトラックをコピー**または**現在のアルバムをコピー**を選択してください。
   トラックまたはアルバムがインポートされます。

フォルダーまたはファイル

✓ メディア・ソースが選択されている

1. OPT ボタン▸ **Jukebox へインポート**
2. **ファイル / フォルダをコピー**を選択してください。
   使用可能なすべてのフォルダーおよびファイルが表示されます。
3. **選択/選択解除**により、希望のファイルまたはフォルダーを選択してください。
4. メディアのインポートを開始するには、**コピー**を選択してください。

ジュークボックスからメディア・コンテンツを削除する

✓ ジュークボックスがメディア・ソースとして選択されている

1. MEDIA ボタン▸ OPT ボタン▸ **Jukebox 設定**
2. 希望のオプション選択してください。

– **現在のトラックを消去**
– **現在のアルバムを消去**
– **ファイル / フォルダを消去：選択/選択解除**によりファイルまたはフォルダーを選択し、**消去**を押して決定してください。

記憶容量（空き領域/使用領域）を表示する

✓ ジュークボックスがメディア・ソースとして選択されている

1. MEDIA ボタン▸ OPT ボタン▸ **Jukebox 設定**
2. **ソースの詳細**を選択してください。

設定の変更

全般的なメディア設定

1. MEDIA ボタン▸ OPT ボタン▸ **SET MEDIA**
2. 希望のオプション選択してください。

– **Apple CarPlay：**USBで接続されたスマートフォンを管理します。
– **AUX：**ユニバーサル・オーディオ・インターフェイス(AUX)のONとOFFを切り替えます。
– **Bluetooth オーディオ：**Bluetooth® 接続のONとOFFを切り替えます。
– **Gracenote Online：**機能が作動しており、データ接続が有効な場合、グレースノート® オンラインから、アルバム・カバーがダウンロードできます。
– **Bluetooth：**Bluetooth® 機能とデバイスを管理します。
  ▷ 「Bluetooth®デバイスの削除、またはBluetooth®インフォメーションの表示」（199ページ）を参照してください。

ビデオの設定

✓ ビデオ・ファイルを含むDVDが挿入されている

1. MEDIA ボタン▸ OPT ボタン▸ **DVD 設定**
2. 希望のオプション選択してください。

– **画面比率**：アスペクト比を設定します。
– **音声トラック**：サウンドトラックおよび音質を設定します。
– **字幕**：機能を有効化すると、字幕が表示されます（利用可能な場合）。
– **チャイルド・ロック**：番組の再生を制限するには、パスワードを入力し、**OK** を選択して確定してください（デフォルトのパスワード：1234）。
  – **ディスクのセーフティーレベル**：セーフティ・レベルを選択してください。セーフティ・レベル5が選択されている場合、セーフティ・レベル1～5のすべてのDVDが再生されます。より高いセーフティ・レベルのDVDの再生はブロックされます。セーフティ・レベルが必要ない場合は、**レベル0** を選択してください。
  – **パスコードを変更**：チャイルド・ロック用に新しいパスワードを入力できます。

i インフォメーション

– 挿入されているDVDによって、チャイルド・ロックを作動/停止にできます。
– チャイルド・ロックのパスワードを間違って3回入力した場合:

▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ライト

ライト・スイッチの設定

図263: ライト・スイッチ

ライト・スイッチ

OFF **ライトの消灯**

AUTO **オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタント**

車幅灯
ライセンス・ライト、インストルメント・ライトおよび車幅灯がONになります。

ロー・ビーム/ドライビング・ライト
イグニッションがON場合のみ作動。フォグ・ライト、モーターウェイ・ライトおよびダイナミック・ハイ・ビームが非作動となります。

フォグ・ライト
スイッチをロー・ビームまたはパーキング・ライトの位置で1段階引いてください。インジケーター・ライトが点灯します。

リヤ・フォグ・ライト
スイッチをロー・ビームまたは車幅灯の位置で2段階引いてください。インジケーター・ライトが点灯します。

インフォメーション
灯火類が点灯した状態でキーを抜いてドアを開くと、警告音が鳴り、バッテリー上がりを防止します。
各国の法律等により異なる場合があります。

ロー・ビーム/ドライビング・ライト＊

ライト・スイッチを**AUTO**の位置にすると、次の状況でヘッドライト・ロー・ビームが自動的に点灯します：
- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時
- 高速道における走行（ポルシェ・ダイナミック・ライト・システムPDLSおよびPDLSプラス装備車）

ロー・ビームの点灯時には、スピードメーター内のインジケーター・ライトが点灯します。

インフォメーション
オートマチック・ヘッドライトは、霧を感知することができません。
▸ 霧が発生したときは、手動でドライビング・ライトを点灯させてください。

日中の高速道路走行時の作動

ドライビング・ライトは、明るい条件下では約140 km/h（90 mph）以上の速度でスイッチがONになります。その後、周囲の明るさに応じて、速度が約 65km/h 以下になると約 4 分後にドライビング・ライトが消灯します。

雨天時の作動

ワイパーを連続作動に切り替えてから5秒が経過すると、ドライビング・ライトが自動的に点灯します。
約4分間ワイパーが使用されていなかった場合、周囲が十分明るければドライビング・ライトはOFFになります。

オート・ドライビング・ライト・アシスタント

この車両のドライビング・ライト（ロー・ビーム）は、周囲の明るさに応じて自動的に点灯/消灯します。
オートマチック・ヘッドライト機能はオートマチック・カミングホーム・ライトおよびダイナミック・コーナリング・ライト（装備仕様による）の作動を制御します。
オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタントを有効にするには：
▸ ライト・スイッチを**AUTO**の位置に回してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

なおドライビング・ライト・アシスタントを作動させているときも、法律等を遵守し、ライト・スイッチの手動操作によってドライビング・ライトを点灯/消灯することは運転者の責務です。

ドライビング・ライト・アシスタント機能によるヘッドライトの点灯は、運転者を支援するためのものであり、ドライビング・ライトの操作は運転者が正しく行わなければなりません。

⚠ 警告 無灯火での走行

ライトを点灯しないで走行すると、ドライバーの視界を大きく制限するのみでなく、他のドライバーに対する視認性を大きく妨げることになります。

▶ オートマチック・ドライビング・ライトの作動状況を常に監視してください。

オートマチック・カミング・ホーム・ライトをONにする

▶ ライト・スイッチをAUTOにしてください。

一定時間、次のライトが点灯したままになり、車両に乗降するときの足元を明るく照らして安全性を高めます：

– カミング・ホーム・ライト
– 展開されているドア・ミラーのカーテシー・ライト（コンフォート・メモリーおよび格納ドア・ミラー装備車）
– フロントおよびリヤのポジション・ライト
– ライセンス・ライト

ウェルカム・ホーム機能（遅延消灯）

車両をロックすると、マルチファンクション・ディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、ライトが点灯したままになり、遅延消灯時間が経過すると自動的に消灯します。

エクステリア・ライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション：

▷ 「ウェルカム・ホーム／エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」（313ページ）を参照してください。

エントリー /イグジット機能

車両をロック解除すると、マルチファンクション・ディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、車両の周囲が照らされます。

以下の場合は、ライトが消灯します：

– イグニッションがONのとき
– ライト・スイッチをAUTOの位置から動かしたとき

エクステリア・ライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション：

▷ 「ウェルカム・ホーム／エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」（313ページ）を参照してください。

ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS)

スタティックおよびダイナミック・コーナリング・ライトと夜間の高速道路機能を作動させるには：

▶ ライト・スイッチをAUTOの位置に回してください。

スタティック・コーナリング・ライト

この機能は速度が約 130km/h を超えて走行中、ステアリング・ホイールを操作すると ON になります。

インフォメーション

ライト・スイッチが （ロービーム/ドライビング・ライト）の位置にあるとき、スタティック・コーナリング・ライトも利用できます。

ダイナミック・コーナリング・ライト

約8km/h以上の速度で走行している場合、そのときの速度やステアリグ・ホイールの切れ角によって、コーナーの先に向けてロー・ビームが向きを変え、進行方向の路面を照らします。ダイナミック・コーナリング・ライトが故障した場合、インストルメント・パネルのPDLS警告灯が点滅します。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

夜間の高速道路走行時の作動

夜間は速度が約 130km/h を超えるとドライビング・ライトの配光特性が変化します。

このときドライビング・ライトは、より遠くが見渡せるように照射距離を長くします。

フォグ・ライト

速度が約60km/h以下でフォグ・ライトが点灯している場合、ドライビング・ライトの配光特性が変化します。

このときドライビング・ライトの照射エリアが広がり、眩しさが抑えられます。

ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス (PDLS Plus)

ジャンクション・ライト＊

ジャンクション・ライト機能は、ナビゲーション・データを使用して交差点や分岐点を検出し、他の車両や歩行者の確認を容易にしてくれます。

左右スタティック・ライトが交差点や分岐点で点灯し、最適な明るさで照らしてくれます。

周囲が暗い状態で以下の条件が揃うと、ジャンクション・ライト機能が作動します：

✓ ライト・スイッチが**AUTO**位置に選択されている

✓ 約40km/h以下（スポーツ走行時、約60km/h以下）の速度で走行している

✓ 分岐点または交差点までの距離が約60m以下である

分岐点や交差点を通過した後、速度が約60km/h以上、または次の交差点までの距離が約150m以上になると、ジャンクション・ライトは自動的に消灯します。

インフォメーション

高速道路を走行している場合、または交差点と交わっている道路が高速道路の場合、ジャンクション・ライト機能は作動しません。

ダイナミック・ハイ・ビーム

図264: カメラの取り付け位置

ダイナミック・ハイビームでは、車内ミラーの近くのカメラ **A** は、先行する車両や接近する車両の光源を検出し、ロー・ビームとフル・ハイビーム・ライティングの間のいくつかのステージでドライビング・ライトの遮光ラインを段階的に調整します。ドライビング・ライトの遮光ラインは、検出された車両が認識できるように調節されます。

周囲が暗い状態で以下の条件が揃うと、この機能が作動します：

✓ ライト・スイッチの**AUTO**位置が選択されている

✓ 速度が約60km/h以上

✓ マルチファンクション・ディスプレイでダイナミック・ハイビームを有効にする

▷ 「ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止」（330ページ）を参照してください。

✓ ダイナミック・ハイ・ビームがONになっている

▷ 「ハイ・ビームの作動」（330ページ）を参照してください。

市街地走行時にハイ・ビームに切り替わらないようにするため、ダイナミック・ハイ・ビームは約35km/h以下の速度では作動しません。

また、カメラが複数の街路灯を検出した場合も自動的にハイ・ビームからロー・ビームに切り替わります。

⚠ 警告 集中力の低下

ダイナミック・ハイ・ビームを過信せず、走行時の周囲の明るさ、視界、交通状況に応じてハイ・ビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。次のような場合には手動での設定が必要になることがあります：

– 雨、霧、雪、氷、または多量の水しぶきなどの悪天候時
– 対向車を確認しにくい道路（高速道路など）
– 明かりが少ないロード・ユーザー（例えば、自転車）がいる場合
– 急カーブ、起伏の激しい路面、坂道
– 明かりが少ない市街地
– 光を強く反射する物体（看板など）がある道路
– フロント・ウィンドウのカメラの視界が曇り、汚れ、凍結、またはステッカーで覆われている

▶ 十分注意して運転してください。

▶ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。

▶ 必要な場合、ハイ・ビームを周囲の明るさ、視界、交通状況に合わせて手動で調節してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

- カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください：
  車内ミラーのカメラの視界（図264ページ329を参照）ステッカーなどで遮らないでください。
- 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
- ▷ 車両のお手入れについて：「お手入れ」（79ページ）を参照してください。

方向指示灯/ハイ・ビーム・レバーの操作

このレバーを使用して、方向指示灯およびハイ・ビームに加えて、パーキング・ライトおよびヘッドライト・パッシングも操作できます。

図265: 方向指示灯およびハイ・ビーム操作レバー

1 方向指示灯、左
2 方向指示灯、右
3 ハイ・ビーム、ダイナミック・ハイ・ビーム
4 ヘッドライト・パッシング

方向指示灯の操作

- 操作レバーを**1**または**2**段階目まで押してください。
  方向指示灯は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリング・ホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。
- 操作レバーを**1**または**2**段階目まで1回動かしてください。
  方向指示灯が3回点滅します。

ハイ・ビームの作動

ハイ・ビームの点灯/消灯（ダイナミック・ハイ・ビーム非装備車）

- **点灯**：操作レバー **3**段階目まで1回動かしてください。
  インジケーター・ライトが点灯します。
- **消灯**：操作レバーを**4**段階目まで1回動かしてください。

ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止

ダイナミック・ハイ・ビームを作動させるには、次の条件を満たさなければなりません：

✓ 夜間
✓ ライト・スイッチの**AUTO**位置が選択されている
✓ 速度が約60km/h以上
✓ マルチファンクション・ディスプレイでダイナミック・ハイビームを有効にする

▷ 「ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止」（330ページ）を参照してください。

- **作動**：圧力ポイント**3**までストークを一度押します。
  インジケーター・ライトが点灯します。
  ロー・ビームとハイ・ビームの間で段階的に配光が自動調節されます。
  ハイ・ビームの一時的な点灯時または完全な点灯時には、インジケーター・ライトがONになります。
- **停止**：圧力ポイント**4**までストークを一度押します。
  インジケーター・ライトが点灯している場合のみ、ダイナミック・ハイ/ビームを解除できます。

ダイナミック・ハイ・ビームの手動点灯/消灯

以下の条件を満たさなければなりません：
ダイナミック・ハイ・ビームを解除した場合、またはその作動条件が満たされていない場合、手動でハイ・ビームの点灯/消灯を切り替えることができます。

✓ 夜間
✓ ライト・スイッチのAUTO位置が選択されている
▸ **点灯**：操作レバーを**3**段階目まで2回動かしてください。
インジケーター・ライトが点灯します。
▸ **消灯**：圧力ポイント**4**までストークを一度押します。

ヘッドライト・パッシングを作動する

▸ 圧力ポイント**4**までストークを一度押します。
インジケーター・ライトが短時間点灯します。

パーキング・ライトの点灯/消灯

✓ イグニッションがONのとき
▸ 操作レバーを上方向 **2** または下方向 **1** に押すと右または左側のパーキング・ライトが点灯します。

パーキング・ライトが点灯している場合は、イグニッションをOFFにしてドアを開くとマルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

アダプティブ・ブレーキ・ライト

急制動（パニック・ブレーキ）時、減速中にブレーキ・ライトが点滅します。

ハザード・ライトのON/OFF

図266: センター・コンソールのハザード・ライト・ボタン

ハザード・ライトはイグニッションがOFFのときでも機能します。

ハザード・ライトのON/OFF

▸ センター・コンソールのハザード・ライト・ボタンを押してください。
すべての方向指示灯とボタンのインジケーター・ライトが同時に点滅します。

緊急ブレーキ後のハザード・ライトの解除

車両が約70 km/h（43 mph）以上の速度で走行していてブレーキで完全に停止した場合（例えば、車両が交通渋滞の最後尾に突然近づいた場合）、ハザード警告ライトが自動的に作動して、ブレーキをかけている間ブレーキ・ライトが点滅します。

▸ センター・コンソールのボタンを押して、ハザード・ライトを停止させてください。
車両が動き出すと、ハザード・ライトが自動的に停止します。

事故後のハザード・ライトの解除

衝突時、ハザード・ライトが自動的に作動します。

▸ ハザード・ライトを停止するためには、イグニッションをOFFにした後、再度イグニッションをONにしてください。

発光ダイオード（LED）とロングライフ・バルブの交換

デイタイム・ドライビング・ライト、フロント・サイド・ライト、方向指示灯、バイキセノン・ヘッドライトのガス・ディスチャージ・バルブ、テール・ライト、ライセンス・ライト、ハイマウント・ブレーキ・ライトインジケータ・ライトおよびルーム・ライトは、発光ダイオード（LED）およびロングライフ・バルブが使用されています。
LEDは個別に交換できません。
ロングライフ・バルブの交換には専門知識が必要です。

▸ 発光ダイオード(LED)とロングライフ・バルブの交換はポルシェ正規販売店にお任せください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ラゲッジ・コンパートメント

荷物の積載

荷室フロアの最大許容積載量は400kgです。床面全体に荷重がかかるように荷物を積載してください。

⚠ 危険 有毒な排気ガスの吸引

エンジンがかかっている状態でリヤ・リッドが開いている、または正しく閉じられていない場合、排気ガスが室内に侵入する可能性があります。

- ▶ エンジンをかけているときは必ずリヤ・リッドを完全に閉じてください。
- ▶ リヤ・リッドを開いたまま走行しないでください。

⚠ 警告 積載時の車両の操縦性の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。
- ▷ 「重量（メーカー発表値）」（380ページ）を参照してください。

⚠ 警告 不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が正常でない場合、安全な走行に支障をきたす恐れがあります。

- ▶ 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧を変更した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定を更新してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」（304ページ）を参照してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧」（385ページ）を参照してください。

知識

リヤ・ウィンドウ・ヒーターの熱線およびアンテナ・ワイヤーを損傷する恐れがあります。

- ▶ リヤ・ウィンドウ・ヒーターの熱線およびTVアンテナを傷つけないように注意してください。

タイダウン・ベルトで荷物を固定する

- ▶ 荷物の固定に伸縮性のあるベルトやストラップを使用しないでください。
- ▶ ベルトやストラップを鋭利な部分にかけないでください。
- ▶ タイダウン装置を使用する方向、および注意事項を遵守してください。
- ▶ せん断強さが700kg以上、幅が25mm以内のベルトのみを使用してください。
- ▶ 荷物の上でベルトを交差させてください。

リヤ・リッドの開閉

- ▷ 「リヤ・リッド」（346ページ）を参照してください。

工具セットの取り外し

折りたたみ式または標準のスペア・ホイール装備車での工具セットの取り外し

図267: コラプシブル・スペア・ホイール装備車の工具セット

図268: 標準スペア・ホイール装備車のツール・キット

ツール・キット **A** は折りたたみ式スペア・ホイール (図267) および標準スペア・ホイール (図268)を装備した車両のラゲッジ・コンパートメント・フロアの下に格納されています。タイヤ交換に必要な工具 （ジャッキ、ホイール・ボルト・レンチ、組付け補助工具、フォールディング・ウエッジなど）が入っています。

折りたたみ式スペア・ホイールを装備したカイエンS Eハイブリットのツール・キット

コラプシブル・スペア・ホイール装備車では、工具セットはラゲッジ・コンパートメント右側のスペア・ホイール・カバーの下にあります。

図269: 折りたたみ式スペア・ホイールを装備したカイエンS Eハイブリットのツール・キット

コラプシブル・スペア・ホイール非装備車の Cayenne S E-Hybrid での工具セットの取り外し

コラプシブル・スペア・ホイール非装備車では、工具セット**A**はラゲッジ・コンパートメント・フロアの下、高電圧バッテリーの右にあります。

図270: 折りたたみ式スペア・ホイール非装備カイエンS Eハイブリットのツール・キット

コンプレッサー/タイヤ・シーラントの取り外し

折りたたみ式スペア・ホイール装備車両には、コンプレッサーが搭載されています。折りたたみ式スペア・ホイールまたは標準のスペア・ホイール非装備車両は、圧力ゲージ付きのコンプレッサーおよびタイヤ・シーリング複合カートリッジが装備されています。

コンプレッサーを使用したタイヤ空気充填に関するインフォメーション：

▷ 「タイヤ空気の充填」(175ページ) を参照してください。

タイヤ・シーラントの使用に関するインフォメーション：

▷ 「タイヤ・シーラントの充填」(249ページ) を参照してください。

ラゲッジ・コンパートメント・フロアの開閉

ラゲッジ・コンパートメント・フロアを開く

図271: ラゲッジ・コンパートメント・フロアを開く

1. ハンドル**A**を引いて、ラゲッジ・コンパートメント・フロアを持ち上げてください。

図272: ラゲッジ・コンパートメント・フロアを開く

2. 支持アーム **B** のクリップを取り除き、それをラゲッジ・コンパートメント・フロアの取り付け部 **C** に挿入します。

インフォメーション

カイエンS Eハイブリッドで、支持アーム **B** および取り付け部 **C** はラゲッジ・コンパートメント・フロアの右側にあります。

ラゲッジ・コンパートメント・フロアを閉じる

1. ラゲッジ・コンパートメント・フロアを持ち上げ、サポート・アーム**B**を車両フロアのホルダーに戻してください。
2. ラゲッジ・コンパートメント・フロアを閉じてください。

タイダウン・リングの使用

図273: タイダウン・リングの使用

固定ストラップを固定リング **D** に留めて、荷物が滑り落ちないようにラゲッジ・コンパートメントに締め付けることができます。

- 荷物を固定するときは各リングに均等に荷重がかかっていることを確認してください。

インフォメーション

タイダウン・リングは事故の際に重量物を支えることはできません。

カーゴ・マネージメントの使用

カーゴ・マネージメント・システムはラゲッジ・コンパートメントに荷物を固定する可変システムで、以下が含まれます。

- トランク・ルームにあるマウント・レール
- テレスコピック・バー 1本
- タイダウン・リング4個
- ストラップ・リール1個
- ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネット1枚
- リバーシブル・マット1枚

荷物の積載に関するインフォメーション：

▷ 「荷物の積載」(332ページ) を参照してください。

インフォメーション

ラゲッジ・コンパートメント内のリバーシブル・マットは底面が滑り止め加工されており、濡れた荷物、重い荷物を積載するときに使用します。

▶ 濡れた荷物または重い荷物（ケースに入った飲み物など）を輸送するときは、リバーシブル・マットに埃や傷が付くのを防ぐため、滑り止め加工が施された底面を使用してください。

テレスコピック・バーを差し込み、調整する

図274: テレスコピック・バーの使用

1. テレスコピック・バーの2個のエンド・エレメントをマウント・レールの開口部 **A** に差し込んでください。
2. エンド・エレメントを押し込み、荷物側に押してください。バーが正しく位置決めされると、荷物はそれ以上動きません。
3. エンド・エレメントを放してください。
4. エレメントを押して、エレメントが所定の位置にロックされていることを確認してください。

ストラップ・リールを差し込み、調整する

図275: ストラップ・リールの使用

ストラップ・リールはタイダウン・リングと共に供給バッグに収納されて、ラゲッジ・コンパートメントまたはスペア・ホイールの中に収納されています。

1. バッグからストラップ・リールを取り出してください。
2. ストラップ・リールのエンド・エレメントのボタン**B**を押して、両方のエレメントを2個のマウント・レールの幅まで引き出してください。

図276: ストラップ・リールの調節

3. ストラップ・リールの2個のエンド・エレメントをマウント・レールの開口部 **A** に差し込んでください。
4. 両方のエンド・エレメントを押し込み、荷物側に押してください。
5. エンド・エレメントを放してください。
6. エレメントを押して、エレメントが所定の位置にロックされていることを確認してください。
7. ボタン**B**を押して、荷物が動かないようにストラップを張ってください。
8. ボタン**B**を放してください。

ストラップ・リール - 片方のレールに差し込む

図277: ストラップ・リール – 片方のレールに差し込む

1. エンド・エレメントのボタン**B**を押して、両方のエレメントを少し引き出してください。
2. ストラップ・リールの片方のエンド・エレメントをマウント・レールの開口部**A**に差し込み、押し込んで所定の位置までスライドさせてください。

図278: ベルトを締め付ける。

3. 2つ目のエレメントを同じ開口部**A**に差し込み、押し込んで反対方向にスライドさせてください。
4. エレメントを押して、エレメントが所定の位置にロックされていることを確認してください。
5. ボタン**B**を押して、ストラップを荷物の周囲に取り回してください。
   荷物が動かないようにストラップを張ってください。
6. ボタン**B**を放してください。

タイダウン・リングを差し込み、調整する

図279: タイダウン・リングの調整

タイダウン・ストラップまたはラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットはタイダウン・リングに固定することができます。
荷物を固定するときは各リングに均等に荷重がかかっていることを確認してください。
タイダウン・リングは事故の際に重量物を支えることはできません。

1. タイダウン・リングをマウント・レールの開口部**A**に差し込んでください。
2. ボタン**C**を押し込んで、タイダウン・リングを対応する方向にスライドさせてください。
3. ボタン**C**を放してください。
4. タイダウン・リングを押して、エレメントが所定の位置にロックされていることを確認してください。

インフォメーション

反対側のタイダウン・リングは必ず反対向きに差し込んでください。

ラゲッジ・コンパートメント・カバーの使用

ラゲッジ・コンパートメント・カバーは、リヤ・シート後方の左右に固定された取り外し可能な装備です。ラゲッジ・コンパートメント・カバーは必要に応じて取り外すことができ（清掃時など）、開いたテール・ゲートから車外に取り出すことができます。

警告 ラゲッジ・コンパートメント・カバー上の荷物

ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に荷物が乗員スペースに飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ラゲッジ・コンパートメント・カバーの上に物を置かないでください。

ラゲッジ・コンパートメント・カバー、引き出し/収納

図280: ラゲッジ・コンパートメント・カバーを引き出す

ラゲッジ・コンパートメント・カバーを引き出す

- カバーを手で引き出し、左右のサイド・ウォールにあるガイドに差し込んでください。

ラゲッジ・コンパートメント・カバーを収納する

- ラゲッジ・コンパートメント・カバーをサイド・ウォールのガイドから外し、カバーをリトラクター・ローラーに慎重に巻き取らせてください。

格納式カバーを使用する

ラゲッジ・コンパートメント・カバーと調整式リヤ・シート・バックレスト間の空間は2個のリトラクタブル・カバーで覆うことができます。

図281: リトラクター・カバー

リトラクター・カバーを引き出す

- リトラクタブル・カバーを手前に引き、リヤ・シート・バックレストのホルダーから外してください。

リトラクター・カバーを巻き取らせる

- リトラクタブル・カバーをホルダーから外し、リトラクタブル・ローラーに慎重に巻き取らせてください。

インフォメーション

- リヤ・シートを調整するときは（前後調整、バックレスト角度）リトラクタブル・カバーを外してください。
- リヤ・シート・バックレストを倒すときは、最初にリトラクタブル・カバーをホルダーから外し、カバーをリトラクタブル・ローラーに慎重に巻き取らせてください。

ラゲッジ・コンパートメント・カバーの取り外し/取り付け

ラゲッジ・コンパートメント・カバーは右リヤ・ドアから脱着できます。

ラゲッジ・コンパートメント・カバーを取り外す

図282: ラゲッジ・コンパートメント・カバーの取り付け

✓ 格納式カバーが外れています。
✓ 後部座席の背もたれが前に倒れています。

1. リリース・ボタンを押して、サイド・パネルを矢印の方向に押してください。
   リリース・ボタンとサイド・パネルが取り外し位置でロックされます。リリース・ボタンがかみ合うと、赤いマークが表示されます。
2. カバーを右側のホルダーから上方に取り外してください。
3. 次にカバーを左側のホルダーから上方に取り外してください。
4. 開いたドアからカバーを取り外してください。

ラゲッジ・コンパートメント・カバーを取り付ける

図283: ラゲッジ・コンパートメント・カバーの取り付け

✓ 格納式カバーが外れています。
✓ 後部座席の背もたれが前に倒れています。

1. ラゲッジ・コンパートメント・カバーを取り付ける前に、リリース・ボタンを押して**矢印の方向**にサイド・パネルを押してください。
   リリース・ボタンがかみ合うと、赤いマークが表示されます。
2. カバーを左側のホルダーに差し込んでください。
3. カバーを右側のホルダーに下向きに差し込み、リリースボタンを押してください。
   サイドパネルは、自動的に元の位置に戻ります。赤いマークがまだ表示されている場合、ラゲッジ・コンパートメント・カバーを取り外し、再度取り付けを行ってください。
4. バックレストを垂直位置に動かし、リトラクタブル・カバーをリヤ・シート・バックレストにはめ込んでください。

ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの使用

ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットにより、ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に軽い荷物が荷室から飛び出すのを防ぐことができます。

荷物の積載に関するインフォメーション：

▷ 「荷物の積載」（332ページ）を参照してください。

⚠ 警告

固定されていない荷物または損傷したラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネット

ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に、固定されていない荷物が飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットで乗員スペースを常に保護してください。
- 荷物は必ずタイダウン・リングで固定してください。
- 荷物はシート・バックレストの上端を越えないように積載してください。
- ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットに大きな力がかかったり損傷した場合は、ポルシェ正規販売店でネットとリテーニング・ブラケットの点検を受けてください。
  ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの取り付け

図284: ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの天井への取り付け

インフォメーション

- ラゲッジ・セーフティー・ネットを取り付ける際、ネットの適切な面が後ろ向きになっているか確認してください（ネットのラベル**A**を参照）。

リア・シート・バックレストを倒していない状態でのネット設置

1. ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの左右の固定フックを天井のリヤ固定リングにはめ込んでください。

図285: ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの床への取り付け

左右のタイダウン・リングが、ラゲッジ・コンパートメント・フロアのレールの端からの距離が同じになるように位置決めしてください。できるだけネットを垂直に張り、またネットがリヤ・シート周辺にからまないようにしてください。

2. ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの下部フックをラゲッジ・コンパートメント・フロアの位置決めしたタイダウン・リングにはめ込んでください。
3. ベルト・ストラップを引いてネットを張ってください。

図286: リヤ・シートのバックレストを倒した状態でラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットを取り付ける

リア・シート・バックレストを倒した状態のネット設置

▷ リヤ・シート・バックレストを前方に倒すには：
「中央のリヤ・シートのバックレストを倒す」（136ページ）を参照してください。

1. ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの左右の固定フックを天井のフロント固定リングにはめ込んでください。
2. ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットの下部フックをバックレストにはめ込んでください。
3. ベルト・ストラップを引いてネットを張ってください。

インフォメーション

ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・ネットは、荷物を積んだときの位置やシート・バックレストの位置などに応じて張ってください。

スキー・バッグの使用

スキー板やスノー・ボードのような長い物も車室内を損傷することなく、安全に運搬できます。

知識

荷物の鋭い端（スノー・ボードなど）によってスキー・バッグが損傷する恐れがあります。

▸ 荷物の鋭い端部を保護してください。

スノー・ボードやスキー板をスキー・バッグに収納する

図287: スキー・バッグを収納する

スキー・バッグはトランク・ルーム内の所定のギア・バッグの中に収納されています。

1. スノー・ボードやスキー板の端部を保護してください。

2. スノー・ボードやスキー板をスキー・バッグに入れて、閉じてください。
スキー板の後端を前方に向けてスキー・バッグに入れてください。スキー・バッグのファスナーは車両後方に向けてください。
3. スキー板を締め付けストラップで締め付けてください。スキー・ビンディングはこのストラップの後方になければなりません。

スキー・バッグの積載と固定

1. 中央のリヤ・シートのベルト・バックルを収納位置から移動してください。
2. リヤ・ミドル・シートのバックレストを前方に折り畳んでください：
「中央のリヤ・シートのバックレストを倒す」（136ページ）を参照してください。
3. スキー・バッグを荷室側から折りたたんだシート・バックレスト越しに押し込んでください。
スキー・バッグでセンター・コンソールを損傷しないように注意してください。

図288: スキー・バッグを保持する

4. スキー・バッグのベルト・タングをバックルに差し込んでください。
5. ベルトを締め付けてください。

スキー・バッグを収納する

1. 中央のリヤ・シートのベルト・バックルを外してください。
2. スキー・バッグを取り外し、収容物を取り出してください。
3. 中央のリヤ・シートのバックレストを垂直位置に調整してください：
▷ 「中央のリヤ・シートのバックレストを倒す」（136ページ）を参照してください。
4. スキー・バッグは必ず乾かしてから折り畳み、ギア・バッグに収納してください。
5. バッグをラゲッジ・コンパートメントにマジック・テープで固定してください。

インフォメーション

スキー・バッグの最大積載量：34kg（総重量）

ラジオ

概要

この概要説明は「ラジオ」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション管理(PCM)の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作」(284ページ)を参照してください。

図289: FM周波数帯

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
周波数帯の設定	▸ TUNER ボタンを押して希望する周波数帯(**AM**または**FM**)をヘッドラインに表示させてください。	343
放送局リストから放送局を選択する	▸ TUNER ボタン ▸ **リスト** ▸ 放送局を選択してください。	343
スキップ・ボタンを使用して選局する	▸ ⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを希望の放送局が流れるまで何度か押してください。	
放送局一覧から放送局を保存する	▸ TUNER ボタン ▸ **リスト** ▸ 放送局を選択 ▸ **保存** ▸ 放送局ボタンを選択してください。	344
保存した局を選択する	▸ TUNER ボタン ▸ **プリセット** ▸ 希望の放送局ボタンを選択してください(例：**A**)。	343
放送局の詳細を表示する	▸ TUNER ボタン ▸ **プリセット** ▸ **詳細**を選択してください。	344

周波数帯を設定する

1. SOURCE ボタンを押してください。
2. AMまたはFMを選択してください。

または

▸ TUNER ボタンを押し、希望の周波数帯（AMまたはFM）を設定してください。

または

1. TUNER ボタンを押してください。
2. ヘッドラインに表示された周波数帯を選択してください。
3. SOURCEメニューから希望する周波数帯AMまたはFMを選択してください。

選局

保存した放送局を表示および選択する

図290: 放送局ボタン

1. TUNER ボタン ▸ **Presets（プリセット）** の順に選択してください。
2. 放送局を選択してください。
   選択した放送局ボタン（例：**A**）がハイライトされます。

計20の放送局ボタン（プリセット）を使用して、放送局を割り当てることができます。
最初の3ページにある放送局ボタンを自由に割り当てることができます（現在選択されているページを表示させるには、**B**を参照）。受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、自動的に4ページの放送局ボタンに割り当てられます（ベストFMレベル）。

スキップ・ボタンで選局する

▸ 選択したメイン･メニューに関わらず、 および スキップ･ボタンを使用して選局することができます。
放送局一覧の次/前の放送局または利用可能な周波数が設定されます。

手動で選局する

1. TUNER ボタン ▸ **Tune（チューン）**
2. 周波数バーを使用して周波数を選択してください。

放送局リストから放送局を選択する

1. TUNER ボタン ▸ **リスト**
2. 放送局を選択してください。
   受信可能なすべての放送局が放送局リストに表示されます（最高100局まで）。

放送局のスキャンと選局

1. TUNER ボタン ▸ OPT ボタン
2. **スキャン開始**を選択してください。
   周波数帯の各放送局のスキャンには約5秒かかります。
3. スキャンした放送局で停止するには、コントローラーで**Stop（停止）**を選択してください。
   または
   OPT ボタン ▸ **スキャンを停止**を選択します。

マルチファンクション・ディスプレイを使用して放送局を選択する

マルチファンクション･ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」（299ページ）を参照してください。

1. **オーディオ**メニューを選択してください。
2. 放送局リストから放送局を選択してください。

放送局の保存

選局した放送局を保存する

1. TUNER ボタン ▸ **Presets（プリセット）** の順に選択してください。
2. 放送局を3秒間押してください。

または

1. TUNER ボタン ▸ OPT ボタン
2. **放送局を保存** ▸ 放送局ボタンを選択してください。

または

1. TUNER ボタン ▸ **Tune（チューナー）** ▸ **リスト**
2. 放送局を選択し、 を選択してください。
3. 希望の放送局ボタンを選択してください。

放送局を自動で保存する

1. TUNER ボタン ▸ **Presets（プリセット）** の順に選択してください。
2. **AS** を 1 秒以上押し続けてください。
   検索が開始されます。受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、選択されているページに保存され、最も強い電波で受信された放送局が設定されます。

放送局情報の表示

放送局の詳細を表示する

1. ボタン TUNER を押してください。
2. **Presets（プリセット）** ▸ **詳細**を選択してください。
   または
   リスト ▸ OPT ▸ **放送局詳細**を選択してください。
   プログラム関連情報が表示されます。

設定の変更

1. TUNER ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **SET AM/SET FM**
2. 希望のオプション選択してください。

– **ラジオテキスト** (FM)：ラジオ・テキストのON/OFFを切り替えます。
– **放送局トラッキング**(FM)：機能が有効でFM周波数帯の電波品質が低い場合、チューナーが選局した放送局の代替周波数へ自動的に切り替えを試みます。
– **リージョン適応**(FM)：地域によって、FM周波数帯のプログラムは一部異なっており、内容は地域別のプログラムでそれぞれ配信されています。この機能をONにすると、その地域の代替周波数帯に切り替えることができません。
– **ソート順序**
  – **放送局名**(FM)：放送局リストがアルファベット順に並び替えられます。
  – **周波数** (FM、AM)：放送局リストの放送局は、周波数帯域順にソートされています。
  – **ジャンル**(FM)：放送局リストはプログラムの種類、またはジャンルによって並び替えられます。ポップス、ロック）
  – **電波品質**(FM、AM)：放送局リストは放送局の電波の強さによって並び替えられます。受信状態の良い放送局がリストの最上部に表示されます。
– **放送局表示**(FM)
  – **放送局名**：放送局名が表示されます。
  – **周波数**:放送局の周波数が表示されます。
– **ステーションロゴデータベース** (FM)：
  – **ステーションイメージの地域**：放送局のロゴを選択する地域の調整
  – **Logo database(ロゴ・データベース)**：放送局ロゴの表示/非表示を切り替えます。

放送局名の固定

1. TUNER ボタン ▸ OPT ボタン
2. **選曲名**を選択してください。
   現在表示されている放送局名を固定することができます。このときラジオ局のテキスト放送は表示できなくなります。
3. テキストをもう一度スクロールするには、**リリース名**を選択してください。

リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター

リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびドア・ミラー・ヒーター

図291: リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター

リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびドア・ミラー・ヒーターをONにする

✓ エンジンを作動状態にします。

▸ ボタン を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

外気温度によって、約5～20分後にリヤ・ウィンドウ/ドア・ミラー・ヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

再度ONにする

▸ ボタン をもう一度押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびドア・ミラー・ヒーターをOFFにする

▸ ボタン を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

インフォメーション

バッテリー電圧が低すぎると、リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーターの作動が制限され、その後OFFになります。

リヤ・リッド

リヤ・リッドにはエレクトリック・ドライブ・メカニズムが組み込まれています。

リヤ・リッドを自動開閉する

⚠ 危険 有毒な排気ガスの吸引

エンジンがかかっている状態でリヤ・リッドが開いている、または正しく閉じられていない場合、排気ガスが室内に侵入する可能性があります。

- ▶ エンジンが作動しているときは、リヤ・リッドを完全に閉じてください。

⚠ 警告 オートマチック・リヤ・リッドの不意の自動開閉

オートマチック・リヤ・リッドが不意に開閉することによりケガを負う恐れがあります。

- ▶ 停車中にのみリヤ・リッドを開閉してください。
- ▶ リヤ・リッドの作動範囲内に人や動物がいないことを確認してからリヤ・リッドを開閉してください。
- ▶ 万一のときはいつでも作動を中断できるように、リヤ・リッドの開閉作動から目を離さないでください。
- ▷ 「緊急時の開閉作動の中断」(348ページ) を参照してください。

知識

オートマチック・リヤ・リッドの不意の開閉により、損傷する恐れがあります。

開閉時、リヤ・リッドがガレージの天井や荷物に衝突することがあります。

- ▶ 車両の後方や上方に十分なスペースがあることを確認してください (ルーフ・トランスポート・システムやガレージの天井など)。
- ▶ 積み荷がラゲッジ・コンパートメントから突き出したり、はみ出したりしないようにしてください。

リヤ・リッドを自動で開く

図292: リヤ・リッドのロック解除ボタン

ボタンでリヤ・リッドを車外から開閉する

✓ ロックされていない車両 (ポルシェ・エントリー &ドライブ非装備車)
または
✓ キーを携行します (ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車)。

- ▶ ボタンを押してください (図292)。
  リヤ・リッドは設定した高さまで開きます。
- ▷ 「リヤ・リッドの開く高さの設定」(347ページ) を参照してください。

車両キーを使用してリヤ・リッドを開く

✓ イグニッションをOFFにする

- ▶ 車両キーの ボタンを押してください。
  車両がロックされている場合、リヤ・リッドのロックを解除すると、設定に応じて運転席ドアまたはすべてのドアのロックが解除されます。
  リヤ・リッドは設定した高さまで開きます。
- ▷ 「リヤ・リッドの開く高さの設定」(347ページ) を参照してください。

図293: 運転席ドアのリヤ・リッド・ボタン

運転席ドアのボタンを操作してリヤ・リッドを開きます。

▶ 運転席ドアの ボタンを押してください。
リヤ・リッドは設定した高さまで開きます。

▷ 「リヤ・リッドの開く高さの設定」(347ページ) を参照してください。

リヤ・リッド開作動中の障害物検出

リヤ・リッドの開作動中に障害物によって作動が妨げられると、作動が中断されます。

警告音が鳴り、リヤ・リッドが作動を停止します。

1. 障害物を取り除いてください。
2. リヤ・リッドが自動で開きます。

リヤ・リッドの開く高さの設定

リヤ・リッドを開く高さは個別に設定できます。

1. レベル・コントロール装備車：
オートマチック・リヤ・リッドを開く高さを常に最高に設定してください。
2. 車両の後方に立ってリヤ・リッドを開いてください。
3. リヤ・リッドが全開時の約2/3の高さまで開いたときに、キーの ボタンを押して自動開作動を中断します。
4. そこから、設定したい高さになるまでリッドを手で持ち上げてください。
リヤ・リッドのトリム・パネルのボタン **A** (図294ページ347) を約3秒間押してください。
リヤ・リッドを開く高さが保存されると確認音が鳴ります。リヤ・リッドはボタン **A**を押して閉じることができます。

リヤ・リッドが不意に作動した場合の自動停止

リヤ・リッドが降り積もった雪の重みなどで開いた状態から不意に下がると、パワー・メカニズムのブレーキ機能が作動してリッドの動きを制止するとともに、リッドの動きが止まるまで警告音が鳴ります。

▶ リヤ・リッドの動きが止まってから約1秒が経過すると、
パワー・メカニズムのブレーキ機能が解除されます。

リヤ・リッドを自動で閉じる

⚠ 注意 パワー・クロージング・メカニズム

リヤ・リッドは、引き下げると自動的に閉じ、ロックされます。

▶ リヤ・リッドの下や、ロックの近くに物を置いたり、指で触れないでください。

▶ お子様のみを車内に残さないでください。

運転席ドアのボタンを操作してリヤ・リッドを閉じる

✓ イグニッションがONのとき

▶ 運転席でボタン を押します。
警告音が鳴り、リヤ・リッドが閉じます。

リヤ・リッドのトリム・パネルのボタンを操作してリヤ・リッドを閉じる

図294: リヤ・リッドのトリム・パネルのボタン

A リヤ・リッドを閉じてください。
B ポルシェ・エントリー＆ドライブを使用して、リア・リッドを閉じてロックする

▶ リヤ・リッドのトリム・パネルのボタン**A**を押してください。
リヤ・リッドが閉じます。

リヤ・リッドのトリム・パネルのボタンを操作して、リヤ・リッドを閉じてロックする（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）

✓ 車両キーは車両の後部（車外）にある状態にします。
リヤ・リッドのトリム・パネルのボタン **B** (図294ページ347) を押してください。
リア・リッドが閉じて、車両がロックされます。

インフォメーション

キーを車内に残した状態でボタン **B**を押した場合、リヤ・リッドの閉作動が自動的に中断されます。警告音が鳴り、リヤ・リッドが作動を停止します。

インフォメーション

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車はキーが作動範囲外にある場合、リヤ・リッドを開くことができません。

リヤ・リッド閉作動中の障害物検出

リヤ・リッドの閉作動中に障害物によって作動が妨げられると、作動が中断されます。
警告音が鳴り、リヤ・リッドが作動を停止します。

1. 障害物を取り除いてください。
2. リヤ・リッドを自動で閉じるか、手でゆっくり閉じてください。

緊急時の開閉作動の中断

次のいずれかのボタン操作で、リヤ・リッドの開閉作動をすぐに中断できます：

- キーのボタン を押します。
  または
  運転席でボタン を押します。
  または
  リヤ・リッドのトリム・パネルのボタン **A** またはボタン **B** を押してください (図294ページ347)
  または
  後部ドアのリリース・ボタンを押してください（図292ページ346）。

自動作動はいつでも再開することができます。

- 適切なボタンを押してください。

リヤ・リッドの緊急ロック解除

リヤ・リッド・ドライブ・メカニズムの作動不良

バッテリーの電圧が低下するとリヤ・リッドの自動開閉機能は作動しません。この場合、ボタンを押すとリヤ・リッドのロックのみが解除され、警告音が短く3回鳴ります。リヤ・リッドは手動で開くことができます。

- バッテリーを充電してください。
  または

メカニズムの故障などでリヤ・リッドの自動開閉作動が中断した場合：

- リヤ・リッドを手でゆっくり開閉してください。

オーバーロード・プロテクション（過負荷時の保護機能）

リヤ・リッド・ドライブの過負荷を検出すると、警告音が短く鳴ります。このとき自動開閉機能が約 30 秒間作動しなくなります。

リヤ・リッドの緊急ロック解除

インフォメーション

警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

キーの操作でリヤ・リッドのロックを解除できない場合（例：キーの電池が弱くなったときなど）：

1. エマージェンシー・キーを使用して運転席ドアのロックを解除し、ドアを開いてください。
2. 盗難防止警報システムの作動を回避するため、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしてください。
3. ドア・パネルの ボタンを押してください。
   リヤ・リッドがロック解除されます。
4. 運転席でボタン を押します。
   または
   リヤ・リッドのリリース・ボタンを押してください（図292ページ346）。
   または
   リヤ・リッドの下端を握り、手動で開いてください。

図295: リヤ・リッドの緊急ロック解除

バッテリーがあがっている場合などでリヤ・リッドが開かないときは、リヤ・リッドの緊急操作を行う必要があります：

1. リヤ・シート・バックレストを前方に倒してください。
   ▷ 「外側リヤ・シートのバックレストを倒す」（135ページ）を参照してください。
2. 折り畳んだリヤ・シートを乗り越え、ラゲッジ・コンパートメント内に移動してください。
3. 適切なもの（例：ドライバー）を使用して、リヤ・リッド内側の緊急ロック解除機構のカバーを取り外してください。
4. 適切なもの（例：スクリュードライバー）を使用して、リヤ・リッドのロックを矢印の方向へ動かし、ロックを解除してください。
   リヤ・リッドのロック解除音が聞こえます。
5. リヤ・リッドは手で開くことができます。

ルーフ・システム

図296: ルーフ・システム

A スライディング/チルティング・ルーフ

B 固定式ガラス・ルーフ（パノラマ・ルーフ・システムを搭載した車両）

ルーフ **A** は前後方向に動かすことができます。チルト・アップすることも可能です。

ルーフ **B** は固定式ガラス・ルーフです。

⚠ 警告 ルーフ・システムの開閉操作

ルーフ・システムの開閉時、特にワンタッチモードでは、動いている部分と車両の固定部分に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。

- ルーフ・システムを操作するときは、ウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。
- 車両を離れるときは必ずキーを抜いてください。またはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。
- 車両から離れるときは、必ずキーを携行してください。
- 危険が生じたときは、ルーフ・スイッチを反対方向に操作してください。ルーフ開閉時では、直ちにキーのボタンをリリースしてください。

知識

ルーフ・アタッチメントの取り付けに不具合があると、ルーフ・システムを操作したときに損傷する恐れがあります。

- 走行前にルーフ・アタッチメントが正しく取り付けられていることを確認してください。
- ルーフとルーフ・アタッチメントの間に十分なスペースがあることを確認してください。

i インフォメーション

– ルーフ・システムは、挟み込み防止機能を備えています。これらの閉操作中に障害物があると、すぐにもう1回開きます。

– ルーフ・システム、極端に走行速度が高い場合や気温が極端に低い場合には作動しません。

ルーフ・システムの開閉

✓ イグニッションがONのとき
または
✓ イグニッションをOFFにしてから10分以内

図297: ルーフ・システムの開閉

ルーフ・システムの操作 スイッチ (図297) には、すべての操作方向で**2段階の作動位置**があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

1段目 – 手動操作

- 希望の位置になるまで、 スイッチをいずれかの方向に1段目まで操作してください。
  スイッチを解除すると、プロセスが停止します。

2段目 – ワンタッチ操作

- スイッチをいずれかの方向に2段目まで操作してください。
  ルーフ・システムが自動的にいっぱいまで開/閉します。
- この作動を中断するには、スイッチを再度いずれかの方向に操作してください。

ルーフ・システムを完全に開く

- スイッチを開く方向にもう一度押してください。
  ルーフ・システムが完全に開きます。
  速度によっては、風の音がすることがあります。

⚠ 警告 ルーフ・システムの緊急閉操作

ルーフ・システムを緊急操作で閉じる際、必要に応じて自動的に閉じる力が段階的に強くなります。

- ルーフ・システムを閉じる前に、乗員が挟まれたり圧迫されたりする恐れがないか確認してください。

挟み込み防止機能が繰り返し作動した後の閉操作

閉作動が障害物に妨げられた場合、ルーフ・システムは力を入れれば手動で閉じることができます。

1. 障害物を取り除いてください。
2. スライディング/チルティング・ルーフまたはパノラマ・ルーフが停止位置まで完全に閉じた状態で、スイッチを閉じる方向に繰り返し押すか押し続けてください。

キーによるルーフ・システムの開閉

ルーフ・システムを開く

- ルーフ・システムが希望の位置になるまでキーの ボタンを押し続けてください。

ルーフ・システムを閉じる

- ルーフ・システムが希望の位置になるまでキーの ボタンを押し続けてください。
  すべてのウィンドウおよびルーフ・システムを完全に閉じると、ハザード・ライトが1回点滅します。

ドア・ハンドルのボタンでルーフ・システムを閉じる(ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車)

- ルーフが希望の位置になるまでドア・ハンドルのロック・ボタンを押し続けてください。
  すべてのウィンドウおよびルーフ・システムを完全に閉じると、ハザード・ライトが1回点滅します。

サン・ブラインドの開閉

✓ パノラマ・ルーフ・システム

図298: サン・ブラインドの開閉

サンブラインドを開く

- 戻す位置へスイッチを押してください (図298)。

サンブラインドを閉じる

- スイッチを前方に押してください (図298)。

1段目 – 手動操作

- 希望の位置になるまで、スイッチを1段目まで押して保持してください。
  スイッチを解除すると、プロセスが停止します。

2段目 – ワンタッチ操作

- ボタンを2段目まで押します。
  サン・ブラインドが自動的にいっぱいまで開/閉します。
- スイッチをもう1回押すと作動が中断します。

パノラマ・ルーフおよびサンブラインドを開く

– パノラマ・ルーフを車両の前後方向に開いた場合、サンブラインドも自動的に開きます。
– パノラマ・ルーフをチルト位置にした場合、サンブラインドも自動的に約10cm開きます（換気位置）が、全開することは手動でもできません。

パノラマ・ルーフおよびサンブラインドを閉じる

ルーフとサンブラインドは同時に閉じることができません。

– パノラマ・ルーフの閉作動中にサンブラインド・スイッチを2段目まで押した場合（ワンタッチ操作）、パノラマ・ルーフが完全に閉じてからサンブラインドが停止位置まで閉じます。
– サンブラインドの閉作動中にスイッチを押してパノラマ・ルーフを閉じた場合（ワンタッチ操作）、サンブラインドの閉作動が中断されます。サンブラインドはパノラマ・ルーフが停止位置まで閉じた後、停止位置まで閉じます。

ルーフ・システムとサン・ブラインドの停止位置を保存する

バッテリー上がり、緊急操作、ヒューズの交換、またはバッテリーの切り離し/再接続を行うと、ルーフ・システムおよびサンブラインドの停止位置のメモリーが消去されます。

⚠ 警告 停止位置の保存

停止位置の保存時はルーフ・システムおよびサンブラインドが最大の力で閉じます。

▸ 停止位置の保存作業を行うときは乗員がケガをしないように注意してください。

▸ ルーフ・システムとサン・ブラインドの停止位置の保存はそれぞれ個別に、所定の順番に行ってください。
停止位置の保存が中断された場合、もう一方の停止位置の保存ができません。

✓ 停車しているとき

ルーフ・システムの停止位置の保存

1. イグニッションをONにしてください。
2. ルーフを閉じる方向にスイッチ を押し続けてください。
約10秒後に停止位置を保存するプロセスが開始されます。
ルーフ・システムの動きが完全に停止するまで、そのままスイッチを押し続けてください。
この閉作動と保存のプロセスは最大45秒で完了します。

ルーフ・システムが完全に停止する前にスイッチから手を放した場合：

▸ 保存手順をもう一度やり直してください。

サンブラインド停止位置の保存

▸ サン・ブラインドのステップ2（「ルーフ・システムの停止位置の保存」（352ページ）を参照してください。）を、関連するスイッチ（図298ページ351）を使用して実施します。

サンブラインドの清掃

✓ 停車しているとき

1. イグニッションをONにしてください。
2. パノラマ・ルーフを全開にしてください。
3. ロールアップ式サンブラインドを可能な限り閉じてください。
4. サンブラインド・スイッチ（図298ページ351）を前方に押してください。
サンブラインドが3秒後に閉じ始めます。
サンブラインドが完全に閉じるまで、そのままスイッチを押し続けてください。
5. ゴミ（落ち葉など）を取り除いてください。

清掃機能を終了するには：

▸ 発進
サンブラインドが自動的に開きます。
または
▸ ボタン を押してください。
サンブラインドが自動的に開きます。
または
▸ サンブラインドを開きます。
▹ 「サン・ブラインドの開閉」（351ページ）を参照してください。

ドライブ・メカニズムが故障している場合のルーフ・システムの操作

ルーフ駆動メカニズムが故障した場合、車載工具の六角キー・レンチを使用して手動で開閉作動を行えます。

▸ 緊急操作を行う前に、ヒューズが切れていないか点検してください。
▹ 「ヒューズの点検および交換」（255ページ）を参照してください。

図299: 六角レンチを抜き取る

1. 運転席側インストルメント・パネルのカバーから六角キー・レンチ **A** を取り出してください (図299)。

図300: オーバーヘッド・コンソールのフレームを取り外す

2. 適切な道具（ドライバーなど）を使用してルーフ・コンソールのフレームを外し、注意して引き下げてください (図300)。
   フレームを損傷しないように注意してください。

図301: 六角キー・レンチによるルーフ・システムの操作

3. 適切な道具（ドライバーなど）を使用してルーフ・コンソールのフレームを外し、注意して引き下げてください (図301)。
4. 六角キー・レンチをモーターの奥まで差し込み、開閉の希望の方向に応じて左右どちらかに回してください (図301)。
   六角キー・レンチが滑って損傷しないように、六角キー・レンチを押し上げながら回してください。
5. 六角キー・レンチを取り外し、保管場所に戻してください。
6. オーバーヘッド・コンソールとフレームを取り付けます。

▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ルーフ・トランスポート・システム

ルーフに荷物を積載して運ぶ

ルーフ・トランスポート・システムは、車両のルーフに取り付けて様々な物を輸送することができます。
荷物を安全に確実に運ぶにはルーフ・トランスポート・システムや他の補助アタッチメント（スキー・ラック、バイク・ラック、サーフボード・ラック、ルーフ・ボックス、スノーボード・ホルダーなど）を使用してください。

- ポルシェ社がテストを行い、承認したルーフ・トランスポート・システムのみを使用してください。市販のルーフ・ラック・システムは装着できません。

ルーフ・トランスポート・システムに関するインフォメーション：

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。

⚠ 警告 固定されていないまたは不適切な位置に固定したルーフ・トランスポート・システムまたは積載機器

固定されていないまたは不適切な位置に固定したルーフ・トランスポート・システムが走行中に車両から外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- スキー・ラックやルーフ・ボックスなどの積載機器は、サポートに対してできる限り中央になるように取り付けてください。
- 走行を開始する前に、ルーフ・トランスポート・システムと積載機器が正しく確実に固定されていることを必ず確認してください。長距離走行時は、途中で定期的に確認してください。
- すべてのファスニング・スクリューを再度締め付けてください。

⚠ 警告 ルーフ・トランスポート・システムを装着した積載時の操縦性の変化

ルーフ・トランスポート・システムを装着し、荷積みした場合、車両のハンドリング特性が変化します（重心が高くなり、空気抵抗が大きくなります）。

- 慎重な運転を心がけてください。
- ルーフ・トランスポート・システムを装着して荷物を積載しているときは、130km/h以上の車速で走行しないでください。
- ルーフ・トランスポート・システムを装着して何も積んでいない場合、180km/h以上の速度で走行しないでください。
- ルーフ・トランスポート・システムに荷物を積載する際は、積み荷がルーフ・トランスポート・システムの側面からはみ出さないように注意してください。車両幅より幅が広いルーフ・トランスポート・システムは絶対に取り付けないでください。
- 荷物の重心をできる限り低い位置にしてください。ルーフ・トランスポート・システムの積載エリア全体に、均等に荷重がかかるように荷物を載せてください。

⚠ 警告 固定されていない、または不適切な位置に固定した荷物

固定されていない、または不適切な位置に固定した荷物が走行中にルーフ・トランスポート・システムから外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- 走行中にずれないように、積み荷は適切な方法で固定してください。
- 伸縮性があるゴム製の固定具は使用しないでください。
- 荷物の重心をできる限り低い位置にしてください。ルーフ・トランスポート・システムの積載エリア全体に、均等に荷重がかかるように荷物を載せてください。

知識

ルーフ・トランスポート・システムが取り付けられているとき、ルーフ・システムを開いたり持ち上げたりすると、ルーフまたは荷物が損傷します。

- ルーフ・トランスポート・システムが取り付けられている場合は、ルーフ・システムを開いたり持ち上げたりしないでください。

知識

ルーフ・トランスポート・システムを装着したまま自動洗車機を使用したり、車高に注意を払わなかったり、許容最大荷重を超過すると、車両やルーフ・トランスポート・システムを損傷する恐れがあります。

- 自動洗車機を使用する前に、ルーフ・トランスポート・システムを完全に取り外してください。
- 立体駐車場など、高さが限られた場所に進入する前に、ルーフ・トランスポート・システムを含めた全高を確認してください。
- 最大ルーフ積載荷重、最大総重量および最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。

▷「重量（メーカー発表値）」（380ページ）を参照してください。

- ルーフ・トランスポート・システムの最大許容荷重を超えないようにしてください。

i インフォメーション

- ルーフ・トランスポート・システムを使用しない場合は、ルーフ・トランスポート・システムを完全に取り外すことで、燃料を節約し、ノイズを低減できます。

ルーフ・トランスポート・システムの取り付け

図302: ルーフ・トランスポート・システムの構成部品

A フロント・キャリア（ロング）
B リヤ・キャリア（ショート）
C カバー・トリム
D トルク・レンチ
E キー

初めて取り付ける場合：

- フロントおよびリヤ・キャリアを車両幅に合わせて調節してください。

ルーフ・トランスポート・システムのキャリア・バーの下側にあるステッカーによりフロント・バーとリヤ・バーを識別してください（図302）。

- ステッカーが車両の左側になるようにキャリアを取り付けてください。
- 取り付ける前に、ルーフ・レールのキャリア・サポート部分を清掃してください。

図303: ルーフ・レールの穴

1. マークが付いた箇所のみにキャリアを固定してください。各ルーフ・レールの内側に穴が1つあります (図303)。
サポート・アームのロック・ピンをこの穴にはめ込んでください。

図304: サポートを開く

2. キャリアを取り付けるため、サポートのカバーを開いてください。このとき、キーを差し込み、反時計回りに水平位置まで回してください。
3. 次にカバーを持ち上げてください。

図305: ルーフ・レール上でのキャリア・バーの位置決め

4. キャリア・バーを取り付ける前に、できるだけファスニング・スクリューをゆるめてください。
5. キャリアをルーフ・レールに慎重に位置決めし、まっすぐはめ込んでください
ロック・ピン**A**をルーフ・レールの該当する穴**B**に差し込み、この位置で固定してください。

図306: サポートのファスニング・スクリューを締め付ける

6. 両方のキャリアのサポートにあるファスニング・スクリューを対角の順に**軽く**締めてください。**まだ**完全な締付けはしないでください。
ロック・ピンが固定されており、ブラケットが動かない状態であることを必ず確認してください。

図307: サポートのファスニング・スクリューを締め付ける

7. トルク・レンチを使用して、ファスニング・スクリューを対角の順に8Nmのトルクで完全に締め付けてください。このとき、トルク・レンチの2つの矢印マークが完全に一致するまで締め付けてください。これにより、2つのキャリアは縦横両方向ともに固定されます。

図308: カバーを閉じ、ロックする

図309: アクセサリーの取り付け

8. すべてのカバーを閉じ、ロックを締め付けてください。このとき、キーを時計回りに垂直位置まで回して、抜き取ってください。必要に応じてカバー・トリムを取り付けてください。

インフォメーション

- 短距離を走行させた後、スクリューと留め具を点検してください。必要であれば締め直し、定期的に再点検してください。
- 悪路ではスクリューをより頻繁に点検してください。点検を怠った場合、ルーフ・トランスポート・システムがゆるみ、落下して、他の運転者や歩行者などを負傷させる恐れがあります。

アクセサリーの取り付け

1. アクセサリーを取り付けるには、サポート・カバーを開いて引き下げてください。
   引き下げたカバーを引っ張らないでください。
2. プロファイル・トリムを取り外し、アクセサリーをT溝にはめ込んでください。サポート・カバーを再度閉じてください。
3. キャリア・アタッチメントの取り付けと固定に関する注意事項を遵守してください。

レーン・チェンジ・アシスト(LCA)

レーン・チェンジ・アシスト(LCA)は、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。これは、他車を追い越すときや追い越されるときにも作動します。危険な状況や車線変更が不可避な状況を検出すると、両側のドア・ミラーの警告インジケーターが直ちに点灯します。

図310: ドア・ミラーの **B** 警告インジケーター **A** とON/OFFボタン

レーン・チェンジ・アシストのON/OFF

⚠ 警告 集中力の低下

レーン・チェンジ・アシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。車線変更の際は、特に注意を払ってください。

- ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

⚠ 警告 レーダー・センサーの視界不良

レーダー・センサーの視界は急カーブ、急勾配への接近、および悪天候（雨、雪、氷、強い水しぶき）では低下することがあります。車両を正しく検出できないことや、まったく検出できなくなることがあります。

- ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

⚠ 警告 車両が検出されない

レーン・チェンジ・アシストは高速で後方から接近する車両や遠ざかる車両に対しては、タイミング良く警告できない場合があります。

レーン・チェンジ・アシストは急カーブ（半径約100m未満のカーブ）では機能しません。

レーン・チェンジ・アシストは約30 km/h以上の速度で走行しているときにのみ、接近車両や死角エリアの車両をドライバーに警告します。

- ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

レーン・チェンジ・アシストをONにする

- ボタン**A**を押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

レーン・チェンジ・アシストをOFFにする

- ボタン**A**を再度押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

一般的なインフォメーション

- システムは約30km/h～250km/hでの走行中に機能します。
- レーン・チェンジ・アシストのレーダー・センサーが覆われていることをシステムが検出した場合は、レーン・チェンジ・アシストは利用できません。
- レーダー・センサーは車両以外の他の障害物（高いまたは隆起した中央分離帯など）を検出することがあります。
- このインジケーターはドライバーがドア・ミラーを一目見ただけで気づくよう設計されています。

i インフォメーション

- 衝突修理後などレーダー・センサーの位置が変更された場合は、安全上の理由から必ずポルシェ正規販売店でレーン・チェンジ・アシスト・システムを点検してください。

インフォメーション

レーン・チェンジ・アシストを適切に機能させるには：

- リヤ・バンパーのレーダー・センサー部（図311）をステッカーなどで覆わないでください。この周囲から汚れや雪、氷も取り除いてください。
- ドア・ミラーの警告インジケーターをステッカーなどで覆わないでください。

図311: リヤ・バンパー内のレーダー・センサー

作動原理

レーン・チェンジ・アシストは、リヤ・バンパー内に組み込まれたレーダー・センサーを使用して、自車と検出した車両との距離および速度差を測定します。レーダー・センサーは後方約70mの範囲および死角を監視しています。

レーン・チェンジ・アシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するドア・ミラーに表示します。

車両の右側および左側は個別に表示されます。例えば、左ドア・ミラーの警告インジケーターはドライバーが左車線に車線変更する際に役立ちます。

ドライバーが方向指示灯を操作した際、危険とみなす車両を検出すると、該当するドア・ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。

他車をゆっくり（速度差約15km/h未満）と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーン・チェンジ・アシストが検出すると、直ちに警告インジケーターが点灯します。速度差がそれ以上の場合、ドア・ミラーには表示されません。

インフォメーション

レーダー・センサーは左右の隣接する車線を検出します。その他のレーンはレーダー・センサーで**検出されません**。

インフォメーションおよび警告ステージ

レーン・チェンジ・アシストには方向指示灯を操作するかしないかによって、2段階の警告インジケーター作動ステージがあります。

インフォメーション・ステージ

ドライバーが方向指示灯を操作していない場合、レーン・チェンジ・アシストは、検出した車両が車線変更の際に危険となりうると判断すると、ドライバーに知らせます。レーン・チェンジ・アシストが検出した車両との速度差および距離を危険と判断すると、該当するドア・ミラーの警告インジケーターが**弱い**光で点灯します。

警告ステージ

レーン・チェンジ・アシストは、ドライバーが方向指示灯を操作した側に危険と見なされる車両を検出した場合、検出した側のドア・ミラーの警告インジケーターが**明るく**点滅を開始します。警告ステージが数回明るく点滅する場合、ドア・ミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

インフォメーション

ドア・ミラーの警告インジケーターの明るさは変更可能です。

▷ 「ドア・ミラーのレーン・チェンジ・アシスト(LCA)の警告表示の明るさを設定する」（312ページ）を参照してください。

インフォメーション

- 車両がより高速で接近してくると、ドア・ミラーの警告インジケーターはより早いタイミングで点灯します。レーン・チェンジ・アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。
- ドア・ミラーの警告インジケーターがまだ表示されていなくても、高速で接近する車両がある場合、車線変更は危険と考えられます。

運転状況：

起こりうるケースとそれに関連するレーン・チェンジ・アシストの警告インジケーターを、運転状況に応じて以下に説明します。

運転状況 – 高速で接近する車両

図312: 高速で接近する車両

A – ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

センサーは車両を検出していません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B – 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する

センサーが高速で接近する車両を検出しました（図の例は左車線を示しています）。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、この車両はすでに車速変更を行うには危険と判断されます。ドア・ミラーのインジケーターが点灯します。

C – 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 **B**でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

運転状況 – ゆっくりと接近する車両

図313: ゆっくりと接近する車両

A – ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

センサーがゆっくりと接近する車両を検出しました （図の例は左レーンを示す）。速度差が小さくて車間距離が長い場合は、ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B – 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する

車両がゆっくりと接近してきています。ドア・ミラーのインジケーターが点灯します。

レーン・チェンジ・アシストがその速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合のみ、ドア・ミラーに表示されます。レーン・チェンジ・アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。

C – 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 **B**でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

運転状況 – ゆっくりと遠ざかる車両

図314: ゆっくりと遠ざかる車両

A – ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない

レーン・チェンジ・アシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B – 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する

この例では、レーン・チェンジ・アシストはゆっくりと遠ざかる車両（速度差約15km/h未満）を右側車線で検出しました。ドア・ミラーのインジケーターが点灯します。

C – 警告インジケーターが警告ステージで点滅する
運転状況 Bでドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

運転状況 – 高速で遠ざかる車両

図315: 高速で遠ざかる車両

A – ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない
レーン・チェンジ・アシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B – ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない
この例では、レーン・チェンジ・アシストは高速で遠ざかる車両（速度差約15km/h以上）を右側車線で検出しますが、高速で遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

C – ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しない
運転状況 Bでドライバーが方向指示灯を操作しても、ドア・ミラーの警告インジケーターは作動しません。

カーブを走行する

カーブを走行する場合、レーン・チェンジ・アシストは1つ離れた車線を走行する車両に反応し、ドア・ミラーの警告インジケーターを点灯することがあります。
レーン・チェンジ・アシストは急カーブでは車両を検出できません（約100m未満の半径のカーブ）。

- カーブを走行するとき、および標準的な幅でない車線を走行するときは特に注意してください。

車線の幅

標準的な幅の車線の場合、ドライバーが車線の中央部または車線の端を走行しているかに関わらず、レーン・チェンジ・アシストの検出エリアには隣接した車線（左/右）が含まれます。
狭い車線を走行する場合、検出エリアにはより多くの車線が含まれることがあります（特に車線の端を走行している場合）。このような状況では1つ離れた車線を走行する車両が検出されることもあり、レーン・チェンジ・アシストがインフォメーションまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。
同様に、非常に幅の広い車線の場合、隣の車線の車両であっても、検出エリアの範囲外であれば検出されないことがあります。

図316: 車線の幅と検出エリア

ドア・ミラーの警告インジケーターの明るさ設定

警告インジケーター（インフォメーションおよび警告）は周囲の明るさによって自動的に調節されます。
必要に応じて、基本となる明るさをマルチファンクション・ディスプレイで調節することもできます：

▷ 「ドア・ミラーのレーン・チェンジ・アシスト(LCA)の警告表示の明るさを設定する」（312ページ）を参照してください。

インフォメーション
明るさを調整している間はレーン・チェンジ・アシストが作動しません。警告インジケーターは明るさ設定の補助として短時間のみ点灯します。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A–Z

ログブック

概要

この概要説明は「ログブック」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション管理(PCM)の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作」(284ページ) を参照してください。

図317: ログブックの表示

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
ログブックの表示	▸ CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**ページを閲覧 (スワイプ) する	
ログブックの有効化	▸ CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**ページを閲覧 (スワイプ)▸ OPT ボタン▸ **SET ログブック▸ ログブックを作動**	363
トリップ・カテゴリーの選択	▸ CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **仕事**、**職場**、または**プライベート**を選択してください。	363
最後のトリップを継続	▸ CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **継続** ▶ ▸ **継続**を選択してください。	
給油地の追加	▸ CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **停車** ▸ **保存**を選択してください。	363
現在のトリップ・データの編集	▸ CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ を編集▸ 希望の項目をしてください。	363
標準トリップを設定	▸ CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**▸ OPT ボタン▸ **SET ログブック▸ 標準トリップを設定**	364
キーまたはコントロール・ユニットをドライバーに割り当てる	▸ CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**▸ OPT ボタン▸ **SET ログブック▸ ドライバーを編集▸ キーの割り当て**▸ ドライバーを一覧から選択する▸ **現在のキーを割り当てる**	364
保存されたトリップの表示	▸ CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**▸ OPT ボタン▸ **トリップ一覧を表示**	364
保存したトリップを外部記憶装置に転送	▸ CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**▸ OPT ボタン▸ **トリップを移動**	364
保存したトリップを削除	▸ CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**▸ OPT ボタン▸ **トリップを消去▸ 移動したトリップを消去**または **すべてのトリップを消去**	364

ログブック

ログブックは自動的にすべてのトリップを記録し、以下のデータとともに保存します。

- カテゴリー（仕事、通勤またはプライベート・トリップ）
- 日付と時刻
- ドライバー
- 目的地（仕事）
- 目的（仕事）
- 連絡先（仕事）
- 備考
- 出発地および目的地での走行距離

ログブックの有効化および無効化

1. CAR ボタン▸ **トリップ**

図318: ログブックの有効化

2. **ログブック**ページを閲覧（スワイプ）します。
3. OPT ボタン▸ **SET ログブック**を選択してください。
4. **ログブックを起動**を選択してください。
   ☑ ログブックが有効になっている
   ☐ ログブック停止中

記録の開始

✓ イグニッションがONのとき
✓ ログブックが有効になっている

システムが自動的にトリップを記録し始めます。新しいトリップごとに個別に記録が行われます。

最後のトリップを継続

▸ CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**▸ **継続**

▸ **継続**を選択してください。
最後のトリップを継続します。

インフォメーション

走行距離が100mに満たない場合は、記録されることなく次のトリップに追加されます。

現在のトリップのカテゴリーの変更

✓ ログブックが有効になっている

1. CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**
2. **仕事**、**職場**または**プライベート**を選択してください。
   トリップの目的に応じて、様々なドライビング・データが用意されています。
   初期設定では、**標準トリップの設定**で定義されたカテゴリーが有効になります。
   ▷ 「標準トリップを設定する」（364 ページ）を参照してください。

給油地の追加

1. CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**▸ **停車**
2. **保存**を選択してください。
   日付と時刻および走行距離が保存されます。

現在のトリップの編集

1. CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**▸ 編集
2. 希望のカテゴリーを選択してください。
   - **ドライバー**
   - **目的地**
   - **目的**
   - **連絡先**
   - **備考**
3. 現在の項目を選択または追加するには、**追加**を選択してください。

キーを抜き取るまでの間、現在のトリップを編集することができます。キーを抜くと、記録は停止し、保存されます。
（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車では運転席ドアを開くまで）。

ログブックの設定

標準トリップを設定する

1. CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**
2. OPT ボタン▸ **SET ログブック**▸ **標準トリップを設定**を選択してください。
3. トリップ開始時に初期設定で使用するカテゴリーを選択してください。

– **出張**
– **通勤トリップ**
– **プライベートトリップ**
– **前回のトリップ**

キーをドライバーに割り当てる/割り当てを削除する

キーまたはコントロール・ユニット（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）をドライバーに割り当てると、そのキーまたはコントロール・ユニットを使用した際にドライバーの名前が自動的にログブックで選択されます。

1. CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**
2. OPT ボタン▸ **SET ログブック**▸ **ドライバーを編集**▸ **キーの割り当て**
3. リストからドライバーを選択してください。
4. **現在のキーを割り当てる**を選択してください。
   または
   キーを消去を選択してください。

新しいドライビング・データを追加する、データ名を変更する、または削除する

5. CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**
6. OPT ボタン▸ **SET ログブック**
7. 希望のカテゴリーを選択してください。
   – **ドライバー**
   – **目的地**
   – **目的**
   – **連絡先**
8. 希望の機能を選択してください。
   – **追加**
   – **名前の変更**
   – **消去**

保存したトリップの表示

最大1,500件のトリップを保存できます。

1. CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**
2. OPT ボタン▸ **トリップ一覧を表示**
3. 希望の項目を選択してください。
4. 詳細ビューで次のトリップを表示するには、矢印ボタンを押してください。

保存したトリップの移動

付属のソフトウェアを使用して、ログブックのデータをPCに表示し編集することができます。

✓ SDカードが挿入されている、またはUSBメモリーが接続されている

1. CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**
2. OPT ボタン▸ **トリップを移動**
3. **SD**または**USB**を選択して、保存したトリップを記憶装置に移動します。
4. **エクスポート**を選択してください。
   保存したすべてのトリップがエクスポートされます。

保存したトリップの削除

1. CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**
2. OPT ボタン▸ **トリップを消去**
3. **移動したトリップを消去**を選択してください。
   または
   PCM に保存されたすべてのトリップを消去するには、**すべてのトリップを消去**を選択してください。

リマインダーのON/OFF

1. CAR ボタン▸ **トリップ** ▸ **ログブック**
2. OPT ボタン▸ **SET ログブック**
3. PCMの起動時にリマインダーを数秒間表示したい場合は、**リマインダーを表示**を選択してください。
   a. リマインダーを閉じるには、**OK** を選択してください。
   b. ログブックを開くには、**編集**を選択してください。

ワイパー・ブレード

知識

ワイパー・アームが不意に倒れるとフロント・ウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・アームをしっかりと保持してください。

知識

フロント・ワイパーは低温で凍結することがあります。

- 走行前にワイパーの凍結を溶かしてください。

知識

不適切な清掃をすると、フロント・ウインドウ・ワイパーのグラファイト層が損傷する恐れがあります。

- 高圧洗浄水をワイパー・ブレードに向けて直接噴射しないでください。
- ワイパー・ブレードは布やスポンジで清掃しないでください。
- ワイパー・ブレードは**必ず**きれいな水で洗浄してください。

ワイパー・ブレードのお手入れ

良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパー・ブレードが不可欠です。

- ウィンドウ・クリーナーを使用してフロント・ウィンドウを定期的に清掃してください（「ウィンドウの清掃」（80ページ）を参照してください。）。特に洗車機を使用した後は清掃してください。
  ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- 汚れがひどい場合（虫の残骸などによって）、スポンジまたは布を使用してフロント・ウインドウを清掃してください。

ワイパー・ブレードの交換

図319: ワイパー・レバー

知識

ワイパー・ブレードを交換したときに、ブレードが確実に取り付けられていないと、走行中に脱落することがあります。

- ワイパー・ブレードは、ワイパー・アームに正しく固定されていなければなりません。
- ワイパー・ブレードがしっかり取り付けられているか確認してください。

ワイパー・ブレードは1年に2回（冬季の前後）またはワイパーの払拭性能が低下したときや、ワイパー・ブレードが損傷した場合に交換してください。

✓ イグニッションをOFFにする

1. ワイパー・レバーを下方に押してください（図319、**4**）。
   フロント・ワイパーが上方に約45°移動します。
2. ワイパー・ブレードの交換は、ワイパー・ブレードに付属の取扱説明書を参照してください。ワイパー・ブレードを交換する場合は、左右でワイパー・ブレードの長さが異なるので注意してください。

インフォメーション

必要な場合は、ポルシェ正規販売店で交換作業を行ってください。
ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

Apple® CarPlay

PCMで Apple CarPlay® を開く

図320: センター・コンソールのUSBポート

✓ iPhone® 5以降、iOS® 7.1以上。
✓ Siri® およびApple® CarPlayはご使用中のiPhone® の設定で有効になっています。
  ▷ 「USBまたはAUXを介して外部機器を接続する」（290ページ）を参照してください。

1. iPhone® をセンター・コンソールのUSB port **A** に接続してください。
2. Apple® CarPlayの使用を希望していることを確認してください。
   利用可能なアプリが表示されます。
3. HOME ボタン ▸ **メニュー** ▸ **スマホインテグレーション**

インフォメーション

– 最新バージョンのiOS® をインストールするように推奨します。
– Apple® CarPlayに対応しているiPhone® 内のアプリのみが表示されます。対応アプリに関するインフォメーション：
  ▷ www.apple.com/ios/carplay を参照してください。
– Apple® CarPlayの表示コンテンツおよび機能は、接続済みのiPhone®でのみ提供されます。
– Apple® CarPlayをご使用の場合、接続されたiPhone®のみ通話にご使用いただけます。
  PCMにBluetooth®経由で接続された携帯電話は、自動的に接続が切断されます。
– 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。ご契約になっている携帯電話の料金体系によっては、特に海外でご使用になった場合、追加費用が発生する場合があります。定額データ・プランのご利用をお勧めします。

インフォメーション

USB充電ポートは、リア・センター・コンソールに配置されています。このポートは充電にのみ使用できます。メディア再生には使用できません。

インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション管理(PCM)の操作に関するインフォメーション：
▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作」（284ページ）を参照してください。

PCMでApple® CarPlayを操作する

利用可能なすべてのアプリはタッチスクリーン、ロータリー押しボタン、PCMの戻るボタンを介して使用できます。

▸ **Apple CarPlay** のメイン・メニューを開くには、PCM のタッチスクリーンでホーム・ボタン を押してください。

▸ PCM のメイン･メニューに切り替えるには、HOME ボタン ▸ **Porsche** を押してください。
または
任意のワンタッチ・キーを押します（例えば、TUNER）。

Siri の音声認識機能を使用して.® CarPlay Apple® を操作する

Siri®を有効にする

✓ Siri® はご使用のiPhone® の設定で有効になっています。
✓ イグニッションおよびPCMをONにしている
✓ 通話中でない
✓ ParkAssistがアクティブになっていません。
✓ PCMボイス・コントロールを無効にしている

図321: コントロール・レバーの音声コントロール・ボタン

1. コントロール・レバーのボタン を押し下げたままにします。
   または
   PCMタッチスクリーンのホーム・ボタン を押したままにします。
2. 希望の音声コマンドを発話してください。

Siri®を解除する

✓ 音声認識が有効で、音声コマンドを待機している

▸ コントロール・レバーの を押します。
終了音が鳴ります。
または
ボイス・コマンドとして、**キャンセル**または**終了**と言ってください。
または
PCMの任意のボタンを押してください。
該当する機能が開きます。

インフォメーション

コントロール・レバーのボタン を短く押すと、PCM音声認識がアクティブになります。
▷ 「ボイス・コントロール」（274ページ）を参照してください。

iPhone® を iPod® とApple® CarPlay の間で切り替える

iPhone® をセンター・コンソールのUSBポートに接続した後にiPod® として接続した場合、Apple® CarPlayは使用できません。
デバイス・マネージャーを使用して、iPhone® を iPod® とApple® CarPlayの間で切り替えることができます。

図322: デバイス・マネージャーを開く

1. フッターの または を選択してください（接続状態によって異なる）。
2. **スマートフォン・リンク**を選択してください。
3. 使用しているiPhone® を選択してください。
4. **iPod として使用する**を選択してください。
   または
   Apple CarPlay モードで使用を選択してください。

E充電モード

E充電モードでは、走行しながら高電圧バッテリーを充電できます。このモードは内燃エンジンの駆動走行時に電動モーターによる走行可能距離を延ばす目的に特に役に立ちます。放電した高電圧バッテリーを高速道路走行中に充電し、市街地などで電動モーターのみの走行ができます。

インフォメーション

E充電モードでは高電圧バッテリーを完全に充電できず、ある程度のエネルギー限界までです。

E充電モードのON/OFF

図323: E充電モードをONにする

✓ 高電圧バッテリーが完全に充電されて**いない**場合

▸ E-CHARGEボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

高電圧バッテリーが充電されている場合、E-充電機能のスイッチがONになっているときは、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

E充電モードの自動中断

次のいずれかの条件が成立すると、走行中の充電は**中断**されます：

✓ 内燃エンジンの温度が低すぎる場合
✓ 運転者により過度の加速が行われた場合
✓ 高電圧バッテリーの温度が高すぎるか、低すぎます。
✓ モーター・ジェネレーターの温度が高すぎる場合

その状態がもはや存在しない場合、充電は自動的に再開します。

E充電モードの自動停止

次のいずれかの条件が成立すると、走行中の充電は**停止**します：

✓ Eパワー・モードが作動しています。
✓ スポーツまたはスポーツ・プラス・モードが作動しています。
✓ ハイブリッド・モードが作動した場合
✓ 高電圧バッテリーの充電プロセスが終了した場合

Eパワー・モード

Eパワー・モードは初期設定で作動しています。これにより、最高速度約125km/h(78mph)で、約36km(22マイル)の最大走行可能距離まで電力だけで走行できます。

インフォメーション

電動モーターによる走行可能距離は、走行スタイル、天候条件、エネルギーを大量に必要とする機器の使用の程度によって異なります。
環境に配慮した運転およびエネルギーを大量に必要とする機器の使用を控えることは、電動モーターによる走行可能距離を延ばすための重要なポイントです。

EパワーのON/OFF

図324: Eパワー・モードをONにする

✓ 高電圧バッテリーが十分に充電されている
▸ ボタン E-POWER を押してください。
ボタンのインジケータ・ライトが点灯します。
マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

Eパワー・モードの作動のための前提条件が満たされていない場合にEパワー機能のスイッチがONになっていれば、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（104ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイのEパワー・モードのステータスを表示

Eパワー・モードのみで使用可能な電力は、マルチファンクション・ディスプレイの下部ステータス・ラインに示されます。

E	Eパワー・モードはアクティブです。アクセラレータ・ペダルで、追加のプレッシャー・ポイントが利用できます。
E	Eパワー・モードモードが作動している場合、電動モーター走行が可能です。
ヒョウジナシ	例えば、高電圧バッテリーが十分に充電されていない、またはドライバーが過度にアクセルを踏んでいるために、電動モーター走行ができません。

Eパワー・モードの自動中断

次のいずれかの条件が成立すると、Eパワー・モードは **中断されます**:

✓ 運転者により過度の加速が行われた場合
✓ 車両が約 125km/h(78mph) 以上の速度で走行している。
✓ 高電圧バッテリーの温度が高すぎるか、低すぎる。
✓ モーター・ジェネレーターの温度が高すぎる場合
✓ セレクター・レバーが**M**に締結された場合

その状態がもはや存在しない場合、Eパワー・モードは自動的に再開します。

Eパワー・モードの自動停止

次の条件の少なくとも1つが満たされれば、Eパワー・モードは**停止します**:

✓ Eパワー・モードが作動しています。
✓ スポーツまたはスポーツ・プラス・モードが作動しています。
✓ ハイブリッド・モードが作動した場合
✓ 高電圧バッテリーの充電が不足した場合

HOLD機能：発進アシスタント、停止制御

HOLD機能は、上り坂での停車時や発進時にドライバーの運転操作を支援します。

この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

ホールド機能がアクティブになっているとき、インストルメント・パネルのインジケーター・ライト HOLD が点灯します。

アダプティブ・クルーズ・コントロールが正常に機能している場合、HOLD機能は自動ブレーキの後、停止した車両を保持します。

HOLD機能が作動中にドライバーが運転席シートベルトを外し、運転席ドアを開いた場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキが自動的に作動します。

インフォメーション

車両がエレクトリック・パーキング・ブレーキで坂道に停止している場合、通常の運転操作で発進します。

エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。

▷ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」（262ページ）を参照してください。

インフォメーション

発進アシスタントが機能しない場合：

- セレクター・レバーが**P**および**N**の位置にあるとき：HOLD 機能が作動中にセレクター・レバーを操作すると、HOLD 機能は解除されます。
- 車両が停止していない
- エンジンが停止している
- 坂道の勾配率が5%以下
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していない
- ブレーキ・ペダルを踏む力が弱すぎる

停止制御を使用した発進操作

この機能により、ブレーキ・ペダルを踏んでいないときでも、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

インフォメーション

車輌が停止している間ブレーキ・ペダルを床まで踏み込むことにより、傾斜に関わりなく、ホールド機能を作動できます。この機能により、ブレーキ・ペダルを踏んでいないときでも、車両が動き出すことを防ぎます。この場合、セレクター・レバーを操作しても、HOLD 機能は解除されません。

⚠ 警告 上り坂での車両の後退

ブレーキを使用せずに急な上り坂で停車する場合、HOLD機能が作動する前に車両がわずかに後退する恐れがあります。このような状況では、ドライバーはフット・ブレーキを踏んで後退を抑制することができます。

- ▶ フット・ブレーキをかけて制動力を上げることで、車両の停止維持を補助してください。

インフォメーション

HOLD機能が作動したときは、ブレーキ・ペダルの感触が変化したり、ブレーキ・システムの油圧作動音が聞こえることがあります。これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

⚠ 警告 滑りやすい路面での停止および発進

HOLD機能によるアシスタントは、滑りやすい路面（凍結路やぬかるみなど）で停止および発進するときは役立たないことがあります。この場合、発進時に車両がスリップする恐れがあります。

- ▶ 上り坂で発進するときは、HOLD機能を過信せず、常に責任ある運転を心がけてください。
- ▶ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフット・ブレーキを使用してください。

⚠ 警告 発進アシスタントが無効

発進アシスタントが機能していない場合、坂道での発進時に運転操作を支援しません。

- ▶ フット・ブレーキをかけて停車してください。

Porsche Connect App

Porsche Connect Appにより、個人的に設定したPOI（施設情報）や目的地を携帯電話の住所録やカレンダーからPCMに転送することができます。

⚠ 警告 走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

▸ 車両が停止している間にのみ、設定を操作したり調整してください。

インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション管理(PCM)の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作」（284ページ）を参照してください。

WiFiを使用してPorsche Connect AppをPCMに接続し、PCMで起動する

✓ ポルシェ・コネクト・アプリを携帯電話にインストールする

✓ Porsche Connect Appを起動してください。

✓ 携帯電話でWiFiを有効にしている

✓ PCMでWiFiを有効にしている

▷ 「PCMデータ接続を使用する（WiFi ホットスポット）」（164ページ）を参照してください。

図325: デバイス・マネージャーを開く

1. （接続ステータスに応じて）フッターまたはを使用してデバイスマネージャーを開いてください。
2. PCM（SIMカードがPCMドライブに挿入されている）のWiFiホットスポット（ワイヤレス・インターネット・アクセス）により接続を確立してください。
   a. デバイス・マネージャーから**Porsche Connect App** ▸ **PCMのWiFiホットスポット設定**を選択してください。
   b. 携帯電話のWiFi設定に、PCMのWiFiアクセス・データ（**ホットスポット名**および**ホットスポットパスワード**）を入力してください。
3. ボタン HOME を押してください。
4. **アプリ**を選択してください。
   Porsche Connect Appの利用可能なコンテンツが表示されます。

インフォメーション

– PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **PHONE設定** ▸ **WiFi設定** ▸ **PCMのWiFiホットスポット設定**を順に選択して、PCMのWiFiアクセス・データを表示することもできます。

– デバイス・マネージャーに関するインフォメーション：

▷ 「デバイス・マネージャー」（193ページ）を参照してください。

ナビゲーション目的地およびカレンダー入力をPCMに転送する

✓ Porsche Connect AppがPCMに接続されている

1. アプリで、ナビゲーション目的地またはカレンダー入力を選択してください。
   a. **オンライン検索**：オンライン検索機能を使用して、目的地を選択してください。
   b. **連絡先**：住所の詳細を含む連絡先を選択してください。
   c. **カレンダー**：住所の詳細を含むカレンダーを選択してください。
   d. **画像**：保存された画像を使用して、目的地を選択してください。
2. アイコンを使用して、目的地を**登録目的地**お気に入りリストに追加してください。
   お気に入りリストに追加済みの項目にはチェックマークが付きます。

3. ポルシェ・コネクト・アプリが PCM に接続されている場合は、**登録目的地**の内容がPCMに転送されます。
必要に応じて、ボタン HOME ▸ **アプリ** を選択してPCMディスプレイを手動で更新してください。

4. HOME ボタン ▸ **アプリ** ▸ を使用し、**登録施設情報**または**カレンダー**を選択してください。
または
NAV ボタン ▸ **保存した目的地** ▸ **登録施設情報**を選択してください。

5. 転送された目的地へのルート計算を開始してください。

テクニカル・データ

以降のページには、車両に関するテクニカル・データが掲載されています。

テクニカル・データ

車両の識別データ

車台番号

図326: 車台番号

車台番号はフロント・ウィンドウ枠の左下と助手席足元のカーペットのカバー下にあります。

- スペア・パーツの注文をする場合は、必ず車台番号を明示してください。

ビークル・プレート

図327: タイヤ空気圧プレートとビークル・プレート固定位置

ビークル・プレート**B**は助手席側ドア・シル（ドア開口部）に取り付けられています。

タイヤ空気圧プレート

タイヤ空気圧プレート**A**は運転席側ドア・シル（ドア開口部）に取り付けられています。

データ・バンク

車両の大切な情報が記載されているデータ・バンクは、「整備手帳」の中に添付されています。データ・バンクには重要な車両データが全て記載されています。
データ・バンクは紛失したり、破損したりしても再注文することはできません。

エンジン・データ（メーカー発表値）

	Cayenneディーゼル＊	Cayenne Sディーゼル＊	Cayenne [1]	Cayenne S
シリンダー数	6	8	6	6
総排気量	2,967 cm^3	4,134 cm^3	3,598 cm^3/2,995 cm^3	3,604 cm^3
最高出力 (ECE-R 85)	(国によって異なります) 193 kW (262 hp) 155 kW (211 hp) 184 kW(250 hp) 180 kW (245 hp)	283kW(385hp)	220kW(300hp) 245kW(333hp)	309kW(420hp)
エンジン回転数	(国によって異なります) 4,000 rpm 2,750 – 5,000 rpm 3,500 – 4,500 rpm 3,800 – 4,400 rpm	3,750rpm	6,300 rpm/ 5,500rpm	6,000rpm
最大トルク(ECE-R 85)	580Nm 550 Nm [2]	850Nm	400 Nm/ 440Nm	550Nm
エンジン回転数	1,750–2,500rpm 1,750 ～ 2,750 rpm [2]	2,000–2,750rpm	3,000 rpm/ 3,000～5,250rpm	1,350–4,500rpm
エンジン・オイル消費量	最大0.3ℓ/1,000km	最大0.3ℓ/1,000km	最大0.8ℓ/1,000km	最大0.8ℓ/1,000km
エンジン最高許容回転数	5,300rpm	5,300rpm	6,700 rpm/ 6,500rpm	6,700rpm

1) エンジン仕様は国によって異なります。
2) 国別仕様180 kW (245 hp)

	Cayenne GTS	Cayenne Turbo	Cayenne Turbo S
シリンダー数	6	8	8
総排気量	3,604 cm^3	4,806 cm^3	4,806 cm^3
最高出力 (ECE-R 85)	324kW(440hp)	382kW(520hp)	419kW(570hp)
エンジン回転数	6,000rpm	6,000rpm	6,000rpm
最大トルク(ECE-R 85)	600Nm	750Nm	800Nm

＊ 日本仕様に設定はありません。

	Cayenne GTS	Cayenne Turbo	Cayenne Turbo S
エンジン回転数	1,600–5,000rpm	2,250–4,000rpm	2,500–4,000rpm
エンジン・オイル消費量	最大0.8ℓ/1,000km	最大0.8ℓ/1,000km	最大0.8ℓ/1,000km
エンジン最高許容回転数	6,700rpm	6,700rpm	6,700rpm

Cayenne S E-Hybrid	内燃エンジン	モーター・ジェネレーター	コンビネーション（統合作動）
シリンダー数	6	–	–
総排気量	2,995 cm^3	–	–
最高出力 (ECE-R 85)	245kW(333hp)	70kW(95hp)	306kW(416hp)
エンジン回転数	5,500–6,500rpm	2,200～2,600rpm	5,500rpm
最大トルク(ECE-R 85)	440Nm	310Nm	590Nm
エンジン回転数	3,000～5,250rpm	1,700rpm以下	1,250～4,000rpm
エンジン・オイル消費量	最大0.8L/1,000km	–	–
エンジン許容最高回転数	6,500rpm	–	–

充填容量

▸ ポルシェ社が承認したフルード、燃料のみを使用してください。詳細なインフォメーションについては：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

	Cayenneディーゼル＊	Cayenne Sディーゼル＊	Cayenne
オイル・フィルターを含むエンジン・オイルの交換量（最大）	約7.7リットル	約9リットル	約6.7リットル
エンジン・オイル規格 ▷ 「エンジン・オイルの補充」（72ページ）を参照してください。	Porsche C30**または**VW 507 00： SAE 0W-30、SAE 5W-30		Porsche C30**または**VW 504 00： SAE 0W-30、SAE 5W-30
燃料タンク	約85リットル （予備用の約13リットルを含む） （オプション：（オプション：約100リットル）		約85リットル （予備用の約15リットルを含む） （オプション：約100リットル）
燃料品質 ▷ 「給油」（97ページ）を参照してください。	ディーゼル燃料はヨーロッパ規格EN 590に準拠している必要があります。 セタン価が51以上のものを使用してください。		この車両のエンジンは、EN228 に基づき、金属系添加物を含まない、オクタン価が 98RON/88MON の無鉛プレミアム・ガソリンを使用したときに、最高の性能と燃費を達成するように設計されています。
AdBlue®タンク	約20リットル [1)]	約20リットル[1)]	–
フロント・ウィンドウ/ヘッドライト・ウォッシャー液	約4.5リットルまたは7.5リットル（ヘッドライト・ウォッシャー・システム装備車）		

1) 国によって異なります

	Cayenne S E-Hybrid	Cayenne S、Cayenne GTS	Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S
オイル・フィルターを含むエンジン・オイルの交換量（最大）	約6.8リットル	約8.5リットル	約9.5リットル
エンジン・オイル規格 ▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」（71ページ）を参照してください。	Porsche C30**または**VW 504 00： SAE 0W-30、SAE 5W-30	Porsche A40： SAE 0W-40、SAE 5W-40、SAE 5W-50	
燃料タンク	約80リットル （予備用の約15リットルを含む）	約85リットル （予備用の約15リットルを含む） （オプション：約100リットル＊）	約100リットル （予備用の約15リットルを含む）

＊ 日本仕様に設定はありません。

	Cayenne S E-Hybrid	Cayenne S、Cayenne GTS	Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S
燃料品質 ▷ 「給油」（97ページ）を参照してください。	この車両のエンジンは、EN228に基づき、オクタン価が98RON/88MON(Hybrid：95RON/85MON)の金属系添加物を含まない無鉛プレミアム･ガソリン		
AdBlue®タンク	–	–	–
フロント・ウィンドウ/ヘッドライト・ウォッシャー液	ヘッドライト・クリアリング・システムを装備した車両では、約4.5リットルまたは約7.5リットル		

燃料消費量とCO_2排出量

所定の測定方法による値を表示しています（規則 (Euro 5 および Euro 6:現行バージョンのRegulation (EC) 715/2007; Euro 4:現行バージョンのECE-R 101とECE-R.83。このデータは、すべての仕様の車両に合致するものではありません。また、メーカーがそれを保証するものでもありません。これらのデータは各仕様別のモデル比較のための情報です。個々の車両に関する詳細なインフォメーション：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

車両タイプ	市街地走行 (L/100 km)	ハイウェイ走行 (L/100 km)	コンビネーション（統合作動）(L/100 km)	CO_2 総排気量 (g/km)	総 電力消費量 (Wh/km)
			Euro 6のオート・スタート/ストップ機能装備車の燃費		
Cayenneディーゼル＊	7.6 – 7.8	6.0 – 6.2	6.6 – 6.8	173 – 179	–
Cayenne Sディーゼル＊	10.1 – 10.3	7.0 – 7.2	8.0 – 8.2	209 – 215	–
Cayenne S	12.4 – 13.0	7.8 – 8.0	9.5 – 9.8	223 – 229	–
Cayenne GTS	12.9 – 13.2	8.1 – 8.3	9.8 – 10.0	228 – 234	–
Cayenne Turbo	15.5 – 15.9	8.7 – 8.9	11.2 – 11.5	261 – 267	–
Cayenne Turbo S	15.9	8.9	11.5	267	–
Cayenne S E-Hybrid	–	–	3.3 – 3.4	75 – 79	186 – 208
			Euro 4およびEuro 5のオート・スタート/ストップ機能装備車の燃費		
Cayenne 220 kW (300 hp)	12.3	7.5	9.2	215	–
Cayenne 245 kW (333 hp)	13.7	8.4	10.4	247	–
Cayenne S	12.4	7.8	9.5	223	–
Cayenne GTS	12.9	8.1	9.8	228	–
Cayenne Turbo	15.9	8.9	11.5	267	–
Cayenne Turbo S	15.9	8.9	11.5	267	–
			Euro 5のオート・スタート/ストップ機能装備車の燃費		
Cayenneディーゼル＊	8.4	6.5	7.2	189	–
Cayenne Sディーゼル＊	10.0	7.0	8.0	209	–
			Euro 4のオート・スタート/ストップ機能非装備車の燃費		
Cayenneディーゼル＊	9.8	6.4	7.7	201	–
Cayenne Sディーゼル＊	11.7	7.3	8.9	234	–

＊ 日本仕様に設定はありません。

重量（メーカー発表値）

- EU規格1230/2012に基づく空車重量（運転者1名＋荷物分(75kg)を含む）
- 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加アクセサリーなどが装備されている場合は、それに応じて積載重量が減少します。
- Porsche Tequipmentの製品またはポルシェ社がテストを実施し、承認したルーフ・トランスポート・システムのみを使用してください。
- ルーフ・トランスポート・システムに荷物を積載しているときは、130km/h以上の速度で走行しないでください。

	Cayenneディーゼル＊	Cayenne Sディーゼル＊	Cayenne [1]	Cayenne S
空車重量 （装備仕様により異なる）				
DIN 70020規格	2,110–2,455kg	2,290–2,660kg	2,040–2,395 kg/ 2,065–2,405 kg	2,085–2,445kg
EC規格1230/2012に基づく	2,185–2,530kg	2,365–2,735kg	2,115–2,470 kg/ 2,140–2,480 kg	2,160–2,520kg
最大軸荷重、フロント	1,380kg	1,440kg / 1,445kg [2]	1,320kg	1,360kg
最大軸荷重、リヤ [3]	1,550kg	1,550 kg / 1,590 kg [2]	1,535kg	1,550kg
最大総重量 [4]	2,870kg	3,055 kg / 3,100 kg [2]	2,810 kg/2,820 kg	2,860kg
最大ルーフ積載荷重	100kg	100kg	100kg	100kg
最大けん引重量、ブレーキ付き [5]	3,500kg	3,500kg	3,500kg	3,500kg
最大けん引重量（ブレーキ非装備車）[5]	750kg	750kg	750kg	750kg
車両とトレーラーを組み合わせた総重量（トレーラーを含む）レーティング	6,370kg	6,500kg	6,310kg	6,360kg
最大垂直連結荷重	140kg	140kg	140kg	140kg

1) 国別仕様 220 kW (300 hp) / 国別仕様 245 kW (333 hp)
2) Euro 6に対応した車両の場合。
3) EUのみ：100km/h以下で、140kgまでのトレーラーをけん引しているとき
4) EUのみ：100km/h以下で、100kg積載＋トレーラーけん引
5) 坂道の勾配率が12%以下のとき

＊ 日本仕様に設定はありません。

	Cayenne GTS	Cayenne Turbo	Cayenne Turbo S	Cayenne S E-Hybrid
空車重量 （装備仕様により異なる）				
DIN 70020規格	2,110–2,450kg	2,185–2,480kg	2,235–2,485kg	2,350–2,635kg
EC規格1230/2012に基づく	2,185–2,525kg	2,260–2,555kg	2,310–2,560kg	2,425–2,710kg
最大軸荷重、フロント	1,360 kg	1,400kg	1,400kg	1,400kg
最大軸荷重、リヤ [1]	1,560kg	1,540kg	1,540kg	1,700kg
最大総重量 [2]	2,865kg	2,895kg	2,900kg	3,050kg
最大ルーフ積載荷重	100kg	100kg	100kg	100kg
最大けん引重量、ブレーキ付き [3]	3,500kg(2.865kg) [4]	3,500kg	3,500kg	3,500kg
最大けん引重量（ブレーキ非装備車） [3]	750kg	750kg	750kg	750kg
車両とトレーラーを組み合わせた総重量（トレーラーを含む）レーティング	6,365kg(5,730kg) [4]	6,395kg	6,400kg	6,550kg
最大垂直連結荷重	140kg	140kg	140kg	140kg

1) EUのみ：100km/h (62mph)以下で、140kgまでのトレーラーをけん引しているとき（カイエンS Eハイブリッド：145kg）
2) EUのみ：100 km/h以下で、100kg積載＋トレーラーけん引
3) 坂道の勾配率が12%以下のとき
4) （　）内の数値は、スティール・サスペンションを装備した車両に適用されます。

車両寸法（メーカー発表値）

	Cayenne ディーゼル、Cayenne S Diesel、Cayenne、Cayenne S、Cayenne S E-Hybrid	Cayenne GTS	Cayenne Turbo、Cayenne Turbo S
全長	4,855mm	4,855mm	4,855mm
全幅（装備仕様により異なる）	1,939 ～ 1,954mm	1,939 ～ 1,954mm	1,939 ～ 1,954mm
ドア・ミラーを含む全幅	2,165mm	2,165mm	2,165mm
DIN規格空車重量での車高 装備によって異なります	1,699 ～ 1,773mm	1,685 ～ 1,761mm	1,702 ～ 1,777mm
リヤ・リッド・オープン時の全高	2,190 ～ 2,246mm	2,172 ～ 2,232mm	2,196 ～ 2,250mm
最大渡河能力	500mm [1]	481mm [2] / 482mm [3]	500mm[1]

1) エア・サスペンション装備車のスペシャル・オフロード・レベル時の最大渡河能力は555mmまでです。
2) エア・サスペンション装備車のスペシャル・オフロード・レベル時の最大渡河能力は539mmまでです。
3) スチール・サスペンション装備車

動力性能（メーカー発表値）

DIN規定の空車重量で計測しています。なお動力性能を損なう付加装置（特殊タイヤなど）は使用していません。

▸ 地域の法律等を遵守してトレーラー車両をけん引してください。

車両タイプ	最高速度	最高速度（電動モーター走行）	0～100 km/h発進加速（括弧内の数値はスポーツ・プラス・モード）	電動走行距離
Cayenneディーゼル＊	221 km/h 209 km/h (130 mph) [1] 220 km/h (136 mph) [2] 218 km/h (135 mph) [3]	–	7.3 s (7.2 s) 8.5 s (8.4 s) [1] 7.5 s (7.4 s) [2] 7.6 s (7.5 s) [3]	–
Cayenne Sディーゼル＊	252km/h	–	5.4 s (5.3 s)	–
Cayenne [4]	230km/h	–	7.7 s (7.6 s)	–
Cayenne [5]	239 km/h / 149 mph	–	6.9 s (6.8 s)	–
Cayenne S	259km/h	–	5.5 s (5.4 s)	–

＊ 日本仕様に設定はありません。

車両タイプ	最高速度	最高速度（電動モーター走行）	0～100 km/h発進加速（括弧内の数値はスポーツ・プラス・モード）	電動走行距離
Cayenne GTS	262km/h		5.2 s (5.1 s)	–
Cayenne Turbo	279km/h	–	4.5 s (4.4 s)	–
Cayenne Turbo S	284km/h	–	4.1 s	–
Cayenne S E-Hybrid	243km/h	125km/h	5.9 s	18～38km (11～27マイル)

1) 国別仕様155 kW (211 hp)
2) 国別仕様184 kW (250 hp)
3) Euro 5 / Euro 4。
4) 国別仕様 220 kW (300 hp)
5) 国別仕様 245 kW (333 hp)

タイヤとホイール

タイヤ/ホイール・サイズ

ポルシェ社が承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。記載されている荷重指数（91など）と速度記号（Yなど）以上の性能のタイヤを使用してください。新しいタイヤを装着するときやタイヤ交換時は：

▷ 「タイヤとホイール」（175ページ）を参照してください。

- スノー・チェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。
  ポルシェ社が認可したファインリンク・エッジ・チェーンのみを使用してください。
- 交換するタイヤ/ホイールがEU規格に適合しているか確認してください。必要であればホイール/タイヤの組み合わせがこの車両に適合するか参照してください。詳細なインフォメーションについては：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

	カイエン・ディーゼル、カイエンSディーゼル、カイエン、カイエンS、カイエンS、Cayenne S E-Hybrid	カイエンGTS、Cayenne Turbo	Cayenne Turbo S	スノー・チェーンの装着
18インチ・ホイール	8J x 18、RO 53 [1) 2) 3)]	–	–	–
サマー・タイヤ	255/55 R 18 109Y XL	–	–	不可
オール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ	255/55 R 18 109V XL M+S [4)]	–	–	可 全てのアクスル
19インチ・ホイール	8.5J x 19、RO 59 [1) 2) 3)]	8.5J x 19、RO 59 [1) 2) 3)]	–	–
サマー・タイヤ	265/50 R 19 110Y XL	265/50 R 19 110Y XL	–	不可
オール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ	265/50 R 19 110V XL M+S [4)]	265/50 R 19 110V XL M+S [4)]	–	可 リヤアクスルのみ
20インチ・ホイール	タイプ 1 ：9J x 20、RO 57 [5) 3) 2)] タイプ 2 ：9.5J x 20、RO 47 [2) 6)]			–
サマー・タイヤ	275/45 R 20 110Y XL			不可
オール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ	275/45 R 20 110V XL M+S [4)]			可 リヤアクスルのみ （タイプ 1）
21インチ・ホイール	10J x 21, RO 50 [2) 6)]			–

	カイエン・ディーゼル、カイエンSディーゼル、カイエン、カイエンS、カイエンS、Cayenne S E-Hybrid	カイエンGTS、Cayenne Turbo	Cayenne Turbo S	スノー・チェーンの装着
サマー・タイヤ	295/35 R 21 107Y XL			不可
スペア・ホイール	6.5B x 18、RO 28 1) 6.5B x 19、RO 28 1) 6.5B x 20、RO 28	6.5B x 19、RO 28 1) 6.5B x 20、RO 28	6.5B x 20、RO 28	不可
コラプシブル・スペア・ホイール	195/75-18 106P 195/65-19 106P 195/55-20 102P	195/65-19 106P 195/55-20 102P	195/55-20 102P	不可

1) ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)装備車以外に適用します。
2) 5mmスペーサーは、フロント・アクスル/リヤ・アクスルに装着可能です。＊
3) ホイール・アーチ・エクステンションまたはSportDesignパッケージ装備車のリヤ・アクスルにのみ、17mmスペーサーを装着することができます。
4) スノー・チェーン・クリアランスはスペーサーのない場合のみ保証できます。19/20インチ・タイヤを使用している場合は、リヤ・ホイールにのみチェーンを装着できます。
18 インチ・ホイール装着車の場合、4 輪全てに装着可能なチェーンであれば、フロント・アクスルにもチェーンを装着することができます。
5) ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)装備車は、ホイール・タイプに応じて装着することができます。
6) ホイール・アーチ・エクステンションまたはSportDesignパッケージ装備車にのみ、5mmスペーサーをフロント・アクスル/リヤ・アクスルに装着することができます。＊

タイヤ空気圧

これらの空気圧は、ポルシェ社が認可したメーカーおよび仕様のタイヤの、冷間時（20°C）のタイヤ空気圧のみに適用します。

▶ 車両の積載荷重はマルチファンクション・ディスプレイで設定してください。車両重量に応じてタイヤ空気圧を調整してください。

▷ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM)」（304ページ）を参照してください。

Cayenne Diesel、Cayenne S Diesel, Cayenne、Cayenne S FA = フロント・アクスル、RA =リヤ・アクスル	部分積載時		全積載時	
	FA	RA	FA	RA
サマー・タイヤ 255/55 R 18 109Y XL **240km/hまでに適応するオール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ** 255/55 R 18 109V XL M+S	2.5 bar/250 kPa/ 36 psi	2.8 bar/280 kPa/ 41 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	3.0 bar/300 kPa/ 44 psi

＊ 日本仕様に設定はありません。

Cayenne Diesel、Cayenne S Diesel, Cayenne、Cayenne S FA = フロント・アクスル、RA =リヤ・アクスル	部分積載時		全積載時	
	FA	RA	FA	RA
サマー・タイヤ 265/50 R 19 110Y XL 275/45 R 20 110Y XL	2.4 bar/240 kPa/ 35 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	3.0 bar/300 kPa/ 44 psi
240km/hまでに適応するオール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ 265/50 R 19 110V XL M+S 275/45 R 20 110V XL M+S				
サマー・タイヤ 295/35 R 21 107Y XL				
80km/hの速度までに適応するスペア・ホイール 195/75-18 106P、195/65-19 106P、 195/55-20 102P	3.5 bar / 350 kPa / 51 psi			

Cayenne GTS FA = フロント・アクスル、RA =リヤ・アクスル	部分積載時		全積載時	
	FA	RA	FA	RA
サマー・タイヤ 265/50 R 19 110Y XL 275/45 R 20 110Y XL	2.4 bar/240 kPa/ 35 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	3.0 bar/300 kPa/ 44 psi
240km/hまでに適応するオール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ 265/50 R 19 110V XL M+S 275/45 R 20 110V XL M+S				
サマー・タイヤ 295/35 R 21 107Y XL				
80km/hの速度までに適応するスペア・ホイール 195/75-18 106P、195/65-19 106P、 195/55-20 102P	3.5 bar / 350 kPa / 51 psi			

Cayenne Turbo FA = フロント・アクスル、RA =リヤ・アクスル	部分積載時		全積載時	
	FA	RA	FA	RA
サマー・タイヤ 255/55 R 18 109Y XL	2.5 bar/250 kPa/ 36 psi	2.7 bar/270 kPa/ 39 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	3.0 bar/300 kPa/ 44 psi
240km/hまでに適応するオール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ 255/55 R 18 109V XL M+S	2.4 bar/240 kPa/ 35 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	3.0 bar/300 kPa/ 44 psi
サマー・タイヤ 265/50 R 19 110Y XL 275/45 R 20 110Y XL	2.5 bar/250 kPa/ 36 psi	2.7 bar/270 kPa/ 39 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	3.0 bar/300 kPa/ 44 psi
240km/hまでに適応するオール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ 265/50 R 19 110V XL M+S 275/45 R 20 110V XL M+S	2.4 bar/240 kPa/ 35 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	3.0 bar/300 kPa/ 44 psi
サマー・タイヤ 295/35 R 21 107Y XL	2.5 bar/250 kPa/ 36 psi	2.7 bar/270 kPa/ 39 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	3.0 bar/300 kPa/ 44 psi
80km/hの速度までに適応するスペア・ホイール 195/65 – 19 106P、195/55 – 20 102P	3.5 bar / 350 kPa / 51 psi			

Cayenne Turbo S FA = フロント・アクスル、RA =リヤ・アクスル	部分積載時		全積載時	
	FA	RA	FA	RA
サマー・タイヤ 265/50 R 19 110Y XL 275/45 R 20 110Y XL	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	2.8 bar/280 kPa/ 41 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	3.0 bar/300 kPa/ 44 psi
240km/hまでに適応するオール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ 265/50 R 19 110V XL M+S 275/45 R 20 110V XL M+S	2.4 bar/240 kPa/ 35 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	3.0 bar/300 kPa/ 44 psi
サマー・タイヤ 295/35 R 21 107Y XL	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	2.8 bar/280 kPa/ 41 psi	2.6 bar/260 kPa/ 38 psi	3.0 bar/300 kPa/ 44 psi
80km/hの速度までに適応するスペア・ホイール 195/55-20 102P	3.5 bar / 350 kPa / 51 psi			

Cayenne S E-Hybrid FA = フロント・アクスル、RA =リヤ・アクスル	部分積載時		全積載時	
	FA	RA	FA	RA
サマー・タイヤ 255/55 R 18 109Y XL 265/50 R 19 110Y XL 275/45 R 20 110Y XL 295/35 R 21 107Y XL	2.4 bar/240 kPa/ 34 psi	2.9 bar/290 kPa/ 42 psi	2.6 bar/260 kPa/ 37 psi	3.2 bar/320 kPa/ 46 psi
240km/hまでに適応するオール・シーズン・タイヤおよびウインター・タイヤ 255/55 R 18 109V XL M+S 265/50 R 19 110V XL M+S 275/45 R 20 110V XL M+S				
80km/hの速度までに適応するスペア・ホイール 195/75-18 106P 195/65-19 106P	3.5 bar / 350 kPa / 51 psi			

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)

	テクニカル・データ：オーディオおよびビデオ・ファイル
対応するメディア	**SDカード**（最大128 GB） **DVDドライブ** オーディオCD（最大80分）、CD-ROM（最大700MB）、DVD±R/RW、標準ビデオDVD、DVDオーディオ互換ビデオDVD **ポータブル・プレーヤー** MTPプレーヤー、USBスティック、専用ドライバー不要のUSB MP3プレーヤー、外部USBフラッシュ・メモリーおよびハード・ディスクなどの「USBデバイス・サブクラス1および6」のUSB2.0デバイス
ファイル・システム	**SD/SDHC/SDXC/MMC** メモリー・カード **USB大容量記憶装置**exFAT、FAT、またはFAT32、NTFSファイル・システム（最大4パーティション） **DVDドライブ** ISO9660、Joliet、UDF
フォーマット	MPEG 1/ 2 Layer 3：Windows Media Audio 9および10；MPEG 2/ 4；FLAC、MPEG 1/ 2；ISO-MPEG4；DivX 3、4および5；Xvid；ISO-MPEG4 H.264 （MPEG4 AVC）M；Windows Media Video 9
ファイル拡張子	.mp3、.wma、.asf、.m4a、.m4b、.aac、.flac、.mpg、.mpeg、.avi、.mp4、.m4v、.mov、.wmv
プレイリスト	.M3U；.PLS；.WPL；.M3U8；.ASX
特徴	最大 320 kbit/s および 48 kHzサンプリング周波数；最大 2,000 kbit/s および 720x576 px.（最大25fps時）
ファイル数	**DVDドライブ** 最大1,000ファイル DVD **Jukebox** （最大10GB ストレージ容量）最大3,000ファイルをコピー可 **USB 大容量記憶装置**および**メモリー・カード**最大 10,000 ファイル (1 メディアあたり)、最大 1,000 ファイル (1 ディレクトリ / プレイリストあたり)
メタデータ	アルバム・カバー最大800 x 800ピクセル；GIF、JPG、およびPNGフォーマット、またはGracenoteデータベース経由
ビデオDVDリージョン・コード	コード1：USA、カナダおよび米国自治領 コード2：ヨーロッパ、グリーンランド、南アフリカ、エジプトおよび中東、日本 コード3：東南アジア、韓国、香港、インドネシア、フィリピン、台湾 コード4：オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ コード5：ロシアおよび他の旧ソ連諸国、東ヨーロッパ、インド、アフリカ コード6：中華人民共和国 コード8：国際領土（船舶、航空機）

テクニカル・データ：接続	
携帯ネットワーク	GSM/GPRS/EDGE：デュアル・バンド、900 MHz/1800 MHz UMTS/HSPA+：トリプル・バンド、900 MHz（Band VIII）/1800 MHz（Band III）/2100 MHz（Band I） LTE：クワッド・バンド、800 MHz (Band 20)/900 MHz (Band 8) /1800 MHz (Band 3)/2600 MHz (Band 7)
WiFi	IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz)
Bluetooth®	Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス2、通信範囲約10 m
SIMカード	ミニ SIM、寸法：25 x 15 mm

テクニカル・データ、ラジオ	
周波数範囲/規格	UKW （FM）：87.5～108 MHz（100 kHzごとの手動調節） MW （AM）：531～1,602 KHz（1 kHzごとの手動調節）
自動選局付きチューニング・グリッド	UKW （FM）：100 kHz MW （AM）：9 kHz

テクニカル・データ、TV	
規格	12セグTVまたはワンセグTVで暗号化されていない地上波デジタルISBD放送TVチャンネル

テクニカル・データ、CD/DVDドライブ	
一般的なインフォメーション	製造時に、このレーザー製品はドイツ/国際規格DIN EN 60825-1に準拠して製造されています：2008-05およびDHHSルール21 CFR Subchapter J、クラス1レーザー製品として分類されています。クラス1レーザー製品のレーザー光線は、通常の作動条件下では危険を生じない程度の弱いものです。この製品は、レーザー光線がデバイス内部に完全に密閉されるように設計されています。
レーザー光線出力	DVD：0.68 mW CD：0.85 mW
レーザー光線波長	DVD：665 nm CD：795 nm

ライセンスについて	
Bluetooth®	Bluetooth® マークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、AISIN AW CO., LTD. は認可を受けてこれらを使用しています。他の登録商標および商品名はそれぞれの所有者により所有されています。
Dolby Digital	Dolby Laboratories のライセンスの下で製作Dolby およびダブル D シンボルは Dolby Laboratories の登録商標です。
DTS Digital Surround	DTS 特許については、http://patents.dts.com を参照してください。DTS Licensing Limited のライセンスの下で製作。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround は DTS, Inc. の登録商標です。 © DTS, Inc. 全権利は保護されています。
Gracenote	Gracenote ロゴおよび「powered by Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

エンド・ユーザー・ライセンス合意	
Gracenote®	このアプリケーションまたは機器には Gracenote, Inc.（カルフォルニア州エメリービル）（「Gracenote」）のソフトウエアが含まれています。このアプリケーションは Gracenote のソフトウェア（「Gracenote Software」）を利用し、ディスクおよび/またはファイルを識別し、名前、アーティスト名、トラック名、タイトル情報など音楽関連の情報（「Gracenote Data」）をオンライン・サーバーまたは実装データーベース（総称として「Gracenote Servers」）から入手するとともに、その他の機能も実現しています。このアプリケーションまたは機器の本来のエンド・ユーザー機能によってのみ Gracenote データを使用することができます。 Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを個人目的および非営利目的でのみ使用することに同意するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データを第三者に譲渡、コピー、転送または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。 これらの制限に反した場合は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたはGracenote サーバーの通常使用権約が解除されることに同意するものとします。ライセンスが停止すると、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。全所有権を含めた Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーについての全ての所有権を含む、全ての権利を Gracenote が保有します。いかなる状況においても Gracenote はお客様が提供した情報についてお客様に対して支払いの責任を持ちません。Gracenote, Inc. が自己の名義をもってお客様に対してこの合意に基づいた権利を執行できることに同意するものとします。 Gracenote サービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用します。ランダムに割り当てた数字による識別子の目的は Gracenote サービスが質問者については何も情報を得ないでクエリをカウントすることを可能にします。より詳細な情報については、Gracenote サービスの Gracenote プライバシー・ポリシーのウェブ・ページを参照してください。 Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データの各アイテムは、お客様に対して「現状のままで」提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は Gracenote サーバーからの Gracenote データの正確性について、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーにエラーがない、または Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断しないことは保証されていません。Gracenote は Gracenote が提供可能な新しい拡張または追加データ・タイプまたはカテゴリーを提供する義務を持ちません。またいつでもサービスを中断することができます。 Gracenote は明示的または暗示的にかかわらず、商品性および特定目的に対する適合性、所有権および非侵害などで暗示されている保証も含め (限定はしない)、いかなる保証も行いません。Gracenote は、お客様が Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーを使用することにより入手した結果について保証しません。結果的なまたは付随的な損害、または利益や収益の損失について、Gracenote は一切責任を負いません。 © 2000 to present Gracenote, Inc.

検査マークおよび適合宣言書

欧州連合 (EU)

ポルシェ社では、当社車両に装着されているラジオおよびレーダー・システムが、用途に基づいて使用する場合、指令2014/53/ECの基本要件および他の関連規約に適合していることを宣言します。

オーストラリア

ブラジル

SA1-363

"Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."

ANATEL
0354-09-2149
(01)07894476026649

ANATEL
1165-09-2149
(01)07894476026960

ANATEL
MODELO: TSSRE4Dg
2294-15-3616
(01)07899730500910

ANATEL
3002-09-3745
7891009090016

ANATEL
3336-11-2856
(01)7898949603 016

ANATEL
3336-11-2856
(01)7898949603 023

香港

HKCA 1035: Automotive radar: radio equipment exempted from licensing.

Certified for use in Hong Kong
經驗證可在香港使用
Certificate No. 證書號碼
HK0041300008
通訊事務管理局
COMMUNICATIONS AUTHORITY

インドネシア

21962/SDPPI/2011
22097/SDPPI/2011 2181

イスラエル

Model name: TSSRE4Dg
Manufacturer: Huf Electronics Bretten

שם הדגם (Hebrew :Model name)
5Wk50137 / 28-4003-61004-3-00 / 7PP905865

SA1-366

שם היצרן וכתובתו (Hebrew : Manufacturer and address)
Continental AG
Siemensstraße 12
93055 Regensburg

SA1-367

日本

R 204-560001

Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

ヨルダン

Type Approval No.: TRC/LPD/2009/15
Type Approval No.: TRC/LPD/2011/106

マレーシア

Continental
28416032 / 28416031
RAAW/33A/0512/S(12-0755)

メキシコ

Radar de largo alcance, 77GHz,
MARCA: BOSCH, MODELO: LRR3,
COFETEL: (RCPBOLR09-0828)

モルドバ

1024

モロッコ
AGREE PAR L'ANRT MAROC
Numéro d'agrément : MR 5371 ANRT 2010
Date d'agrément : 02 / 02 / 2010

オマーン
Oman - TRA R/0686/12 D090016
Oman - TRA/TA-R/2609/15

カタール
ictQATAR Type Approval Reg. No.: R-2419
Approval Ref.: CRA/SA/2015/R-4714

セルビア
И011 13

シンガポール
Complies with IDA Standards DB01752.
Complies with IDA Standards DB03227.
Complies with IDA Standards DA103858.

南アフリカ
ICASA TA-2009/464
ICASA TA-2014/2597
ICASA TA-2015/158 APPROVED

韓国
BO2-LRR3 MSIP-CRM-HEB-TSSRE4DG MSIP-REM-HEB-TSSSG4G5

This equipment has been approved under EMC Registration as a Class B device (for domestic use) and can be used in both residential and commercial areas.

台湾
CCAB10LP3800T1
CCAK15LP0801T1
Regulations for the low-power radio wave radiation devices:
Without permission, for the approved low-power radio-frequency devices, any companies, firms or users are not allowed to change the frequency band, increase the power or change the specifications and functionality of the original design.
The low power radio-frequency devices are not allowed to influence aircraft safety or interfere any legal communications. In case any interference phenomenon is detected, the use of this device should stop immediately, and it is allowed to continue to use until it is improved to be without interference any more.
The term legal communications stated in last paragraph refers to the operating radio communication system which is in compliance with the Regulations for the Telecommunications.
The low power radio-frequency devices should be able to tolerate the interferences from any legal communications or industrial, scientific and medical radio wave radiation devices or equipment.

ウクライナ
028

アラブ首長国連邦
TRA REGISTERED No: ER0075624/11, DEALER No: DA0053436/10
TRA REGISTERED No: 0016889/09, DEALER No: 0014972/08
TRA REGISTERED No: 0016889/09, DEALER No: DA36785/14
TRA REGISTERED No: ER38964/15, DEALER: HUF ELECTRONICS GmbH

Bluetooth®認証（抜粋）
- Albania
- Andorra
- Angola
- Aruba
- Australia
- Austria
- Bahamas
- Bahrain
- Barbados
- Belarus
- Belgium
- Belize
- Bolivia
- Bonaire
- Bosnia and Herzegovina
- Brazil
- Brunei
- Bulgaria

- Burkina Faso
- Canada
- Chile
- China
- Colombia
- Costa Rica
- Croatia
- Curacao
- Cyprus
- Czech Republic
- Denmark
- Dominican Republic
- Ecuador
- Egypt
- El Salvador
- Estonia
- Ethiopia
- Finland
- France
- French Guyana
- French Polynesia
- Gabon
- Germany
- Ghana
- Gibraltar
- Guadeloupe
- Guatemala
- Greece
- Greenland
- Hong Kong
- Hungary
- Iceland
- India
- Indonesia
- Ireland
- Iraq
- Israel
- Italy
- Ivory Coast
- Jamaica
- Japan
- Jordan
- Kenya
- Kosovo
- Kuwait
- Latvia
- Lebanon
- Lesotho
- Liberia
- Libya
- Liechtenstein
- Lithuania
- Luxembourg
- Macau
- Macedonia
- Madagascar
- Malaysia
- Malta
- Martinique
- Mauritius
- Mexico
- Monaco
- Mongolia
- Morocco
- Mozambique
- Netherlands
- New Caledonia
- New Zealand
- Nigeria
- Norway
- Oman
- Pakistan
- Panama
- Peru
- Poland
- Portugal
- Puerto Rico
- Qatar
- Reunion
- Romania
- Russia
- San Marino
- Saudi Arabia
- Senegal
- Serbia
- Singapore
- Slovakia
- South Africa
- Spain
- St. Lucia
- Sweden
- Switzerland
- Tahiti
- Taiwan
- Thailand
- United Arab Emirates
- United Kingdom
- Uruguay
- USA
- Venezuela
- Vietnam
- Yemen
- Zimbabwe

リサイクル

車両の廃車

EU加盟国のみ：

寿命を迎えたPorsche車両は、Dr. Ing. h.c. F. Porsche社により、環境にやさしい方法で無償にて廃棄していただけます。

車両の返還および対応する廃棄証書の発行について：

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。

エアバッグおよびシート・ベルト・テンショナー・ユニット

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、エアバッグ・ユニット、シートベルト・テンショナー・ユニットは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。

使用済みバッテリー

使用済みバッテリーは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

- 地域の廃棄指示を遵守してください。
- 使用済みバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。

索引

符号

◊ボタンの設定 314
「スポーツ」/「スポーツ・プラス」モード
　スポーツ/スポーツ・プラス・モードを作動/停止する 156

字母

A/C MAXボタン
　エアコン・システム 62
A/Cボタン
　エアコン・システム 61
ABS（アンチロック・ブレーキ・システム）
　機能説明 294
ACC
　アダプティブ・クルーズ・コントロール 36
AdBlue®
　燃料タンクの容量 377,378
Alcantara® のお手入れの諸注意 82
Apple® CarPlay
　Siri® 367
AUTO（ライト・スイッチ） 327
Bluetooth®
　デバイスの管理 199
　電話を接続する 198
CarPlay®
　PCMで開く 366
　Siri® 367
CD/DVDドライブにロードする 289
ETC受信機 280
E充電モード（走行しながら充電）
　ON/OFF 368
E充電モード(走行しながら充電する) 368
Eパワー・アシスト 242
　マルチファンクション・ディスプレイ上 242
Eパワー・モード 369
　ON/OFF 369
Eメール
　作成 203
　表示および消去 203
GOOGLE® Street Viewの起動 229
HOLD機能 370
ISOFIXシステム
　規定のチャイルド・シート取り付け方向 184
　助手席エアバッグのON/OFF 189
　推奨するチャイルド・シート 187
　トップ・テザー 191
MyScreen(PCM)
　設定(PCM) 288
MyScreen（PCM）
　電話のお気に入りを追加する（PCM） 202
OFF/ONの切り替え(PCM) 285
ON/OFFの切り替え(PCM) 285
PASM 282
PASM（ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント）
　シャーシ設定の選択 282
PCCB
（ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ）
　一般的なインフォメーション 263
PCM
　MyScreenの設定 288
　SDカードの挿入および取り出し 289
　外部機器の接続 290
　システム設定 291
　ナビ 223
　パーキング・アシスタント 233
　ラジオ 342
PCM＊
　CD/DVDドライブにロードする 289
　Porsche Connect App 371
　アップル®・カープレイ 366
　お手入れの諸注意 83
　接続（データ接続） 163
　テレビ(TV) 194
　電話＊ 197
　ドライビング・データ（トリップ情報）を表示する 207
　ボイス・コントロール 274
　メディア 323
　ログブック 362
PCMシステム設定 291
PCM設定
　概要 291
　日付と時刻 285
PCMドライブ
　CD/DVDをロード 289
　SDカードの挿入および取り出し 289
　外部機器の接続 290
　知識 289
PCMドライブに関する諸注意 289
PCMにドライビング・データを表示する 207
PCMにバックグラウンド・イメージを表示する 288
PCMの設定
　音量および音質 291
　テレビ 196
　電話＊ 204
　ナビ＊ 231
　マップ＊ 231
　メディア 326
　ラジオ 344
PCMの操作
　ON/OFFの切り替え 285
　概要 284
　タッチスクリーンから 286
　タッチスクリーンの操作ボタン 285
　テキストおよび文字を入力する 287
　ボイス・コントロール 274
　ロータリー・プッシュ・ボタンで 286
PDK
　惰性走行モード 211
PDKトランスミッション 208
　シフトアップ・インジケーター 211
　ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト 210
Porsche Connect App 371
　デバイス・マネージャー 193
Porsche Doppelkupplung(PDK) 208
　ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト 210
　セレクター・レバー・ポジション 208
PSM（ポルシェ・スタビリティ・マネージメント）
　OFFにする 293
　機能説明 293
PSMスポーツ
　点灯する 293
PTVプラス 213
READY表示 49
SCR＊
　燃料タンクの容量 377,378
SDカードの挿入および取り出し 289
Siri® 367
TPM（タイヤ空気圧モニタリング） 304
WiFi(PCM)
　PCM WiFiホットスポットの使用 164
　WiFiを使用してPorsche Connect AppをPCMに接続する 371
　設定 204

＊ 日本仕様に設定はありません。

あ

アームレスト
フロント収納ボックスを開く 281
アイス/サン・シールドの装着 266
アシスタンス・システム
Porsche Active Safe（ポルシェ・アクティブ・セーフ）の設定 312
車線逸脱警告の設定 313
トレーラーけん引時の設定 313
レーン・チェンジ・アシスト(LCA)設定 312
アダプティブ・クルーズ・コントロール 36
ON/OFF 38
機能説明 36
クルーズ・コントロールの中断/再開 41
作動原理 37
車間距離の設定 39
操作ステータス 38
速度の設定/設定速度の変更 39
ポルシェ・アクティブ・セーフ 43
レーダー・センサー 36
例外 41
アダプティブ・ライト・システム、オートマチック・ヘッドライト 327
アッパー・ベンチレーション・パネル 61
アップル®・カープレイ
PCMで開く 366
アプリ
Porsche Connect 371
デバイス・マネージャー 193
アルミニウム・リム
お手入れの諸注意 81
安全に関する注意事項
警告ラベル 240
アンダーコーティング、お手入れの諸注意 81
アンチロック・ブレーキ・システム（ABS）
機能説明 294

い

イグニッション・ロック
キーの緊急操作 95
機能説明 74
移動データ（接続） 163
イモビライザー
機能説明 206
インジケーター・ライト 49
インストルメント・クラスター
オドメーター（積算距離計） 48
概要 47
警告灯および表示灯 49
水温計 47
スピードメーター 47
積算距離計/トリップ・メーター 48
タコメーター（回転計） 47
燃料計 48
油圧計 48
油温計 47
インストルメント・パネル
オドメーター（積算距離計） 48
概要 47
警告灯および表示灯 49
水温計 47
スピードメーター 47
積算距離計/トリップ・メーター 48
タコメーター（回転計） 47
燃料計 48
油圧計 48
油温計 47
ライト調節 45
インストルメント・パネル（Eハイブリッド） 49
READY 49
エネルギーを回収/回生 49
効率 49
充電 49
充電ポート・ドアの確認 49
内燃エンジンによる走行 49
バッテリー充電状態の表示 49
パワー・メーター 49
ブースト 49
インストルメント・ライト 45
ディスプレイの明るさを調節する 48
インターネット
データ接続を確立する(PCM) 163
インテリア・ライト
ON/OFFと調光 45
オリエンテーション・ライト 46

う

ウインター・タイヤ
一般的なインフォメーション 178
タイヤ交換 179
ウィンドウ
お手入れの諸注意 80
開閉操作 51
キーによる開閉操作（リモート・コントロール） 52
停止位置の保存 53
ドア・ハンドルのボタン操作で閉じる（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車） 52
ウェルカム・ホーム機能
ONにする 328
ウォッシャー液
不凍液 55
補充 55
運転席
オドメーター（積算距離計） 48
警告灯および表示灯 49
水温計 47
スピードメーター 47
積算距離計/トリップ・メーター 48
タコメーター（回転計） 47
燃料計 48
油圧計 48
油温計 47
ライト調節 45
運転席（Eハイブリッド）
READY 49
運転席（Eハイブリッド）
エネルギーを回収/回生 49
効率 49
充電 49
充電ポート・ドアの確認 49
内燃エンジンによる走行 49
バッテリー充電状態の表示 49
パワー・メーター 49
ブースト 49
運搬（鉄道、船舶など）
車両の固定 129

え

エア・サスペンション
概要 65
エア・サスペンションおよびレベル・コントロール付きPASM 65
エア・ベント
開閉操作 61
調節する 61

エアコン・コンプレッサー 58
エアコン・システム
A/C MAXモードのON/OFF 62
A/CモードのON/OFF 61
アッパー・ベンチレーション・パネル 61
エアコン・コンプレッサーに関する
インフォメーション 58
エアコン・コンプレッサーのON/OFF 61
オート・モードのON/OFF 58
温度の設定 59
自動内気循環モードの設定 63
内気循環モードのON/OFF 62
バッテリー電圧低下時の自動OFF 58
フロント・ウィンドウ・デフロスター 64
フロント送風量の設定 59
冷房機能のON/OFF 61
エアバッグ
安全に関する注意事項 69
お手入れの諸注意 82
機能 69
タコメーターの警告灯 69
取り付け位置 69
廃棄 396
エキゾースト・システム
スポーツ 153
エネルギー・フロー・ディスプレイ 241
ポルシェ・コミュニケーション・
マネージメント(PCM) 241
マルチファンクション・ディスプレイ上 242
エマージェンシー・キー 94
エミッション・コントロール（チェック・エンジン）
機能説明 50
エミッション・コントロール警告灯 50
エレクトリック・パーキング・ブレーキ
解除する 262
緊急ブレーキ機能 262
警告灯 262
操作 262
発進時のパーキング・ブレーキ自動解除 262
ブレーキ・テスト・スタンドでの測定 192
エンジン
エンジンの停止 75
オイル・レベル・ゲージ 303
オイル・レベルの測定と表示 303
オイルの補充 71
始動 74
自動停止（オート・スタート/ストップ機能）..... 76
エンジン・オイル
一般的なインフォメーション 71
給油口 72
補充 71
マルチファンクション・ディスプレイでの
オイル圧力の警告 110
マルチファンクション・ディスプレイの
オイル・レベル・ゲージ 303
レベル・ゲージ 303
レベルの点検 303
エンジン・コンパートメント・リッド 298
エンジン始動 241
エンジンの停止
エンジン 75
エントリー＆ドライブ
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアの
ロック 169
作動原理 167
エントリー機能、乗車時のカーテシー・ライトの
点灯 328

お

オート・エアコン 58
オート・スタート/ストップ機能
ON/OFF 77
エンジンの自動始動 76
エンジンの自動停止 76
作動原理 76
前提条件 76
表示 78
例外 76
オート・スタート/ストップ機能および惰性走行モード
ON/OFF 77
オート（ライト・スイッチ）
オートマチック・ヘッドライト 327
オートマチック・カミング・ホーム・ライト 328
オートマチック・ドライビング・ライト・
アシスタント 327
オートマチック・トランスミッション 208
オートマチック・ヘッドライト
ジャンクション・ライト＊ 329
オートメモリ 237
オイル
一般的なインフォメーション 71
給油口 72
補充 71
マルチファンクション・ディスプレイでの
オイル圧力の警告 110
マルチファンクション・ディスプレイの
オイル・レベル・ゲージ 303
レベル・ゲージ 303
レベルの点検 303
オクタン価、燃料 97
お手入れ
Alcantara® 82
アンダーコーティング 81
ウィンドウ 80
エアバッグ 82
革製品 82
軽合金製ホイール 81
警告 79
高圧洗浄機の使用 79
シートベルト 83
シール 81
車両の保管 83
洗車 79
塗装 80
ファブリック・ライニング 82
ヘッドライト、プラスチック製部品 81
ホイール・ボルト 180
お手入れの諸注意
Alcantara® 82
PCM＊ 83
アンダーコーティング 81
ウィンドウ 80
エアバッグ 82
カーペット 82
革製品 82
軽合金製ホイール 81
高電圧バッテリー 83
シートベルト 83
シール 81
車両の保管 83
車両を長期保管する場合の注意点 83
洗車 79
塗装 80
ファブリック・ライニング 82
フロア・マット 82
ホイール・ボルト 180

＊ 日本仕様に設定はありません。

オドメーター（積算距離計）
表示 48
リセット 48
オフロード・モード 88
ナビ＊ 230
オリエンテーション・ライト 46
折り畳み式輪止め 248
オルタネーター
車両エレクトリカル・システムの警告 113
音楽(PCM)
CD/DVDをロード 289
音楽（PCM）
SDカードの挿入および取り出し 289
音楽(PCM)
外部機器の接続 290
再生 324
ジュークボックスに入れる 326
設定 326
プレイリストを開く 325
メディア・ソースの検索 325
音楽（PCM）
メディア・ソースの選択 324
音質と音量の調節(PCM) 291
温度の設定
エアコン・システム 59
オンボード・コンピューター
オイル・レベルの測定 303
項目数の多いリストの閲覧 299
作動原理 299
タイヤ空気圧モニタリング 304
電話の使用 202
ドライビング・データの表示
（トリップ情報） 207
パーソナル設定の保存と呼び出し 237
マップ・ビュー 229
マルチファンクション・ディスプレイ 299
メニュー概要 301
ラジオ放送局の選択 343
オンライン・サービス
データ接続を確立する(PCM) 163
音量と音質の調節(PCM) 291

か

カーゴ・マネージメント 335
カーテシー・ライト、エントリー機能 328
カーペット、お手入れの諸注意 82
会議（電話） 201
開操作とロック
概要 166
キーによるドア・ロックの解除
（リモート・コントロール） 167
パーソナル設定の保存/呼び出し 237
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアの
ロック 169
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車 169
外部機器(PCM)の接続 290
開閉操作
ウィンドウ 51
サン・ブラインド 351
開閉操作とロック
車内からのドアの開閉操作とロック 169
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアの
ロック 169
概要
エアコン、フロント・コントロール・パネル 56
エアコン、リヤ・コントロール・パネル 57
テレビ(TV) 194
電話＊ 197
ドアの開閉 166
ナビ＊ 223
パーソナル設定 237
フロント・ワイパー 265
ポルシェ・コミュニケーション・
マネージメント(PCM)の操作 284
メディア 323
ラジオ 342
ログブック 362
カップ・ホルダー 90
ガレージ・ドア・オープナー＊
再プログラミング 93
信号をボタンに登録する
（可変コード式システム） 92
信号をボタンに登録する
（固定コード式システム） 92
操作 91
プログラミング 91
プログラミングした信号の消去 92
革、お手入れの諸注意 82

き

キー 94
エマージェンシー・キーを取り外す 94
スペア・キー 96
ドアのロック 168
ドアのロック解除 167
パーソナル設定の保存と呼び出し 237
キー（リモート・コントロール）
イグニッション・ロック内のキー／
コントロール・ユニットの緊急操作 95
ウィンドウの開閉（ポルシェ・エントリー＆
ドライブ非装備車） 52
ドアのロック解除 167
バッテリーの交換 94
ギヤ・シフト・インジケーター
ティプトロニックSトランスミッション 48
ギヤ・ポジション・ディスプレイ 48
ギヤシフト
Porsche Doppelkupplung(PDK) 208
シフトアップ・インジケーター 48
給油 97
フィラー・フラップの位置の表示 48
曲の再生(PCM) 324
緊急解除
ドアの 171
フィラー・フラップ（燃料給油口カバー） 99
リヤ・リッド 348
緊急操作
車両プラグ 151
充電ポート・リッド 150
ドアの 171
フィラー・フラップ（燃料給油口カバー） 99
リヤ・リッド 348
緊急ブレーキ機能 262

く

クーラント（冷却水）
不凍液 100
レベルの点検 100
クルーズ・コントロール
OFFにする 103
ONにする 102
機能説明 102
速度の設定 102
中断操作 102
グローブ・ボックス 280

け

軽合金製ホイール
お手入れの諸注意 81
警告およびインフォメーション・メッセージ
安全 104
エンジン 109
車両 113
ドライビング・システム 119
ハイブリッド車 125

＊ 日本仕様に設定はありません。

警告シンボル
タイヤ エア 307
警告灯 49
警告ラベル 240
警報システム
ON/OFF 127
機能説明 127
室内モニタリング・システムおよび
傾斜センサー＊をOFFにする 127
言語
PCMの設定 291
マルチファンクション・ディスプレイで変更
する 318
けん引
一般的なインフォメーション 128
けん引フック 129
けん引ロープまたはけん引バーの使用 128

こ

コースト走行モードで走行する 211
コーナリング・ライト
ダイナミック 328
高圧洗浄機
取扱説明書 79
工具
輪止め 248
工具セット
取り外し 332
輪止め 248
交通（交通情報の表示） 229
交通情報の表示（ナビゲーション、PCM） 229
高電圧バッテリー
車両を長期保管する場合の注意点 83
高電圧バッテリー充電および車両充電ポートの
接続状態 148
高電圧バッテリー充電および車両充電ポートの
接続表示 148
高電圧バッテリーのお手入れ 83
高電圧バッテリーを充電する 146
故障
イグニッション・ロック内のイグニッション・
キー /コントロール・ユニットの緊急操作 95
ウィンドウ停止位置の保存 53
オートマチック・リヤ・リッド 348
緊急時のフィラー・フラップの操作 99
警告およびインフォメーション・
メッセージ 104
サン・ブラインド停止位置の保存 352
ディーゼル・パティキュレート・
フィルター 115
電動格納式トレーラー・ヒッチ 216
パノラマ・ルーフの停止位置 352
パワー・ウィンドウ 53
故障診断用ソケット 130
小物入れ
グローブ・ボックス 280
フロント・シートの下 281
コントローラー (PCM) 285
コントロール・システム
概要(PSM、PASM、PADM、PDCC、
PTVプラス) 213
コンパス＊ 131

さ

サイド・ロールアップ式ブラインド 53
サマー・タイヤ
収納 179
タイヤ交換 179
サラウンド・ビュー（パーキング・アシスタント） 235
サン・ブラインド
開閉操作 351
清掃 352
停止位置の保存 352
リヤ・サイド・ウィンドウでの上昇/下降 53
サン・ブラインド停止位置の保存 352
サンバイザー 132

し

シート
シート位置の調節 133
シート位置の保存/呼び出し 237
推奨するチャイルド・シート 185
チャイルド・シート 183
フロント・シート位置の調節 133
ベビー・シート、ベビー・キャリア 189
シート・ヒーターをON/OFFにする 137
シート・ベンチレーターをON/OFFにする 138
シート・メモリー 237
シート位置の調節 133
シートベルト
お手入れの諸注意 83
警告シンボル 139
シートベルト・プリテンショナー 139
シートベルトの高さ調節 140
シートベルトを外す 140
高さ調節 140
タコメーターの警告灯 139
知識 139
着用 140
シートベルト・プリテンショナー 139
廃棄 396
シーラント/シーラント・セット
パンクしたタイヤ用 249
シール、車両のお手入れ 81
シガー・ライター 161
施設情報（ナビゲーション、PCM）の入力 225
始動
エンジン 74
車両の始動 241
自動車電話
Bluetooth®経由で接続する 198
接続ステータスの表示 200
自動内気循環モードの設定
エアコン・システム 63
自動防眩機能のON/OFF 321
シフトアップ・インジケーター 48
締め付けトルク
ホイール・ボルト 180
シャーシ・コントロール・システム
概要(PSM、PASM、PADM、PDCC、
PTVプラス) 213
シャーシ設定
選択 282
車線逸脱警告システム 141
警告音量の設定 313
警告タイミングの設定 313
作動原理 141
表示 142
例外 141
ジャッキ
エア・サスペンション装備車のリフトアップ
に関するインフォメーション 68
車両のリフト・アップ 143
車幅灯
点灯する 327
車両固定用輪止め 248
車両情報
マルチファンクション・ディスプレイの
呼び出し 303
車両寸法（メーカー発表値） 382
車両設定
Precool/heat timer機能の作動/解除 316
アシスタンス・システムの設定 312
エアコン設定 315
キーへの保存 237
警告音量およびパーキング・アシスタントの
調節 315
言語設定 318
工場出荷時の設定に戻す 318
車線逸脱警告の設定 313
出発タイマー 315
シングル・タイマーのプログラミング 316

＊ 日本仕様に設定はありません。

制限速度表示の設定 313
ダッシュボードのコンパス・ディスプレイを設定する 314
単位の設定 317
ドア・ロック機能を設定する 315
パーキング・プレエアコンの作動/解除 317
パーソナル・ボタンへの保存 237
日付と時刻の設定 311
ポルシェ・アクティブ・セーフの設定 312
マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更＊ 314
マルチファンクション・ディスプレイの調節 309
マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する 309
ライト、フロント・ワイパー、ミラーの調整 313
レーン・チェンジ・アシスト(LCA)設定 312
車両ドア
キーよるロック（リモート・コントロール） 168
緊急ロック 172
車内からの開閉操作とロック 169
車内からのロック 169
車内からのロック解除 170
開く 170
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるロック（キーレス操作） 169
車両の洗浄 79
車両の保管 83
車両プラグ（緊急操作） 151
車両プラグの挿入および充電プロセスの開始 147
車両を長期保管する場合 83
高電圧バッテリー 83
ジャンクション・ライト＊ 329
ジャンパー・ケーブルによる始動、外部電源 144
ジュークボックスに入れ管理する(PCM) 326
渋滞メッセージ 229
充電（高電圧バッテリー）
安全に関する注意事項 146
高電圧バッテリー充電および車両
充電ポートの接続表示 148
車両プラグの緊急操作 151
車両プラグの挿入および充電プロセスの開始 147
充電タイマー機能の作動/解除 149
充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し 148
充電タイマー機能
作動および解除 149
充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し 148
充電ポート・リッド、緊急ロック解除 150
収納
グローブ・ボックス 280
収納オプション 280
フロント・アームレストの収納ボックスを開く 281
フロント・シートの下 281
収納スペース 332
収納ボックス
収納 280
フロント・アームレストの開口部 281
助手席エアバッグOFF警告灯 70
助手席ミラー
格納/復帰する 320
調節する 319
パーキング・エイドの調整 320

す

水温計 47
スキー・バッグ 340
スタート/ストップ機能 76
ステアリング・コラム・ロック 206
ステアリング・ホイール
◊ボタンの設定 314
ステアリング・ロック 74
調整 152
ヒーターのON/OFF 152
ステアリング・ホイール・ヒーターのON/OFF 152
ステアリング・ロック 206
ストップウォッチ 157
スノー・チェーン
一般的なインフォメーション 178
スピードメーター 47
スペア・キー 96
スペア・ホイール
ラゲッジ・コンパートメント内のコラプシブル・スペア・ホイール 250
ラゲッジ・コンパートメント内のスペア・ホイール/コラプシブル・スペア・ホイール 250
スポーツ・エキゾースト・システム・ボタン 153
スポーツ・クロノ
PCMでのスポーツ・クロノ・ストップウォッチの表示 158
スポーツ・クロノ・ストップウォッチ 157
スポーツ・クロノ・ストップウォッチ 157
スポーツ・モード
ON/OFF 154
機能説明 154
スマートフォン
Bluetooth®経由で接続する 198
接続ステータスの表示 200
スモーカーズ・パケージ 161

せ

セーフロック 168
制限速度表示
トレーラー車両をけん引するとき 313
積算距離計/トリップ・メーター
表示 48
リセット 48
接続
Porsche Connect App 371
接続ステータスの表示 （PCM） 200
接続する
デバイス・マネージャー 193
接続マネージャー 193
設定
MyScreen(PCM) 288
キーへの保存 237
車両ドアを開いたときに呼び出す 239
パーソナル設定の保存 237
マルチファンクション・ディスプレイの調節 309
セレクター・レバー・ポジション・ディスプレイ 48
セレクター・レバー位置表示、PDKトランスミッション 209
セレクター・レバーの緊急解除 165
ゼロ・エミッション 243
選局(テレビ) 195
選局（ラジオ） 343
洗車 79
センター・アームレスト
フロント収納ボックスを開く 281
センター・ロック
概要 166
キーによるドア・ロックの解除（リモート・コントロール） 167
キーによるドアのロック解除（リモート・コントロール） 168
機能説明 167
車内からのドアの開閉操作とロック 169
セーフロック 168
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック 169

そ

ソース（PCMメディア）の選択 324
ソースの検索(PCMメディア) 325
走行距離の表示 207
走行時間の表示 207
走行しながら充電
ON/OFF 368

＊ 日本仕様に設定はありません。

ソケット・レンチ（盗難防止ホイール・ボルト）.....180
ソケット(12V).....261

た

タイダウン・リング.....334
ダイナミック・コーナリング・ライト.....328
タイヤ
　ウインター・タイヤ
　（一般的なインフォメーション）.....178
　交換.....179
　シーラント.....249
　収納.....179
　スノー・チェーン
　（一般的なインフォメーション）.....178
　全積載または部分積載の設定.....307
　タイヤ空気圧プレート.....175
　タイヤ空気圧モニタリング・システム（TPM）
　に新しいタイヤを登録する.....307
　タイヤ交換（一般的なインフォメーション）.....177
　タイヤ表記.....176
　パンク修理.....248
　ホイール・ボルトの締め付けトルク.....180
　ホイールに記入された文字.....176
　マルチファンクション・ディスプレイで
　種類およびサイズを設定する.....307
タイヤ エア
　現在の設定.....304
　システムの登録.....307
　車速警告.....307
　マルチファンクション・ディスプレイの
　呼び出し.....304
タイヤ・シーラント/シーラント・セット
　パンクしたタイヤ用.....249
タイヤ・バルブ.....177
タイヤ空気圧
　警告.....307
タイヤ空気圧警告灯.....49
タイヤ空気圧モニタリング(TPM).....304
　登録.....307
タイヤ充填コンプレッサー
　取り外し.....333
タイヤの速度記号.....176
高さ調節
　概要.....65
タコメーター（回転計）
　表示.....47
惰性走行モード.....211
ダッシュボードのコンパス.....131

ち

チェック・エンジン（エミッション・コントロール）
　機能説明.....50
遅延消灯
　ONにする.....328
地図（ナビゲーション、PCM）
　GOOGLE® Street Viewの起動.....229
　設定.....231
　地図からの目的地入力.....225
　マップ・ビューを開いて設定する.....228
　マルチファンクション・ディスプレイの
　マップ・ビューの設定.....229
チャイルド・シート.....183
　ISOFIXチャイルド・シートの取り付け.....190
　助手席エアバッグのON/OFF.....189
　推奨するチャイルド・シート.....185
　トップ・テザー.....191
チャイルド・シート・システム
　助手席エアバッグのON/OFF.....189
チャイルド・プロテクションのON/OFF.....138
着信に応答する/通話を終了する（電話）.....201
駐車
　PDKトランスミッション.....209
　機能説明、パーキング・アシスタント.....233
　サラウンド・ビュー.....235

つ

通話の保留.....201
通話履歴（電話）.....201

て

データ接続(PCM)
　WiFi設定.....204
　WiFiホットスポットの使用.....163
　確立する.....163
　設定.....205
データ接続（PCM）
　デバイス・マネージャー.....193
ディーゼル・エンジン
　ディーゼル・パティキュレート・
　フィルター.....115
ディーゼル・パティキュレート・フィルター
　機能説明.....115
　マルチファンクション・ディスプレイの
　警告メッセージ.....115
ディーゼル燃料
　給油.....97
　ディーゼル予熱インジケーター・ライト.....49
　品質.....97
ディーゼル予熱インジケーター・ライト
（ディーゼル車）＊.....49
ディーゼル粒子フィルタを再生する.....115
停止
　エンジンの自動停止（オート・スタート/
　ストップ機能）.....76
停止制御.....370
テキスト・メッセージ
　作成.....203
　表示および消去.....203
テクニカル・データ
　車両寸法（メーカー発表値）.....382
　動力性能（メーカー発表値）.....382
　燃費とCO2排出.....379
テザー
　ISOFIXテザー付きチャイルド・シートの
　取り付け.....191
デジタル・スピードメーター.....48
テスト・スタンド
　ブレーキ・テスト.....192
デバイス・マネージャー.....193
テレビ(TV)
　設定の変更.....196
　選局.....195
　プログラム・ガイド(EPG)の呼び出し.....195
　放送局の保存.....195
　呼び出し.....195
電池
　車両エレクトリカル・システムの警告.....113
　ジャンパー・ケーブルによるエンジンの
　始動.....144
　接続後の作業.....246
　バッテリーの注意事項.....244
電動モーターの電力消費量.....379
電話　(PCM)
　設定.....204
電話＊
　Bluetooth®経由で接続する.....198
　会議.....201
　接続ステータスの表示.....200
　着信に応答する/通話を終了する.....201
　通話の保留.....201
　通話履歴.....201
　番号をダイヤルする.....200
　ボイスメールを聞く.....200
　マルチファンクション・ディスプレイで使用
　する.....202
　メッセージの作成.....203
　メッセージの表示および消去.....203
　連絡先.....202

＊ 日本仕様に設定はありません。

と

ドア
キーによるロック解除（リモート・コントロール）167
キーよるロック（リモート・コントロール）168
緊急解除171
緊急操作171
緊急ロック172
車内からの開閉操作とロック169
車内からのロック解除170
開く170
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるロック（キーレス操作）169
ドア・ミラー
格納/復帰する320
設定の保存（メモリー）320
調節する319
パーキング・エイドの調整320
ドア・ミラー・ヒーターのON/OFFを切り替える345
盗難防止ホイール・ボルト用ソケット・レンチ
使用180
盗難を防止するために206
イモビライザー、ステアリング・コラム・ロック206
警報システム127
動力性能（メーカー発表値）382
時計
スポーツ・クロノ・ストップウォッチ157
塗装
お手入れの諸注意80
傷の補修80
つや出し（ポリッシュ）80
保護する80
汚れ、染みの除去80
塗装面のお手入れ80
トップ・テザー
トップ・テザー付きチャイルド・シートの取り付け191
ドライビング・ライト・アシスタント
ダイナミック・コーナリング・ライト328
点灯する327
ロー・ビーム327
エントリー＆ドライブ
作動原理167
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック169
ポルシェ・エントリー＆ドライブ
作動原理167
車両のロック169
ロック
車両ドアとポルシェ・エントリー＆ドライブ（キーレス操作）169
ロックする
車両ドアとポルシェ・エントリー＆ドライブ（キーレス操作）169
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車169
開操作とロック
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車169
ウィンドウ
ドア・ハンドルのボタン操作で閉じる（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）52
パワー・ウィンドウ
ドア・ハンドルのボタンでウィンドウを閉じる（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）52
エントリー＆ドライブ
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック169
センター・ロック
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック169
ロック
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック169
開操作とロック
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック169
開閉操作とロック
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック169
ドア
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるロック（キーレス操作）169
車両ドア
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるロック（キーレス操作）169
キー（リモート・コントロール）
ウィンドウの開閉（ポルシェ・エントリー＆ドライブ非装備車）52
トランク・ルーム332
開く346
トランスミッション
Porsche Doppelkupplung(PDK)208
トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム
概要(PSM、PASM、PADM、PDCC、PTVプラス)213
トリップ・メーター
表示48
リセット48
ドリンク・ホルダー90
トルク
ホイール・ボルトの締め付けトルク180
トレーラー
けん引、安全に関する指示214
定義214
トレーラー・ヒッチ
電動格納式トレーラー・ヒッチの故障216

な

内気循環ボタン62
内気循環モードのON/OFF62
ナビ＊
GOOGLE® Street Viewの起動229
オフロード・モード230
交通情報の表示229
施設情報の入力225
設定231
前回の目的地の使用225
地図からの目的地入力225
マップ・ビューを開いて設定する228
マルチファンクション・ディスプレイのマップ・ビューの設定229
目的地住所の入力225
目的地の検索（検索、オンライン検索）224
目的の保存および使用（お気に入り）227
ルート情報の表示228

に

荷物
荷物332
ルーフに積載して運ぶ354

ね

燃費とCO2排出379
燃料
オクタン価97
給油97
燃料計48
燃料残量警告灯48
品質97
燃料インジケーター・ライト
燃料計48
燃料計48

は

パーキング・アシスタント
機能説明233
サラウンド・ビュー235

＊ 日本仕様に設定はありません。

パーキング・エイド
ドア・ミラー下向き自動切り替え.....320
パーキング・ブレーキ
解除する.....262
操作.....262
ブレーキ・テスト・スタンドでの測定.....192
パーキング・ブレーキ（エレクトリック・
パーキング・ブレーキ）
自動解除.....262
手動解除.....262
操作.....262
パーティション・ネット
トランク・ルーム.....340
ハイ・ビーム・ヘッドライト
スイッチ.....330
ハイ・ビーム操作レバー.....330
廃棄
エアバッグ.....396
シートベルト・プリテンショナー.....396
灰皿
掃除する.....161
開く.....161
ハイブリッド・システム
緊急OFF.....15
作動条件.....240
ハイブリッド・システムの緊急OFF.....15
ハイブリッド・システムの作動条件.....240
ハイブリッド車
警告およびインフォメーション・
メッセージ.....125
ハイブリッド車のノイズ.....240
ハザード・ライトのON/OFF.....331
発進
PDKトランスミッションの停止制御.....370
ローンチ・コントロール.....211
発進アシスタント.....370
バッテリー、充電中
高電圧バッテリー.....146
バッテリー上がり時のジャンパー・ケーブル
によるエンジンの始動.....144
バニティー・ミラー.....132
パノラマ・ルーフ・システム
サンブラインドの清掃.....352
停止位置の保存.....352
パノラマ・ルーフの停止位置の保存.....352
バルブの交換.....331
パワー・ウィンドウ
ウィンドウの開閉.....51
キーによるウィンドウの開閉
（リモート・コントロール）.....52
停止位置の保存.....53
ドア・ハンドルのボタンでウィンドウを閉じる
（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）.....52
パワー・ウィンドウ停止位置の保存.....53
パワー・ステアリング
油圧フルードの点検と補充.....247
パワー・メーター.....49
番号をダイヤルする（電話）.....200

ひ

左側通行（ヘッドライトの切り替え）.....269
日付と時刻の設定(PCM).....285
日付と時刻の設定（マルチファンクション・
ディスプレイ）.....311
ビデオの再生(PCM).....324
ヒューズ
ヒューズの交換.....255
表示
ポルシェ・コミュニケーション・
マネージメント(PCM)のハイブリッド・
エネルギー・フロー・ディスプレイ＊.....241
ポルシェ・コミュニケーション・
マネージメント(PCM)のハイブリッド・ゼロ・
エミッション・ディスプレイ＊.....243
マルチファンクション・ディスプレイの
Eパワー・アシスト.....242
マルチファンクション・ディスプレイの
ハイブリッド・エネルギー・フロー表示.....242

ふ

ファブリック・ライニング（お手入れの諸注意）.....82
フィラー・フラップ、緊急操作.....99
フィラー・フラップ（燃料給油口カバー）
緊急解除.....99
フィラー・フラップの位置の表示.....48
フット・ブレーキ
安全に関する注意事項.....262
不凍液
ウォッシャー液の割合.....55
クーラントの割合.....100
ブレーキ
テスト・スタンド.....192
フット・ブレーキ.....262
ブレーキ・パッドの警告シンボル.....263
マルチコリジョン・ブレーキング.....294
ブレーキ・パッド
警告シンボル、ブレーキ.....263
ブレーキ・フルード.....264
プレイリストを開く(PCM).....325
フロア・マット、お手入れの諸注意.....82
フロント・ウィンドウ・ウォッシャー・システム
ウォッシャー液の補充.....55
不凍液.....55
フロント・ウィンドウ・デフロスター.....64
エアコン・システム.....64
フロント・シート
調整.....133
フロント・シート下の小物入れの開閉.....281
フロント・ファン設定
エアコン・システム.....59
フロント・ワイパー.....265
フロント・ワイパー/ウォッシャー・
システム.....266
リヤ・ワイパー.....268
レイン・センサーを.....266
ワイパー・ブレードの交換.....266
ワンタッチ機能.....266
フロント送風量の設定
エアコン・システム.....59

へ

平均速度の表示.....207
平均燃費の表示.....207
ヘッドライト
ウォッシャー・システムの操作.....267
お手入れの諸注意.....81
取り付け.....270
バルブの交換.....271
左側/右側通行の切り替え.....269
ヘッドレスト
調節する.....134
リヤ・シートのヘッドレストを取り外す、
または取り付ける.....134
ベビー・シート.....189
規定の取り付け方向.....184
助手席エアバッグのON/OFF.....189
推奨するチャイルド・シート.....185
ベンチレーション・パネル
アッパー.....61

＊ 日本仕様に設定はありません。

ほ

ホームリンク®
　信号をボタンに登録する（可変コード式システム）.....92
　信号をボタンに登録する（固定コード式システム）.....92
　操作.....91
　プログラミング.....91
　プログラミングした信号の消去.....92
ホイール
　ウインター・タイヤ（一般的なインフォメーション）.....178
　交換.....179
　締め付けトルク.....180
　収納.....179
　スノー・チェーン（一般的なインフォメーション）.....178
　タイヤ・シーラント.....249
　タイヤ空気圧プレート.....175
　タイヤ交換（一般的なインフォメーション）.....177
　タイヤに記入された文字.....176
　盗難防止ホイール・ボルト（ソケット・レンチ）.....180
　パンク修理.....248
　ホイール・バランス.....179
　ホイール・ボルト（お手入れの諸注意）.....180
　ホイール表記.....176
ホイール・ボルト.....180
ホイールのお手入れ.....81
ボイス・コントロール
　走行速度.....275
　呼び出し.....274
ボイス・コントロール＊
　Siri®.....367
　電話のボイス・コマンド.....278
　ナビゲーションのボイス・コマンド.....279
　メディアのボイス・コマンド.....277
　ラジオのボイス・コマンド.....277
ボイスメール（電話）を聞く.....200
方向指示灯操作レバー.....330
放送局情報の表示（ラジオ）.....344
放送局の保存（テレビ）.....195
放送局を保存する（ラジオ）.....344
保存
　パーソナル設定.....237
ホットスポット
　PCM WiFiホットスポットの使用.....164
ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM).....65
　機能説明.....282
ポルシェ・アクティブ・セーフ.....43
ポルシェ・エントリー＆ドライブ
　作動原理.....167
　車両のロック.....169
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）
　ハイブリッド・エネルギー・フロー・ディスプレイ.....241
　ハイブリッド・ゼロ・エミッション・ディスプレイ.....243
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のゼロ・エミッション.....243
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・エネルギー・フロー・ディスプレイ＊.....241
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)のハイブリッド・ゼロ・エミッション・ディスプレイ＊.....243
ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)
　OFFにする.....293
　機能説明.....293
ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)
　一般的なインフォメーション.....263
ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス(PDLS Plus).....329
ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS).....328
ボンネット.....298

ま

マルチコリジョン・ブレーキング
　機能説明.....294
マルチファンクション・ステアリング・ホイール
　◊ボタンの設定.....314
マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更＊.....314
マルチファンクション・ディスプレイ
　Eパワー・アシスト.....242
　オイル・レベルの点検.....303
　オプションの選択および機能の有効化.....300
　項目数の多いリストの閲覧.....299
　作動原理.....299
　車両情報の呼び出し.....303
　乗車タイマーのプログラミング.....315
　上部ステータス・エリアの表示を変更する.....309
　スポーツ・クロノ.....157
　タイヤ空気圧警告.....307
　タイヤ空気圧モニタリング.....304
　電話の使用.....202
　ドライビング・データの表示（トリップ情報）.....207
　パーキング・プレエアコンの作動/解除.....317
　ハイブリッド・エネルギー・フロー・ディスプレイ.....242
　表示エリア.....300
　マップ・ビュー.....229
　メニュー概要.....301
　ラジオ放送局の選択.....343
マルチファンクション・ディスプレイのEパワー・アシスト.....242
マルチファンクション・ディスプレイの設定
　乗車タイマーのプログラミング.....315
　上部ステータス・エリアの表示を変更する.....309
　パーキング・プレエアコンの作動/解除.....317
マルチファンクション・ディスプレイのドライビング・データ.....207
マルチファンクション・ディスプレイのハイブリッド・エネルギー・フロー表示.....242
万一のときは
　けん引.....128
　車両が動き出さないように固定してください.....248
　パンクしたとき.....248

み

右側通行（ヘッドライトの切り替え）.....269
ミラー
　自動防眩機能のON/OFF.....321
　ドア・ミラー・ヒーター.....345
　ドア・ミラー設定の保存（メモリー機能）.....320
　ドア・ミラーの格納/復帰.....320
　ドア・ミラーの調節.....319
　パーキング・エイド用ドア・ミラーの調整.....320
　バニティー・ミラー.....132

め

メッセージ
　作成.....203
　表示および消去.....203
メディア(PCM)
　CD/DVDをロード.....289
メディア（PCM）
　SDカードの挿入および取り出し.....289

＊ 日本仕様に設定はありません。

メディア(PCM)
外部機器の接続 290
再生 324
ジュークボックスに入れる 326
設定 326
プレイリストを開く 325
メディア・ソースの検索 325
メディア（PCM）
メディア・ソースの選択 324
メモリー 237
メモリー・パッケージ 237
メンテナンス
ウォッシャー液の補充 55
エンジン・オイル・レベルの点検 303
エンジン・オイルの補充 71
クーラント・レベルの点検と補充 100
油圧フルードの点検と補充 247
メンテナンス位置 266

も

目的地住所の入力（ナビゲーション、PCM） 225
目的地の検索（ナビゲーション、PCM） 224
目的地の保存および使用（お気に入り）
（ナビゲーション、PCM） 227

ゆ

油圧計 48
油温計 47

ら

ライト
雨天時の作動 327
お手入れの諸注意 81
高速道路走行時の機能 327
車両から離れるときに点灯する 328
乗車時に点灯 328
乗車時のカーテシー・ライトの点灯 328
バルブの交換 331
ヘッドライト・パッシング 330
ライト・スイッチ
AUTO機能 327
概要 327
ラゲッジ・コンパートメント・カバー 337
ラゲッジ・コンパートメント・パーテーション・
ネット 340
ラゲッジ・コンパートメント内のコラプシブル・
スペア・ホイール 250
ラゲッジ・コンパートメント内のスペア・
ホイール 250
ラジオ （PCM）
選局 343
ラジオ(PCM)
周波数帯の設定 343
設定 344
放送局情報の表示 344
放送局の保存 344

り

リモート・コントロール 94
ドアのロック 168
ドアのロック解除 167
リヤ・ウィンドウ・ヒーターのON/OFFを切り
替える 345
リヤ・シート
バックレストを前方に折り畳む 135
ヘッドレストの取り外しと取り付け 134
リヤ・フォグ・ライト
点灯する 327
ドライビング・ライトの調節 328
リヤ・リッド
開放高さ調整 347
緊急解除 348
開く 346
リヤ・ワイパー 268
リバース機能 268
リレー
交換 255
履歴（電話） 201
リング 334

る

ルート情報の表示（ナビゲーション、PCM） 228
ルーフ・システム
ルーフ積載荷重 380
ルーフ・トランスポート・システム
知識 354
ベーシック・キャリアの取り付け 355
ルーフ積載荷重 380
ルーフ積載荷重 380
ルーム・ミラー
自動防眩機能のON/OFF 321

れ

レーダー・センサー 36
レーン・チェンジ・アシスト(LCA) 358
レーン・チェンジ・アシスト（LCA）
ドア・ミラーの警告表示の明るさを調節
する 312
冷却システム
マルチファンクション・ディスプレイの
警告 111
冷房機能
エアコン・システム 61
レベル・コントロール
概要 65
連絡先（電話） 202

ろ

ロールアップ式ブラインド 53
ローンチ・コントロール 211
ログブック(PCM)
作動/解除 363
設定 364
ロック
キーによるドアのロック解除
（リモート・コントロール） 168
車内からのドア・ロック 169
車両ドアとキー（リモート・コントロール） 168
車両ドアとポルシェ・エントリー＆ドライブ
（キーレス操作） 169
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアの
ロック 169
ロック解除
キーからパーソナル設定を呼び出す 237
キーによるドア・ロックの解除
（リモート・コントロール） 167
車内からのドア・ロックの解除 170
リヤ・リッドをロック解除して開く 346
ロックする
車内からのドア・ロック 169
車両ドアとポルシェ・エントリー＆ドライブ
（キーレス操作） 169
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車 169

わ

ワイパー
お手入れの諸注意 365
ワイパー・ブレード
お手入れの諸注意 365
交換 365
目次 3

- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

ポルシェ・カスタマーケアセンター

フリーダイヤル：0120-846-911

車両受領証
（販売店で保管）

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

販売店スタンプ

日時　　お客様の署名